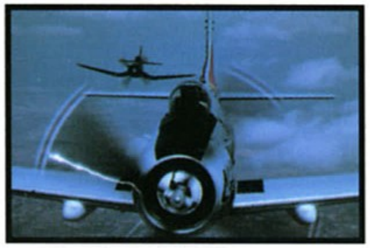
松本零士 *Leiji Matsumoto*

1938年1月、北九州市小倉区生まれ。
1954年『漫画少年』2月号に「蜜蜂の冒険」が
“第一回新人王受賞作” として掲載されデビュー。
1978年『銀河鉄道999』『戦場まんがシリーズ』で
小学館漫画賞受賞。
代表作に[戦場まんがシリーズ]を中心とした
『ザ・コクピット』『銀河鉄道999』『聖凡人伝』
『四次元世界』『1000年女王』他がある。



3
THE COCKPIT
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

CHANCE VOUGHT F4U-5 CORSAIR DOUGLAS AD-4N SKYRAIDER

3
THE COCKPIT
[ザ・コクピット]
松本零士
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

Wished for a proud fight with a true knight—
two knight with the same wish fatefully
encountered with each other.
After a heroic battle
they vanished into the pitch dark sky!!
Each had a woman waiting for their return….

小学館文庫

[ザ・コクピット] 3
THE COCKPIT
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS
松本零士

小学館文庫
まA-23
¥581

CHANCE VOUGHT F4U-5 CORSAIR DOUGLAS AD-4N SKYRAIDER

3

THE COCKPIT

[ザ・コクピット]

松本零士

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

Wished for a proud fight with a true knight—
two knight with the same wish fatefully
encountered with each other.
After a heroic battle
they vanished into the pitch dark sky!!
Each had a woman waiting for their return….

【ザ・コクピット】3

THE COCKPIT

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

松本零士

小学館文庫
まA-23
¥581

9784091922533
1920179005813
ISBN4-09-192253-8
C0179 ¥581E
定価：本体581円＋税

CHANCE VOUGHT F4U-5 CORSAIR
DOUGLAS AD-4N SKYRAIDER

小学館文庫既刊

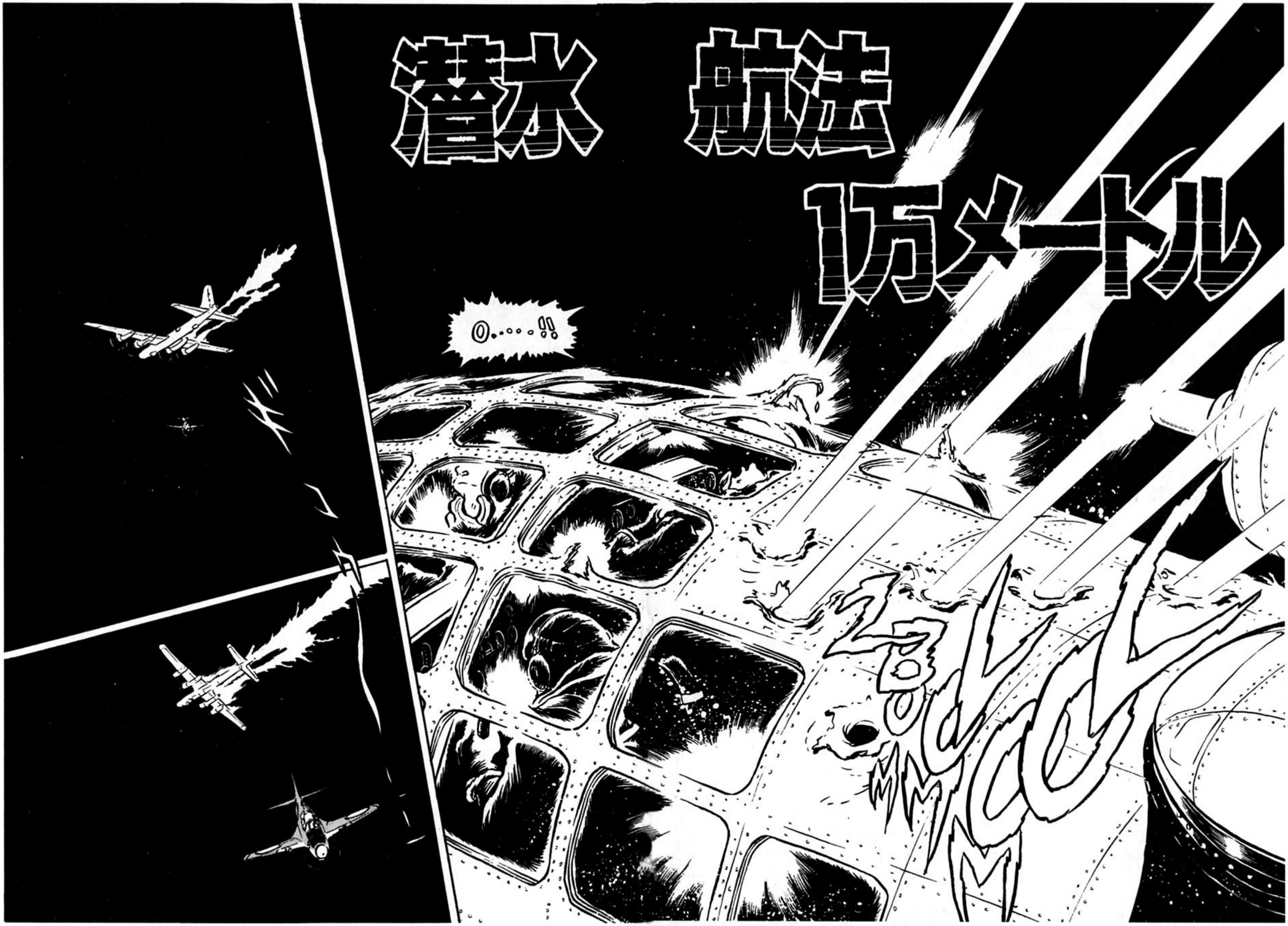
[きりひと讃歌]手塚治虫 全3巻
[MW/ムウ]手塚治虫 全2巻
[陽だまりの樹]手塚治虫 全8巻
[I・Lアイエル]手塚治虫 全1巻
[地球を呑む]手塚治虫 全2巻
[グリンゴ]手塚治虫 全2巻
[キャプテンKEN]手塚治虫 全1巻
[白いパイロット]手塚治虫 全1巻
[Oマン]手塚治虫 全2巻
[勇者ダン]手塚治虫 全1巻
[ふしぎな少年]手塚治虫 全1巻
[フィルムは生きている]手塚治虫 全1巻
[夜明け城]手塚治虫 全1巻
[鉄の道]手塚治虫 全1巻
[スリル博士]手塚治虫 全1巻
[光]手塚治虫 全1巻
[ジャングル大帝]手塚治虫 全2巻
[旋風Z]手塚治虫 全1巻
[カムイ伝]白土三平 全15巻
[カムイ外伝]白土三平 全12巻
[サスケ]白土三平 全10巻
[忍法秘話]白土三平 全6巻
[忍者武芸帳影丸伝]白土三平 全8巻
[ワタリ]白土三平 全4巻
[赤目]白土三平 全1巻
[忍者旋風]白土三平 全2巻
[忍者旋風シリーズ 真田剣流]白土三平 全2巻
[忍者旋風シリーズ 風魔]白土三平 全1巻
[狼小僧]白土三平 全2巻
[死神少年キム]白土三平 全1巻
[シートン動物記]白土三平 全2巻
[人間交差点]矢島正雄＋弘兼憲史 全19巻
[ねじ式]つげ義春 全1巻
[紅い花]つげ義春 全1巻
藤子・F・不二雄[異色短編集] 全4巻
[1000年女王]松本零士 全3巻
[四次元世界]松本零士 全1巻
[聖凡人伝]松本零士 全6巻
[ザ・コクピット]松本零士 1〜8巻
[同・級・生]柴門ふみ 全1巻
[東京ラブストーリー]柴門ふみ 全3巻
[あすなろ白書]柴門ふみ 全4巻
[YAWARA！]浦沢直樹 全19巻
[パイナップルARMY]工藤かずや＋浦沢直樹 全6巻
[佐武と市捕物控]石ノ森章太郎 全10巻
[HOTEL]石ノ森章太郎 1〜7巻
[凍鶴]上村一夫 全1巻
[一葉裏日記]上村一夫 全1巻
[めぞん一刻]高橋留美子 全10巻
[神の左手悪魔の右手]楳図かずお 全4巻
[ザ・ムーン]ジョージ秋山 全4巻
[りびんぐゲーム]星里もちる 全7巻
[Fエフ]六田 登 全19巻
[歩くひと]谷口ジロー 全1巻
[欅の木]内海隆一郎＋谷口ジロー 全1巻
[ブランカ]谷口ジロー 全2巻
[伝染るんです。]吉田戦車 全5巻
[コキーユ 貝殻]山本おさむ 全1巻
[ルームメイツ]近藤ようこ 全3巻
[遠くにありて]近藤ようこ 全1巻
[墨攻]酒見賢一＋久保田千太郎＋森秀樹 1〜6巻
[イオナ]澤井健 全6巻
[やどかり]篠原とおる 1巻

ザ・コクピット③目次

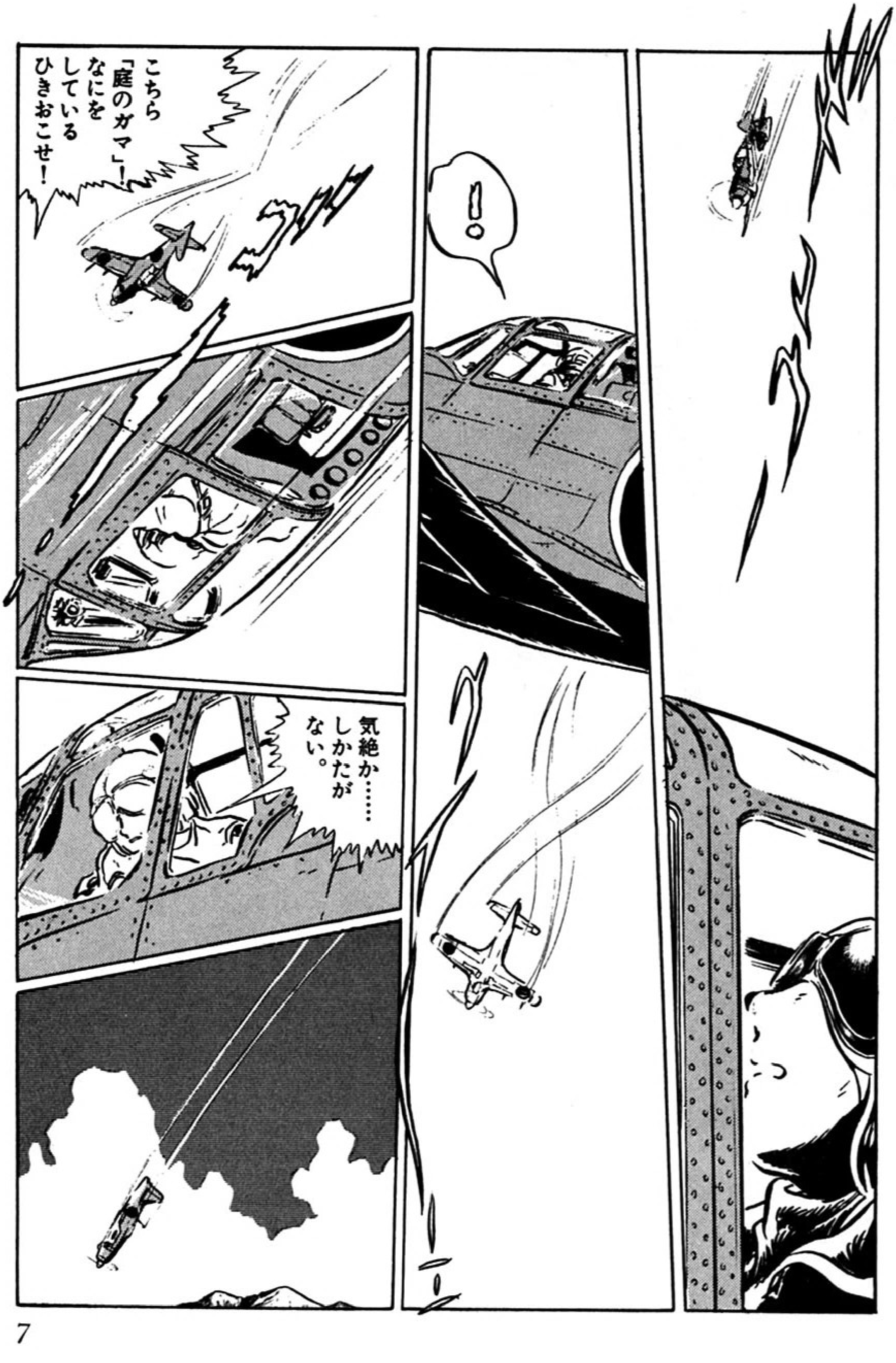
CONTENTS

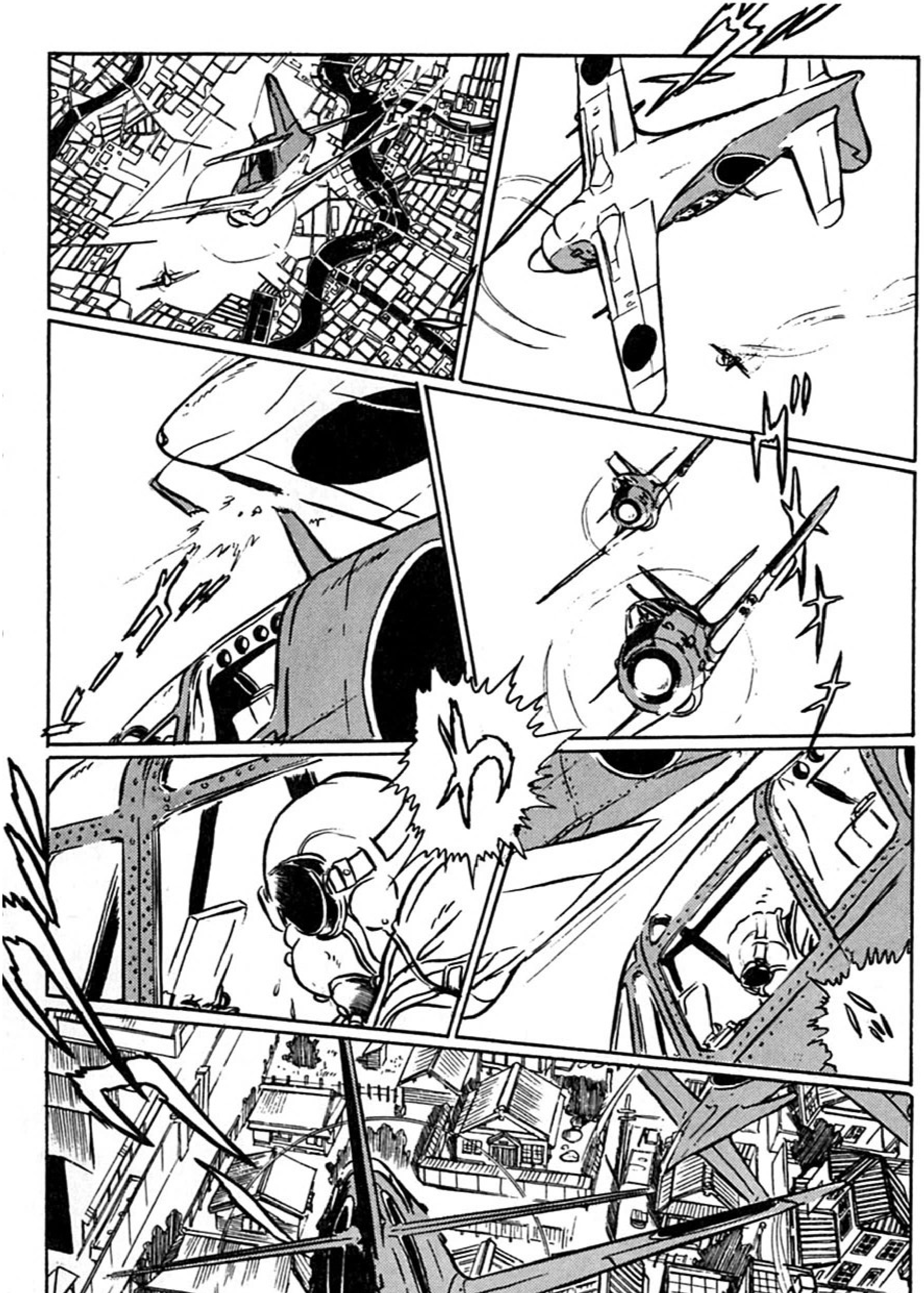
潜水航法1万メートル……3
衝撃降下90度……29
オーロラの牙……57
亡霊戦士……89
流星北へ飛ぶ……115
わが青春のアルカディア……141
紫電……191
エルべの螢火……241
勇者の雷鳴……267
消滅線雷撃……303

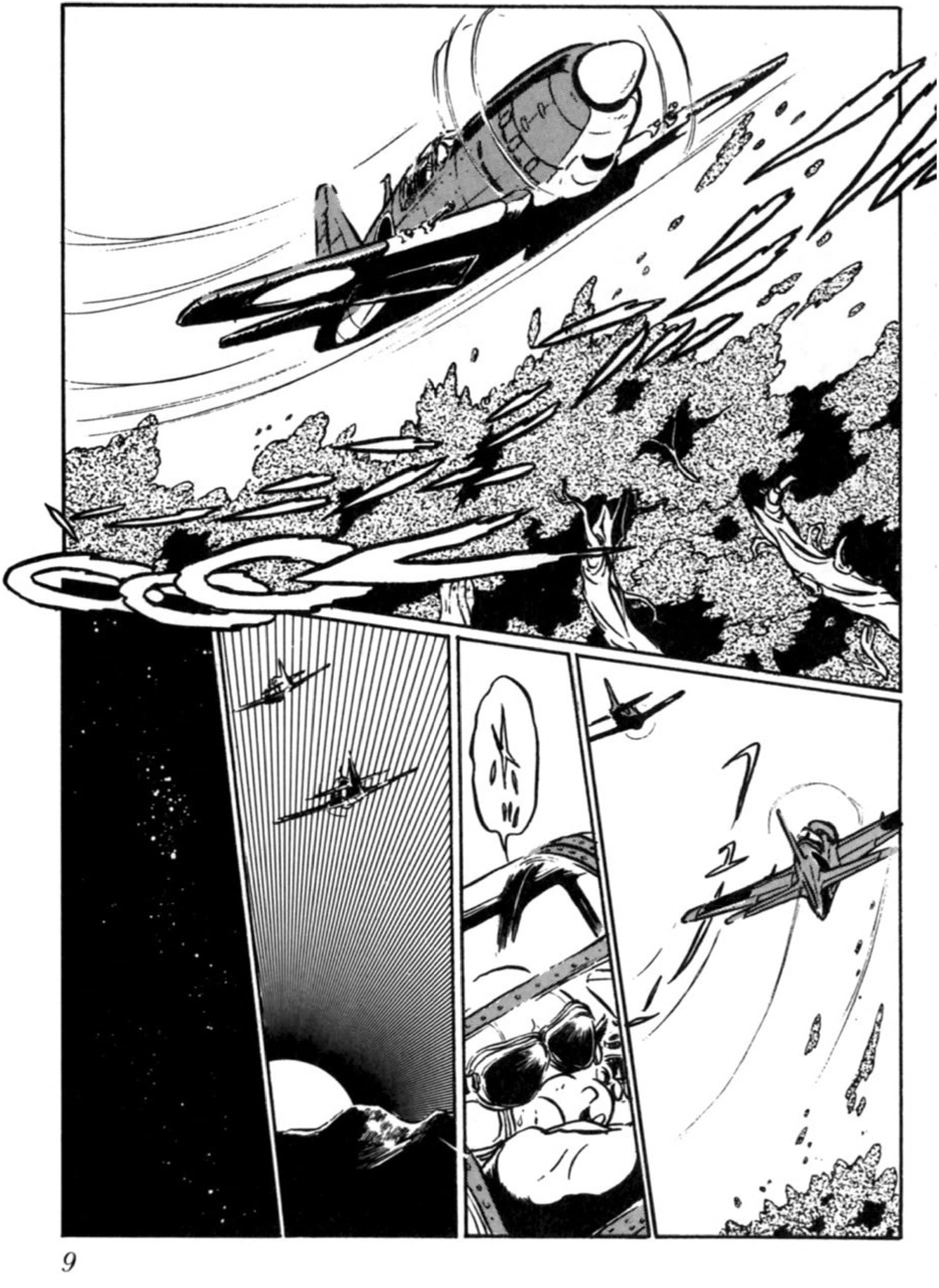
日本機は…………
バカ、日本に象はいないときいたぞ。
マキが、おれのオヤジが日本でしとめた巨象だ。
日本機は……
おれのじいちゃんもホラ吹きで、足のあるクジラをみたといってたよ。
うん、おれもおかしいと思っている。だから、東京へいったらたしかめたい。
日本機は……
日本には、空とぶブタや二本足であるく牛がいたとでもいってやろうか。
じゃあ、この戦争がすんだらおれたちも、国へ帰ってムチャクチャなホラが吹けるというわけだ。
日本機は……
サケもフジヤマもゲイシャもみんな、だれかのホラで、石コロばかりの国かもしれんなあ。
しかしな、おれはこの写真だって、子どものころは信じていたんだ。だから、日本へいくのが楽しみだった。
うるさいなあ、とうとう話に割り込んできて。こんな高空まであがってくる日本機はもうやたらにゃいないから安心しなよ。
日本機は………
やっぱり真実は遠くふるさとを離れてみないとわからないものだなあ。


潜水航法
1万メートル
O……!!

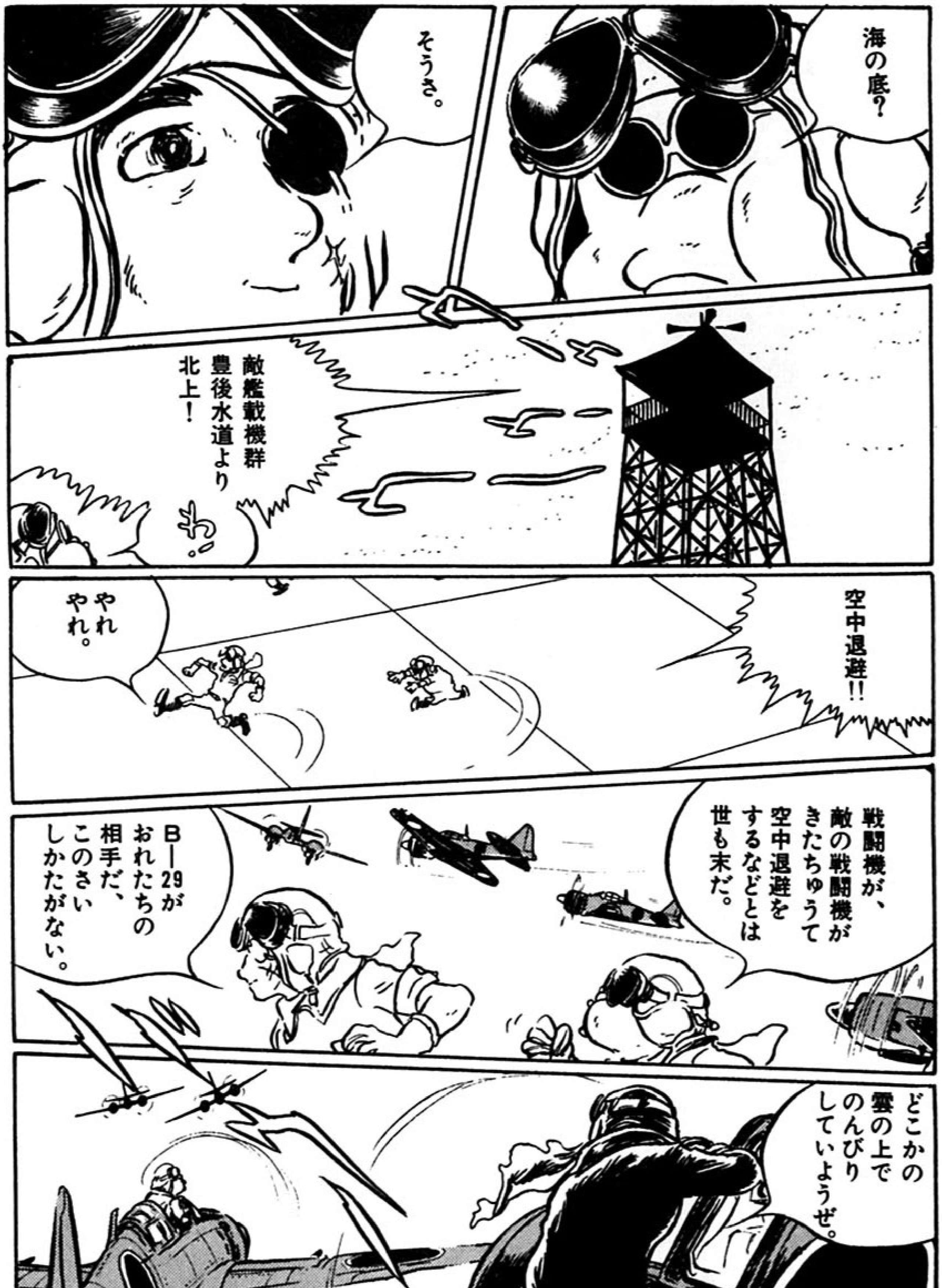
こちら「庭のガマ」こちら「庭のガマ」、B－29一機関門海峡上空にて撃墜、足立山の東へ突入！
了解、こちら「親のガマ」、こちらに敵機はいない、帰投せよ。

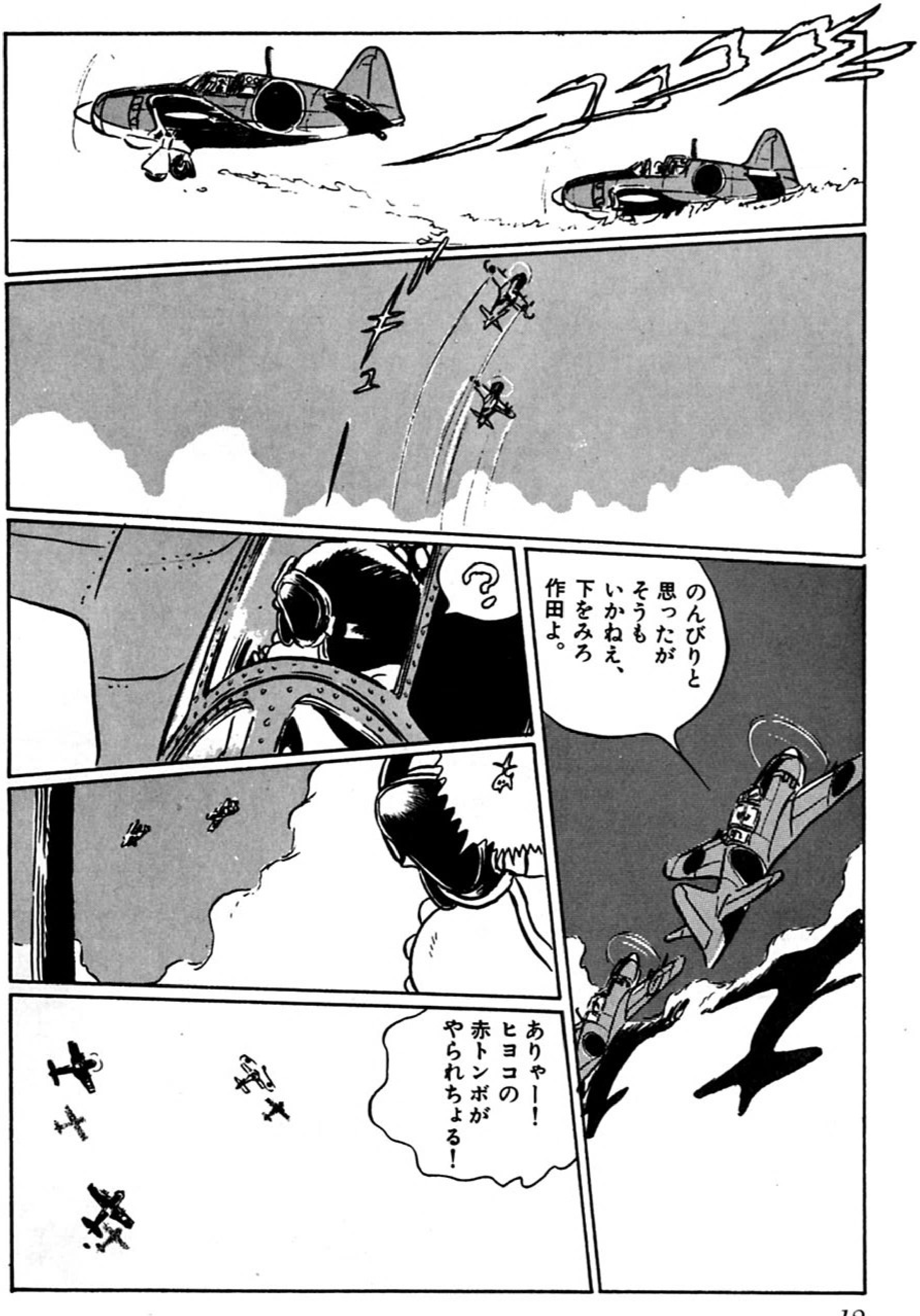

!
こちら「庭のガマ」！なにをしているひきおこせ！
気絶か……しかたがない。

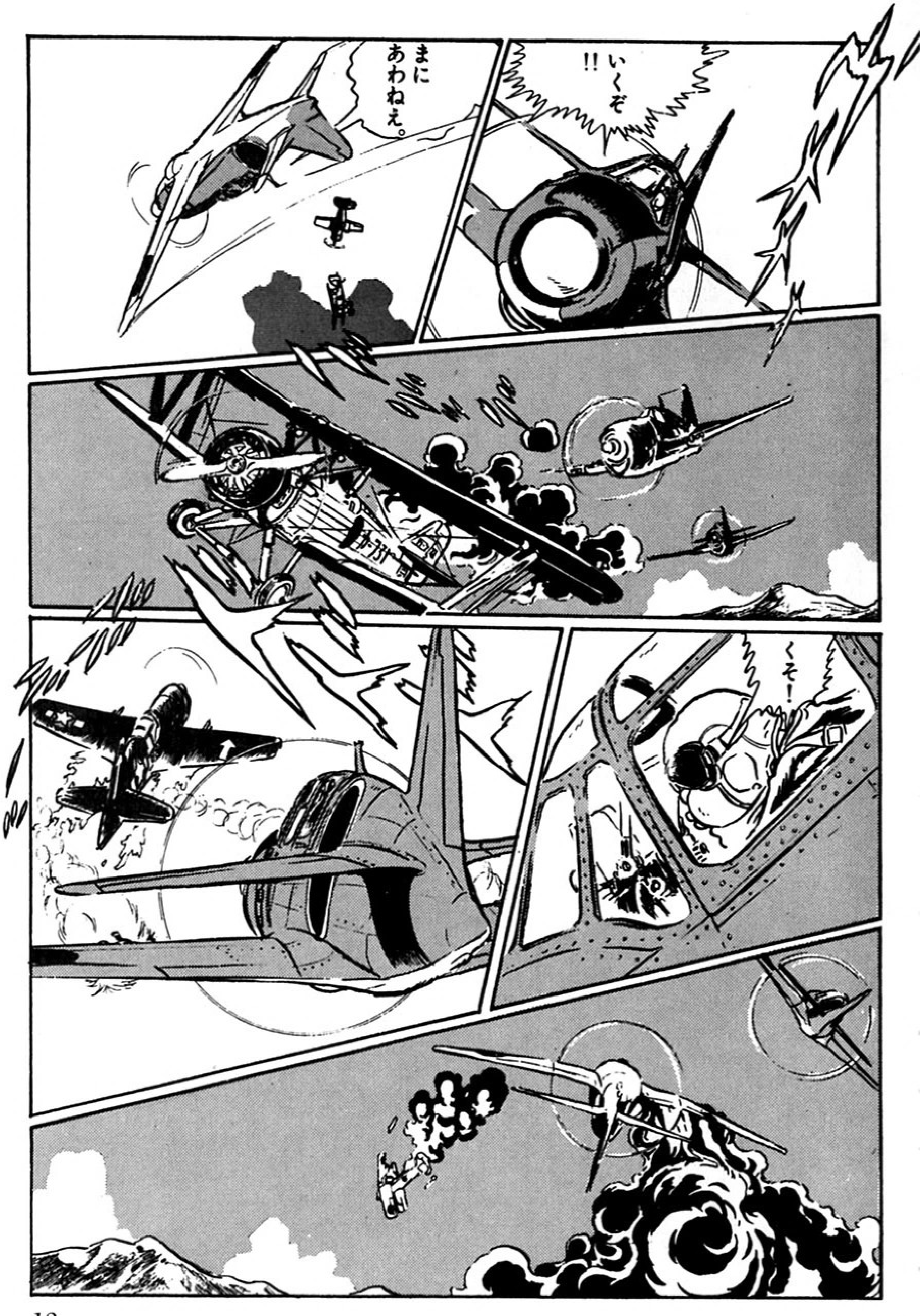



フュ

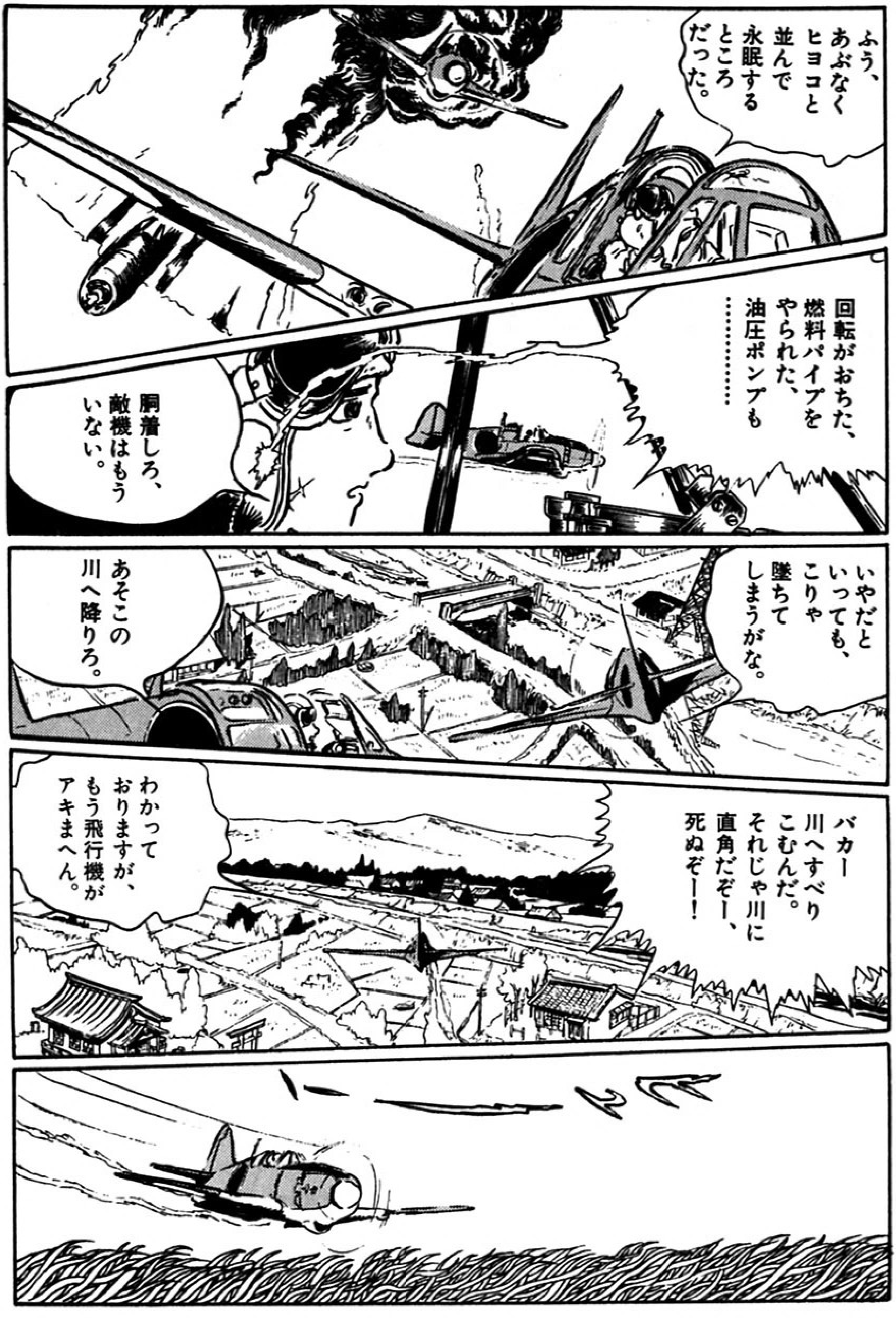
もう少しで地面へメリこむところだったで、作田よ。
すまんかった。酸素がのうなって目がくらんでなあ……あんたがいなかったら一巻の終わりだったよ、大原さん。
酸素ボンベの残量には気をつけないとヤバイよ。
酸素不足で気絶したまま墜死した操縦士は、たくさんいるでよ。
あんたはノビたことはないのか、大原さん。
おれは慣れているから平気だよ。
山にでも登ってたんかね。
その反対だ。
いつも海の底をあるいとった。

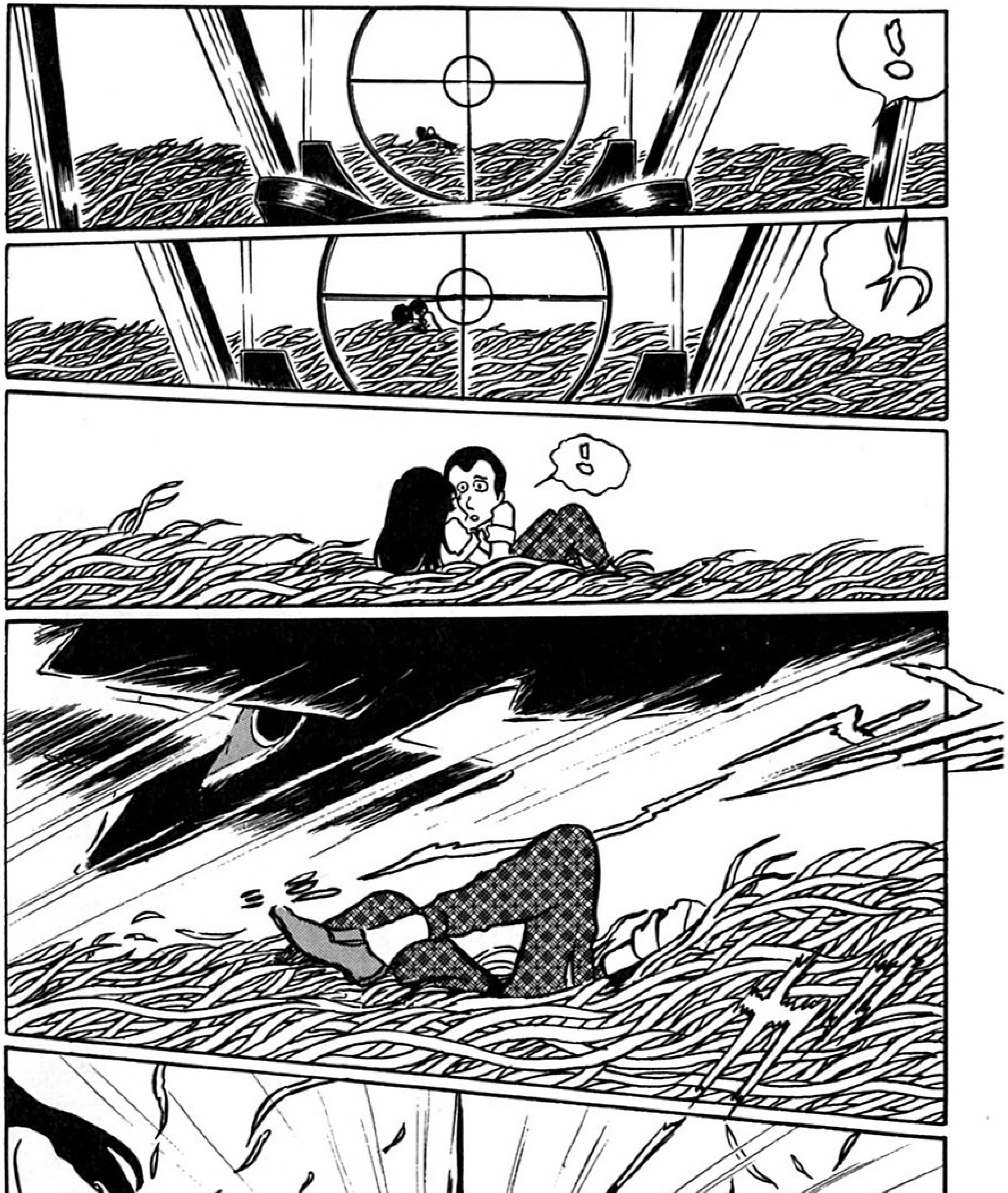

海の底？
そうさ。
敵艦載機群
豊後水道より
北上！
空中退避!!
やれ
やれ。
戦闘機が、
敵の戦闘機が
きたちゅうて
空中退避を
するなどとは
世も末だ。
B—29が
おれたちの
相手だ、
このさい
しかたがない。
どこかの
雲の上で
のんびり
していようぜ。

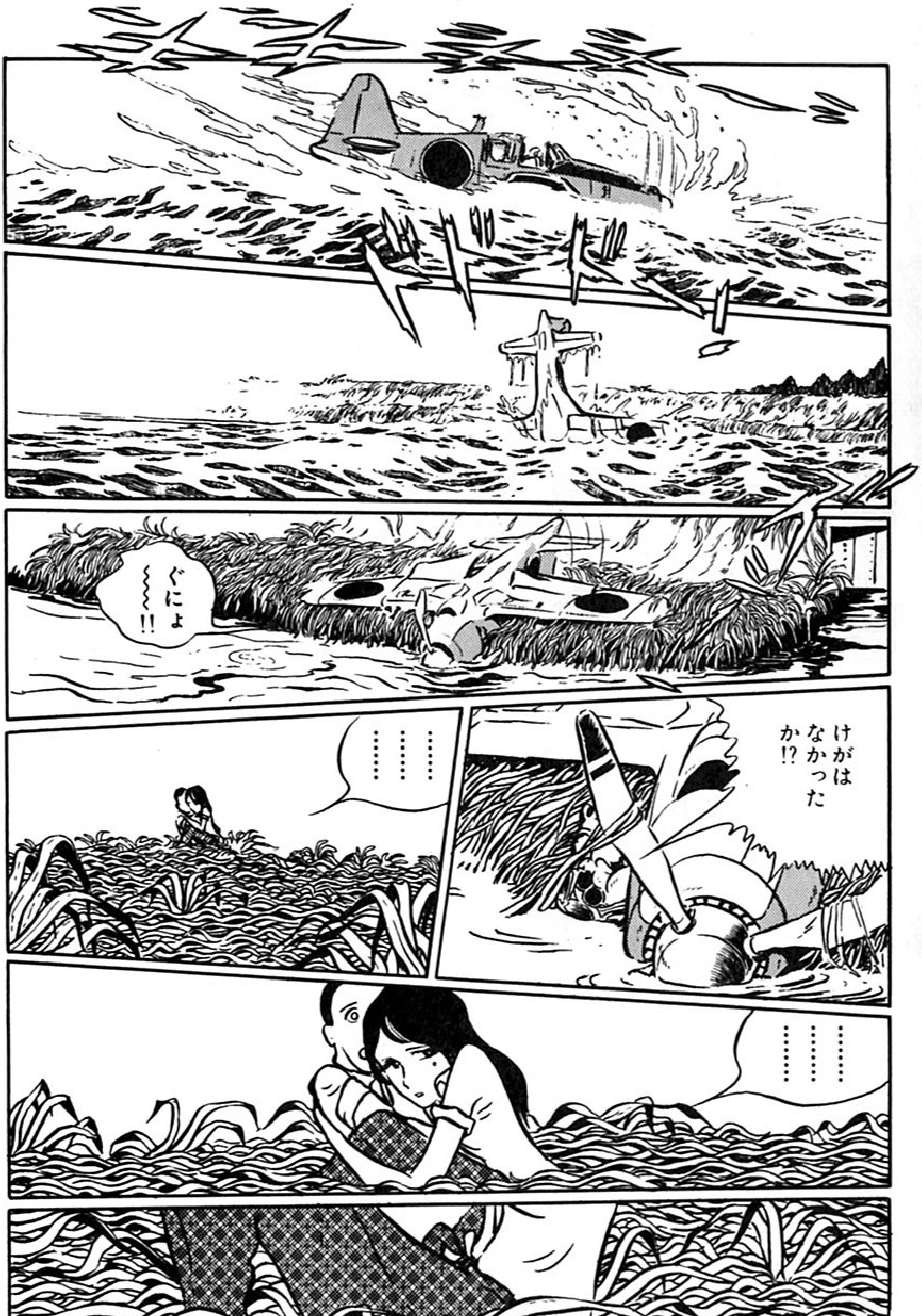

?
のんびりと思ったがそうもいかねえ、下をみろ作田よ。
ありゃー！ヒヨコの赤トンボがやられちょる！


いくぞ!!
まにあわねえ。
くそ!

ヒヨコよ、敵はとったぜ。
作田！うしろだ、こらっ！
うっ！
うわ

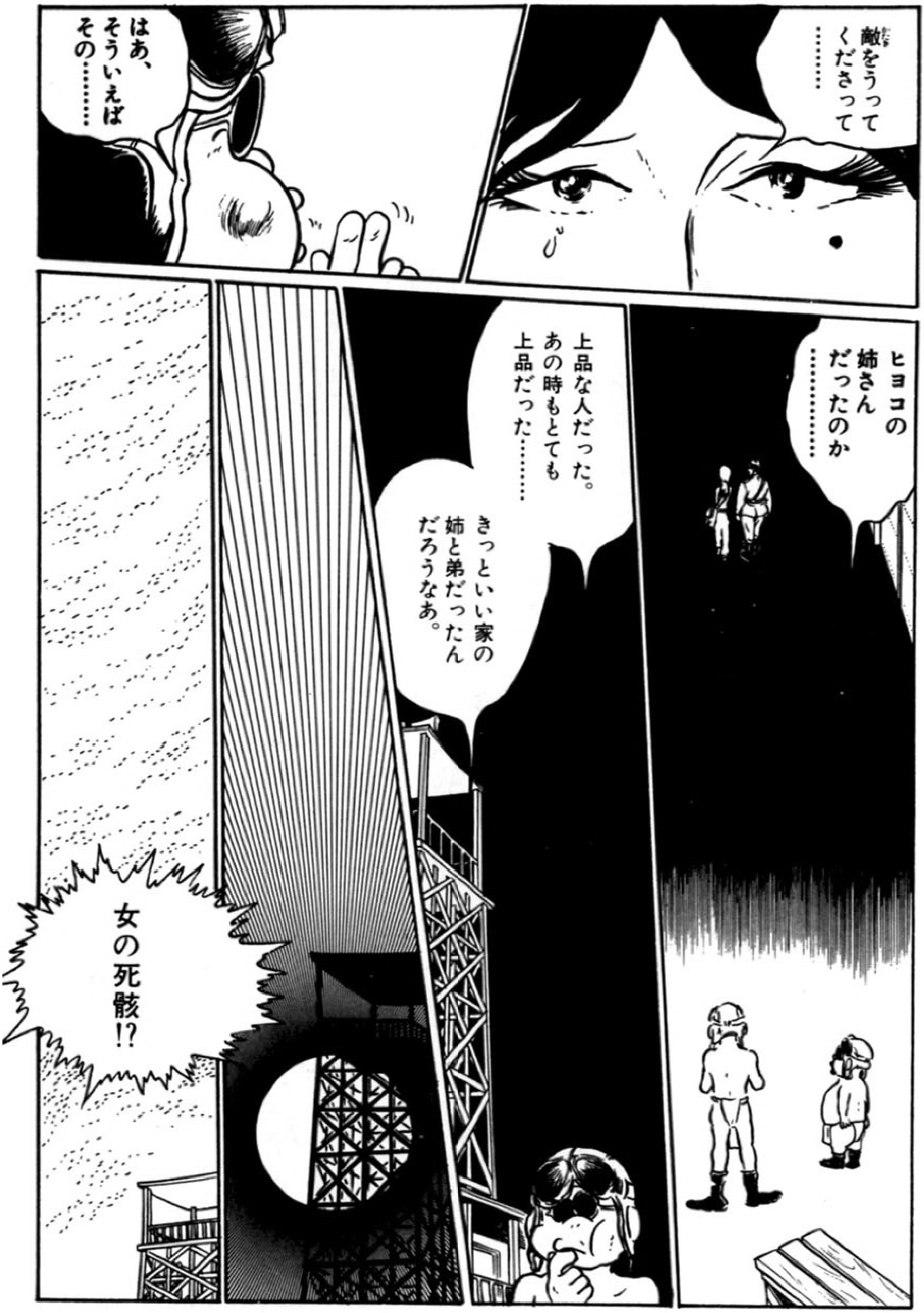

ふう、あぶなくヒヨコと並んで永眠するところだった。
回転がおちた、燃料パイプをやられた、油圧ポンプも……
胴着しろ、敵機はもういない。
いやだといっても、こりゃ墜ちてしまうがな。
あそこの川へ降りろ。
バカー川へすべりこむんだ。それじゃ川に直角だぞー、死ぬぞーー！
わかっておりますが、もう飛行機がアキまへん。
ヒューーン




ぐにょ〜〜〜!!
けがはなかったか!?
……………
……………

……
下手な胴着だったな——。
うん、まだアリアリと目にやきついちょる。
だきあったままこっちをみてたぜ。
いきなりおどかしたんだから無理もねえ。
上で敵ととっくみあいをしてるときでもあんなことしてる人もいるんだなあ、とてもうらやましいなあ。
それにひきかえ、ヒヨコはかわいそうだったなあ。

まだ
十八の少年
航空兵だった
そうだ。
まだ
なまなましく
チラつく……
ヒヨコの
姉さん
だ。
弟の………
あぶない所を……
かけつけて
くださって
………
わたし……
ま、まに
あわなん
だんだから
礼をいわれる
と………



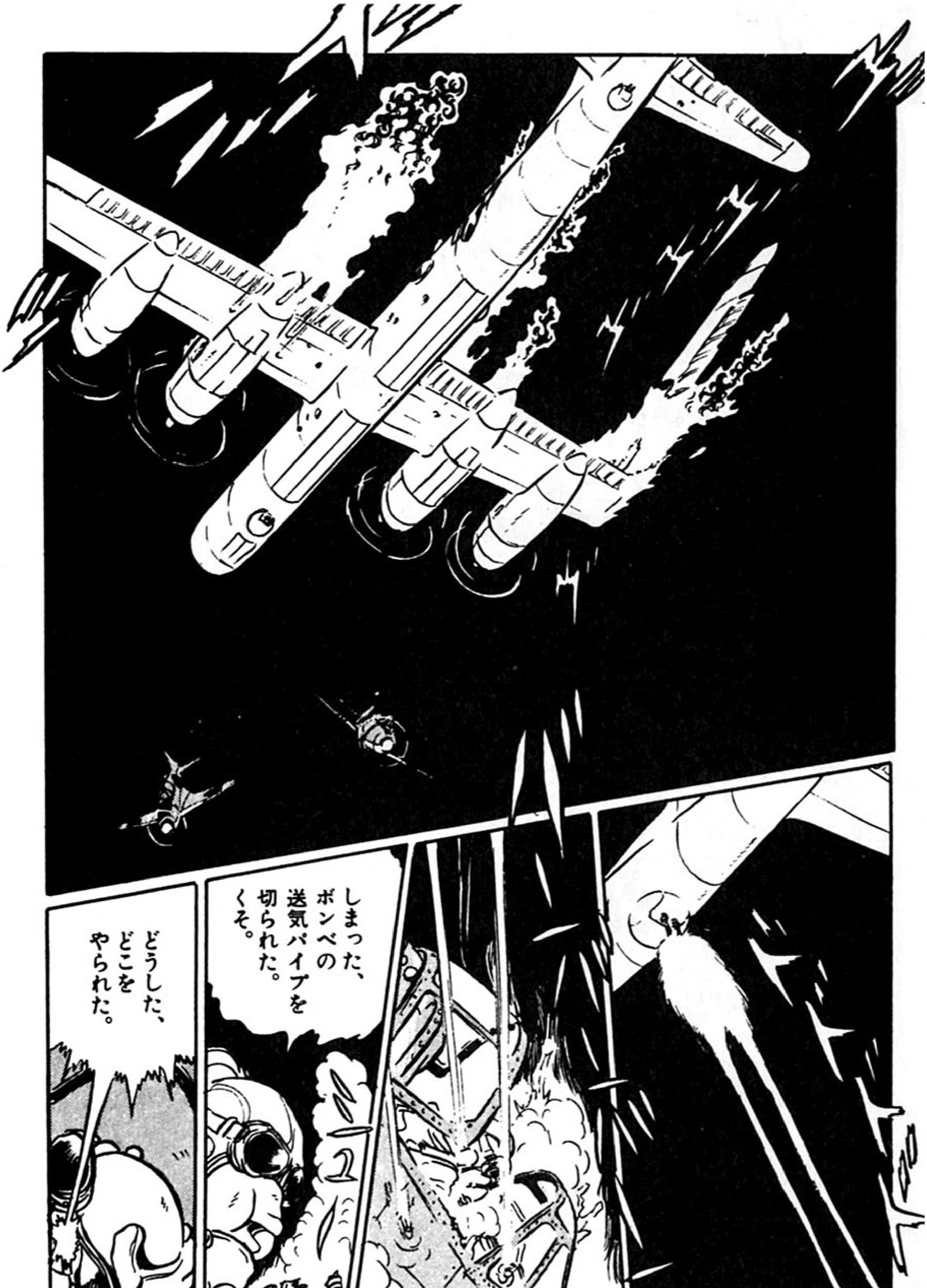
敵をうってくださって……
はあ、そういえばその………
ヒヨコの姉さんだったのか……
上品な人だった。あの時もとても上品だった……
きっといい家の姉と弟だったんだろうなあ。
女の死骸!?

身投げだ……
…………
おれがあの時みなけりゃ……
偶然のかさなりあいだでしかたがないよ、作田。
みなけりゃ……あの人は……弟が死のうとしている時にあんな状態だったってことも……生涯胸にたたみ込んで生きたかも……
あれをみられたら……それが弟が死のうとしている時だったら……とても……

悪いことをしていたわけじゃあるまいに……
おれだってぜひしたいことなのに……
死ぬことはないのに……死ぬのはおれたちだけでいいのに……
もう気にするな。偶然だ、偶然のめぐりあわせだこれは……
B－29大編隊北上、北九州へ向かいつつあり、高度一万メートル、戦闘機の護衛なし。
各戦隊は離陸、予定空域で高度をとれ。
敵編隊の高度は一万メートル！
各機全力をあげて高度をとれ。
酸素がない？
作田が一機ぶっ壊したんで、これしかあらへんねん。飛行機は完全やが、予備のボンベがもうあらへんねん。

わが国ももう工業力ヨタヨタであんまりデケへんらしい。
それではB－29相手は無理じゃんけ、このくそ。
作田、おれのに乗れ。
これにはおれが乗る。
しかしボンベが……
おれは海の底をあるいていたといったろうがな。
昔ながらの家業だでな、ボンベも潜水具もなしの素潜りよ。
三十メートルも潜ってそのまま浮き上がるのはなちょうどここから一万メートルまで上がるのと似たようなものよ。
物心ついた時からオヤジといっしょに潜っていたからな、どうってことはないよ。
はあ。
ボンベの残量に気をつけろ。酸素不足になると、気絶しなくても、アタマがボケて1＋1もできなくて、判断力がムチャクチャになるでよ。
へいへい。

少し遅れたでよ、急ぐよ。
だめだよ、こっちはついていけないよ。
ボンベがないからこっちは軽いものなあ。
上ではじまったで。
アップアップしてきた。
海の底ではもっと効きにくいで。これぐらいでへこたれるな。
右横だ、いくぞ！
いいよ。


しまった、ボンベの送気パイプを切られた。くそ。
どうした、どこをやられた。

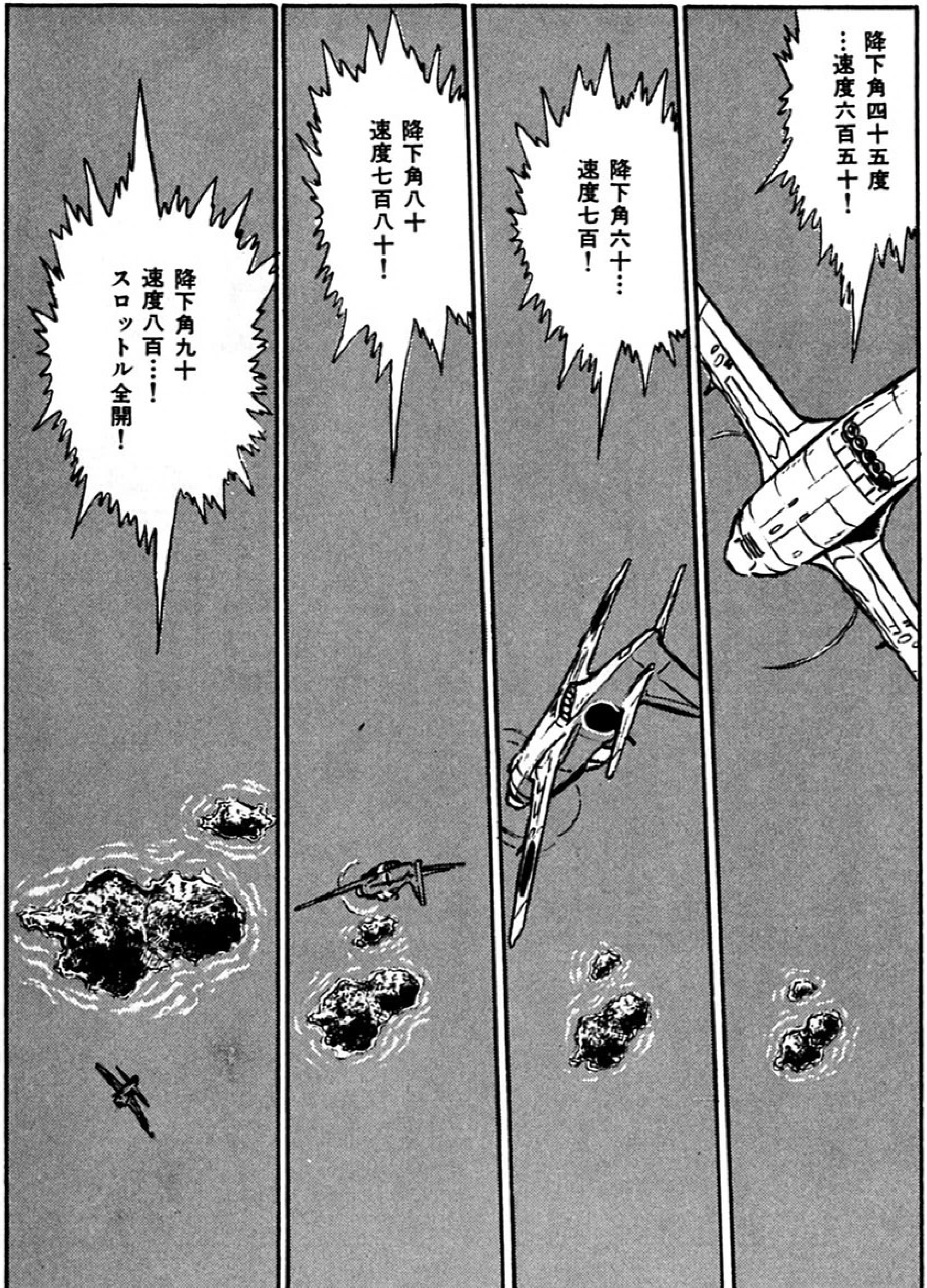
酸素か……
よし、ゆっくり降りろ！だんだんアタマがはっきりしてくる。
そうしたらどこでもいい、また胴着ですべり込め、その機体は脚がブラブラだ。
いやだよ大原さん。もう胴着はいやだ。
またみると……またみると悪いから……
ヒヨコの姉さんに悪いから……
火が出たぞ、降りろ、はやく！
みるつもりじゃなかった、みるつもりじゃなかったんだ。
いやだよ、もう……いやだ。

■「ビッグコミックオリジナル」1975年10月20日号掲載

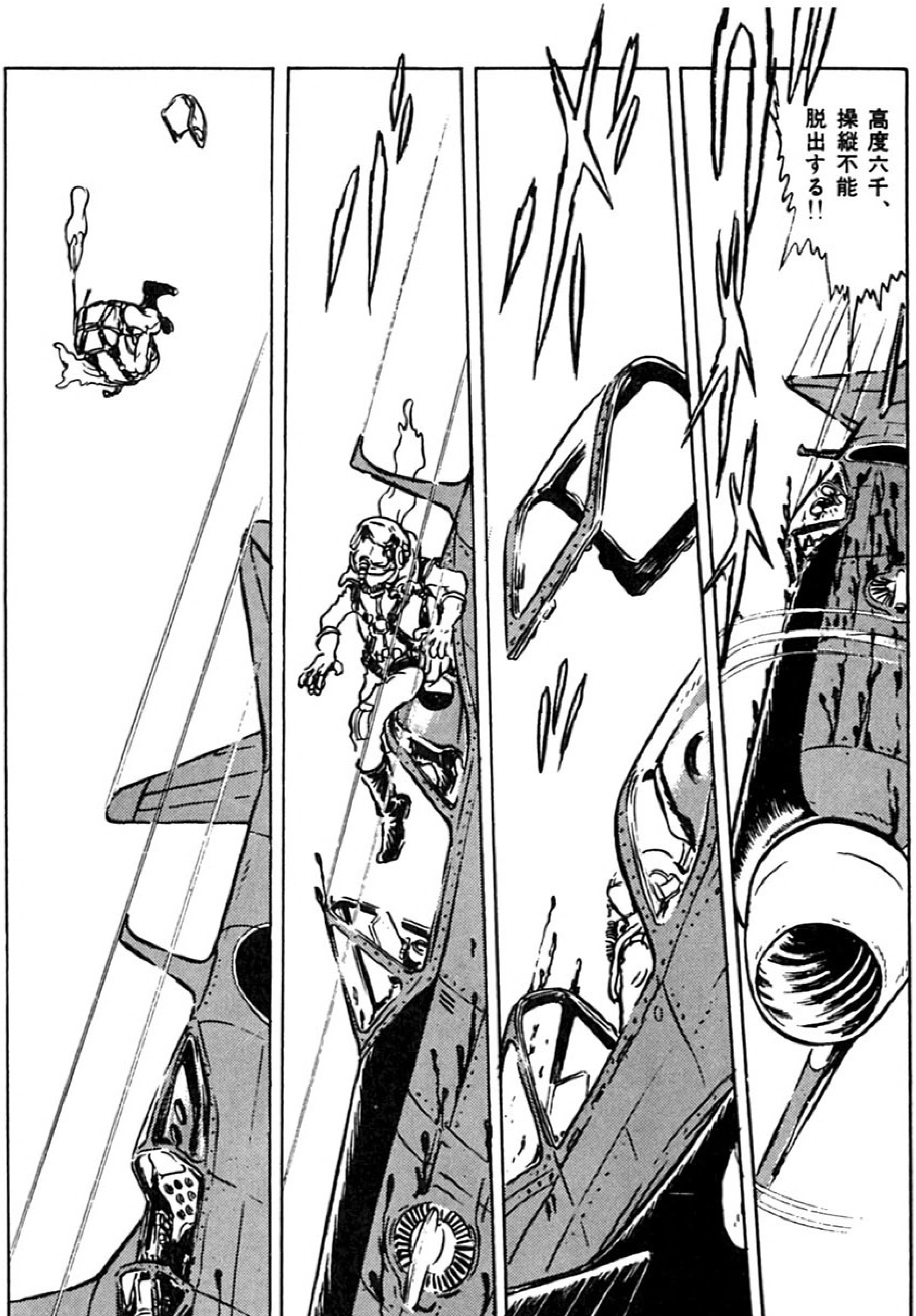
THE COCKPIT

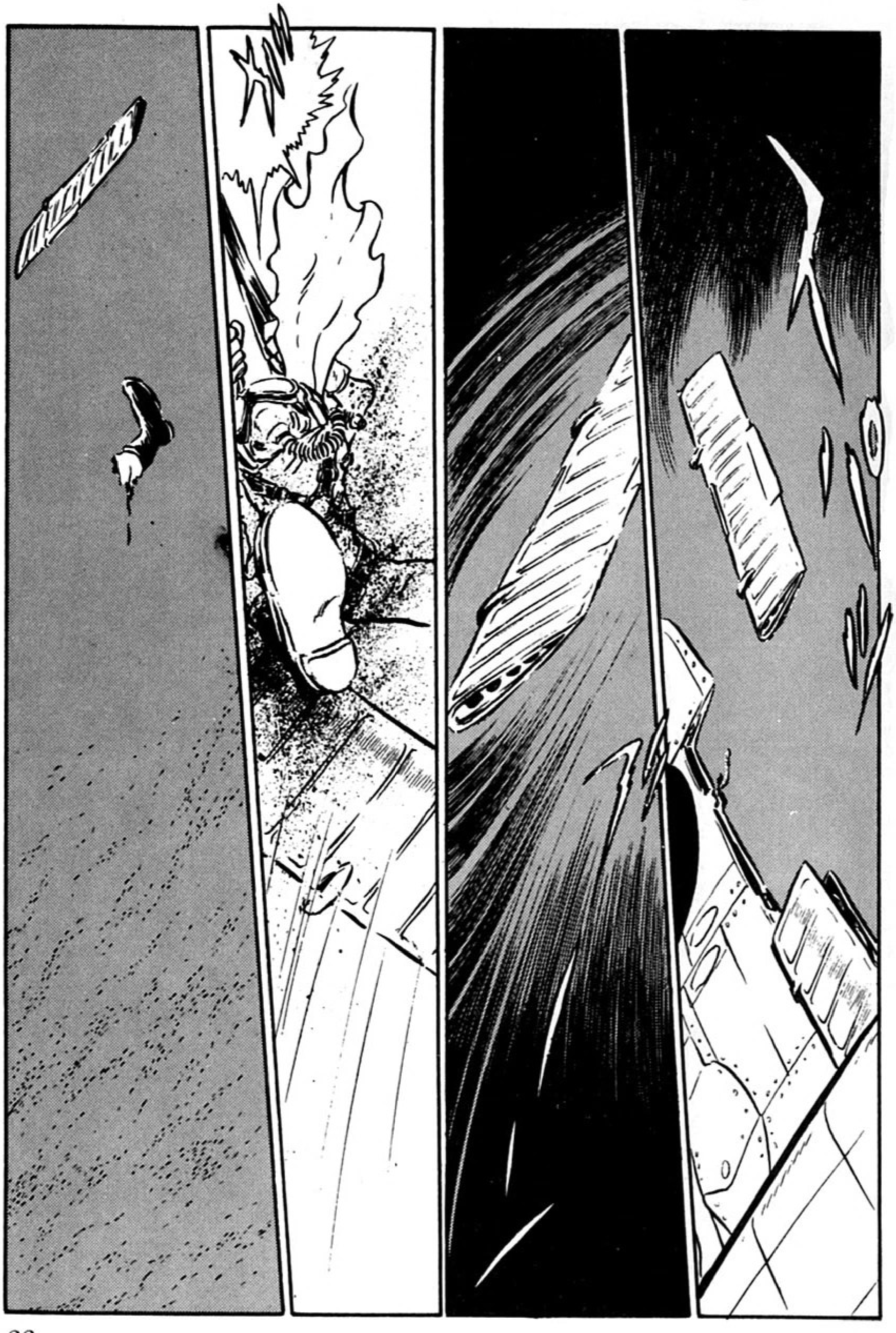
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

位置、八丈島
東方二キロ…
高度一万一千二百。
速度六百キロ…
回転正常、
油圧正常、
排気タービン
作動良好！
気密室……
与圧やや低い、
酸素マスクを
使う。
電熱服は
役にたたない。
だれだ、こんな
粗悪品を
つくった
バカは!!
増槽
きりはなす！
降下試験
開始！

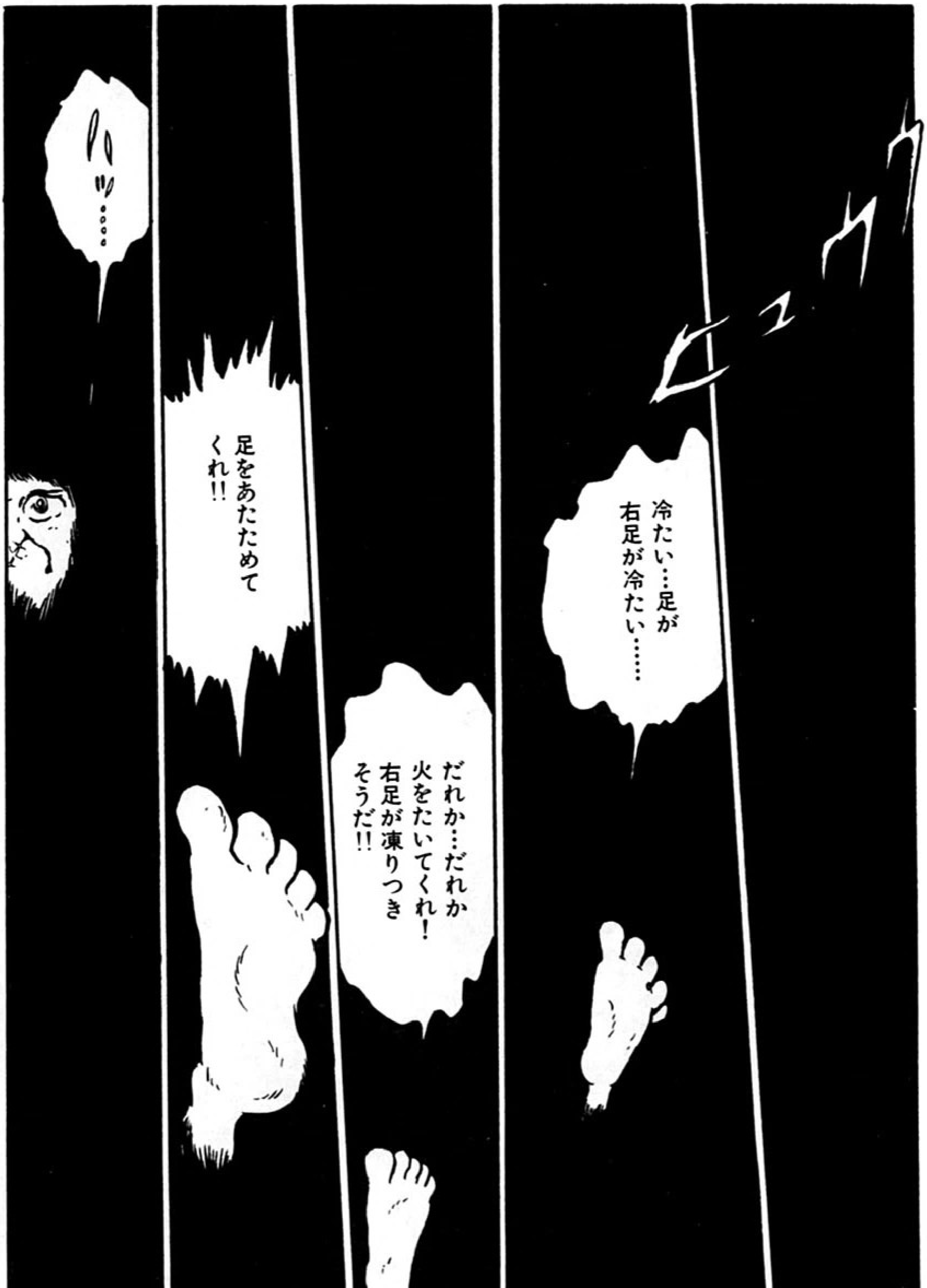

降下角四十五度
…速度六百五十！
降下角六十…
速度七百！
降下角八十
速度七百八十！
降下角九十
速度八百…！
スロットル全開！

速度九百…九百十!
補助翼作動不能、翼端フラッターしだいに強くなる!
操縦桿が重い、振動激し!
速度一千キロ潤滑油噴出!!


高度六千、
操縦不能
脱出する!!



衝撃降下90度


ヒュウ
冷たい…足が右足が冷たい……
だれか…だれか火をたいてくれ!右足が凍りつきそうだ!!
足をあたためてくれ!!
ハッ……

気がついたか。おれだ、山越だ、しっかりしろ。
ここは……
台場!!病院だよここは。おまえは落下傘降下したんだ。
…そうか……すると飛行機は?
空中分解した。
しまった!!
おまえのせいじゃないよ台場、飛行機に欠陥があったんだ。
しかし………
あ!

!!
ない…ない
のか!!
おれの足は!?
右足は!!
降下中
四散した
機体の
破片に
あたった
らしい。
すまん、
おれの設計の
せいだ。
…………
…………
空中では
おれの責任だ、
山越…………
右足の奴、
その責任を
とって死んで
しまいやがった
か…………
ゆっくり休め。
二号機の試験は
ほかの人に
たのもう。

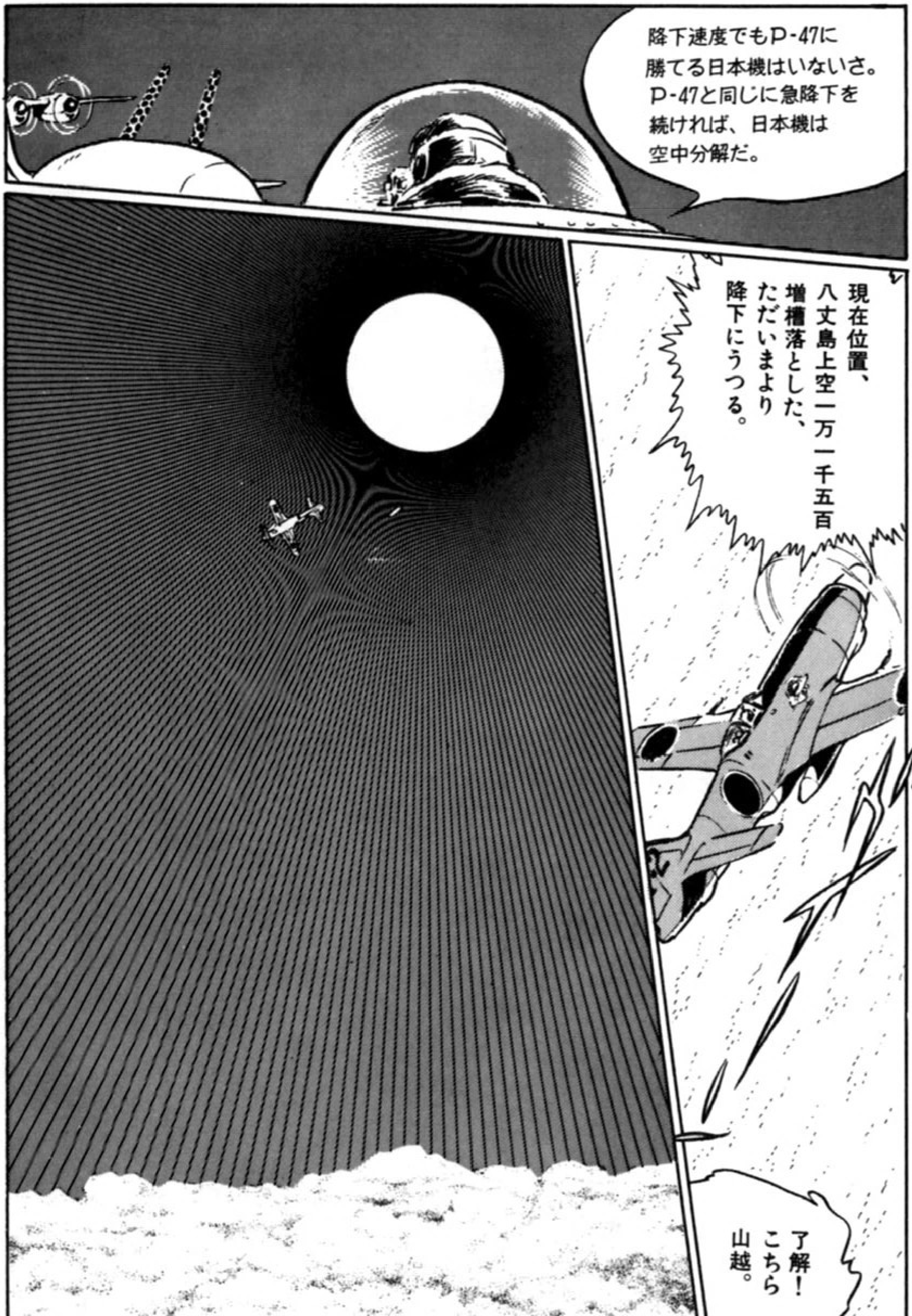
工場地帯が夜間爆撃されているのか……
うん、もう時間がないよ、台場。
護衛のP―51ムスタングは七百キロ以上の高速を出している。
あれに勝つには……
音速を超えるような戦闘機でないとだめだ。
なあ台場、おれはまちがっているんだろうか？
プロペラのある飛行機では、音速を超えることはできないのだろうか？
時速一二二四キロメートルを超えることは無理なんだろうか？
ジェット機やロケット機なら音速を超えることは可能だとわかっている。
ドイツのメッサーシュミットMe・163は音速に近い速度でB―17と戦っている。
だが今の日本では……もうジェットもロケットもまにあわない。

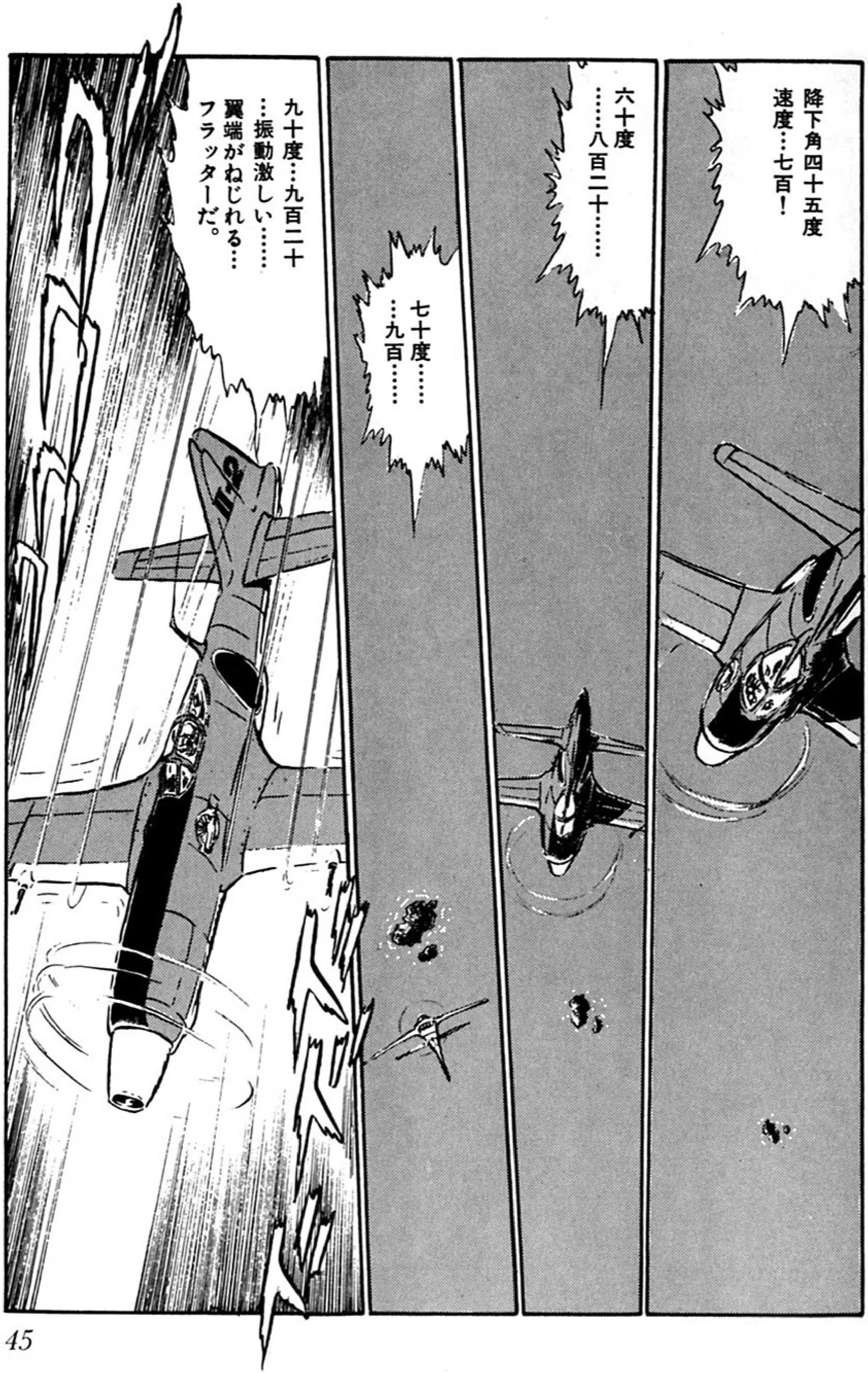
ジェットの試作機もロケットも完成寸前だがもうまにあわない！
使いなれたピストンエンジンの飛行機で、限界までのスピードを追求すべきだ。そうだとは思わんか、台場！
……
ピストンエンジンのレシプロ機なら、
プロペラ戦闘機ならすぐ大量生産にはいれる。
戦いが終わった後でゆっくり時間をかけてジェットやロケットにかかればいい……そうは思わんか、台場!!

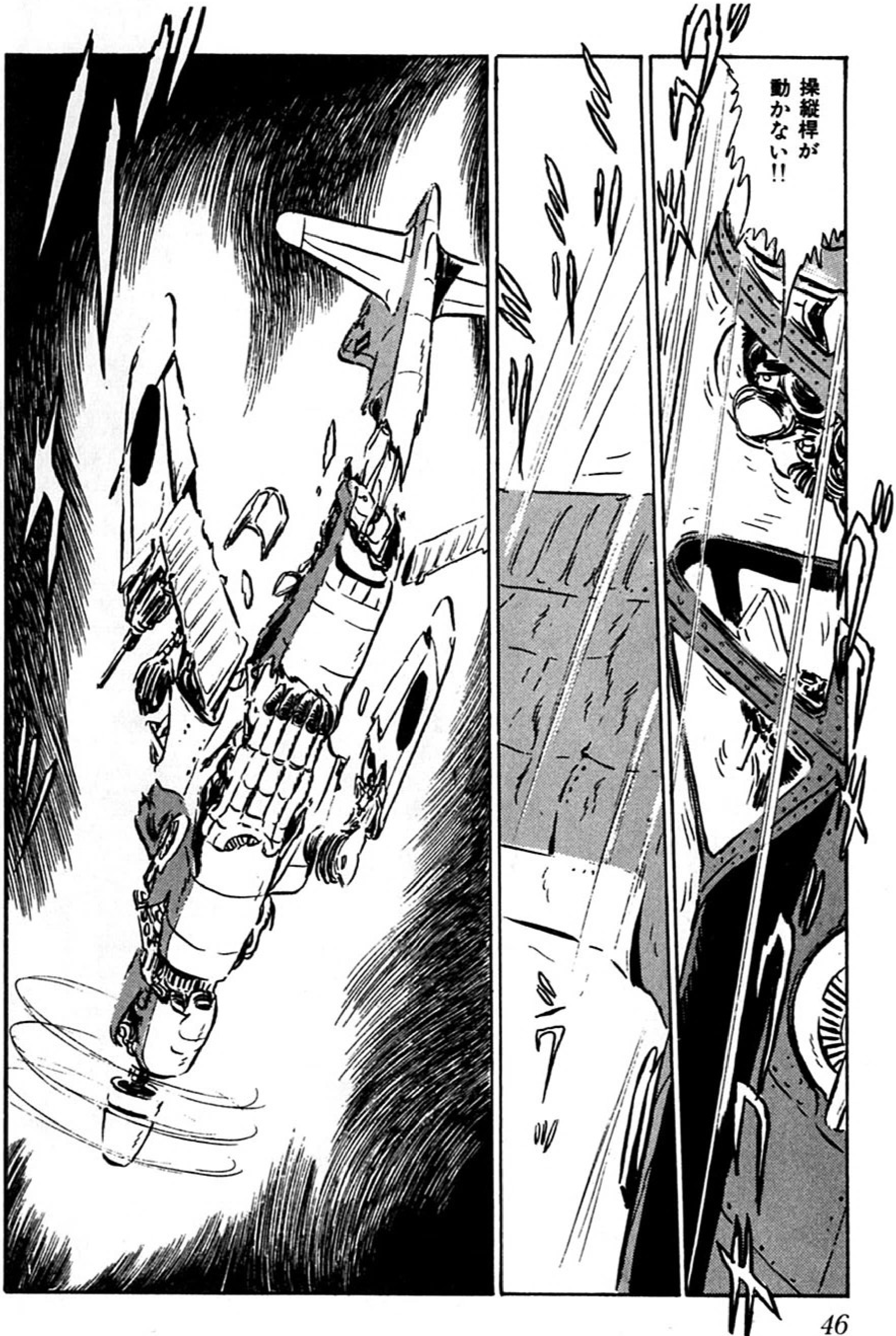
そうだよ
山越……
飛行機をつくり
はじめてからの……
それが
おれとおまえの
夢だったものな。
自分でつくった
飛行機で、
音速を超えるのが
おれたちの
夢だった
ものな。
心配するな……
おれが必ず
音速を
超えてやる。
だから、
他の奴に
試験飛行を
頼むなどと
いわずに
おれにやらせろ。
その足では
……………
竹でも
くくりつけ
ればいいさ。
片足なく
なったぐらい
なんだ!!
傷口さえ
ふさがれば
……………
おれは
やる!!

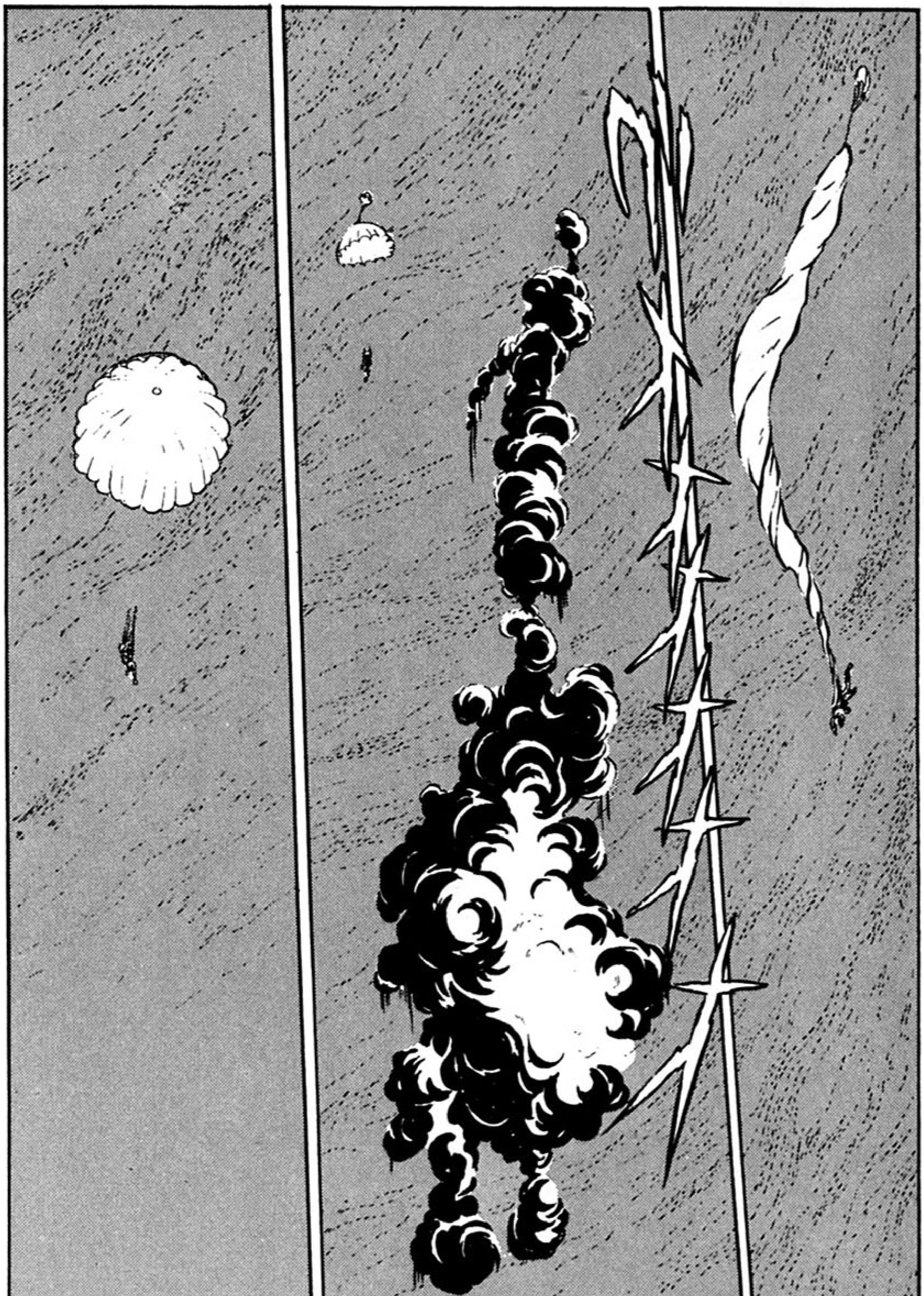
心配するな、竹の右足の調子はじょうぶじょうぶだ、いってくるぞ。
増槽を降下にはいる前にきりはなすのを忘れるな!!
操縦不能になったらはやめに脱出しろ!
そういつも落ちてたまるか!!

右3時の方向…
日本機が上昇していく。
高高度戦闘機かな？
あれはなんだろう？
タイプ3に似てるが……
液冷とも空冷ともつかぬ
エンジンカウリングの
型をしている。
今度くる時はP-47を
連れてきた方がいいな。
P-47ならどんな日本機より
高高度性能がいいからな。


降下速度でもP-47に
勝てる日本機はいないさ。
P-47と同じに急降下を
続ければ、日本機は
空中分解だ。
現在位置、
八丈島上空一万一千五百
増槽落とした、
ただいまより
降下にうつる。
了解！
こちら
山越。


降下角四十五度
速度…七百！
六十度
……八百二十……
七十度……
…九百……
九十度…九百二十
…振動激しい……
翼端がねじれる…
フラッターだ。

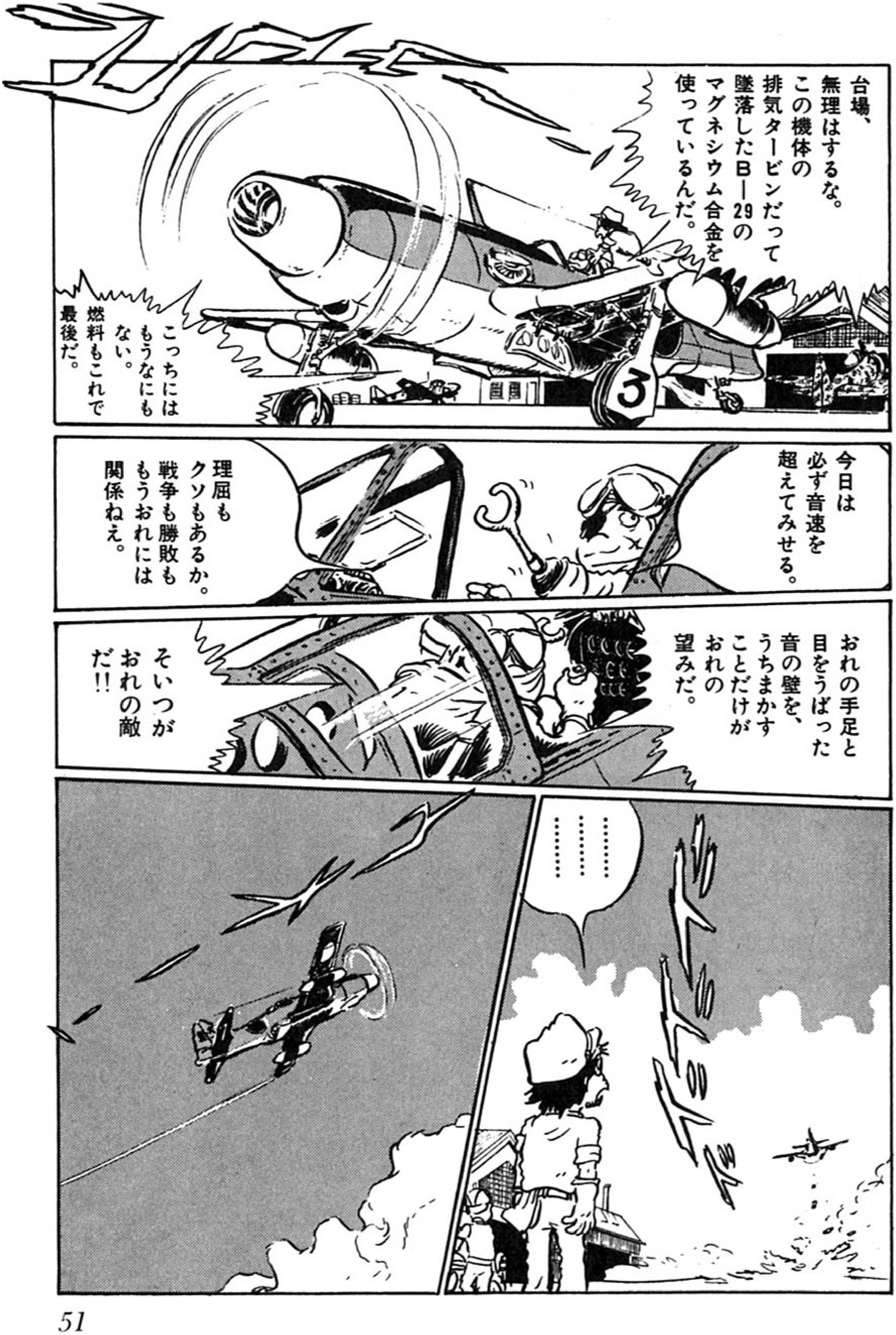

操縦桿が動かない!!



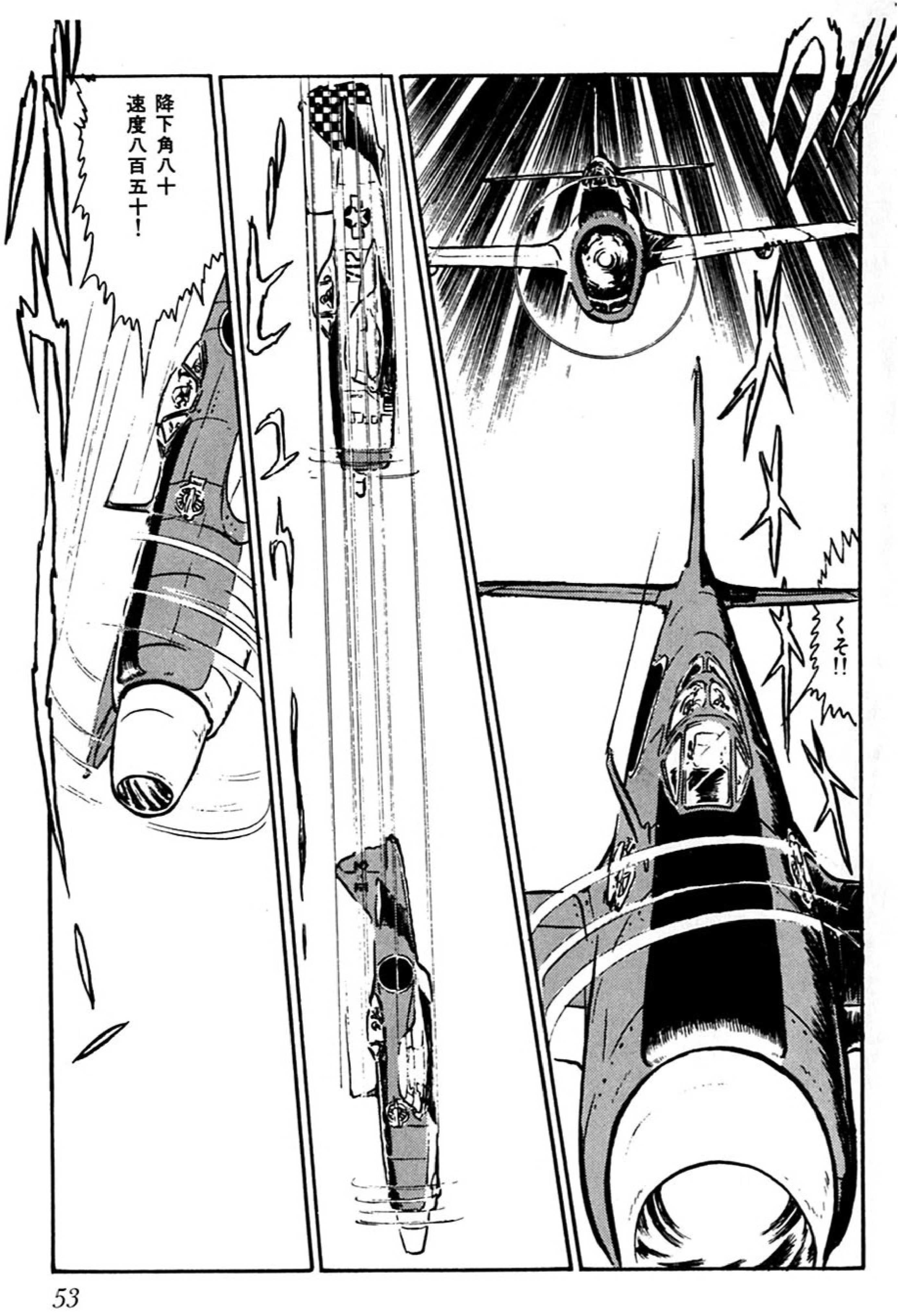
今度は
左手と
右目か……
なあに、
首さえ
ちぎれなきゃ
まだ飛べるさ。
台場……
もう
よそう。
この実験は
無理だ。
音速は
超せないよ。
なに!?
超せないとは
なんだ。
それじゃ、
おまえは
おれにウソを
ついていたのか!?
おまえの
ウソで、
おれは右足と
左手と右目を
なくしたという
のか!?

いまさら
そんな
弱音を
はくな!!
おれはな、
空を飛べる
かぎり
必ず音速を
超えてみせ
るぞ。
生きてる
かぎり
必ず……
なあ
山越、
三号機が
あるんだろ、
三号機が!?
それなら
二号機の欠点を
なおせ。
補助翼と
昇降舵の補強だ。
翼端の形を
少し変えてみろ。
い、いや尾翼の
面積かもしれん。
もしか…
もしかしたら
冷却器の位置が
悪いのでは。
軍も、
もう
高オクタンの
燃料をまわせ
ないといって
るし……
ロケット機と
ジェット機の
試験飛行も
はじまるし……

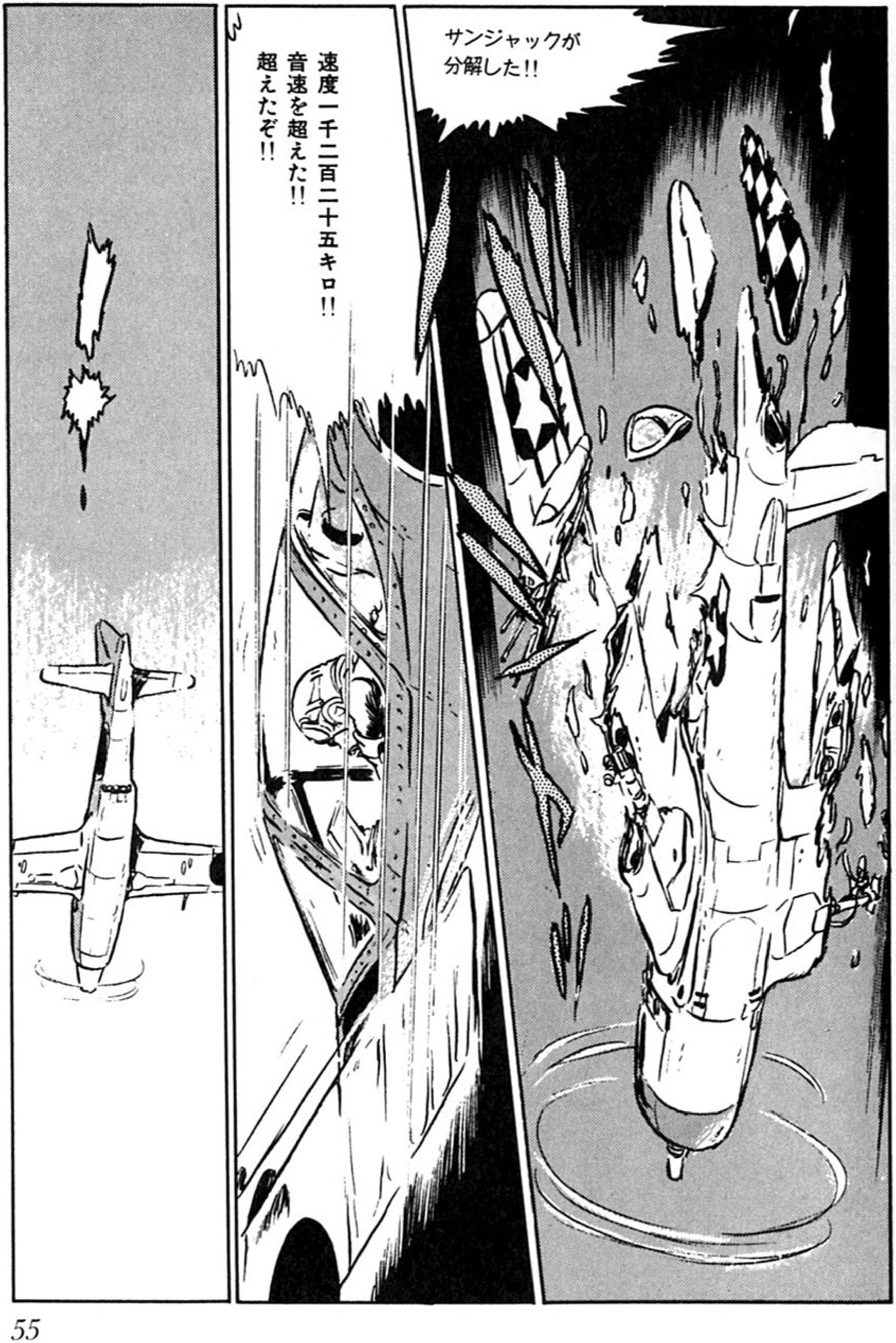
山越、もしやめるというのならおれを殺してから殺せ。三号機を燃やして……女みたいに泣け！
男なら不可能とわかっていても、やらねばならんときがあると、子どものときからよく話していたのはおれとおまえじゃなかったのか!?
今がそのときではないのか!? ええっ山越。
おまえだって日本がこうなる片棒をかついだんだぞ。
おまえのような優秀な技術者がいるから、安心して戦争をはじめたんだぞ。
はじめた以上、途中で逃げるな、弱音をはくな!!
もう手遅れだ。
もし逃げるなら……おれとおまえはもう友だちじゃねえ!!


台場、無理はするな。この機体の排気タービンだって墜落したB―29のマグネシウム合金を使っているんだ。
こっちにはもうなにもない。燃料もこれで最後だ。
今日は必ず音速を超えてみせる。
理屈もクソもあるか。戦争も勝敗ももうおれには関係ねえ。
おれの手足と目をうばった音の壁を、うちまかすことだけがおれの望みだ。
そいつがおれの敵だ!!
……
……

こちらサンジャック!!
前方同高度に日本機、
高度1万2千メートル。
712
こちら台場！降下にうつる！
逃げるか、ジャップ！
P-47から
逃げられると
思うのか、ばかめ!!
降下角度四十五度
速度…七百……

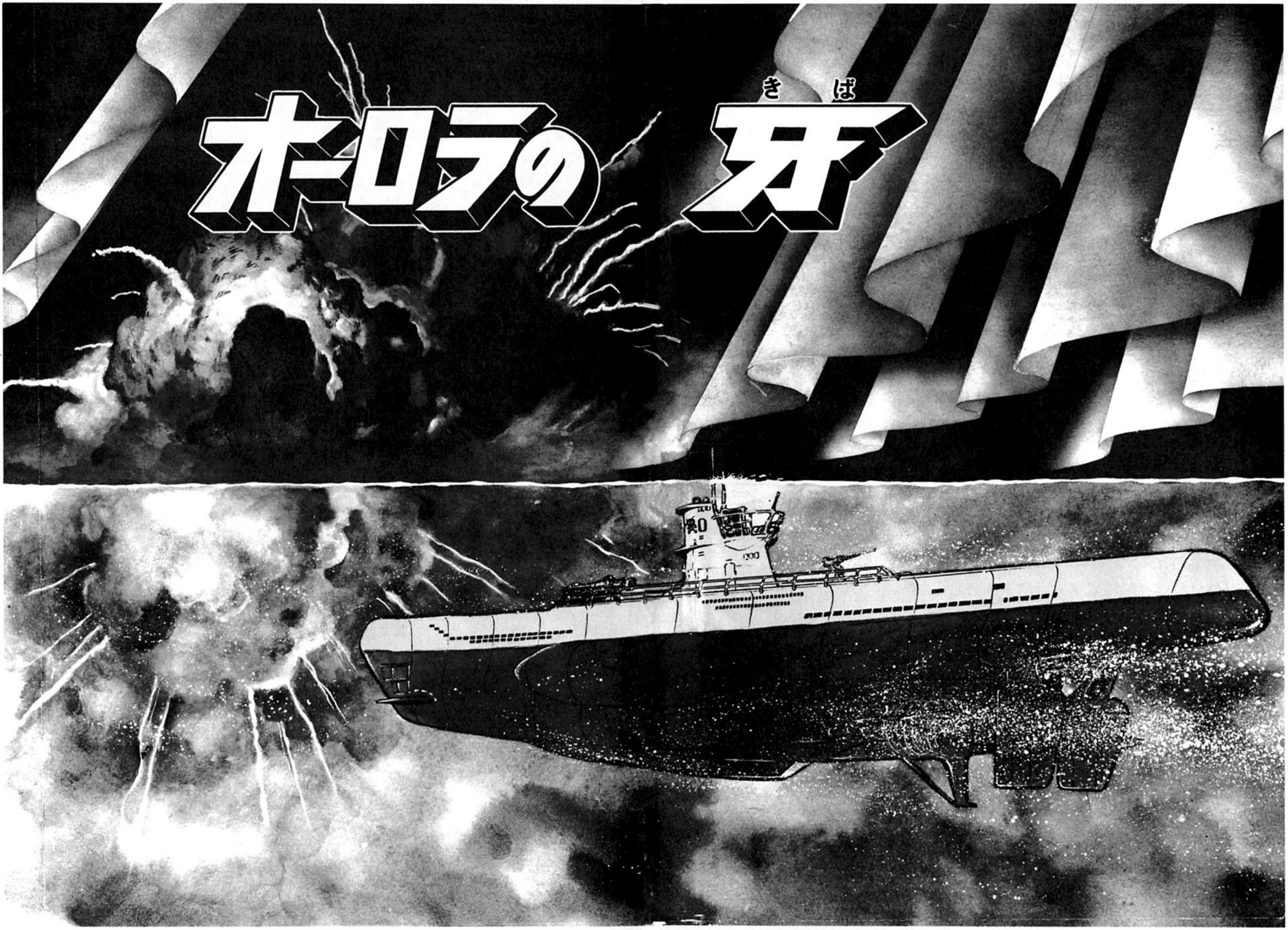

くそ!!
降下角八十
速度八百五十!

なんだ!? この日本機は…
降下角九十 速度…九百八十! 振動激し………
畜生、日本機ごときに!
速度…一千…百… 速度…一千百五十!
なにを!


サンジャックが
分解した!!
速度一千二百二十五キロ!!
音速を超えた!!
超えたぞ!!

■「ビッグコミックオリジナル」1975年11月20日号掲載

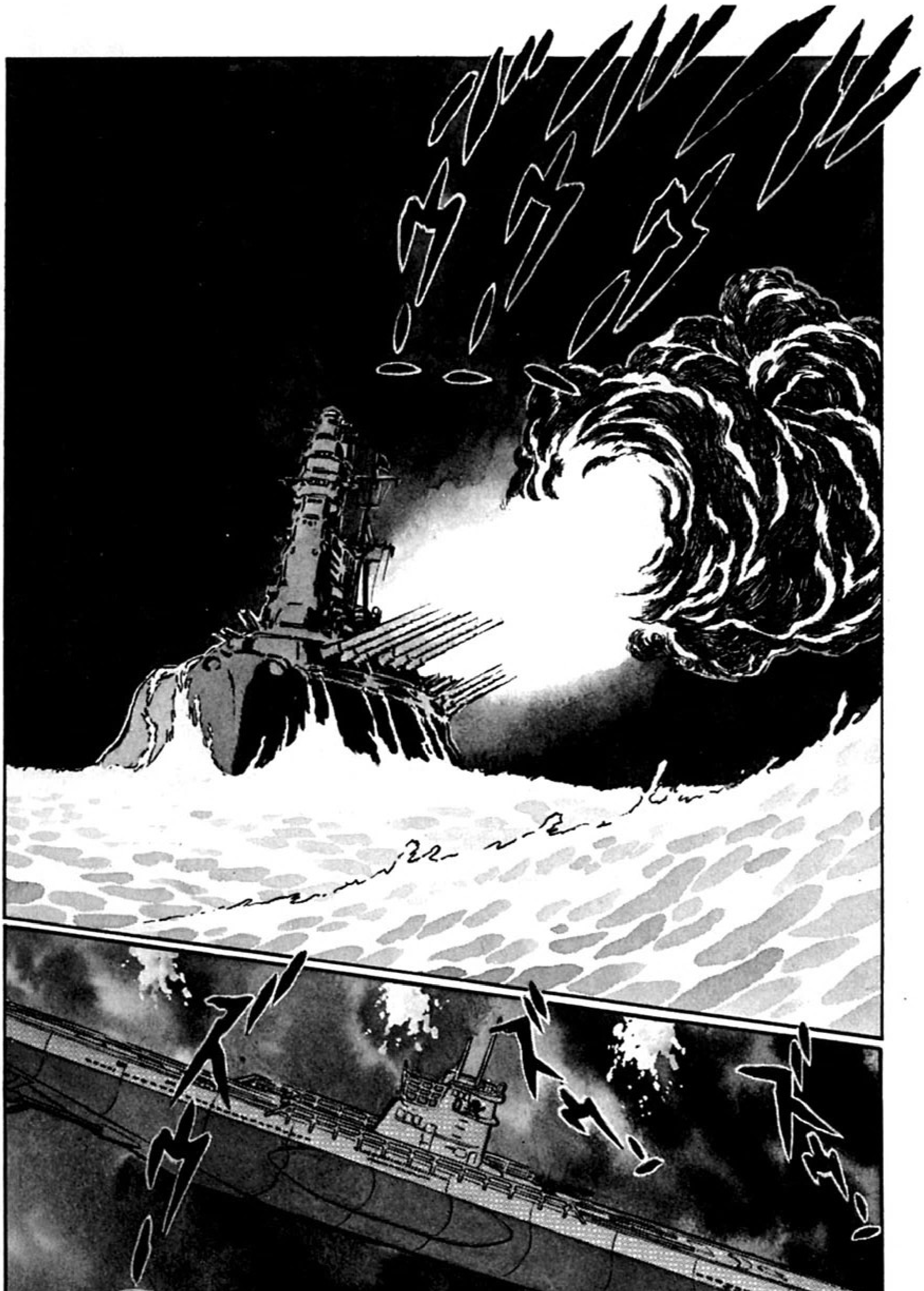
方位右二十度、敵速二十ノット、艦種…オーロラのゆれがはげしく不明…距離二千メートル!!
一番発射!!
二番発射!!
魚雷、目標に直進中!!
命中まであと十秒!!
パ
パ
…


オーロラの牙（きば）

この爆発はどういうことだ!?
弾薬補給船だったのかもしれません!!
弾薬補給船だと!? どこの国の!? ここは北極海だぞ!!

このにおいは……………
火薬だ!!……やはり大量の弾薬をつんでいたんだな!!
艦長、こっぱみじんにけしとんで、生存者のきれはしもみあたりません!!
………………
このU―0号は北極海をこえて日本へ行く…
そのわれわれの前に現われたのがイギリス海軍の弾薬補給船だとしたら…………
ここらに、イギリスの戦闘艦艇がいるということになる!!
イギリス海軍はアフリカの喜望峰を回ってインド洋ごえで日本へ向かった、U―142の方に気をとられているはずでは……

U―142との連絡は…!?
きのういらいとれません!!
いまごろは喜望峰を回って、インド洋へはいっているころです!!
もし無事ならな、クロイツ中尉…
ええ、ドライゼ艦長!!
対水上レーダーに反応!!
左舷三十度、大型艦!!距離二万五千メートル!!
急速潜航!!



レーダーにとらえた時、二万五千メートルだといったな!!
はっ!?
二万五千メートルのむこうから正確に撃ってこれるのは…
戦艦の大口径主砲だけだ!!
敵は戦艦だ!!
戦艦が潜水艦を追跡した話はありません!!もうへいきでしょう!!
ここまでくれば、浮上してもよいのでは…
うむ……
しかし、おかしい……マレーヤキングジョージ五世、ワースパイト、ローヤルソヴェレン、ロドネイと……全イギリスの戦艦ははっきり居場所がわかっている…
北極海に戦艦などいないはずだが……

前方に氷塊群!!
浮上航行しよう!!
メインタンク、ブロウ!!
潜水艦浮上!!左舷三十度、距離三万八千!!
レーダー射撃用意!!

急速潜航!!

ズズズズ……
なんということだ!!戦艦が追ってくるのだ!!
スクリュー音か、エンジンの音をきいたか!?
いいえ、何も……
しかし、戦艦のほうは正確に本艦のあとを追ってきた!!
どういうわけだ!!
私は大西洋でアメリカとイギリスの駆逐艦と何度も戦った……レーダーがおくれていたころは、苦戦もしたが…
レーダーを装備し、潜航したまま航行できるシュノーケルをつけていらい、連合軍の船におくれをとったことはない…!!
ましてや、でかいだけの戦艦ごときに追われたこともない!!

Uボートは潜航しました!!
弾着して十五秒か……さすがにドライゼ艦長のうではものすごいな!!
デスバルト・フォン・ドライゼ……
ドイツ海軍きっての歴戦の潜水艦乗りだ!!
ドライゼ艦長は、連合軍の船舶を合計六十万トンも沈めている……しかも四分の一は軍艦だ!!

勇士ですね…リチャード艦長と同じように!!
艦長は開戦以来、二十二隻のUボートを撃沈された!!
あのころは、駆逐艦に乗っていたからな!!
それが、いまは戦艦に乗っている!!
よりによって、この戦艦でUボートと戦うはめになろうとはな…!!
この海域に本艦しかいなかったからしかたがないが……
しかし、リチャード艦長!!この戦艦は……
戦艦バラクーダ……ふふふ…そうだったな、バートン君…
ドライゼもこの戦艦の秘密を知ったらおどろくだろうね…

ドライゼ…惜しい敵だが、ドイツ海軍を七つの海からまっ殺するのが私の望みだ!!
次に撃つ時は必ずドライゼを撃滅する!!
ドライゼも考えたものだ……もう一隻をアフリカ回りで日本へ向かわせて、われわれの注意をひいておいて……
自分は北極回りで日本へ向かおうとしている……
ドイツの敗北はもうすぐだ……秘密の新兵器か設計図かわからんが、おそろしい軍事機密を日本へわたそうとしているのだろう……
ピ
ピ
ピ
Uボートはジグザグに進んでいます!!
距離は……!?
一万メートル、右舷十度!!

両舷全速!!
第一級新対潜水艦戦闘用意!!
よもや、戦艦バラクーダが正確に位置をつかんでいるとは、ドライゼもおもうまい!!
戦艦バラクーダの十五インチ砲弾をくらえば、Uボートなど鉄の粉になってしまう……
オーロラが、きさまの墓標だ!!

あれは戦艦だ…まさしく戦艦だぞ!!
くそ…一直線に本艦のま上に乗りこんでくる!!
中尉、見てみたまえ!!
艦尾に英国旗(ユニオン・ジャック)をひるがえしています!!
四万トンクラス…主砲は…十五インチ型は……識別表にもありません…たぶん新しい戦艦では…
敵のソナー音が聞こえます!!

潜望鏡おろせ!!
深度二十へ!!
ソナーだけでは、このおびただしい氷塊群の中にいるUボートを正確に見つけることはできない…
戦艦の艦長は何者か知らないが、恐るべき相手だ…
私はいまだかつて、こんな手ごわい敵とであったことはない…

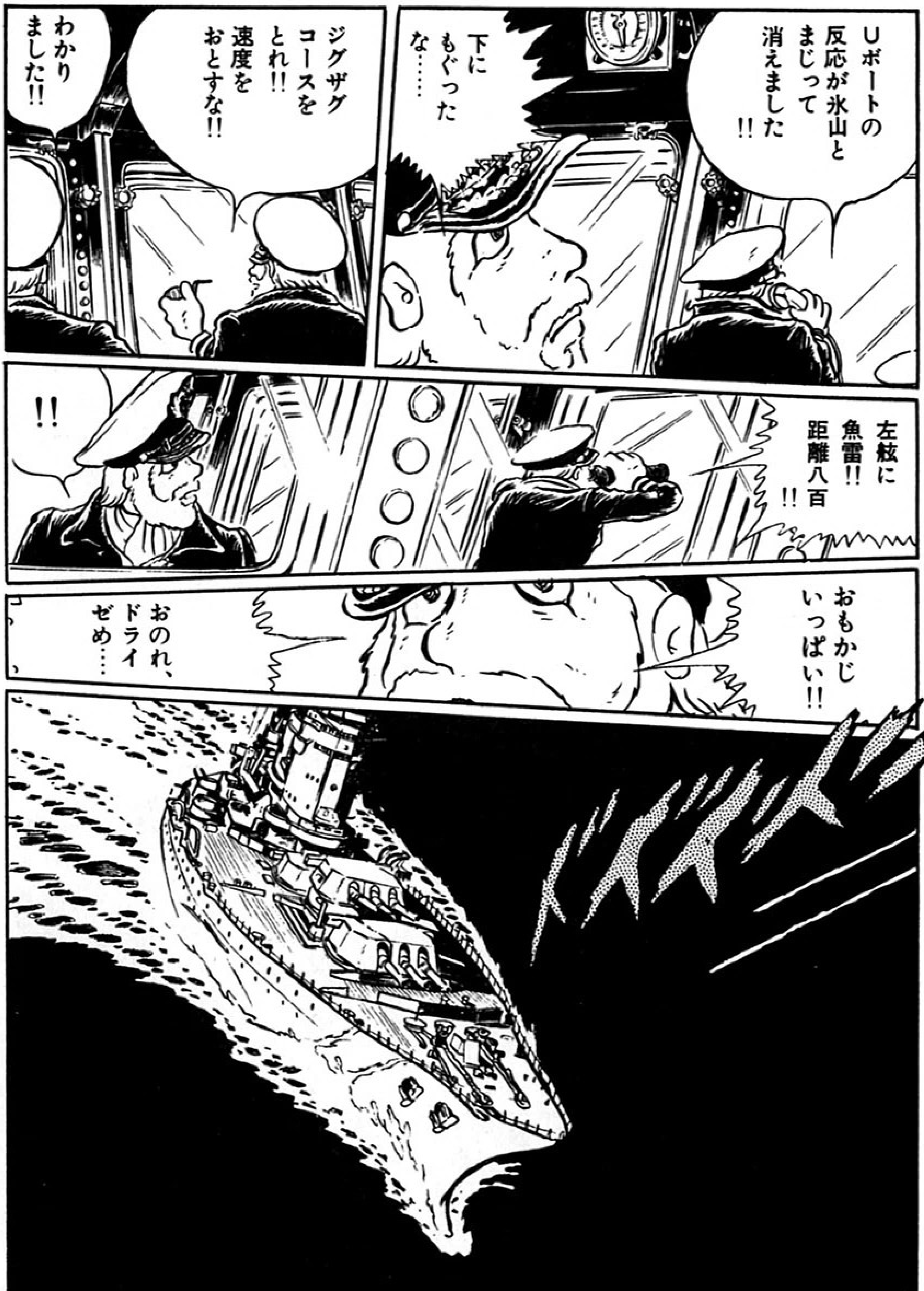
航海士が、超長波ビーコンが乱れていっていいます!!
誘導用の超長波ビーコンが!?
同じ超長波ビーコンが、近くで出され混信しているそうです!!
……!!あの戦艦が、発信しているのだ!!
おそらく敵は超長波による、潜水艦探知器をもっているのだ!!
超長波ビーコンとは…日本海軍が実用化した電波灯台の一種であり……
超長波以外の電波だと、水中では発信も受信も不可能だが、波長のきわめて長い超長波電波は、水中の潜水艦にもとどく……
日本は、本土からこの電波を発信して、遠くの海に潜水している潜水艦に、正確な位置を教えているのだ……
この日本からの超長波が、本艦をも正しく誘導しているわけだ!!

着弾が、わずかにそれるのは、どういうわけだね、バートン君!?
超長波潜水艦探知器のビーコンに、わずかですが混信妨害がはいっています、その誤差のせいです!!
日本海軍の超長波ビーコンか……やはりドライゼの艦は日本からの超長波による、潜航誘導電波にみちびかれているのだ……
だがドライゼよ、私がここにいるかぎり絶対に日本へは行かせないぞ!!
よもや、本艦に超長波潜水艦探知装置があるとは思わないでしょうね、リチャード艦長……
超長波では、ウエーブが長くて小型の艦影をレーダーのようにとらえることは不可能だと考えられているからな……
それを、英国の技術者は可能にしたのだ!!
超長波の到達範囲を自由にコントロールして、その先端の波長を急激に短くする偉大な技術だ!!

ドライゼ、どうやら君の負けだ…!!
超長波が、時々ウエーブを短く変えて本艦を正確につつんでいます!!
潜望鏡をあげろ!! アンテナも海上に出せ!!
イギリス戦艦へ発信!!

貴艦の艦名、および艦長のご尊名をうけたまわりたし!! こちらデスバルト・フォン・ドライゼ!!
やはりドライゼか!!
返信!! 本艦はリチャード指揮下の英国戦艦バラクーダ!!
オーロラの墓標のもとで、貴艦が安らかに永遠の眠りにつかれんことを祈る!!
リチャード提督か……
Uボート二十二隻を沈めたという有名な駆逐艦乗りの……
それがなぜ戦艦に……
ドイツと日本の敗北はもはや決定的だ……
あるいは、リチャードは次の第三次世界大戦にそなえて、新兵器の実験をやっているのかもしれないな……
われわれはモルモットですか…実験用の!?

だが、このモルモットはいささか手ごわいぞ…そうだろう、クロイツ中尉……
偉大なモルモットですね…
前方に氷山!!
深々度潜航でくぐりぬけろ!!
この氷山の水中部分は六十メートルをこえています!!その下をくぐるのは水圧で危険です…
リチャードが相手では、危険は覚悟のうえだ……


Uボートの反応が氷山とまじって消えました!!
下にもぐったな……
ジグザグコースをとれ!!速度をおとすな!!
わかりました!!
左舷に魚雷!!距離八百!!
!!
おもかじいっぱい!!
おのれ、ドライゼめ……

やるな……
氷山をくぐって後方へ回ったか……
潜望鏡!!
左八十度
距離三千!!
氷山の手前!!
かわされた…
第二撃用意!!
戦艦の超長波ビーコンが再び本艦を捕そくしています!!

さすがのリチャードも照準がくるっている……
今の攻撃であせっているぞ!!
いまだ!! 針路そのまま、方位そのまま、距離三千!!
新兵器のホーミングをおみまいしろ…四本連続発射用意!!
四秒前、三、二、一…!!
発射!!

高速スクリュー音接近!!
左舷に雷跡四本!!
今度は四本か!! ドライゼも本格的に挑戦してきたぞ!!
とりかじいっぱい!!
両舷全速!! 砲爆雷戦用意!!
魚雷が進路を変針して、本艦を追尾してきまーすっ!!
なに!?
ホーミングだ!! 音響式の自動追尾魚雷だ!! ドイツはもう開発してたのか…!!

あの魚雷からはのがれられん……
水平射撃で、Uボートのうしろの大氷山に主砲の全弾を集中しろ!!
はっ!!
いくらあがいてもホーミング魚雷からはのがれられん!!
永遠に眠るのはそちらだな、リチャード……

しまった!!
氷山がくずれる!!
急速潜航!!
司令塔破損!!
第二潜望鏡が折れました!!
艦尾発射管室、氷塊の直撃で浸水!!
艦が沈みます!!

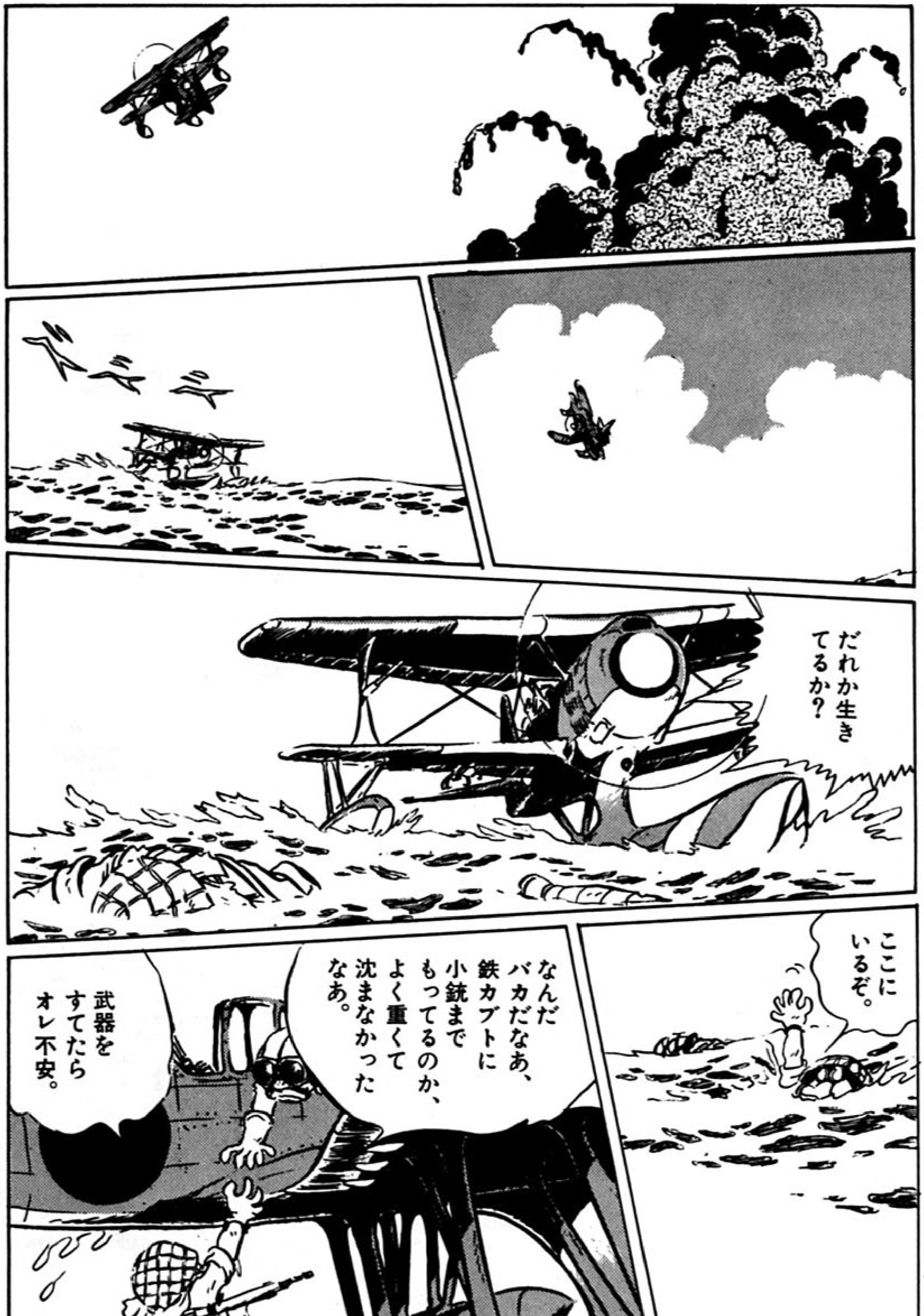
相撃ちだ!!魚雷も全弾命中!!
ドライゼ、後方に浮上!!
射撃用意!!
待て、もうおそい!!本艦はまもなく沈む……
だが、ドライゼもくずれる氷山とともに沈む!!
クロイツ中尉、男は好敵手の顔ぐらい見てから死にたいものだな…
はい、艦長…

フフ……
ドライ
ぜめ……

■「週刊少年サンデー」1975年40号掲載

POW
POW POW POW

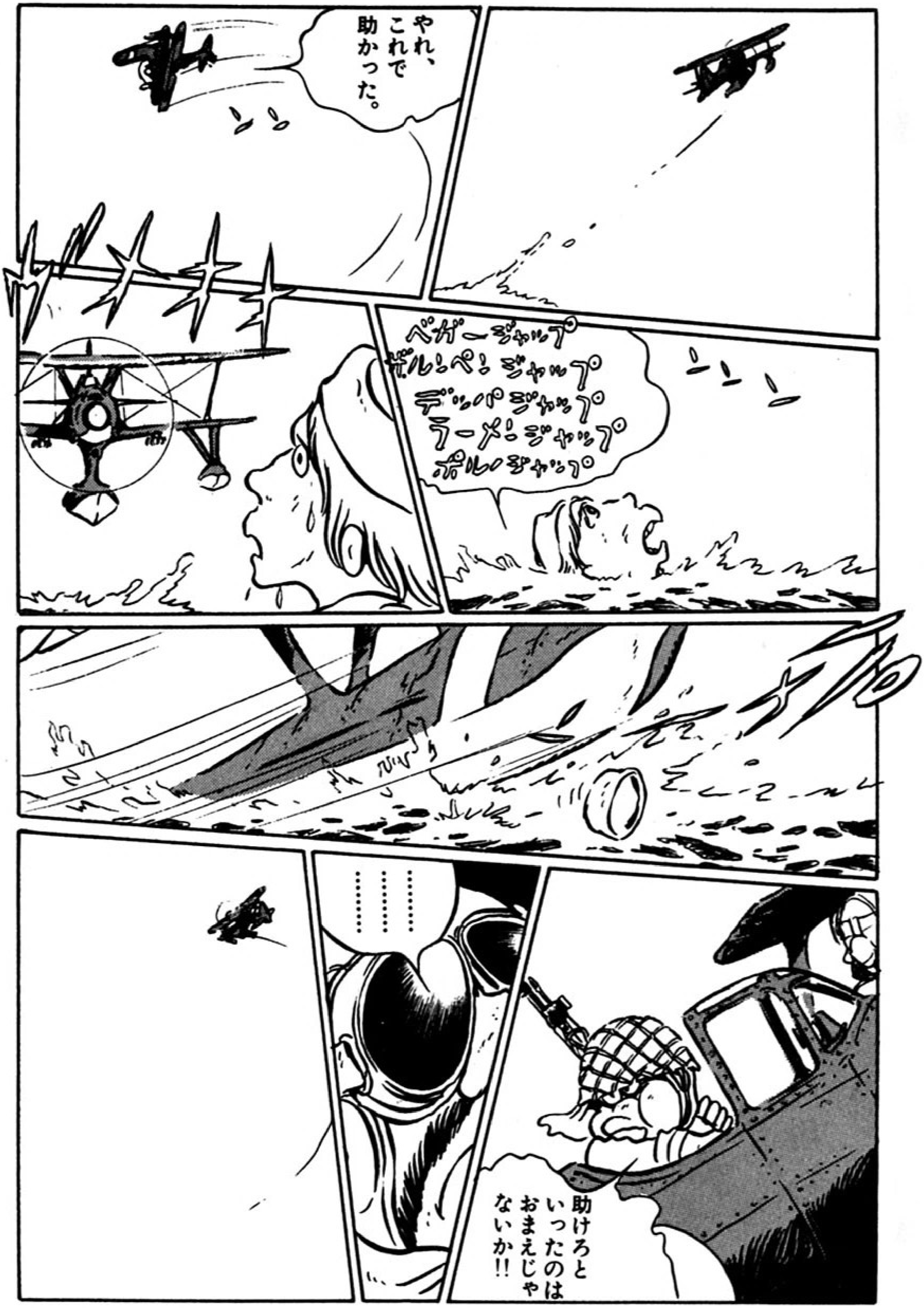
亡霊戦士

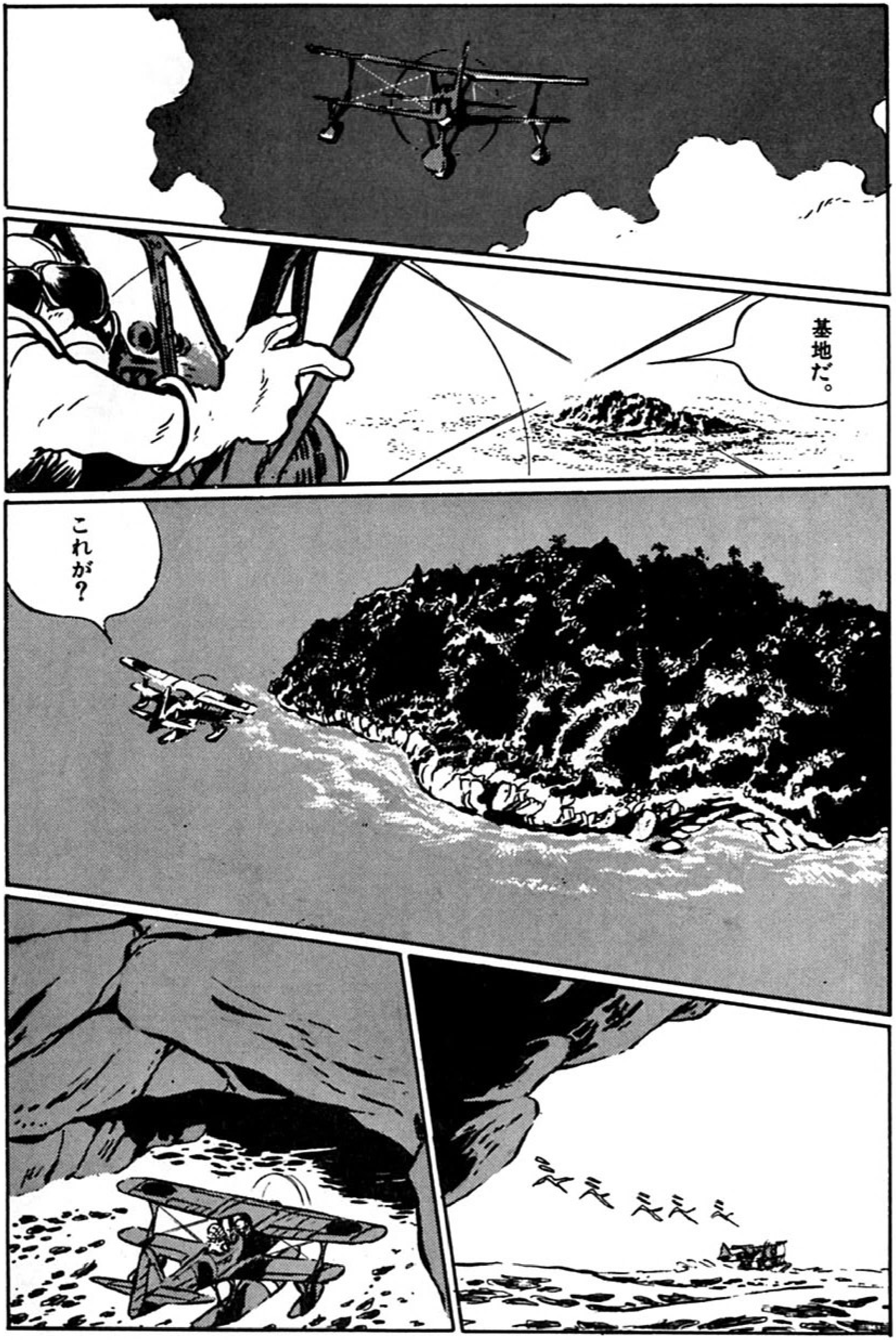


だれか生きてるか？
ここにいるぞ。
なんだバカだなあ、鉄カブトに小銃までもってるのか、よく重くて沈まなかったなあ。
武器をすてたらオレ不安。

立派というのか、アホというのか。
やかましい。生死の境をさまよったこっちの身にもなってみろ!!
いきなり魚雷くらって輸送船が沈んだあと、潜水艦が浮かんできやがって……………
まあおこるな、潜水艦も同じことになったんだ。
HELP!!!
やろ〜〜〜。
やめろよ。
どうしてもあいつ殺さないと気がすまない。
ならやれよ。
OH!

？
銃身に水がはいってたんだ。
水圧で弾の威力がなくなった。
それくらいでみのがしてやれ。
うん。
銃はなんともないか？
こういう時は破裂したり、銃身がふくらんだりするものだが……
なんともない!!
日本の科学は進んでおる。
ガニマタジャップ
イエロージャップ
インポジャップ
ウタマーロジャップ
ニンフォマニヤジャップ
基地へ帰る!!

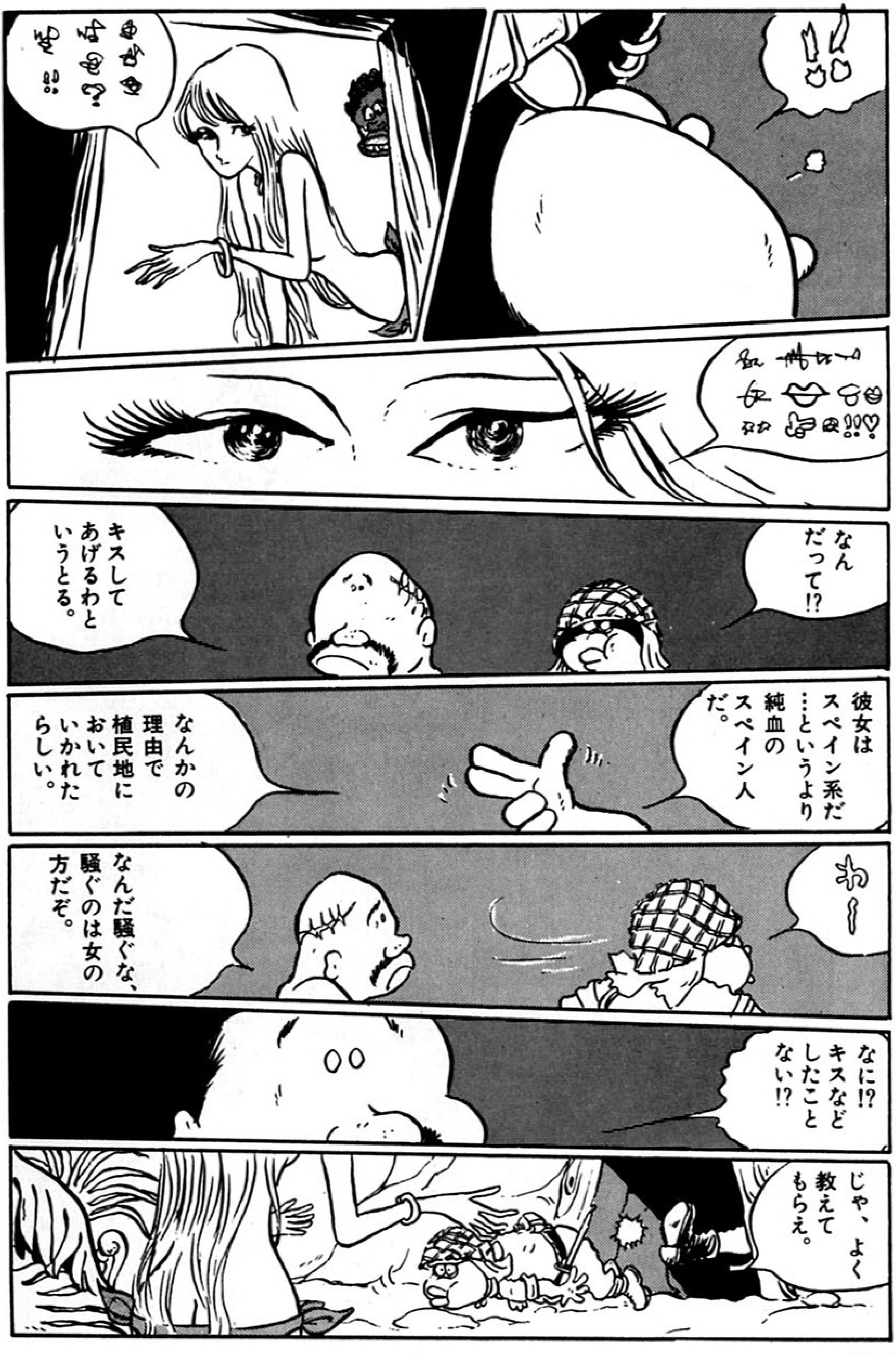

やれ、これで助かった。
ザバオオオ
ベガージャップ
ボルンペ！ジャップ
デッパジャップ
ラーメ！ジャップ
ポルンジャップ
……
助けろといったのはおまえじゃないか!!


基地だ。
これが？

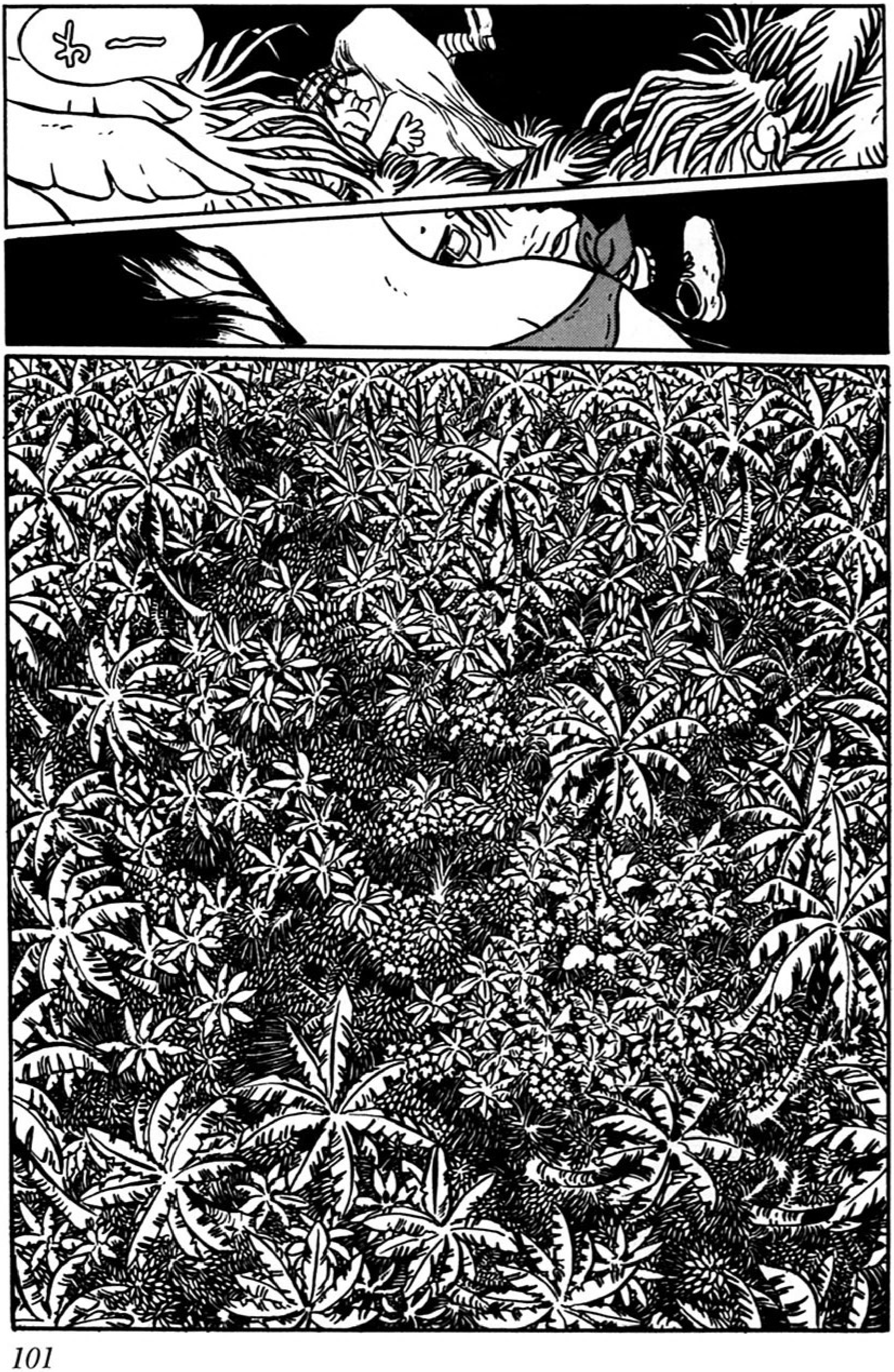
あんた一人か?
そうだ。
そんなバカな!!
弾薬も食いものもある。
名前は?
陸軍上等兵、山野進太。
位はどうでもいいよ。
オレは青下佐吉。
どうも名前からしておたがいお百姓さん出身らしいな。
んだべ。

ならば、よけい食料の自給自足に心配はいらねえ。
じょ〜〜〜だんじゃないよ、本隊はどこだ？
ここが本隊だ、看板があろうが。
…………
……
孤島海軍航空隊
司令部
オレはここの永久守備隊長だ。
はー元は中……
昔の位はいいといったろうが。
階級にこだわると追い出すぞ!!
……
あんたの撃墜数かね？
そうだ。

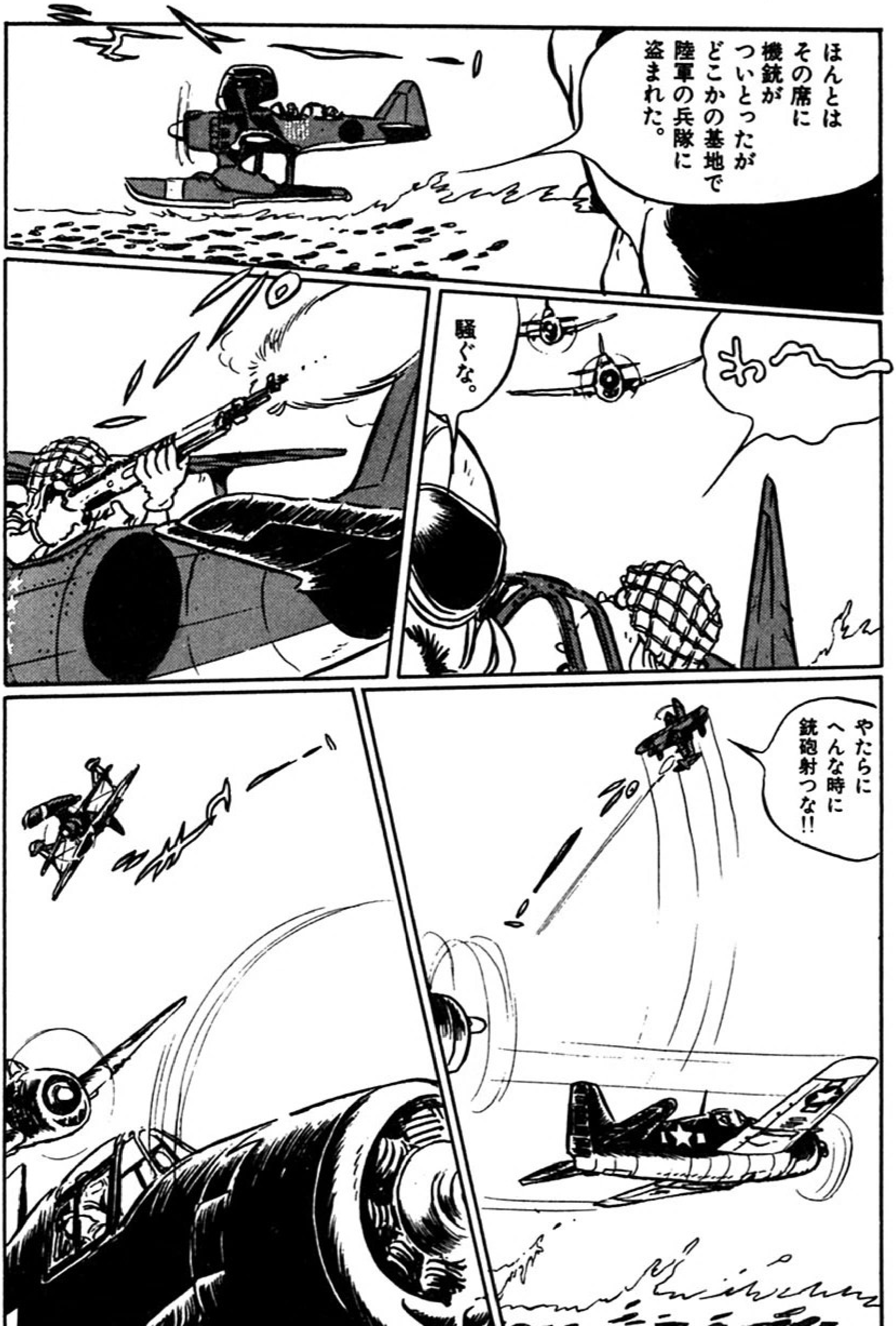
……六十六機……
このゲタバキ機で!?
もともとオレは戦闘機の操縦士だ。
六十機はその時のものだ。
六機は?
こいつでやった。
こいつで!!
なせばなる!
!!
あれは?
この島の昔からの所有者たちだ。
あいつら米軍に通報しないかな!?
バカいうな。オレとは友好関係にある。



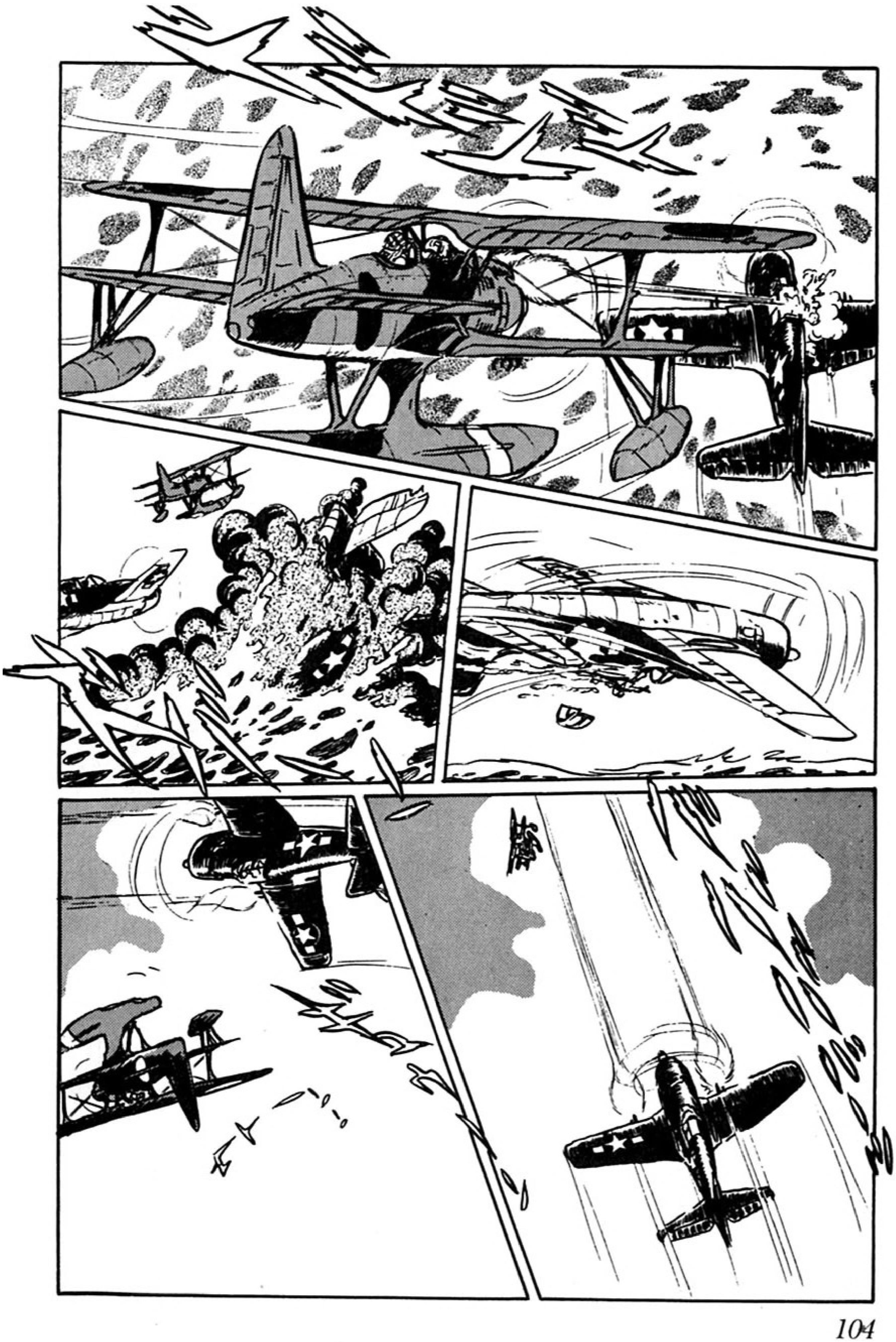
なんだって!?
キスしてあげるわというとる。
彼女はスペイン系だ…というより純血のスペイン人だ。
なんかの理由で植民地においていかれたらしい。
わ～
なんだ騒ぐな、騒ぐのは女の方だぞ。
なに!? キスなどしたことない!?
じゃ、よく教えてもらえ。

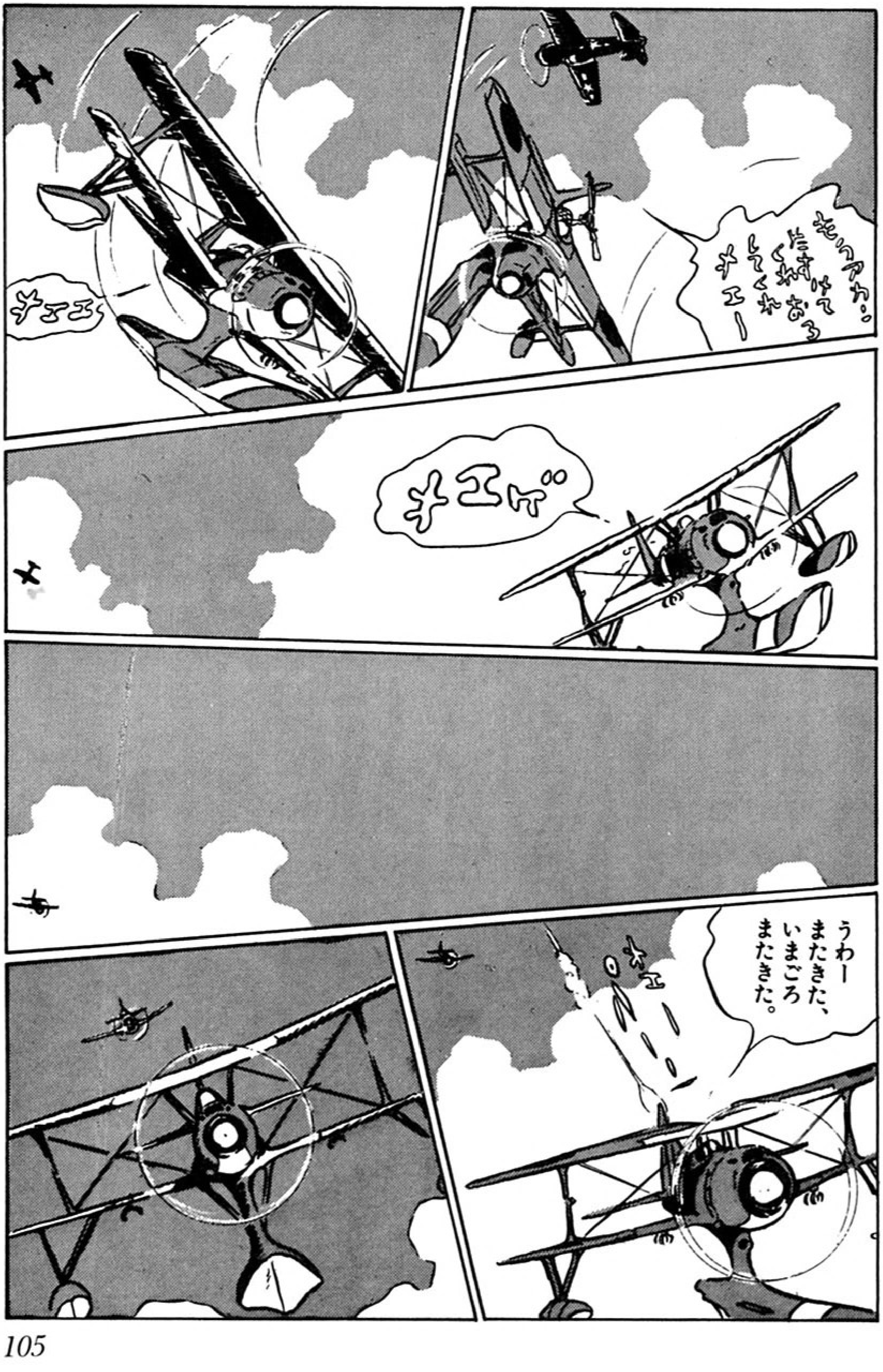

わー

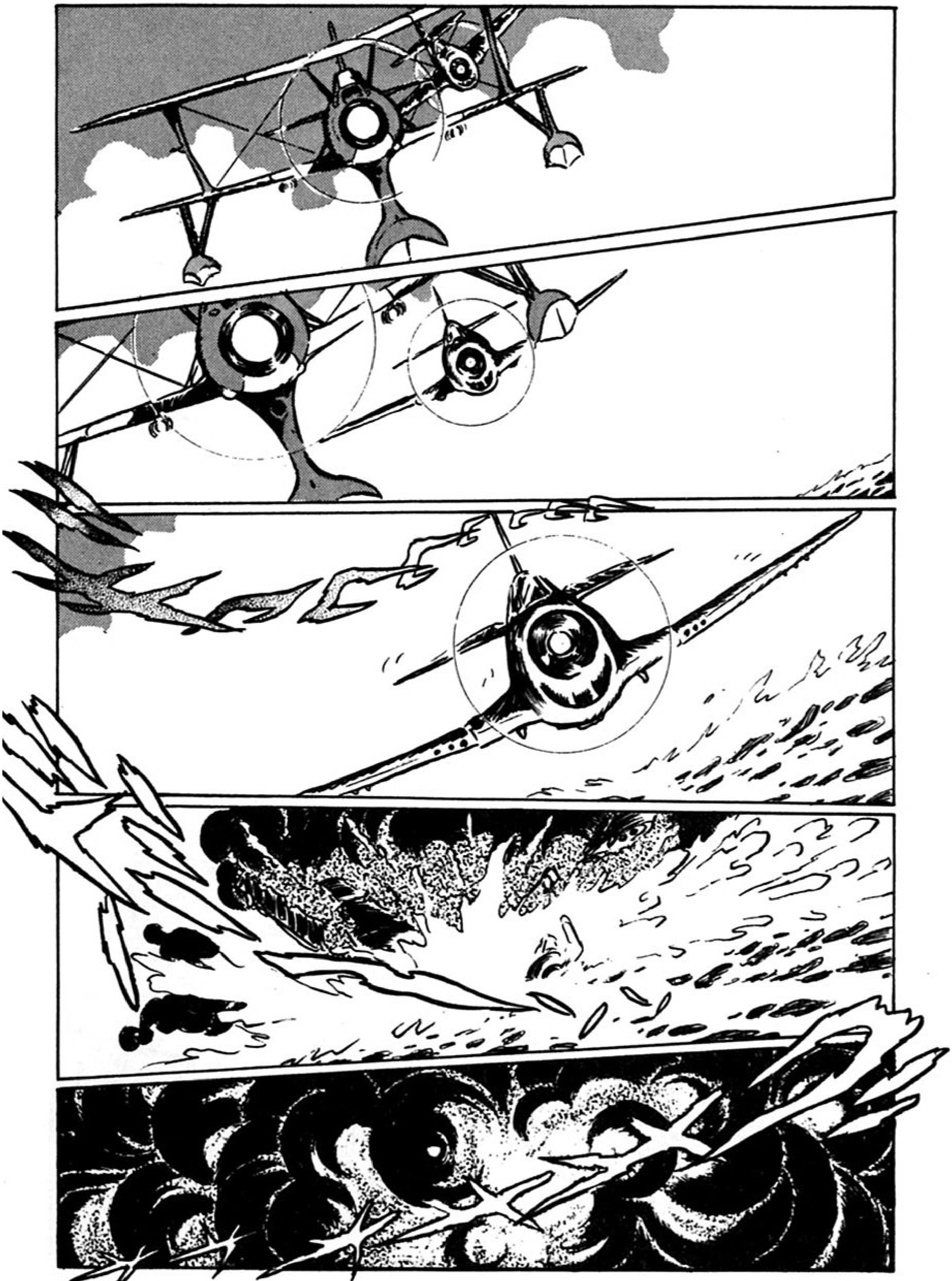
…………
…………
これは植民地を支配していた悪い白人のやることだ。
オレたちも同じだ。
敵機だ！
？
オレも乗せてくれ、一人でいるのはいやだ。
目を回してもしらんぞ。



ほんとは
その席に
機銃が
ついとったが
どこかの基地で
陸軍の兵隊に
盗まれた。
騒ぐな。
やたらに
へんな時に
鉄砲射つな!!




もっアカ。たすけてくれおるしてくれメエー
メエエ
メエ゛
うわーまたきた、いまごろまたきた。

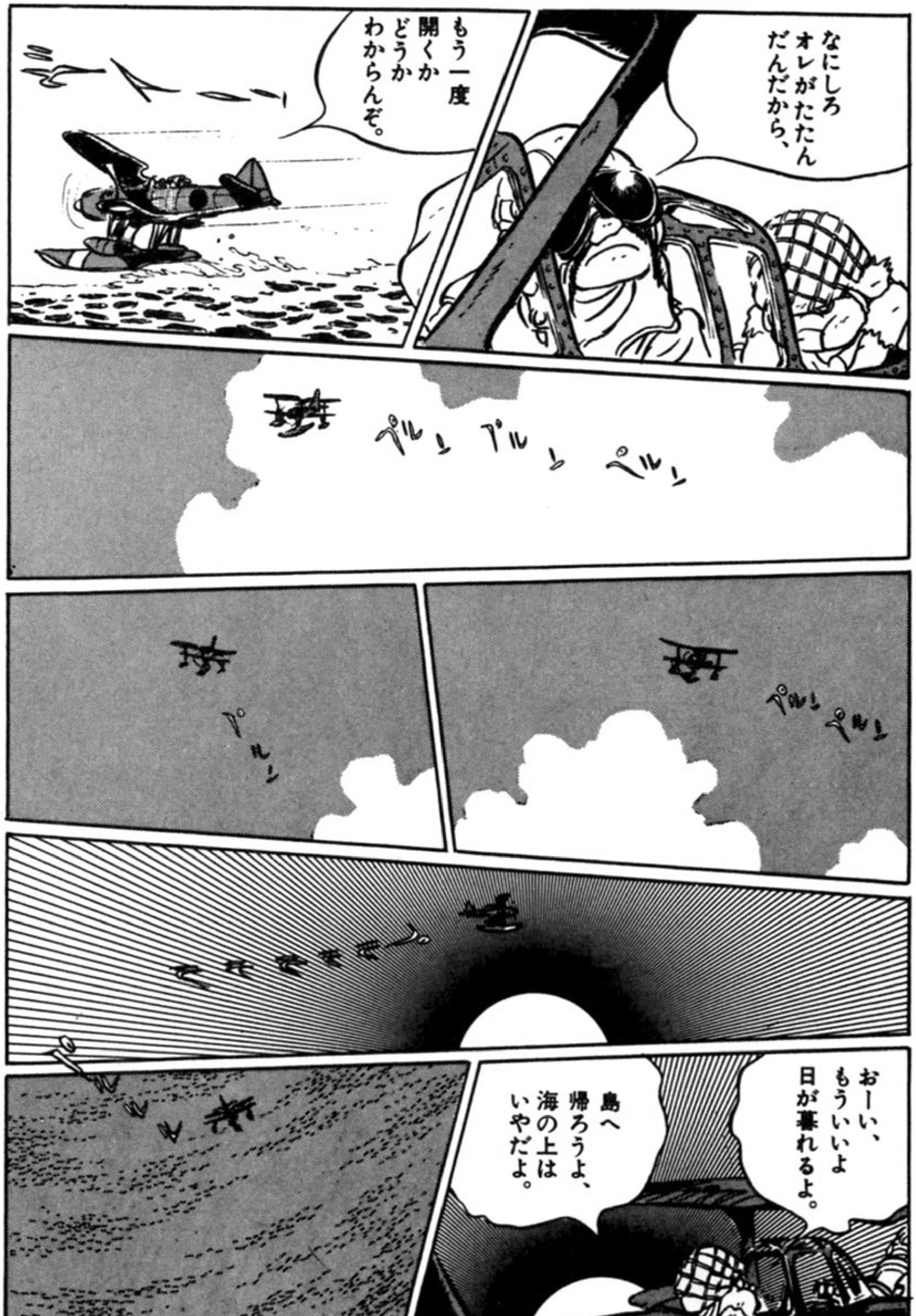


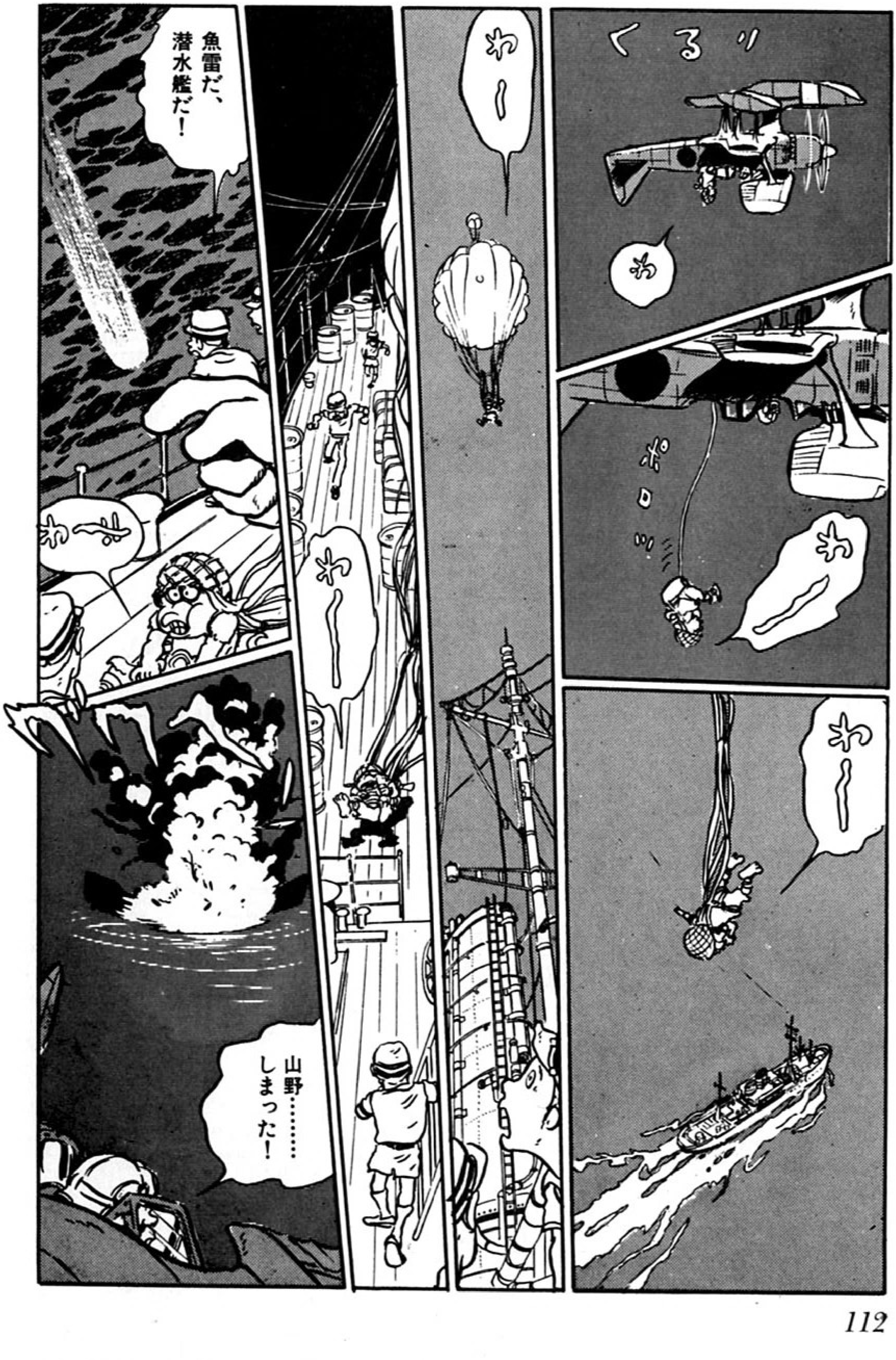
また二機増えたな。
あんな重い戦闘機で軽快な二枚バネに挑戦するとああなるのである。
へい。
ヤパランゲ
ハポランゲ
ポポランゲ!!!
日本強いから、味方だといってる。
そういわれると悪い気持ちはしない。
でもいつまでここにいるんだ。
さあな、死ぬまでかもな。
友軍はいつくるだろう。
さあなあ。
ザ
ザ

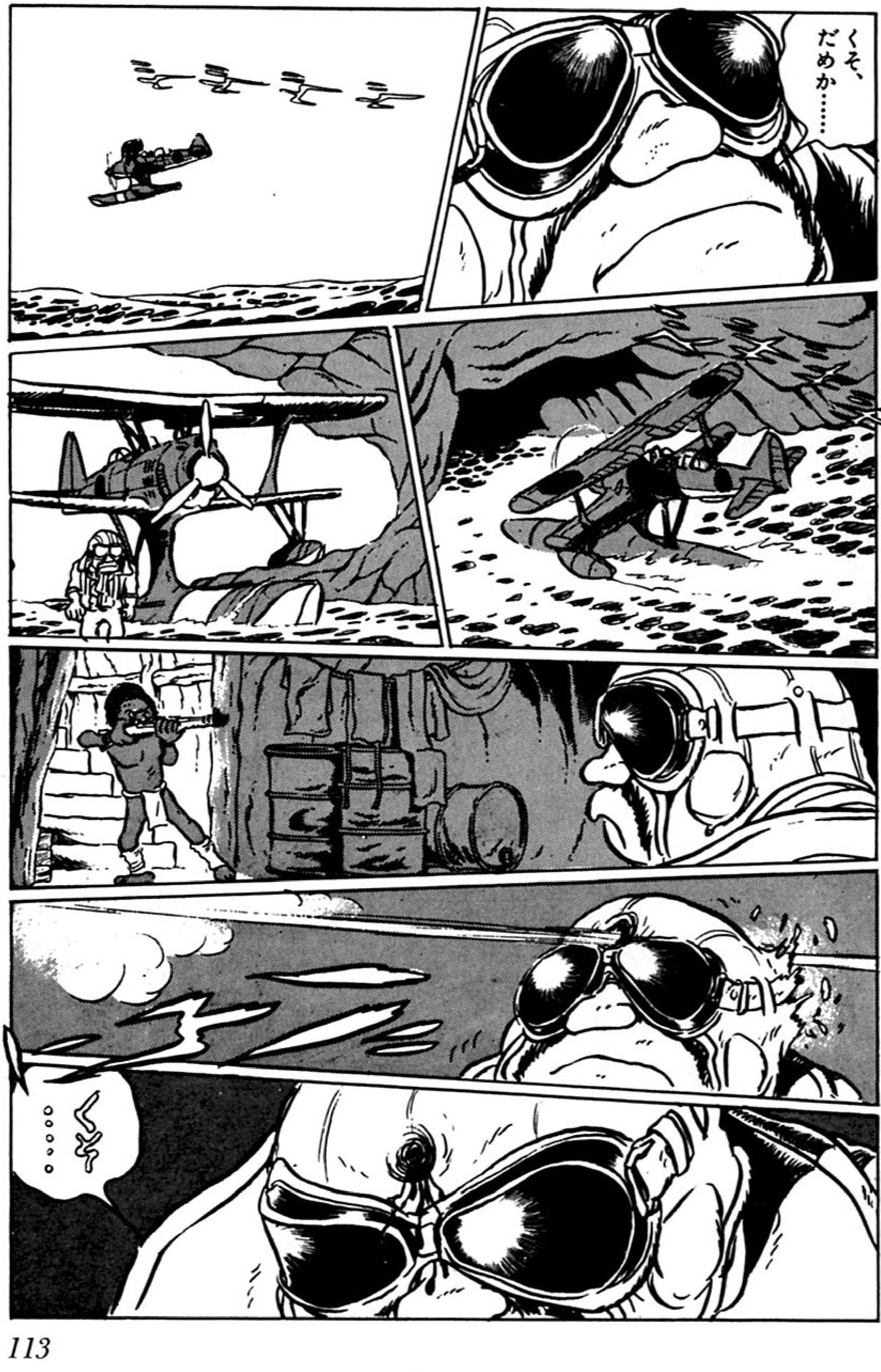
あれから半年。
もう飽きたなあ、帰りたいなあ。
帰れないよ。
しかしもうそろそろおまえの基地に友軍の連絡があってもいいだろが!?
ないよ。
おまえ、日本海軍の守備隊長なんだろ!?
さあなあ。
?
オレはもう生きちゃいないからなあ。
おまえももう死んだことになってるだろうよ。
バカいえ。

じつをいうとオレはな、大事な大作戦でな、戦死しちまってるんだ。
海上へ不時着してな。
軍神青下佐吉、と新聞で大々的に発表されてるはずだ。
知らんよ。
だからな、生きていては困るんだ。
そんなバカな。
といって死ねともいえんらしいんで、なんかあいまいなまま、ここに一人おいてかれたというわけさ。
抗議しろ。
なにしてる。
そういうわけなら、おまえといても友軍は永久にこない、出て行く。
四方は海だぞ。
……………
……………
……………

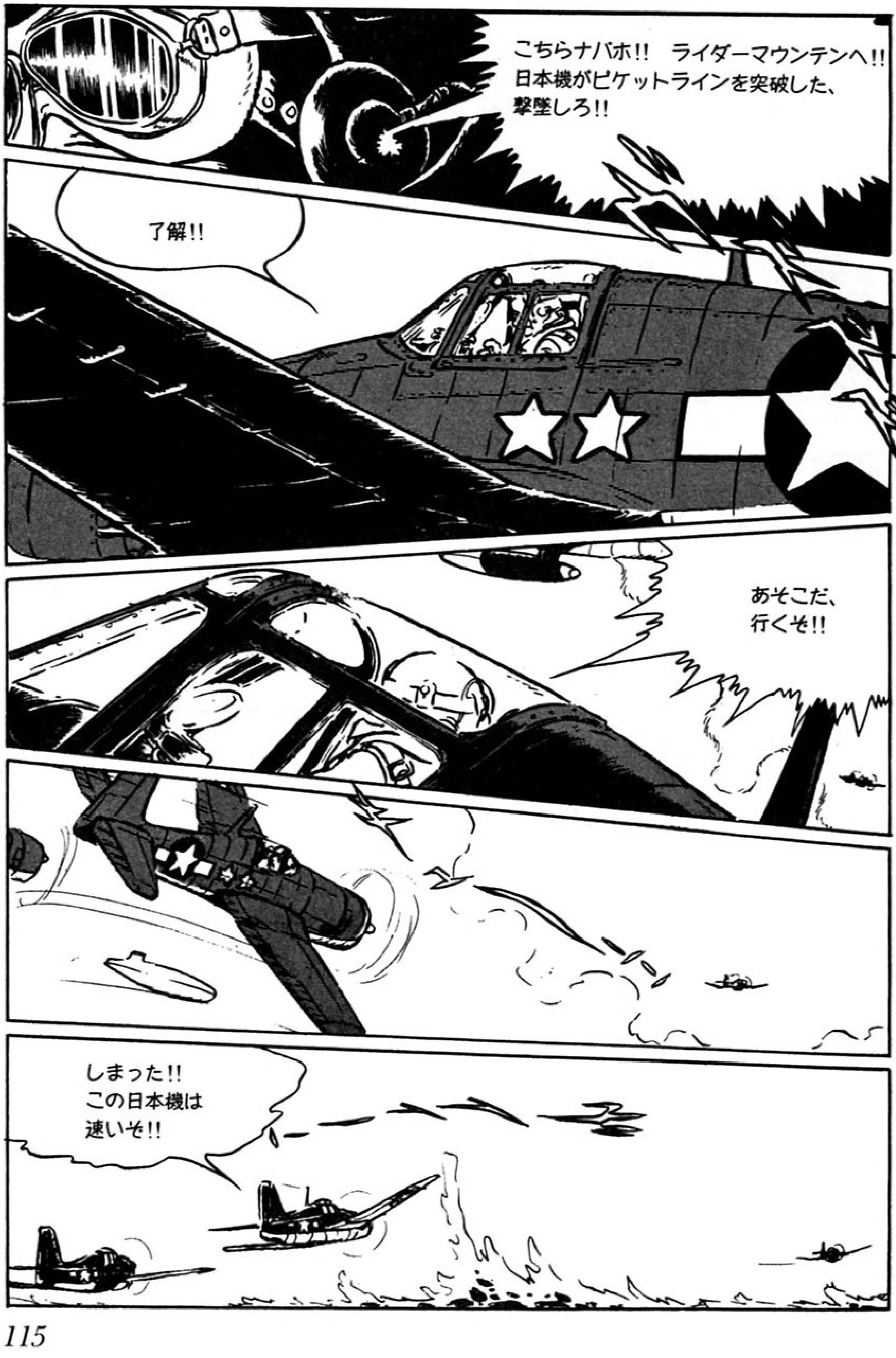
なあ青下。
飛行機は飛べるんだからどっか行こうよ。
味方の所へ行っても、前線へやられるし、またここと同じだ。
といってな、今までバリバリケンカして殺しあいしてた相手の所へ手を上げて行くのもいやだ。
人間、やりだしたら徹底すべきだというのがオレの信条だ。
それはおまえのことでオレは……
……
……
……
乗れ。
なんだ、このフワフワしたのは？
パラシュートだ。この前、島へ降下して殺された米軍パイロットのものをたたんだのだ。


なにしろオレがたたんだんだから、
もう一度開くかどうかわからんぞ。
おーい、もういいよ日が暮れるよ。
島へ帰ろうよ、海の上はいやだよ。


くるり
わ
ポロッ
わー
わー
わー
わー
魚雷だ、潜水艦だ！
山野………しまった！


くそ、
だめか……
くそ……

■「ビッグコミックオリジナル」1976年1月5日号掲載


こちらナバホ!! ライダーマウンテンへ!!
日本機がピケットラインを突破した、
撃墜しろ!!
了解!!
あそこだ、
行くぞ!!
しまった!!
この日本機は
速いぞ!!

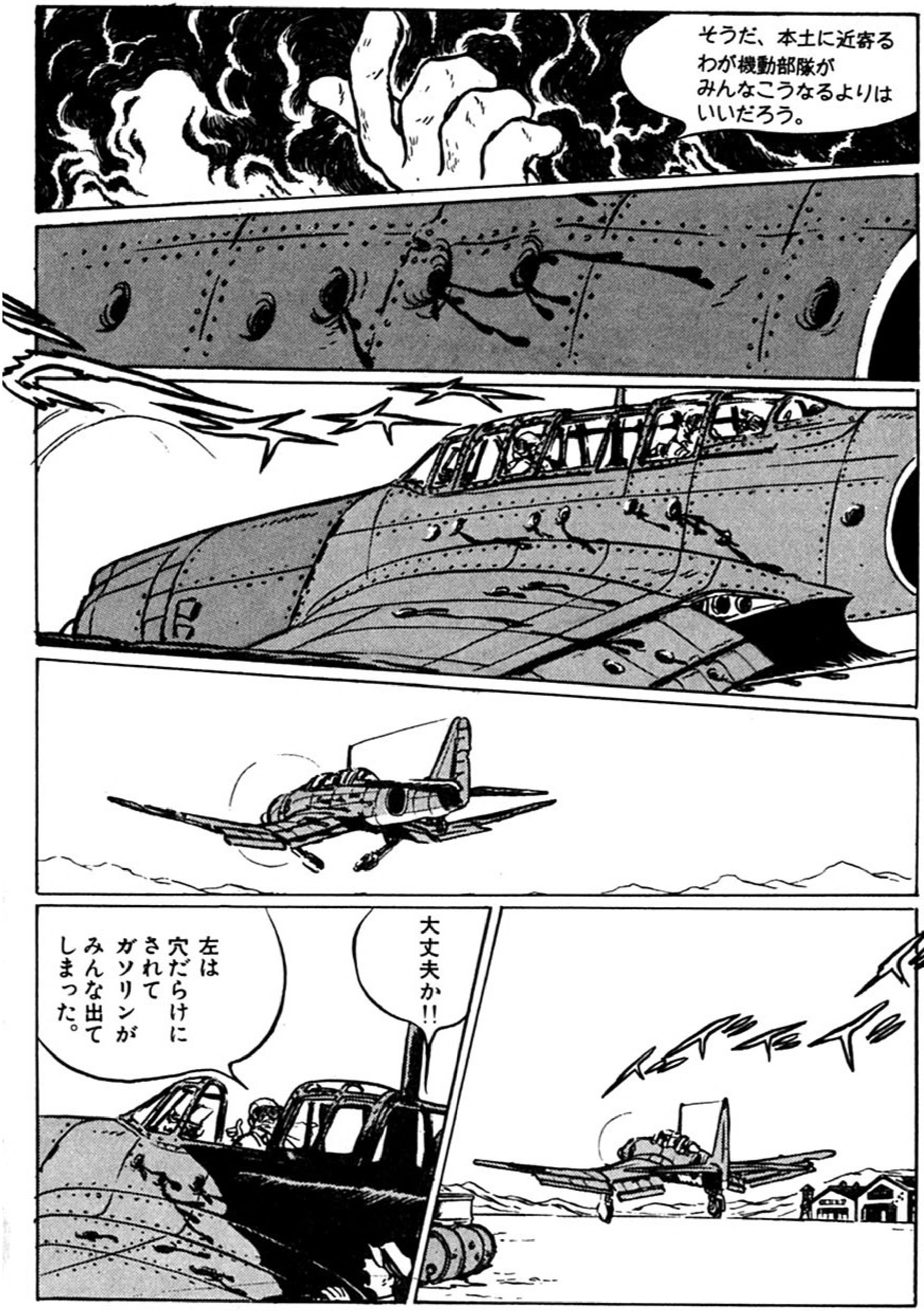
流星(りゅうせい)北へ飛(と)ぶ

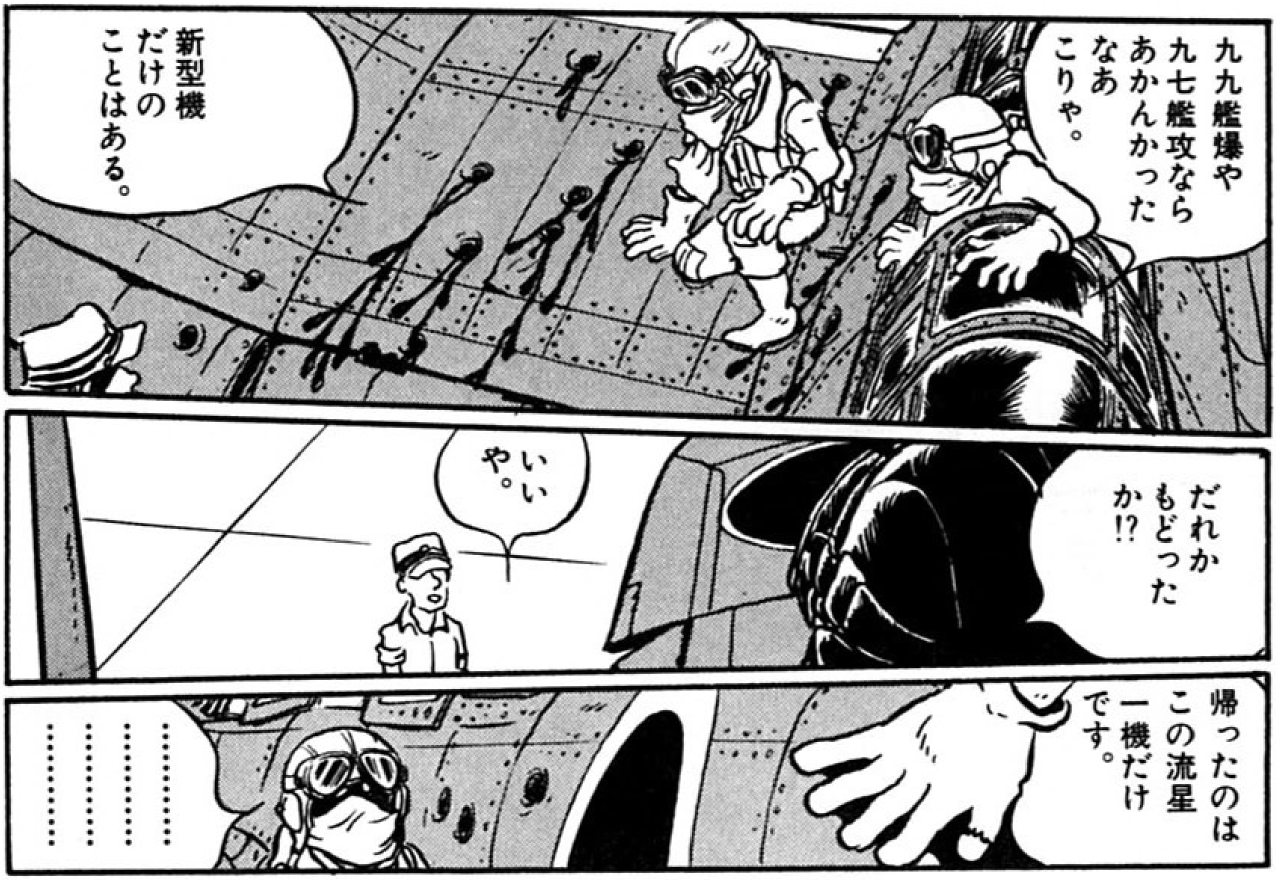
ライダーマウンテン!!
一体何をしていたかっ!!
追えっ、逃がすな!!
撃墜しろっ!!
くそっ！

畜生!!
おそろしく
速い奴だ。
だめだ‥‥。
ライダーマウンテン
編隊が帰ってきます。
こっちは動力が全部
止まってしまって
通信もできん、
あのバカめ!!
どうします!?
どうもこうもあるか、
海へでも降りろ
といえ!!
なんだって、
くそ!!

海水はうまいだろう、ライダー大尉！
おまえがぼんやりしていたおかげで、空母も全員海水を飲むところだったんだぞ。
奴は速かったんですよ、艦長！
速い!?　おまえのＦ６Ｆよりもか!?
そうはいってませんよ。爆撃機にしては異常に速い奴でしたよ。
まるで怪鳥が翼をひろげたような………そう、幻の鳥のように見えました。
ザヤップ!!

それで撃墜したか!?
……ふりきられました。
いい腕のパイロット
らしく…………
そうだろうな。
おまえよりは確かに腕が
上だったんだろうよ。
おかげで本艦は
このありさまだ！
修理に１週間は
かかるぞ！
日本本土へ近づき
過ぎたんでは……
日本機はもう時代遅れだ！
ピケット艦と戦闘機で守れば
空母には寄せつけない
といったのはおまえじゃ
ないのか!?　ええ、
ジョン・F・ライダー大尉!?
97艦攻や天山や99艦爆
なら確かにそうです。
しかし…あいつは違う
見違えるような
すばらしい飛行機
だった。
おれには…そうだ、まるで
生きている大きな鳥
のように見えた。
生きている鳥のように
………………
そいつが本当にそんなに
すばらしい奴なら………
偵察して確かめた
方がいいな。
日本本土上空を
飛ぶんですか!?


そうだ、本土に近寄る
わが機動部隊が
みんなこうなるよりは
いいだろう。
大丈夫か!!
左は
穴だらけに
されて
ガソリンが
みんな出て
しまった。



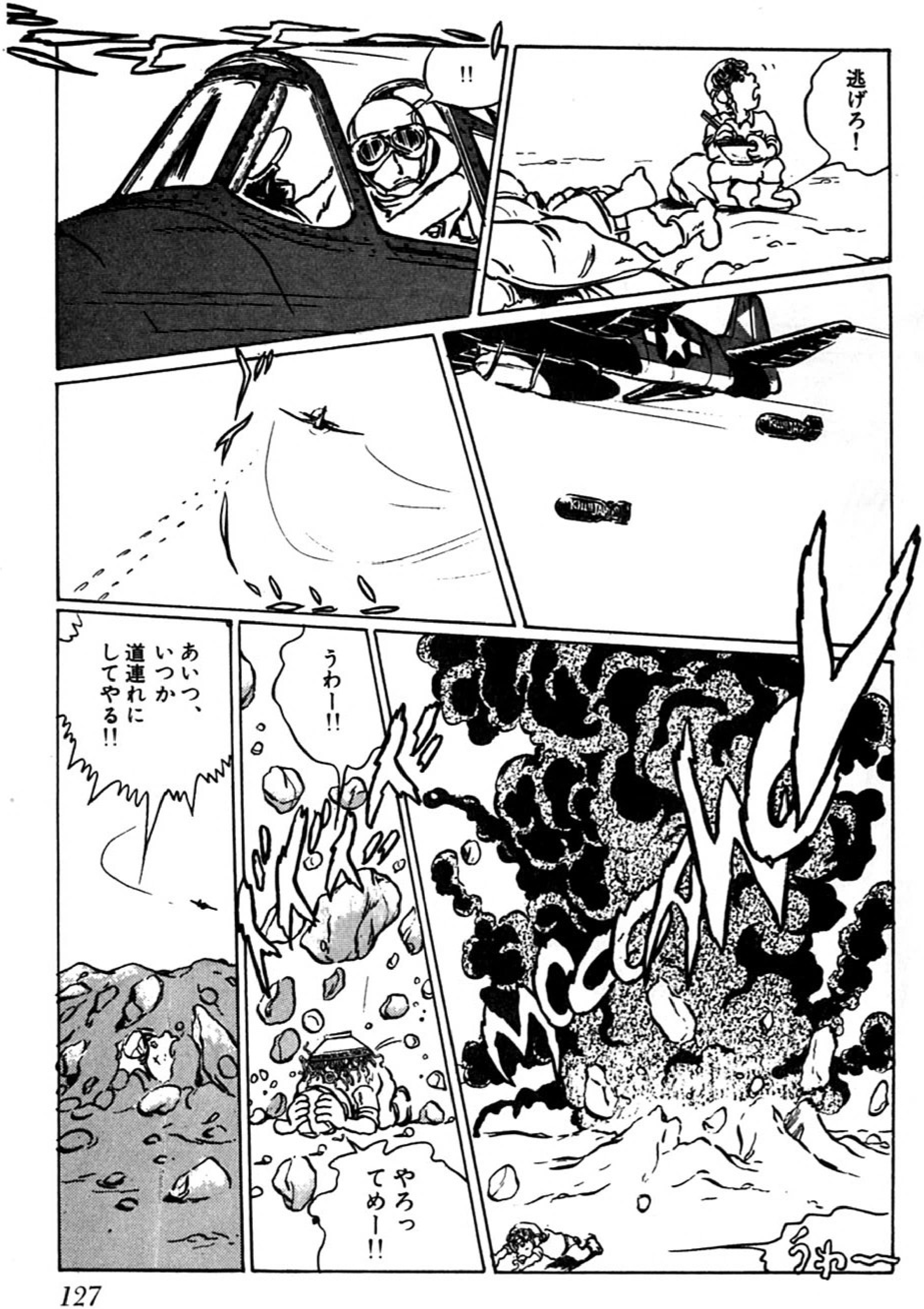
艦上攻撃機　流星改

最大速度　543キロメートル
武装　20ミリ砲×2
7.7ミリまたは13ミリ機銃×1
爆弾搭載量　最大1トン
800キロ魚雷×1

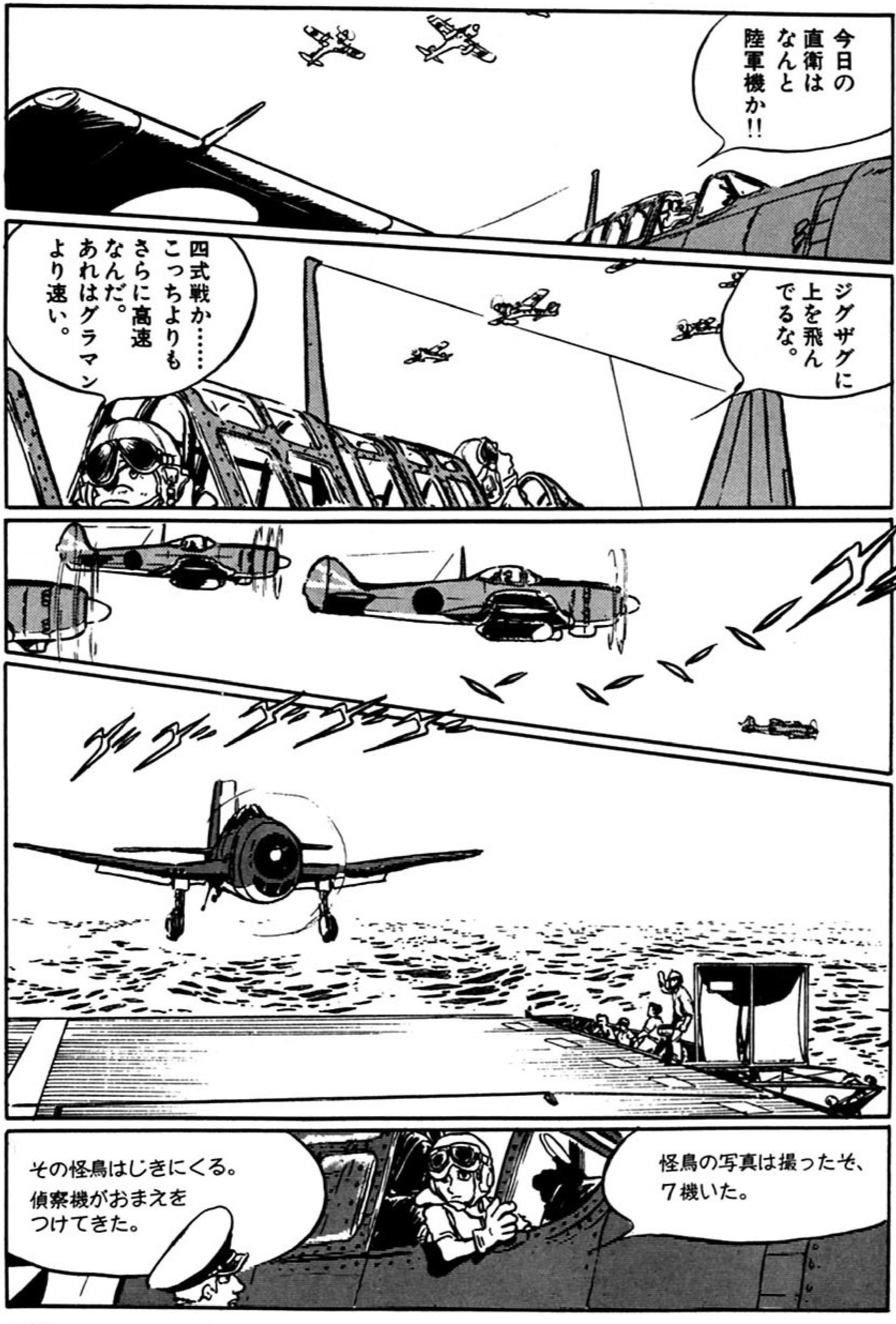
大戦末期、幻の怪鳥のように出現した
万能艦上攻撃機。雷・爆撃はもとより
急降下爆撃まで行なえる恐るべき機体で、
その高速は、当時の戦闘機に匹敵し、
戦後勇名を轟かしたアメリカの
ダグラスＡＤスカイレーダーに比しても
そん色のない時代を先行する艦攻であった。
これは……
出撃中にとどいた新型機で……
あと一日これがはやくきたら……
今日、九九艦爆や九七艦攻で出撃したみんなも……
少なくとも半分ぐらいは帰ってきているかも……
混成部隊の天山艦攻は二機、館山に不時着して無事だそうです。
…… …… ……
古田さん。
ん!? なんだ森よ……わかってる、いうなこれはもう物理的な勝負なんだ。

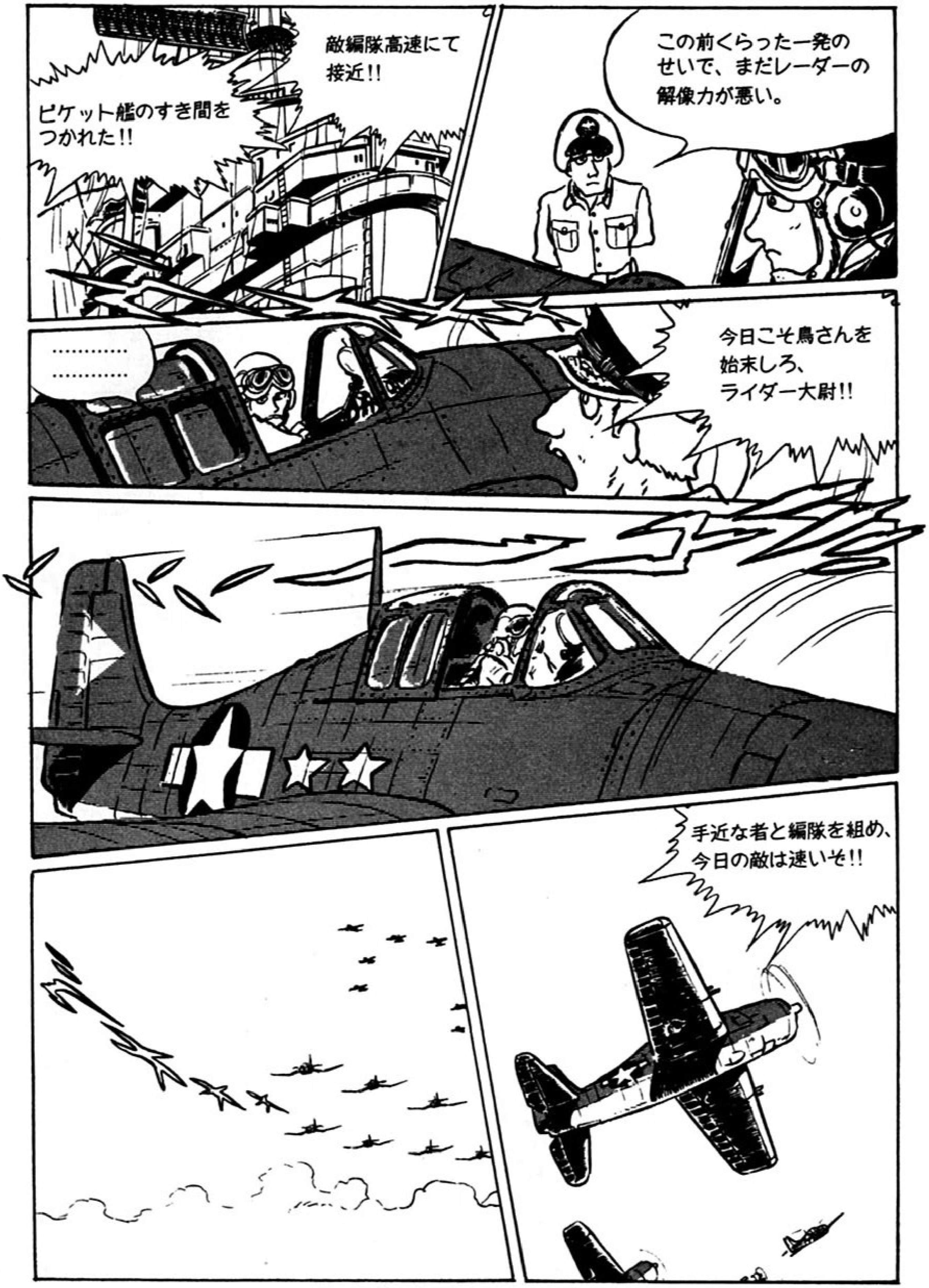
物理的!?
腕が同じなら
いい飛行機に
乗っている方が
生き残る。
旧式な
九九艦爆
九七艦攻は
やられて、
新型の天山と
流星はなんとか
帰ってきた………
もう人間の
腕で飛行機を
あやつる時代は
終わろうとして
いるのかもなあ、
さびしいなあ
森よ。
F6Fが
大馬力の
エンジンと
数とで日本機を
圧倒しているからなあ。
ヘタクソでも
いい飛行機に
乗って
何度か空戦で
生きのびれば、
歴戦の勇士に
変身するから
なあ。
おれたちも
逃げ方
うまくなった
もんね。
でも
あいつらは
逃げ方を
知っている
だろうか!?
さあ
なあ。
おぼえる
暇もない
かもなあ
………

やれやれ一週間敵がこなくてさいわいだと思ったら…
こわれたがな。
新米が四機もこわしてしまいよったか!!
なんぼあってもたらへん。
グラマンだ!
F6Fやがな!
偵察にきやがったな!

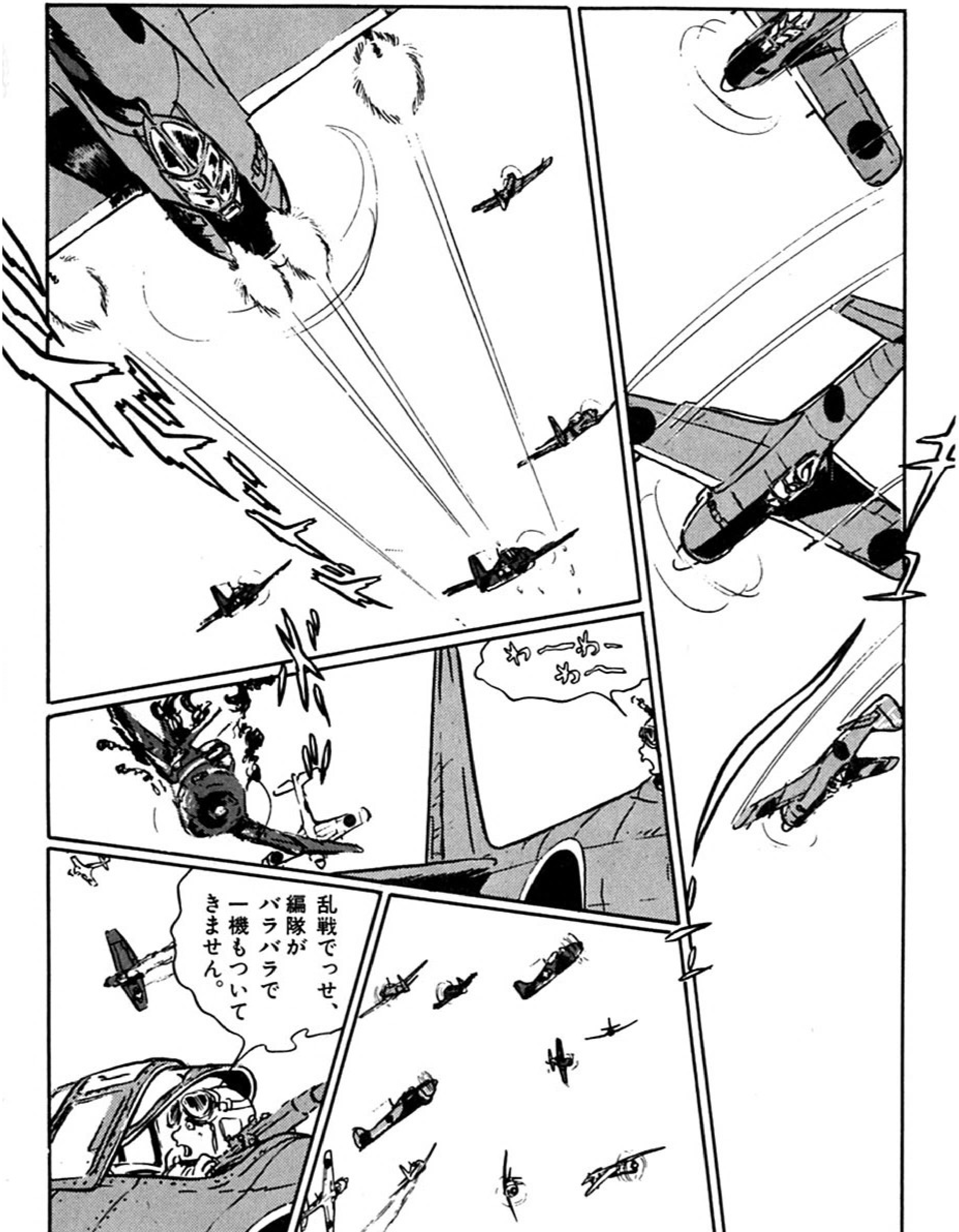

!!
逃げろ！
うわー!!
あいつ、いつか道連れにしてやる!!
やろってめー!!
うわ〜

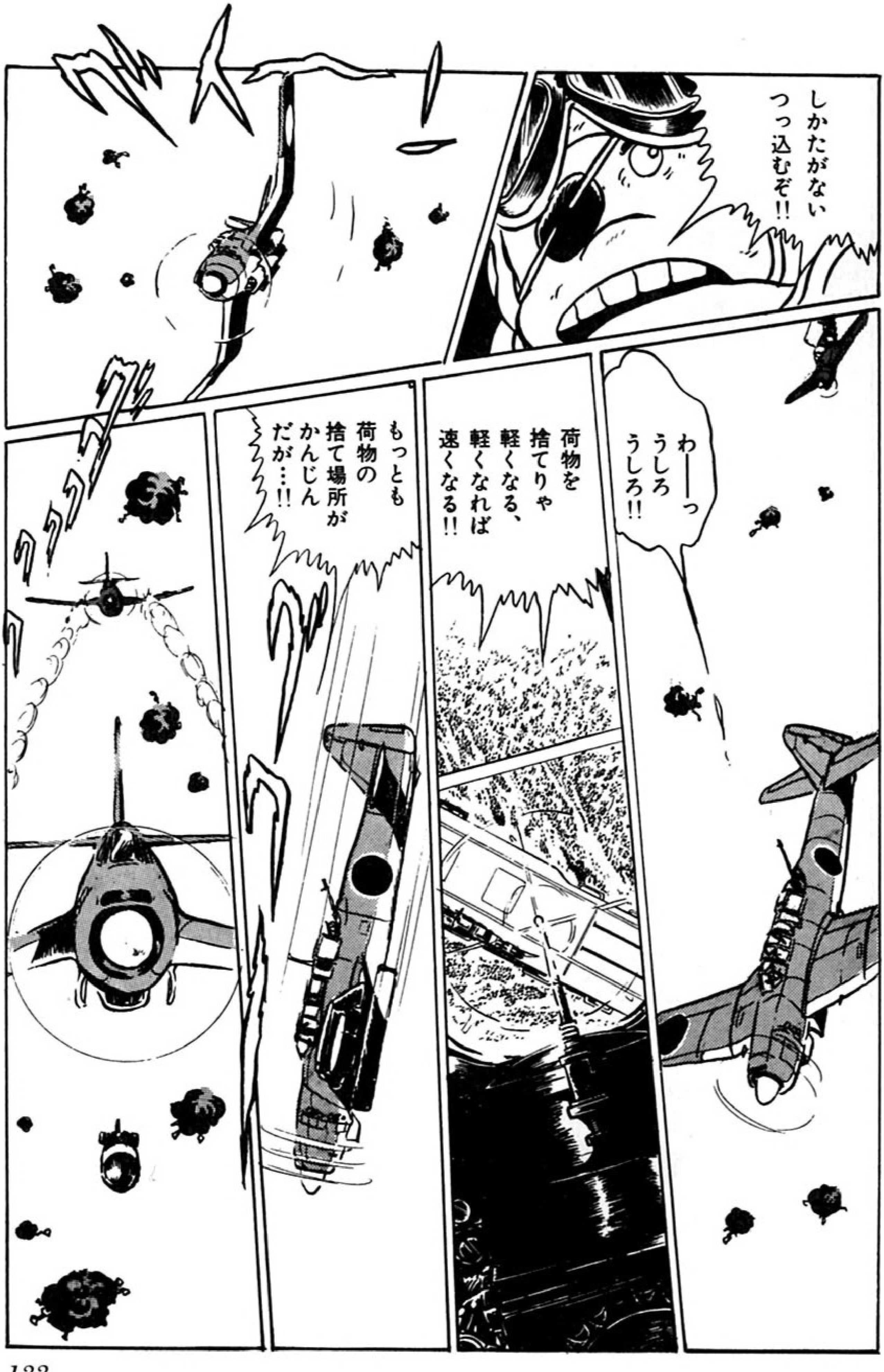
生きてるかバーカ!
出撃だ!
え!
あれに陸軍の新司偵がくいついていった。
送り狼になって、おれたちがついて行くんだ。
そんならいうことない。今の奴にくいついてかじり殺してやる!!
行くぞ!!
と勇ましく出たが、
なんだか編隊がフラフラ不安定だ、ムチャクチャだ。
新米ばかりだからしかたがありまへんで。

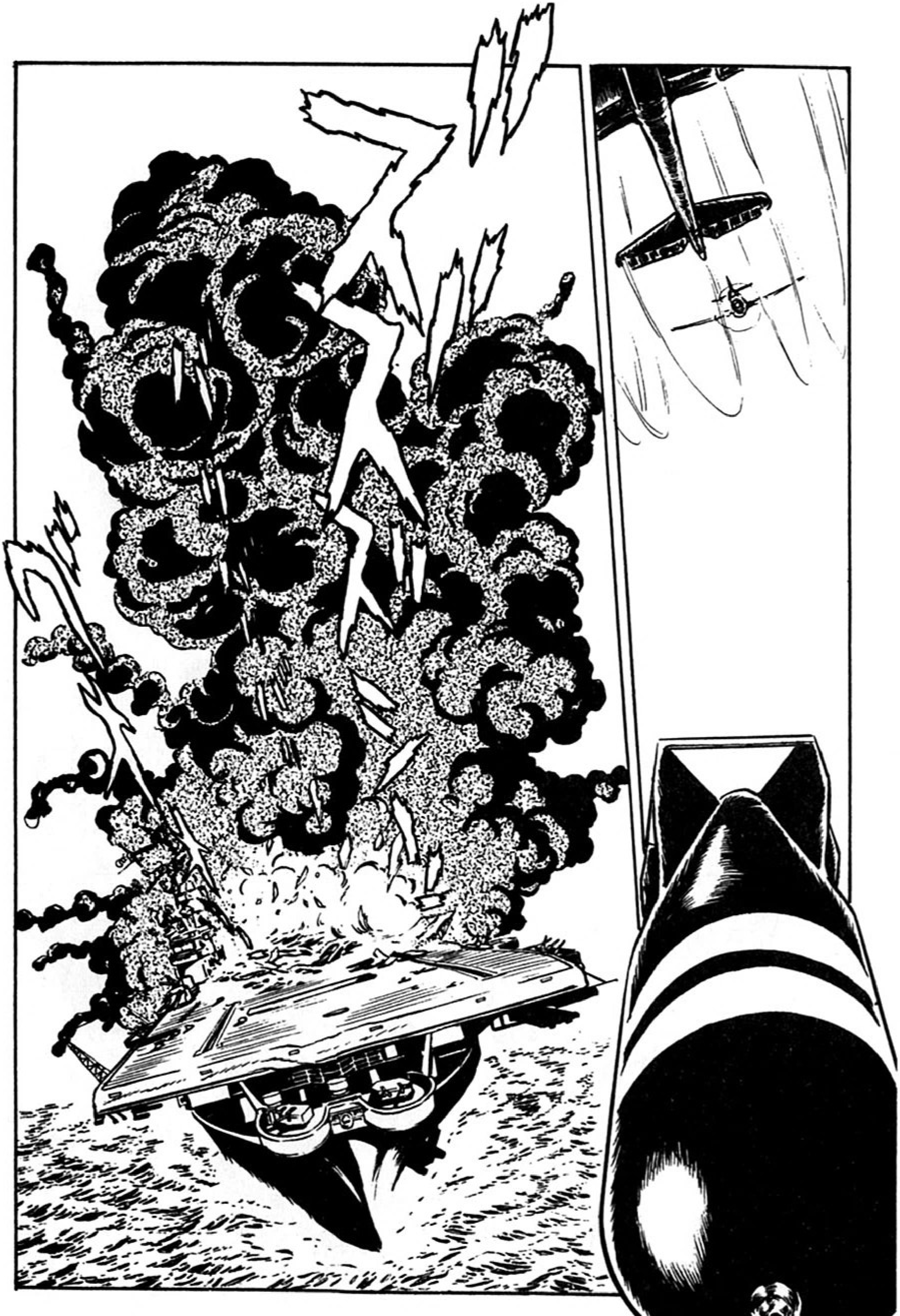

今日の直衛はなんと陸軍機か!!
ジグザグに上を飛んでるな。
四式戦か……こっちよりもさらに高速なんだ。あれはグラマンより速い。
怪鳥の写真は撮ったぞ、7機いた。
その怪鳥はじきにくる。
偵察機がおまえをつけてきた。

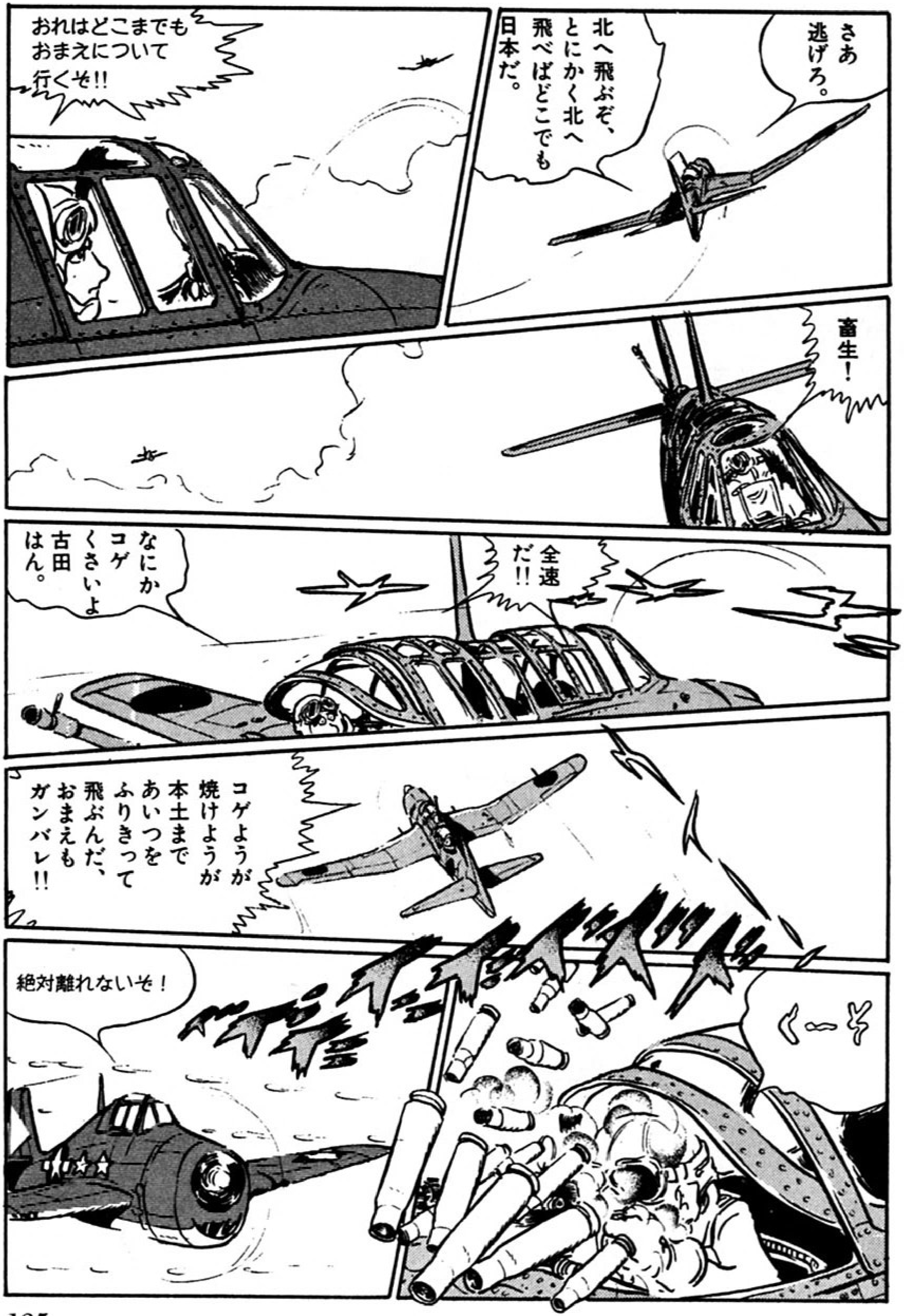

敵編隊高速にて
接近!!
ピケット艦のすき間を
つかれた!!
この前くらった一発の
せいで、まだレーダーの
解像力が悪い。
今日こそ鳥さんを
始末しろ、
ライダー大尉!!
…………
…………
手近な者と編隊を組め、
今日の敵は速いぞ!!

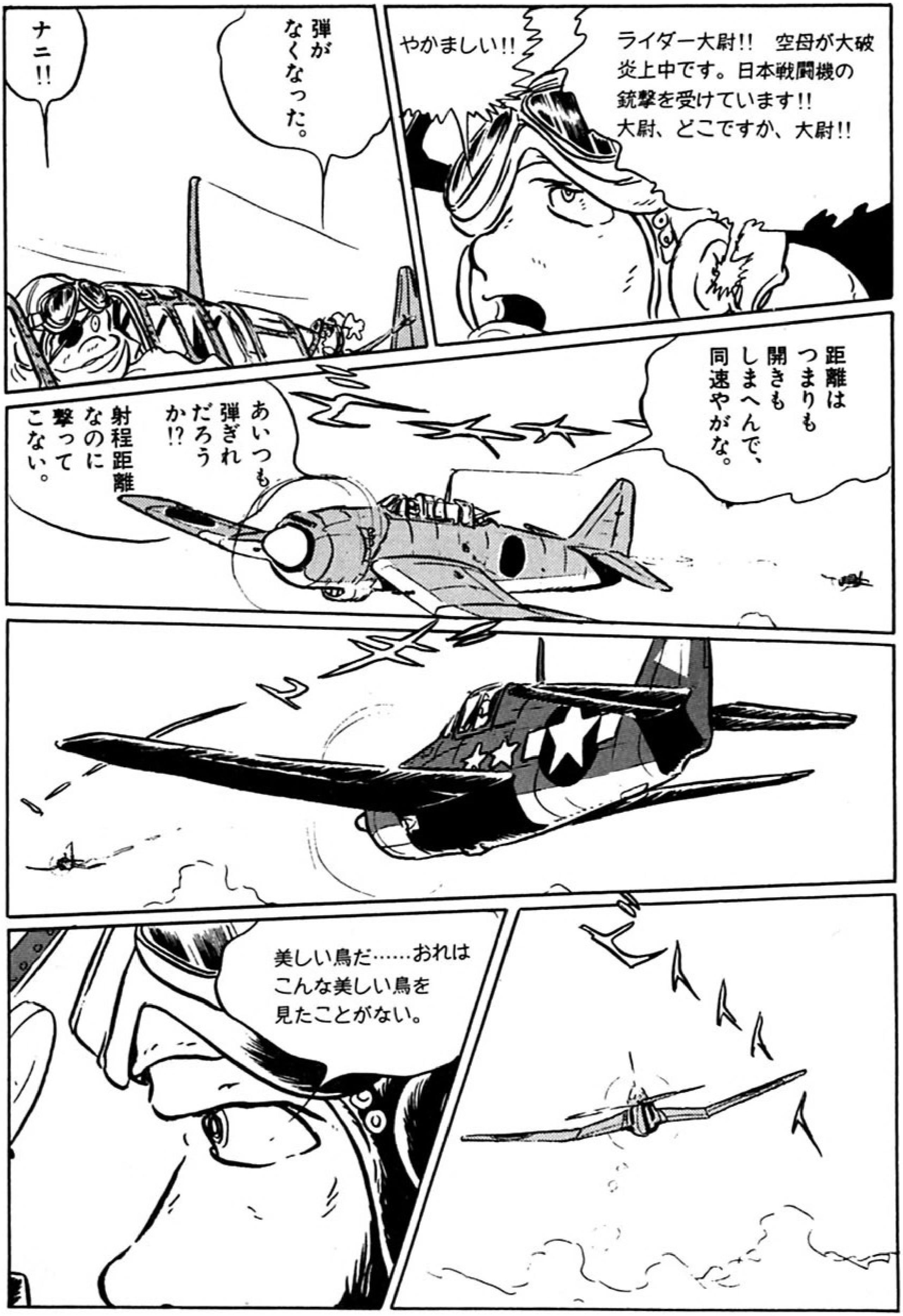
左前下方2,000、日本機!!
高度差500、われわれの方が高い!!有利だ!!
行くぞ!!
上だ、森、かぶられたぞ!!
うわー四式戦が上へ逃げて行く。
あれしかないんだ、やられてしまう!!
上昇力にモノをいわせてグラマンをいったんふりきってから暴れ込むんだ!!
大馬力の強力な四式戦だからできることで、ゼロ戦だとあのマネは無理だ。
戦闘機にかまうな!!艦攻を狙え!!


わーわー
わ〜
乱戦でっせ、編隊がバラバラで一機もついてきません。

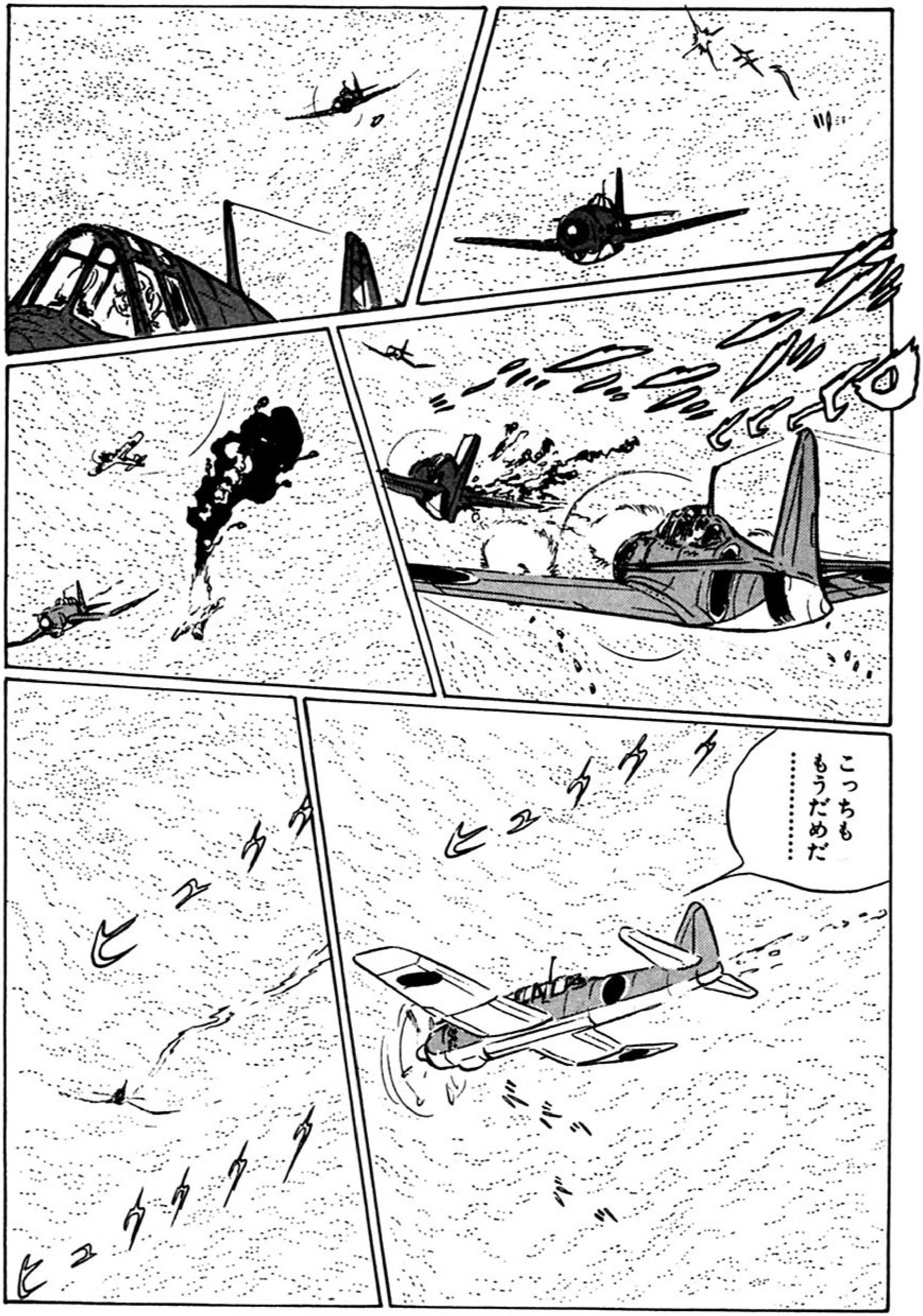

しかたがない
つっ込むぞ!!
わーーっ
うしろ
うしろ!!
荷物を
捨てりゃ
軽くなる、
軽くなれば
速くなる!!
もっとも
荷物の
捨て場所が
かんじん
だが…!!




さあ逃げろ。
北へ飛ぶぞ、とにかく北へ飛べばどこでも日本だ。
おれはどこまでもおまえについて行くぞ!!
畜生!
全速だ!!
なにかコゲくさいよ古田はん。
コゲようが焼けようが本土まであいつをふりきって飛ぶんだ、おまえもガンバレ!!
絶対離れないぞ!
くーそ

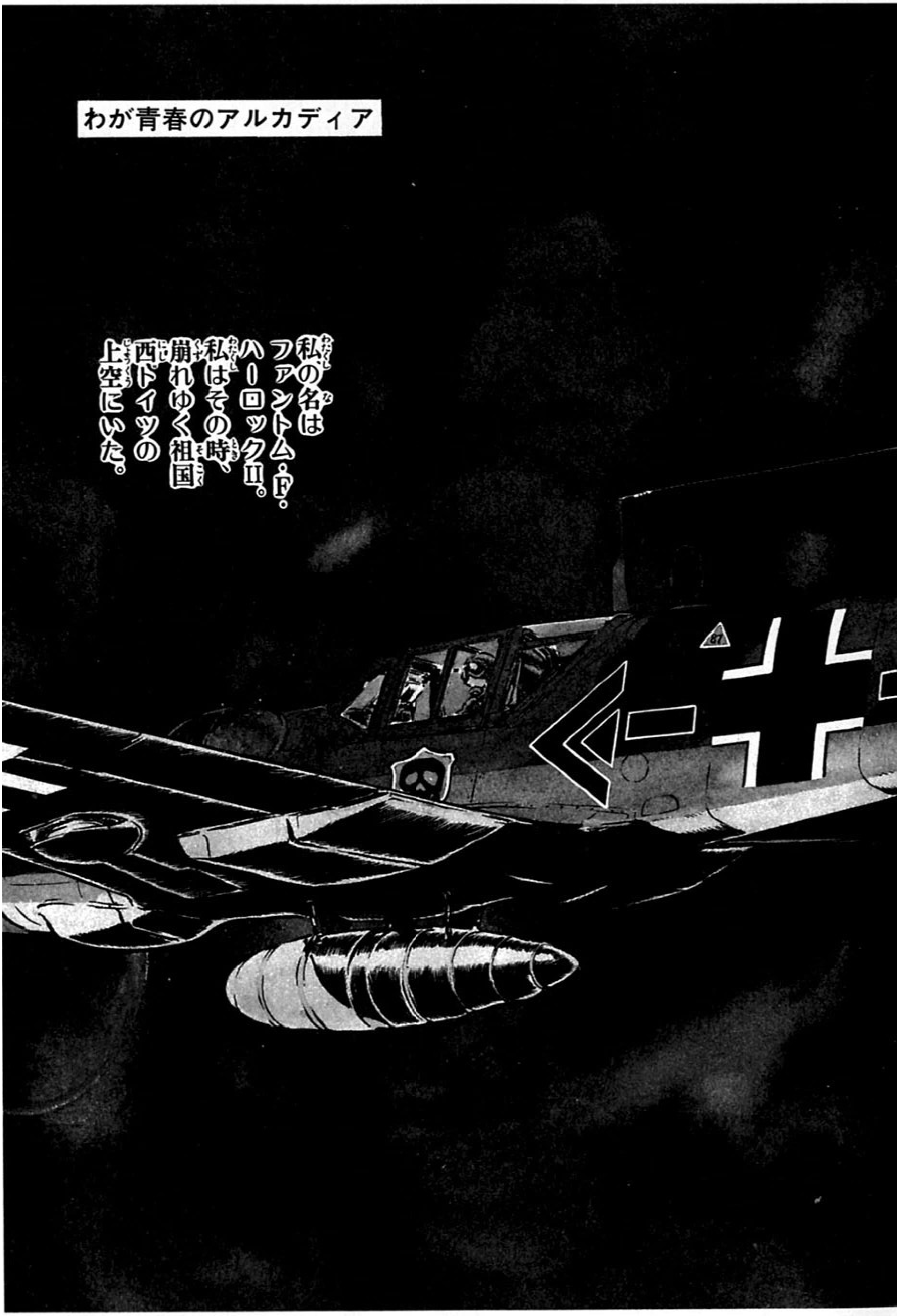

ライダー大尉!! 空母が大破炎上中です。日本戦闘機の銃撃を受けています!! 大尉、どこですか、大尉!!
やかましい!!
弾がなくなった。
ナニ!!
距離はつまりも開きもしまへんで、同速やがな。
あいつも弾ぎれだろうか!?
射程距離なのに撃ってこない。
美しい鳥だ……おれはこんな美しい鳥を見たことがない。

まるで過去か未来から
飛んできた幻の鳥のようだ
……………………
海岸線です。
しかたがない。奴があきらめるまで北へ飛ぶぞ!!
美しい…………
なんて美しい姿だ!!
日本アルプスを飛び越えてしまう。


こっちも
もうだめだ……
ヒュウウウ

なぜ単機で艦載機があんなに本土の奥深くはいってきたかわかりません。
ただ、自分も流星の後ろ姿を見て……そうなにか神秘的な美しさを感じました。
手をふれてはならない幻の鳥のような気がして……
F6Fのパイロットもそんな気がしてみとれていたのかもしれません………
少なくともあれは敵機を撃つために追う戦闘機ではありませんでした。
美しい飛行機です、流星は……
その流星に乗って大ぜい死んだ………
結局………一機も帰ってこなかった…一機も……
みんな流星に乗って鳥のようにどこかへ行ってしまった……

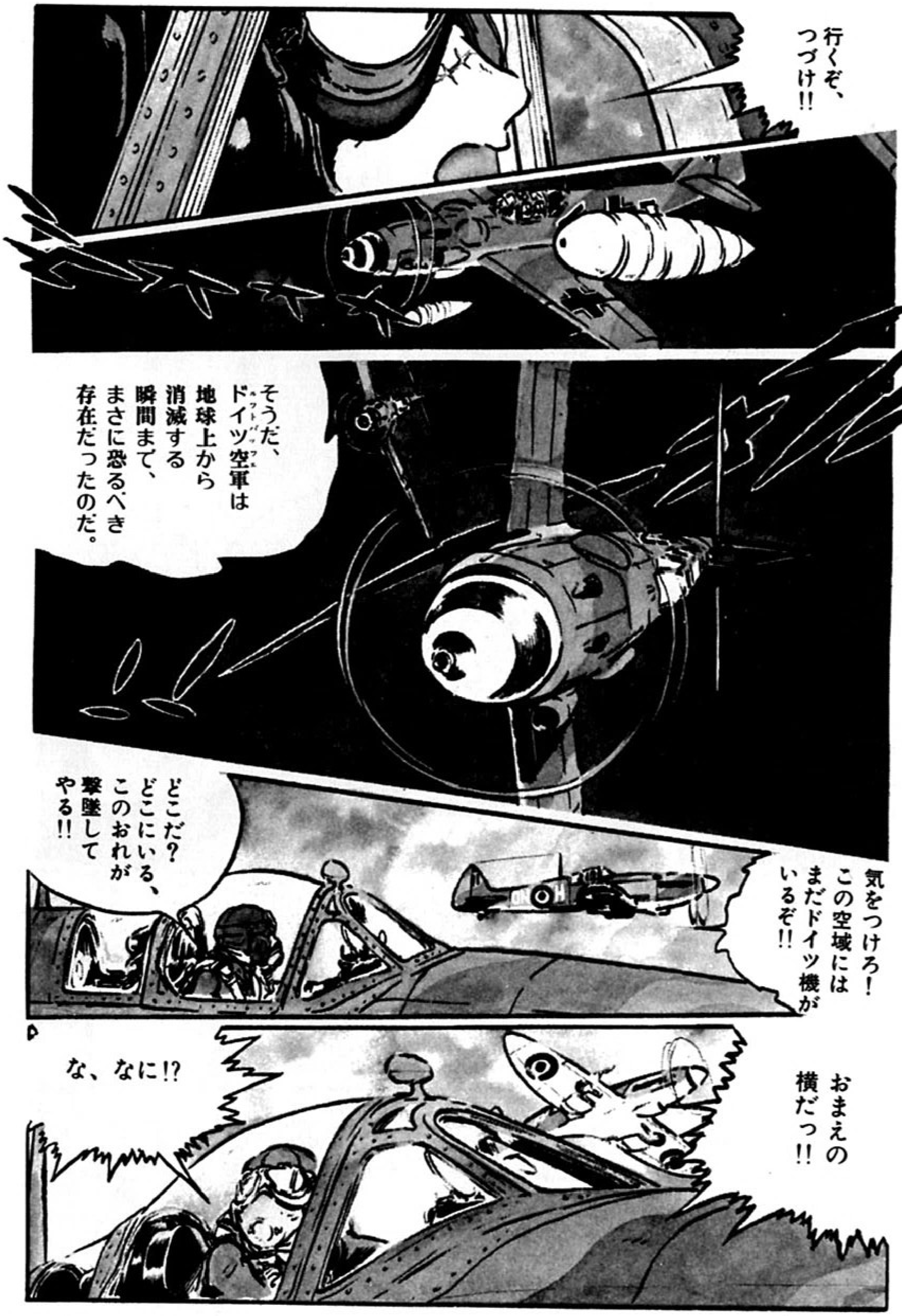
■「ビッグコミックオリジナル」1976年３月20日号掲載


わが青春のアルカディア
私の名は
ファントム・F・
ハーロックII。
私はその時、
崩れゆく祖国
西ドイツの
上空にいた。

わが青春（せいしゅん）のアルカディア

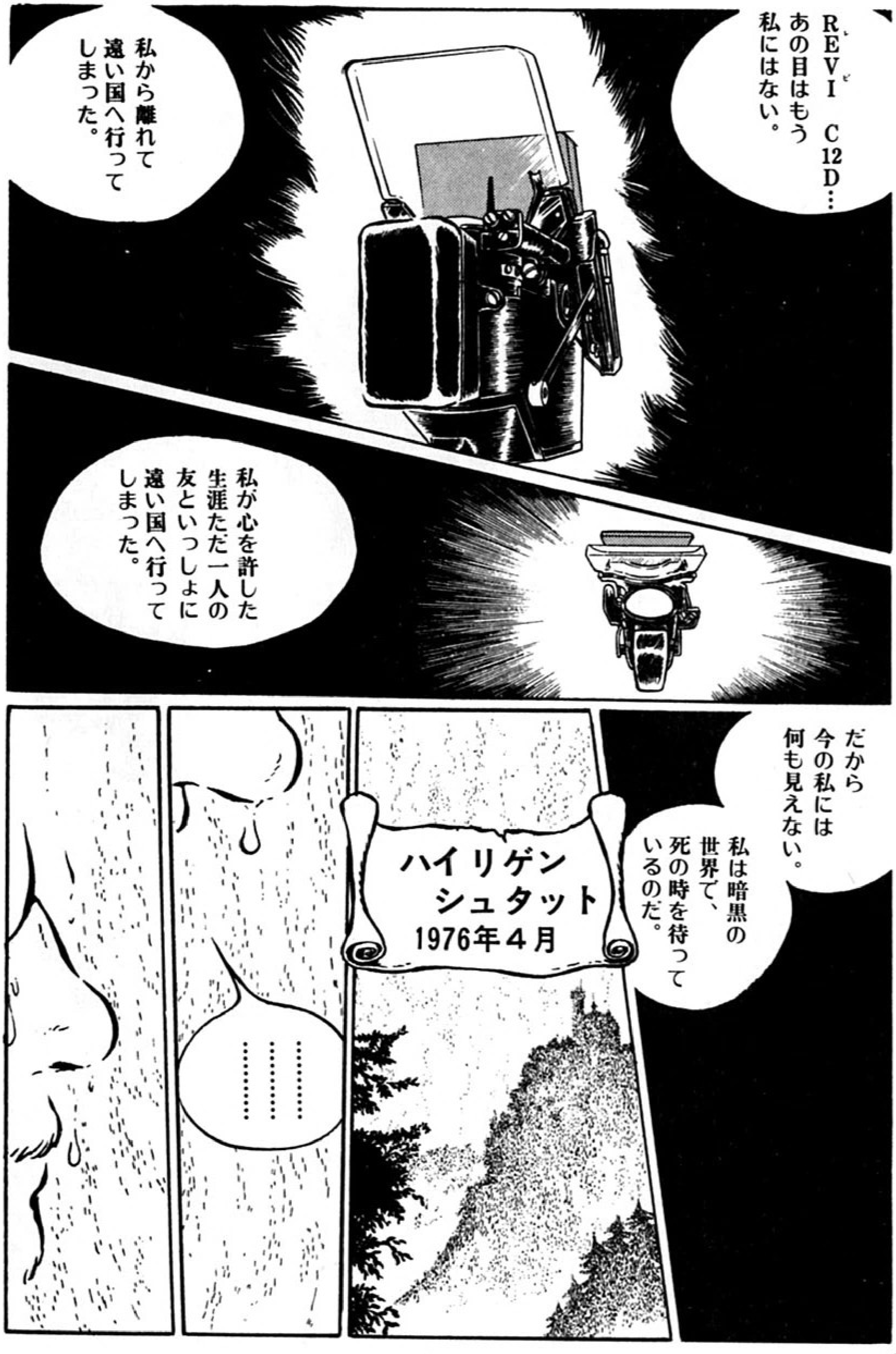
ドイツは、燃え上がる地獄の炎の中で
力尽きようとしていた。
永遠に
許されないだろう
数多くの
人の命を
道連れにして
ドイツは
敗れた。
だが、私自身は
いまだかつて一度たりとも
敗れたことはない。
胸を張ってそれを断言できる
ことを誇りに思うのだ。

私の名はファントム・F・ハーロックII。
私の体には親の代からのパイロットの血が流れている。
私にとってはただ一度の生涯…その命にパイロットの血を流してくれた神に私は感謝している……
!
右前方同高度!!スピットファイアだ!!


行くぞ、つづけ!!
そうだ、ドイツ空軍は地球上から消滅する瞬間まで、まさに恐るべき存在だったのだ。
気をつけろ！この空域にはまだドイツ機がいるぞ!!
どこだ？どこにいる、このおれが撃墜してやる!!
おまえの横だっ!!
な、なに!?

ドクロの盾……あれはハーロックの『わが青春のアルカディア号』……
東部戦線からアフリカ戦線まで幻のように駆け抜けたメッサーシュミットのエース！

スピットファイアは
燃えた。
光像式電影照準器の中で
爆発し、四分五裂し
そして墜ちていった……
REVI C12D
電影照準器……
そうだ、あれは
私の目だった。
あの目の中で
私の敵は燃え
とび散り
大地へ消えて
いった。
私の目も
私の心も、敵に
哀れみを感じた
ことはない、
一度もない……
なぜなら、
これが戦いなのだから……
哀れみを敵におぼえる
ぐらいなら、はじめから空に
駆け上がらなければ
いいのだ。
この信念が不敗の記録を
つくったのだと、私は
今でも信じている。



REVI C12D…
あの目はもう
私にはない。
私から離れて
遠い国へ行って
しまった。
私が心を許した
生涯ただ一人の
友といっしょに
遠い国へ行って
しまった。
だから
今の私には
何も見えない。
私は暗黒の
世界で、
死の時を待って
いるのだ。
ハイリゲン
シュタット
1976年４月
…………

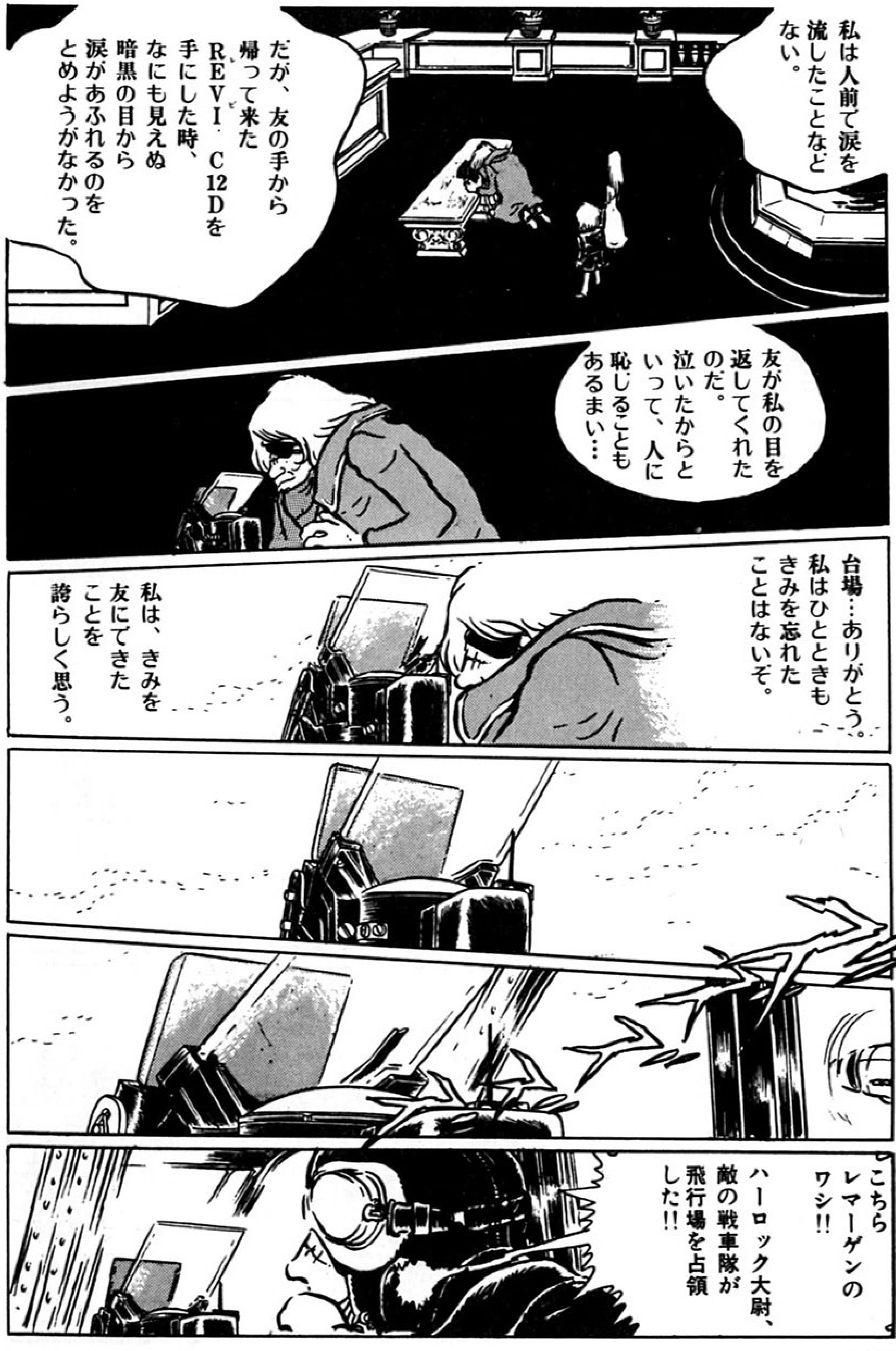
おとうさん
ぬれるわ、
中へはいり
ましょう。
………
それに
お客さんが
おみえに
なってます。
私は
だれにも
会いたく
ない。
帰って
もらってくれ、
一人にしといて
くれ。
私は今、
思い出に
ふけって
いるのだ。
もう少しで
親友が出て
くるところ
だった。

!!
だれだ、そこにいるのは!?
その男はだれだ!?
………………
なんだ、これは……
!!
これは…
まさか……

いや、これは確かに……
私の目だ!!
そうだ、確かに私の目だ!!
アウトバーンに不時着した時の傷がここにある!!
これはREVI C12Dだ!!
若い時のおれの目だ!!
きみはだれだ!?
どうしてこれを!?

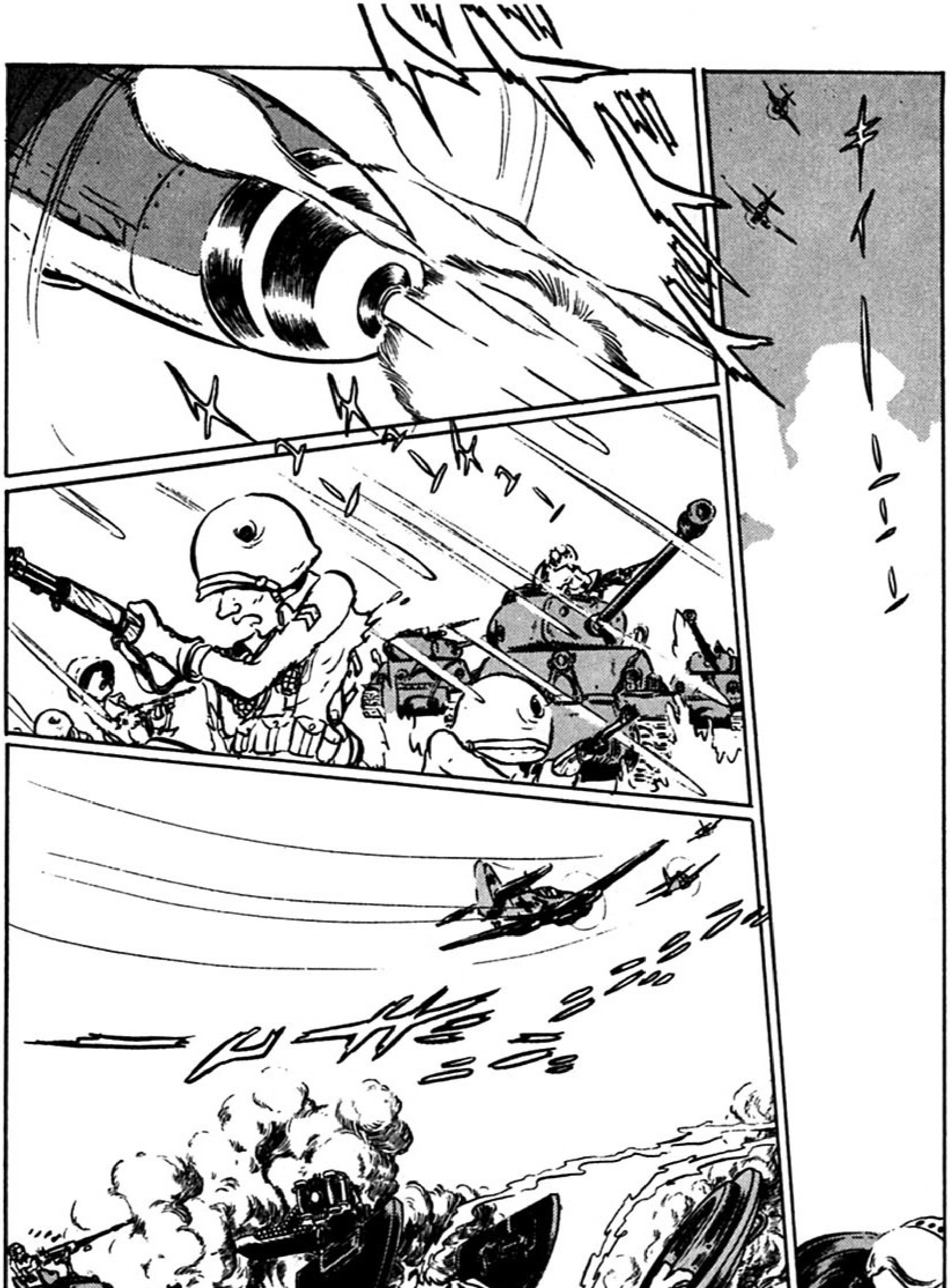
…………
ダイバ……
きみは台場か!!
台場、生きていたのか!!
…………
まてよ、おかしい…
おまえは年をとっていない!!
あれからもう三十年もたっているのにおまえは昔のままだ。

しかし…確かにおまえは台場だ。
おれの友だ!!
台場元は去年、死にました。
ぼくは息子の進です。
ススム…息子……
台場は死んだ…
あの台場は死んだのか!!
去年。
父は死ぬ時、ドイツへ行く機会があったら、これをハーロックさんに……
返せといいました。
ファントム・F・ハーロックII大尉に必ず返せと………
去年まで生きていたのか……!!
会いたかったなあ………
話をしたかったなあ………


私は人前で涙を流したことなどない。
だが、友の手から帰って来たREVI・C12Dを手にした時、なにも見えぬ暗黒の目から涙があふれるのをとめようがなかった。
友が私の目を返してくれたのだ。泣いたからといって、人に恥じることもあるまい…
台場…ありがとう。私はひとときもきみを忘れたことはないぞ。
私は、きみを友にできたことを誇らしく思う。
こちらレマーゲンのワシ!!
ハーロック大尉、敵の戦車隊が飛行場を占領した!!

くり返す！
米軍戦車隊が
わが飛行場へ
突入した！
ここへは
もどるな!!
戦車の数は
三十両…いや
もっと多い!!
歩兵も
見える。
ここは……
……
……
こちら
スパンダウ中尉、
燃料が切れます。

航続距離の短いスピットファイアがここに現れたんだ。
ここらが敵の手におちるのは時間の問題だった。
米軍の虎の威を借るキツネみたいなスピットファイアがドイツ本土の奥深くはいってきたんだ。
悲しいなあ。
アウトバーンの非常燃料補給大隊のところへ降りる。
航続距離に関しては、このメッサーシュミットもスピットファイアと似たようなもんだからな。
だが、基地を奪われて、黙って逃げるおれではないぞ。
おれはハーロック、まだ負けたつもりはない!!
こちらリトルビックホーン、ウーデットニーへ!!飛行場は占領した。ナチは腰を抜かして逃亡したぞ。ウイスキーを持ってこい。



一時間前に飛び立った自分の基地を銃撃するなんて、考えてもみなかったな、スパンダウ。
変な気分ですよ、ハーロック大尉。
あそこだ、降りるぞ!!
アウトバーン…平時は高速道路として、戦闘非常時には、機甲部隊の進撃路や戦闘機の滑走路として使用するアスファルトの線。
だが、そこへ降りるのはその時がはじめてだった。私の基地を奪われることなど、考えてもみなかったからだ。

弾痕がある、気をつけろ!!
あまりバウンドさせるとあぶないぞ!
といってる張本人が……!!
くそ主脚が折れた!
ハーロック大尉!!

火が出るぞ、早くしろ!!
まて!!
こいつだけははずして持ってぃかなければ…
そんなものまだ予備があるだろう。
ばかをいえ!これは、おれがメッサーシュミットに乗って以来、ずっといっしょに飛んだ照準器だ!
これはおれの目だ!
バトル オブ ブリテンでも、東部戦線でも、サハラの上空でも、
いつもおれの目だった。

おれとした
ことが…
おまえの機体は主脚の材質が悪くて折れたんだ。おまえのせいではない。
品質の良さを世界に誇るドイツ製品も、今では見るかげもない。
きさまはだれだ!? ドイツ人じゃないな!!
台場元、日本から潜水艦できた。
パイロットか、潜水艦乗りか!?
いや、材質などというところをみると、技術屋か科学者だな。
ぐじゅ
そのとおり、技術交換できた。おれは光学機械メーカーの設計者だ。
技術交換だ!?
ドイツが日本に学ぶものはなにもないぞ。学ぶのはきみたちの方だけだ。

日本の戦闘機があれば、ドイツ空軍はバトル オブ ブリテンの空戦を中止したために、敗北の汚名をきることもなかった。
二万キロにわたる海上の戦線で、日本機はドイツ機の十倍以上の航続距離をもって戦っている。
プライドが高いな、きみはサムライの家系か!?
おやじは百姓だ。
飲むかね!? とにかくきみは命の恩人だ。
酒ならおれも持っているぞ。
愛機があんなになって残念だな。
ああ。
これで飛行機をこわしたのは二十機目ぐらいになるけど気にしたことはなかった。
いつも新しいのに乗りかえればいいからな。
だが、もうドイツにもあとがない。

あっても型が同じだというだけで、材質は劣化し、工作不良で性能は昔のおもかげもない。
日本も同じだ。エンジントラブルはしょっちゅうだし、主脚もよく折れる。
大尉、新しい機体に燃料がはいりました。
まだ飛行機があったのか。
大尉の機体マークはどうします。
かく時間がないな。
一時間あればおれがかいてやる。
これと同じにすればいいんだろう!?
敵はどこだ!?
ザルッヘンの西二百キロです。手前に機甲部隊がいて、しばらくは防いでいます。
これはなんのマークだ、おまえの家の家紋か!?
そうだ。

アルカディアの海賊騎士の紋章だ。
アルカディアの海賊騎士!?
おれの先祖は数少ないゲルマニアの大海賊だ。
キャプテンハーロック……といってな…その頃からイギリスの海賊とは殺し合いをやっていた。
おやじは第一次大戦のドイツ帝国のパイロットでな。
やはりイギリス機とわたり合った。
おやじはな、ニューギニアでオーエン・スタンレー山に三度挑戦したが……
三度目に帰ってこなかった。飛び越えられなかったのだ。
「わが青春のアルカディア号」という複葉機でな……
ARCADIA

りっぱなおやじだった。
ARCADIA
だから、いつもおれの機に「わが青春のアルカディア号」とかいている。
どこにも字は見えないぞ。
昔はそのマークの両側に文字があった。
今ではこれだけで「わが青春のアルカディア号」だと、敵も味方もわかってくれる。
しかし、それでは不親切だというもんだ。
字は苦手だがアルカディアとかいといてやる。
すまん。
なんともったいないことをするんだ。こんなことをしてドイツは長持ちしないぞ。
これとつけかえるんだ。これもそれも同じREVI C12Dだ。

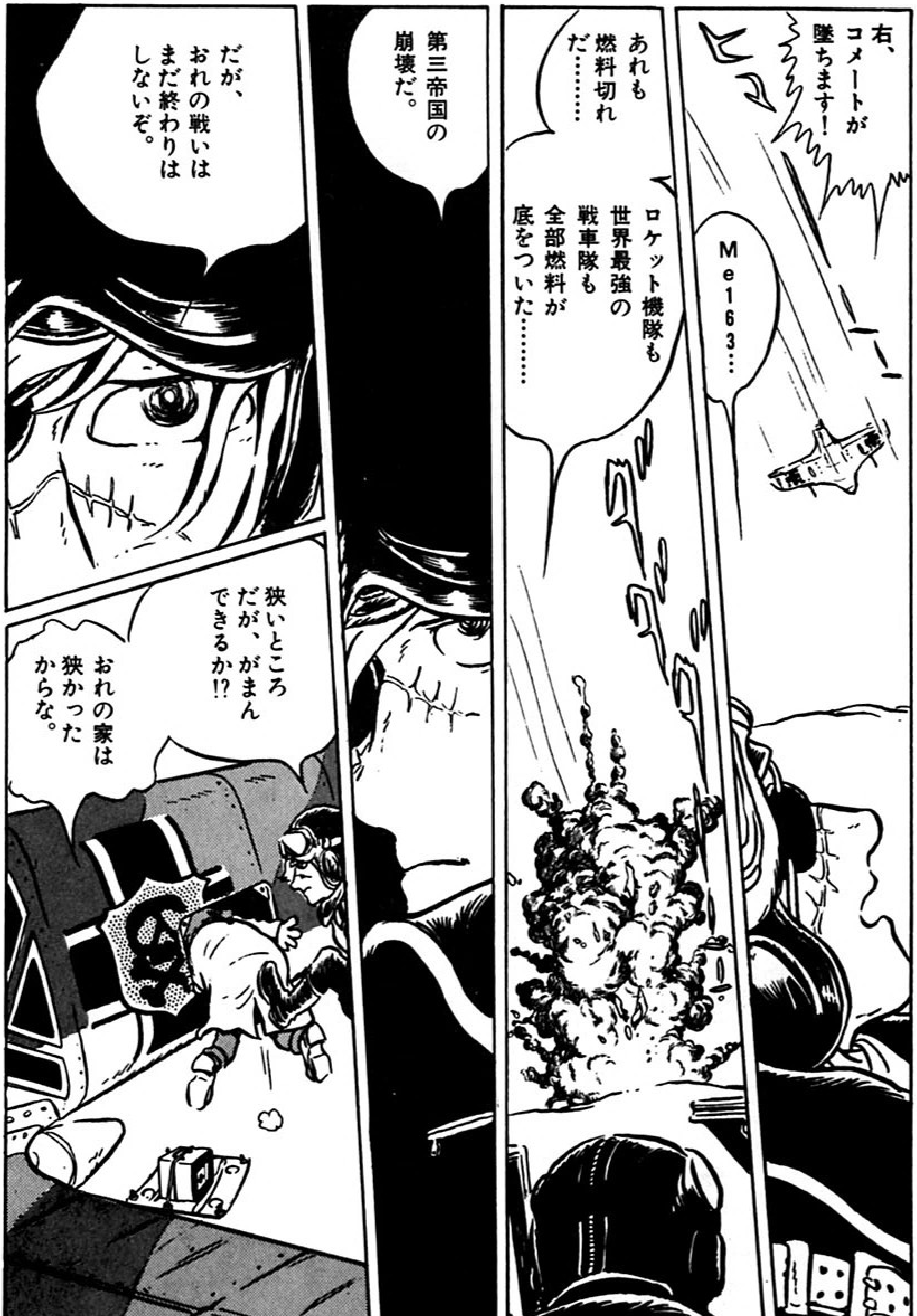
おれは照準器だけは、長年この使い慣れたものをつけかえて飛ぶのだ。
調整はどうするんだ!?
それはおれの経験がやる。
…………
おまえはそれに用があったのか、台場!?
そうだ。
新しい照準器の開発が、おれの仕事だ。
これと同じREVI C12Dは潜水艦で一個日本へ向かった。
無事着いたかどうかはおれは知らない。
おれは日本が負ける前に、ドイツの照準器を持ち帰り、よりすぐれた新照準器をつくるつもりだ。
電子計算機を組み込んだ自動修正追尾式光像式電影照準器だ。

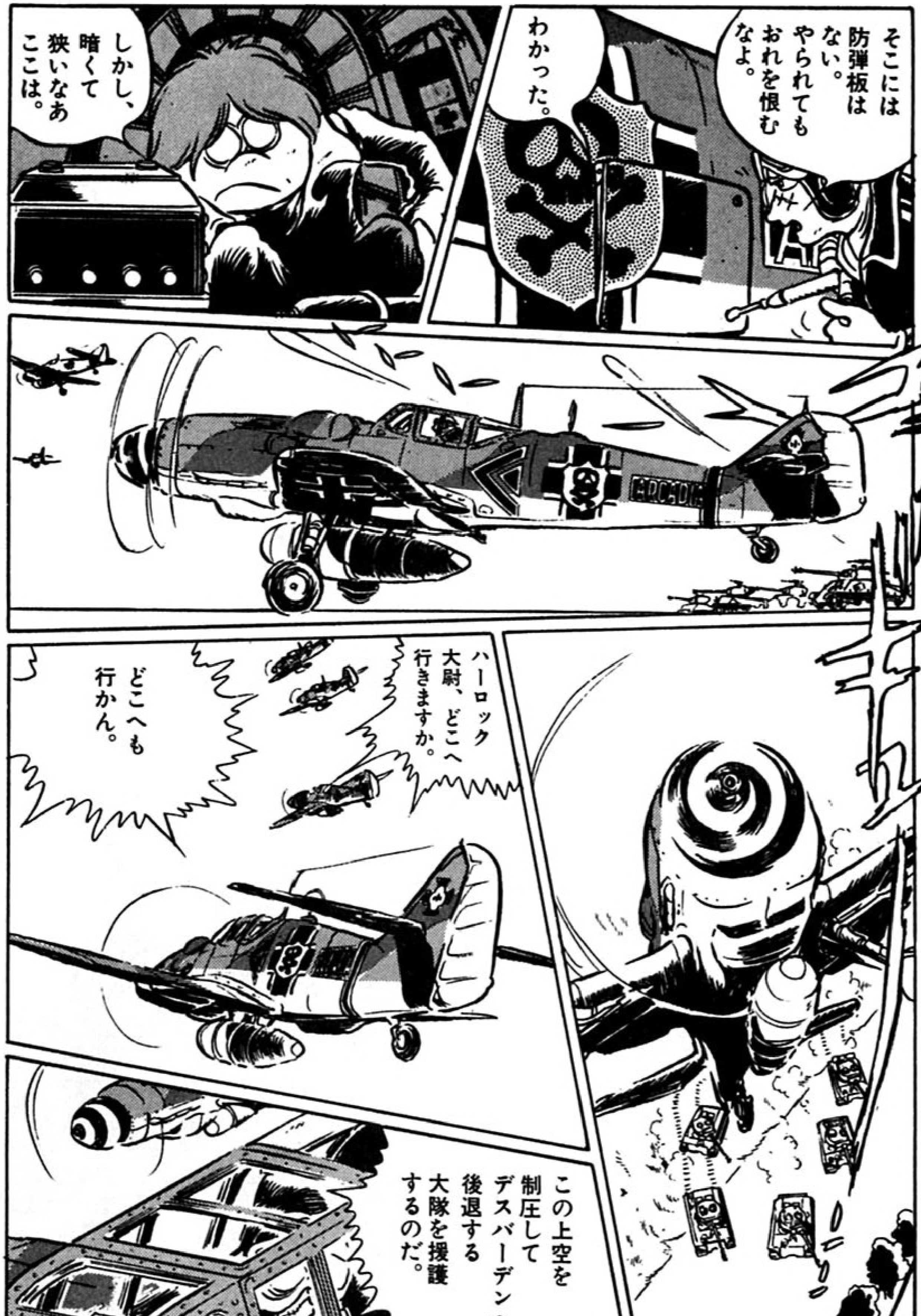
おまえは日本も負けると思っているのか!?
時間の問題だ。
………………
だがおれはやるだけのことはやる。
やるだけのことをやって負けたって、おれの責任ではあるまい。
とはいっても、どうせやるんだったら、もっと先の明るい仕事をやりたかったよ。
できたぞ。
ARCADIA
おまえ、負けて失業しても模型飛行機の色ぬりでくっていけるぞ。
そうかね。
尾翼の撃墜マークはどうする!? もう時間がないよ。
おまえの好きなものをかいてくれ。

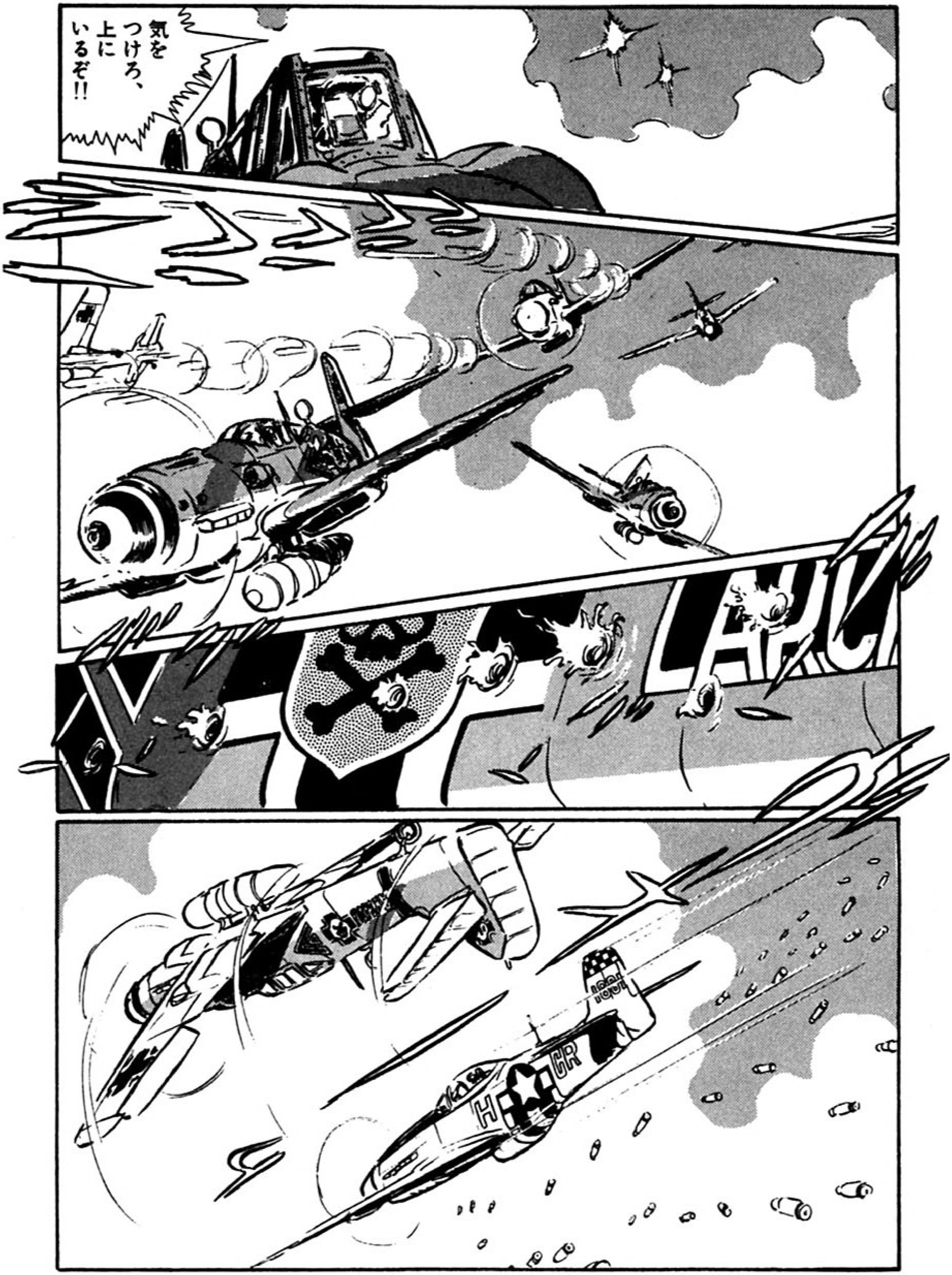
いいんだな、おれの好きなものをかいて!?
……………
い、いい……いい、一度いいといったのだから、いい。
そうか、泣くなよハーロック。
これじゃいくらなんでもまずいよなあ。
そう思う。
これもダメだなあ。
チャイコフスキー
ベートーベン
おれもそう思う。
これでどうだ。
うん、いいデザインだ。
しかし、真ん中のはなんだ。
サムライの刀のツバだ。
こいつはこわすなよ。
もうあとがない。大事にするよ。

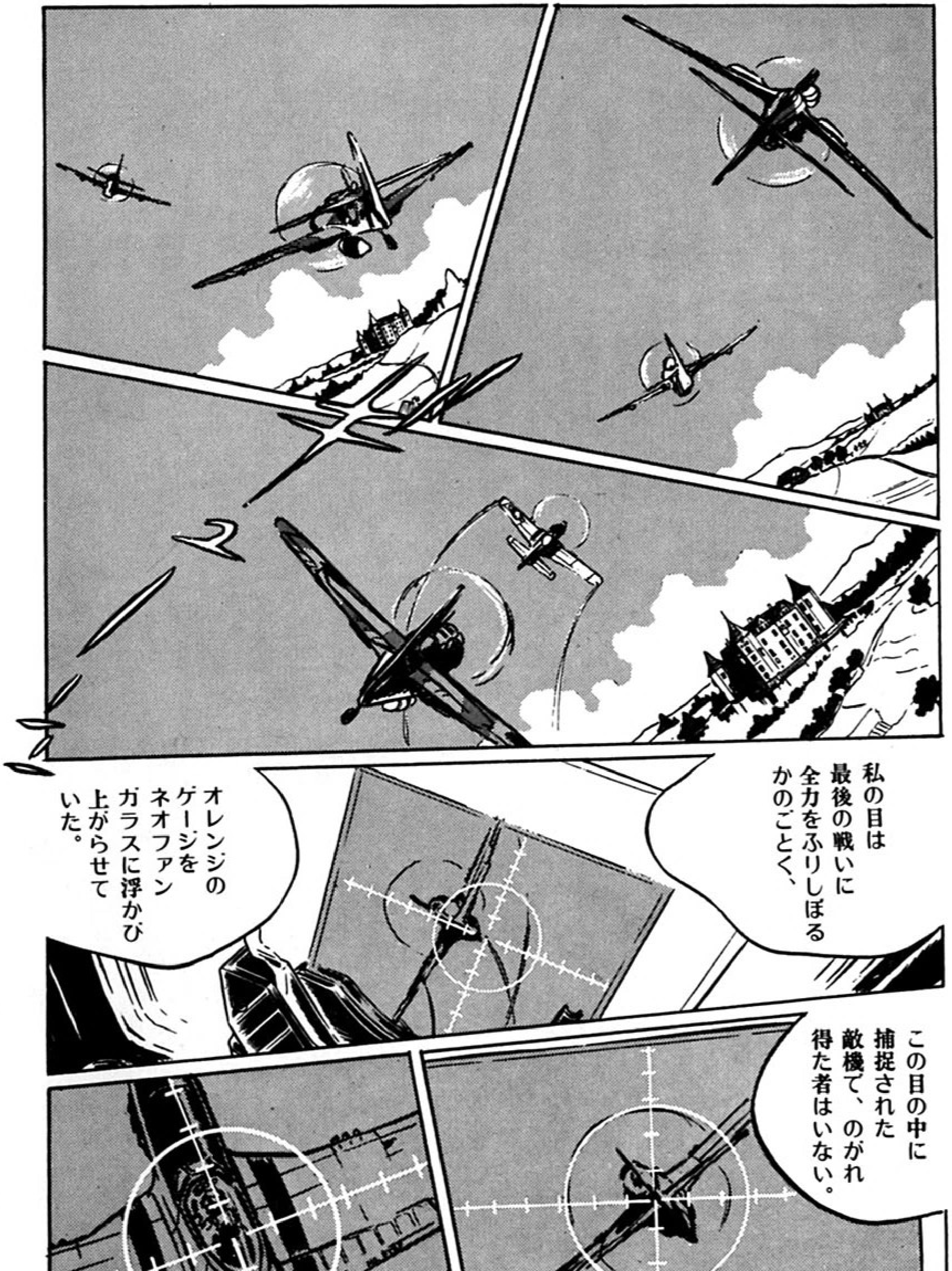
ズズーン
ゴゴゴゴゴ
奇襲されました。グスタフホーフから敵が迂回して……!!
くそ、おれの基地を襲った戦車隊だ!!
エナーシャ、回せ!始動急げ!!かかったらすぐ離陸するぞ!!
ヤ…!!

飛べるのは全機離陸するぞ!!
補給大隊は後方のデスバーデンまで行け!
いいかっ、増槽は土壇場まで落とすな!もう燃料がないんだぞ!
台場、どうした早く行け!
ここはドイツ、おれは日本人。もうおれの行く場所はどこにもない。
大隊とデスバーデンへいっしょに行けばいいじゃないか。
デスバーデンの向こうにはソ連軍が迫っている。
ドイツ軍ももう終わりだ。
………
………


右、
コメートが
墜ちます！
Me163…
あれも
燃料切れ
だ………
ロケット機隊も
世界最強の
戦車隊も
全部燃料が
底をついた………
第三帝国の
崩壊だ。
だが、
おれの戦いは
まだ終わりは
しないぞ。
狭いところ
だが、がまん
できるか!?
おれの家は
狭かった
からな。


そこには防弾板はない。やられてもおれを恨むなよ。
わかった。
しかし、暗くて狭いなあここは。
ハーロック大尉、どこへ行きますか。
どこへも行かん。
この上空を制圧してデスバーデンへ後退する大隊を援護するのだ。

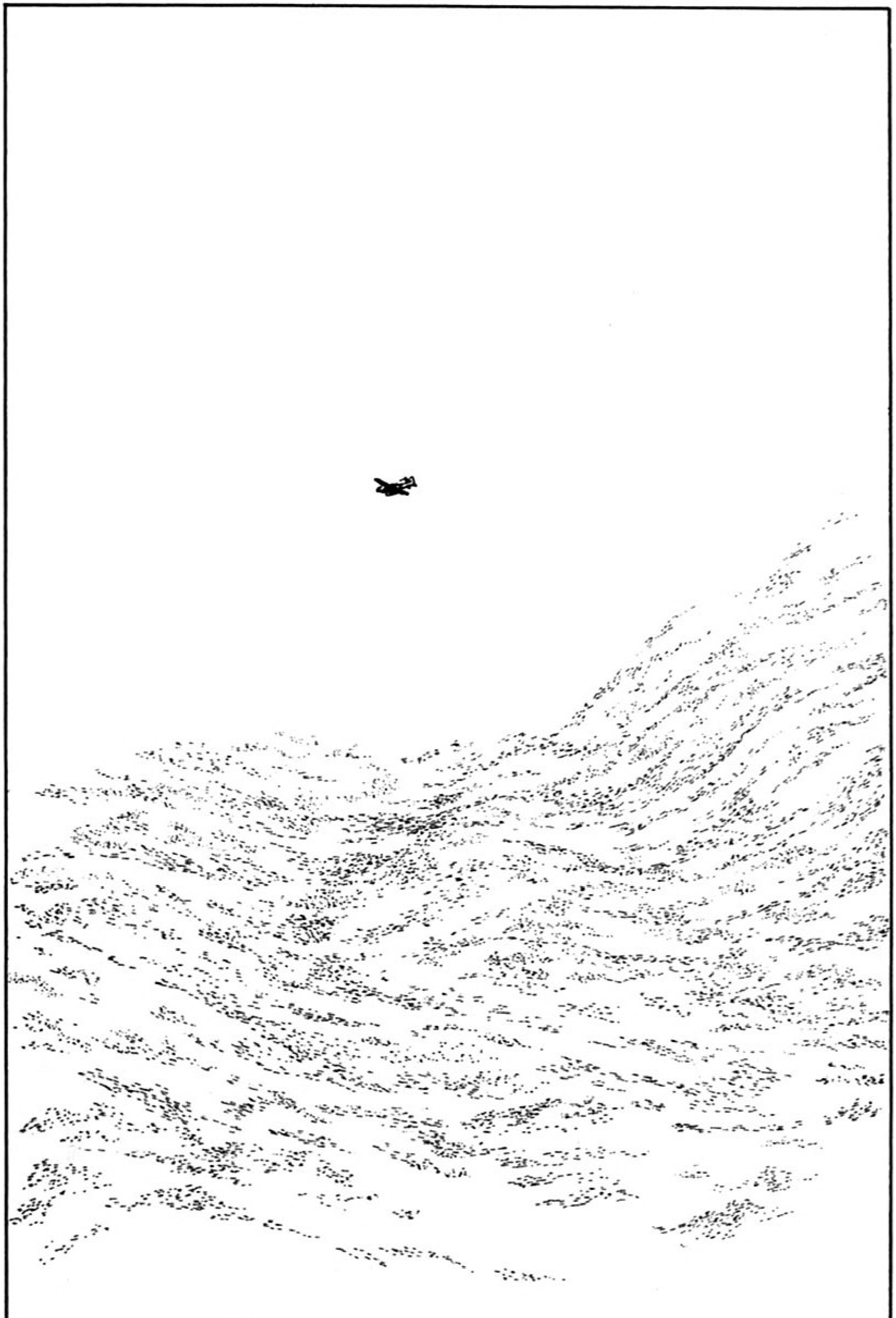

気をつけろ、上にいるぞ!!


私の目は
最後の戦いに
全力をふりしぼる
かのごとく、
オレンジの
ゲージを
ネオファン
ガラスに浮かび
上がらせて
いた。
この目の中に
捕捉された
敵機で、のがれ
得た者はいない。

サイトの中で
敵機はのたうち、
私の銃弾を浴びて
ひきさかれ、
ジュラルミンの破片と
メタノールとガソリンと
…そして、血を
空中にふりまきながら
墜ちて行った。
これが
戦いだ。
台場、
大丈夫か!?
ああ、
おかげで
外が見える
ようになった。
横から
くるぞ、
横から!
ARCADIA

わかった。
おかしいな、昇降舵の手応えが変だ。
台場、昇降舵のワイヤーが切れかけていないか!?
なんともないよ。

そうか、するとかじ面に大穴でもあいたのかな!?
おかしな手応えだ。
経験したことのない不思議なフワフワした昇降舵の感触だな………
集合しろ、おれのそばへこい！



おれ一人になったのか……
大ドイツ空軍も今はおれ一人か……
REVI C12Dよ、なにかいってくれ。もうおれたちだけだぞ。
REVI C12D……24ボルト、20ワットの内蔵電球に照らし出された照準ゲージが、エンジンの伝える振動でかすかにふるえていた。
しかし、その時おれの目はまだ生きていた。
無限大距離に結像するゲージの向こうにスイスの山がかすかに見えていたのだ。

私はからになった増槽を拾てた。あとは両翼内と胴体の燃料だけて飛ぶのだ。
それを使い果たした時…おれの戦いは終わる。
だが、スイスまでは十分飛べるはずだった。
タンクに穴さえあいていなければ………
寄せ集めの機体……被弾の衝撃での弾痕とゆるみからガソリンは空中に飛び散り、霧となって消えていったのだ。
…………………………
最後の空戦で最大のミスを犯すとはな…………
いかに世界に冠たるドイツ製航空エンジンといえども、ガソリンがなくなれば沈黙してしまう。
それは血を失った戦士の心臓のようなものだ。
最後の標的を目前にして、
最後のアルカディア号の心臓は止まった。永久に止まった。

台場、日本へ帰りたいか!?
あたりまえだ。
おまえもアルカディアへ帰りたいだろう。
そうだ、私の帰るべきところはアルカディア……
古代ギリシアの楽園アルカディアにたとえられる森と湖のふるさとハイリゲンシュタット……
私の青春が永遠に緑の野を駆けているところ…ドイツのアルカディアハイリゲンシュタット。
旅路の終わりに、私の一族は皆ふるさとをおもう………アルカディアの海賊騎士の魂の呼び声を聞く……生きて帰れと……
あと五百メートル。
二百メートル。
五十メートル。

十メートル……
台場！
川の
向こう岸は
スイスだ、
国境だぞ！
とびおりて
走れ!!
どう
した、
台場!!

台場っ!
おまえ……!
おまえが被弾で切れかけた操縦索(ワイヤー)を体でつないでいてくれたのか!!
それで手応えがおかしかったのか!!
すまん台場!! 気がつかなかった!!
死んだわけじゃない。手がちぎれかけただけだ。

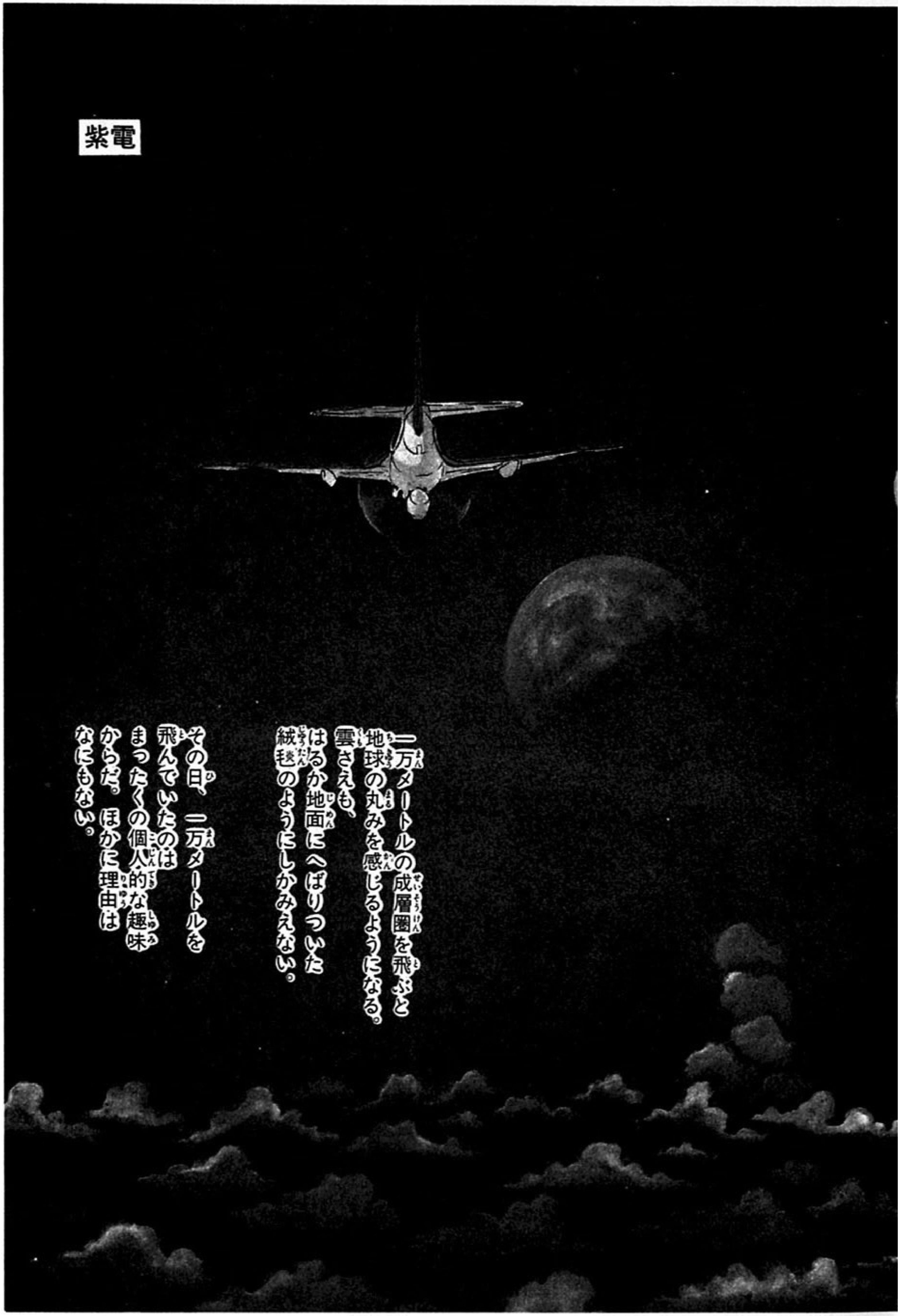
ポケットにいれといた照準器がこわれてしまった。
そうか、待ってろ台場。
ハーロック、だれかくるぞ。
あれはドイツ領へはいった抗独レジスタンスの連中だよ。
心配するな、こっち側はもうスイス領だ。おまえを追う奴はいない。
台場、これを持って行け!
これは……

おれの目だ、REVI C12Dだ。これが必要だったんだろう!?
おまえにやるよ。
おまえは!?
おれは安全地帯へ逃げ込んで、知らん顔をしているつもりはない。
必ず日本へ帰れよ。
生きのびたら、いつかはおれの家へきてくれ。いっしょに酒を飲もう。美人もいるぞ台場。
ハーロック!
おれの目だ、大事にしてやってくれ!!
ナチのブタめ、きさまのせいで何人の人間が死んだと思う!
心配するな、殺しはしない。
しかしな、ブタに我々と同じ世界を見る権利はねえ!!

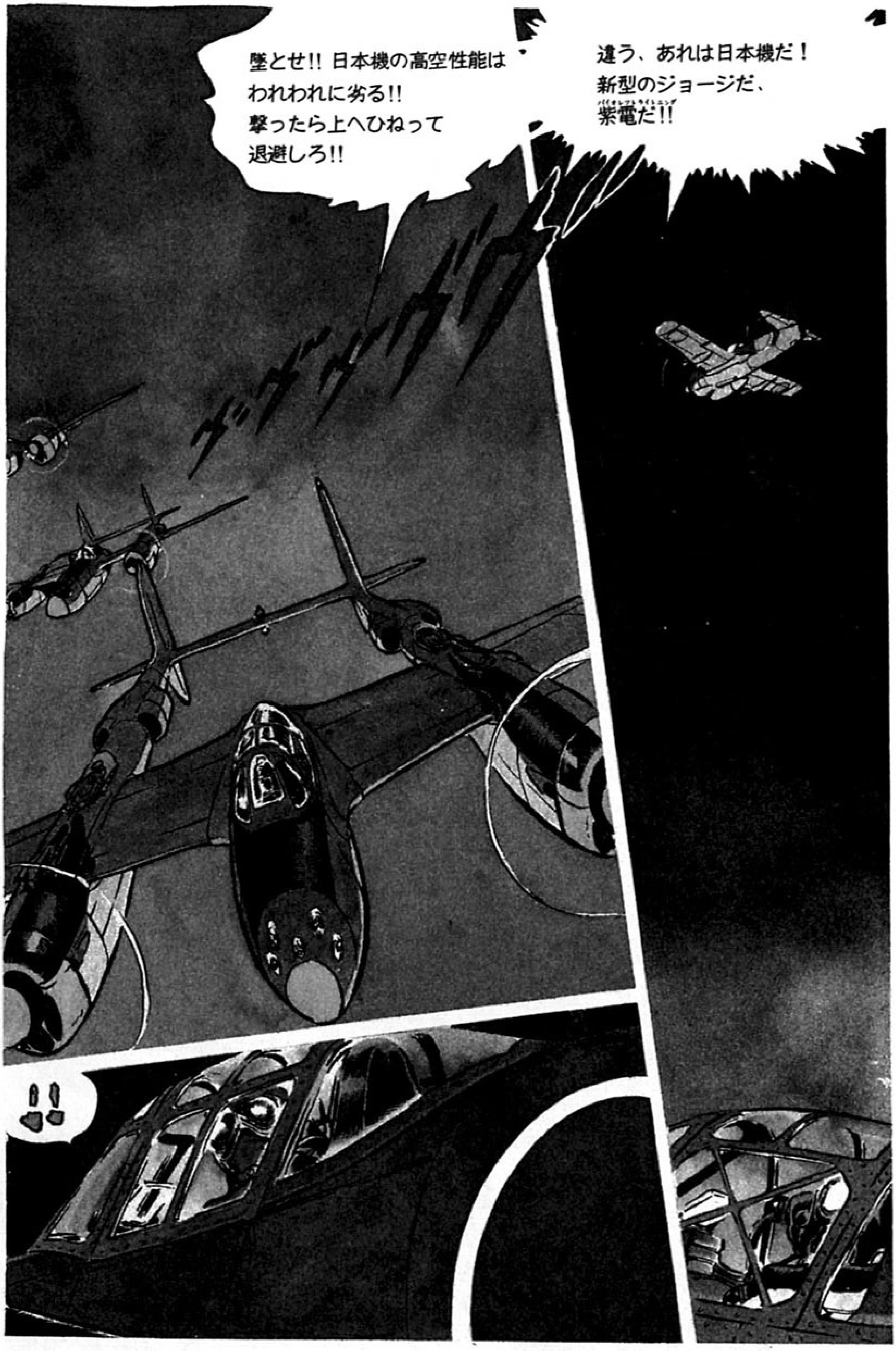
仏軍の旧式な
小銃の
鉄の床尾板と、
それを止める
古びたネジが、
私が見た最後の
物体だ……
…………
…………
…………
あれ以来、
私は暗黒の
世界にいる。
もっと早く
それをお届け
したかったのですが、
このハイリゲン
シュタットへ
くる旅費がなかなか
工面できなかった
ものですから……
すみません。
お父さんは、
戦争中の
ことをなんか
いっていた
かね!?
ハーロック
という立派な
男と友だちに
なれたのが
うれしいと……
ハーロックは
負けたことのない
偉大な男だ。
おまえも育ったら
あんな男になれと…
道はちがっても
ハーロックのような
鉄の信念を持った
男になれと……

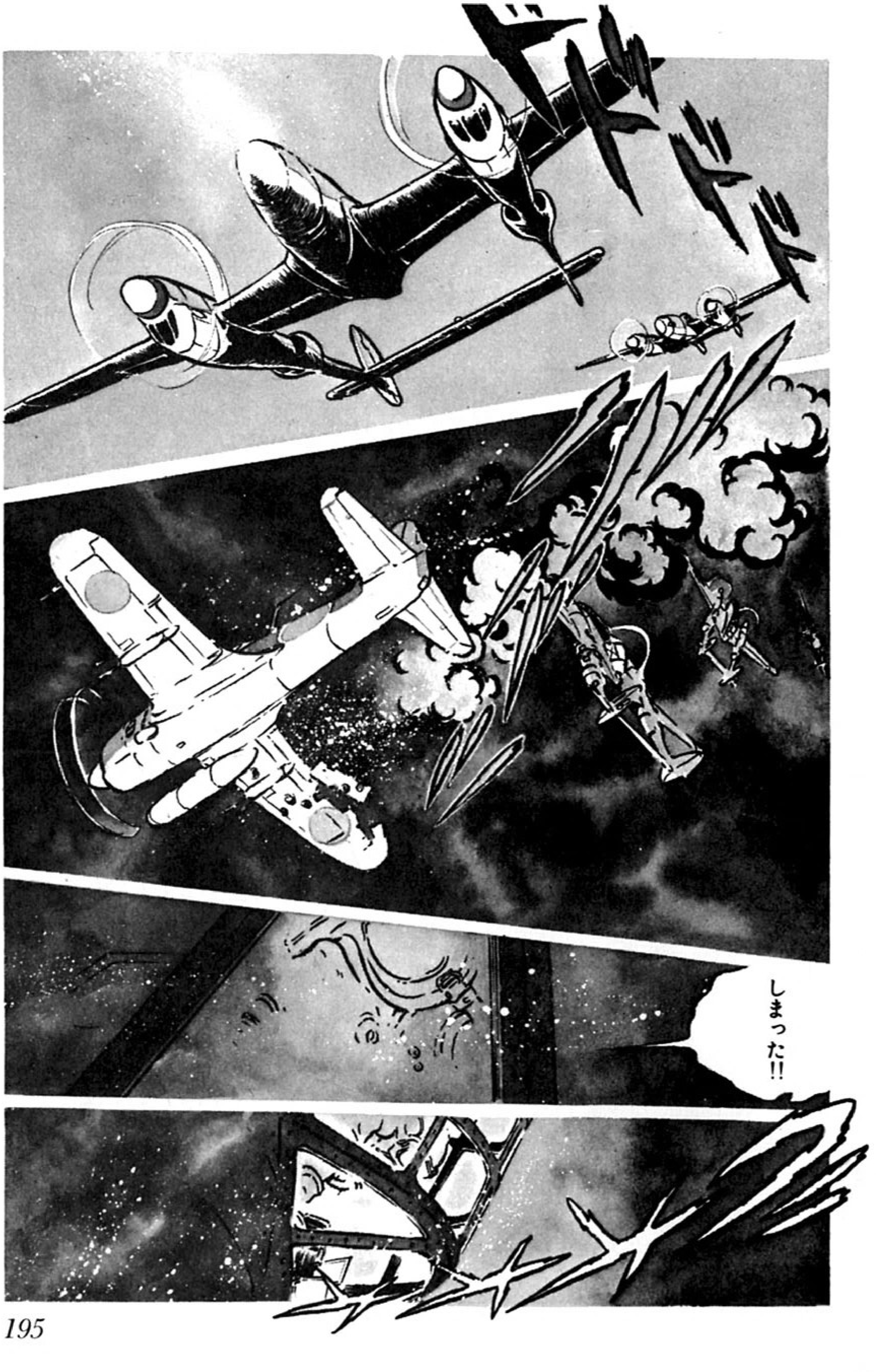
そういったのか……台場……
そんなことをいってくれたのか、台場は……
ありがとう、台場ありがとう。
きみもがんばってるようだな、台場のせがれだものな。
未来のことはわかりませんが、夢がありますから……
なにをやっても、あなたや父が命をかけた夢とは反対のことになってしまいそうですが……
台場くん、もう一度きみの顔にさわらせてくれ。
ハ、ハナが……
台場……
おれには娘がいる。考え方はおれとはちがうが、いい娘だ。そしておまえにもいい息子がいる。
おれの血もおまえの血もこの世に残るんだものなあ。
じきおれもおまえのところへ行くぞ。その時、ゆっくり話をしよう。
このREVI-C12Dが、おまえの役に立ったかどうか聞かせてくれ。
台場!!

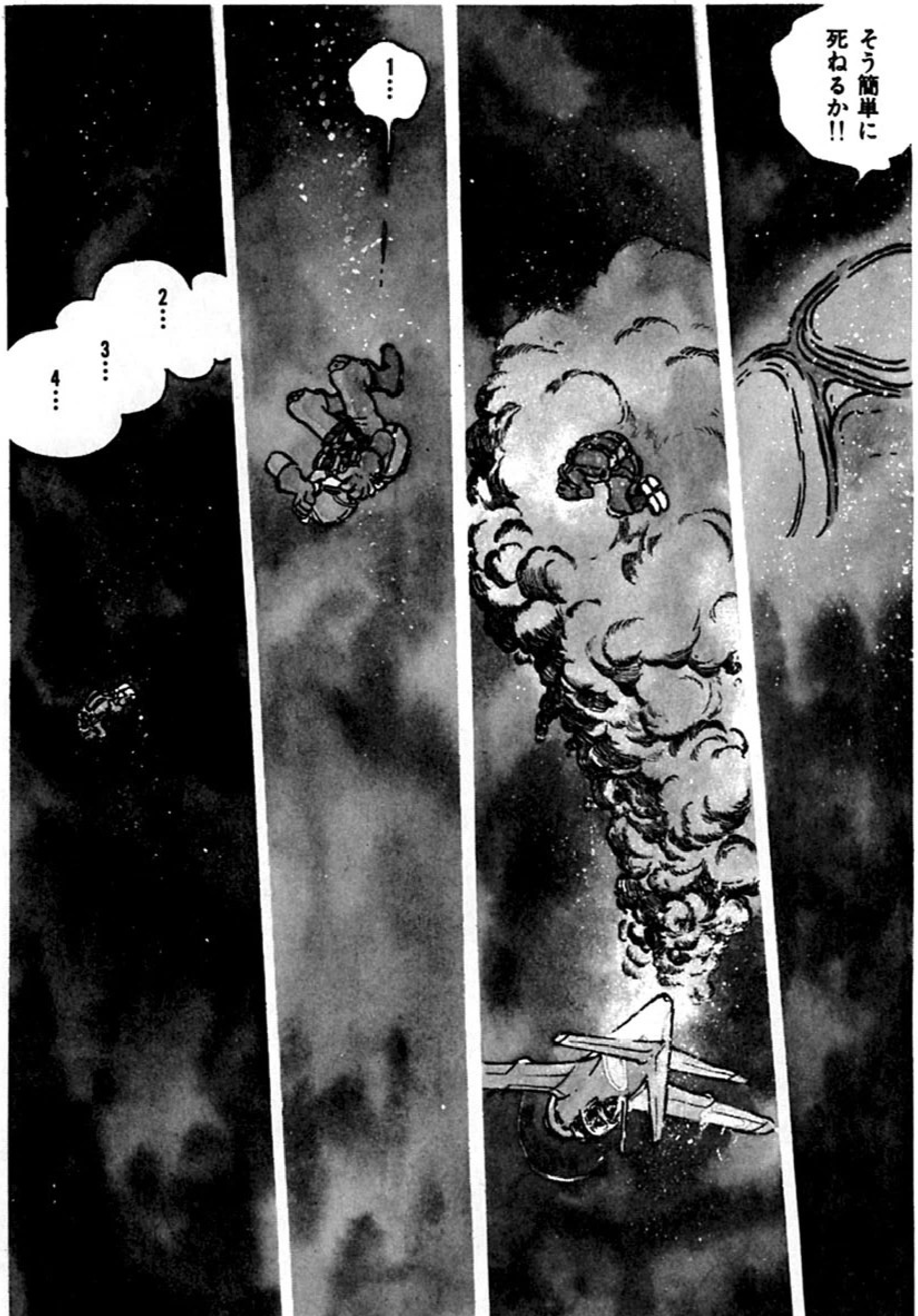
■「ビッグコミックオリジナル」1976年5月5日号掲載

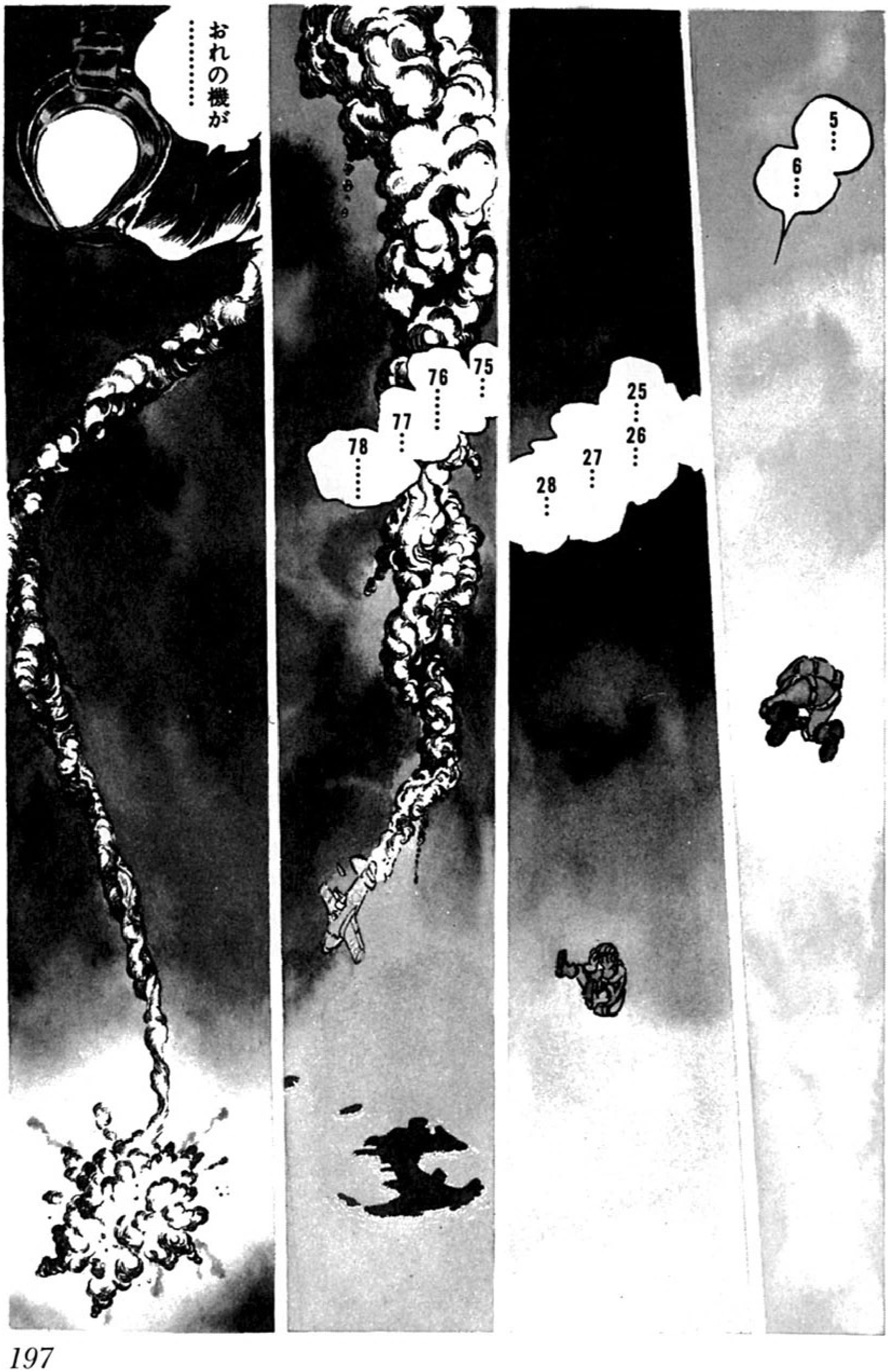

紫電
一万メートルの成層圏を飛ぶと
地球の丸みを感じるようになる。
雲さえも、
はるか地面にへばりついた
絨毯のようにしかみえない。
その日、一万メートルを
飛んでいたのは
まったくの個人的な趣味
からだ。ほかに理由は
なにもない。

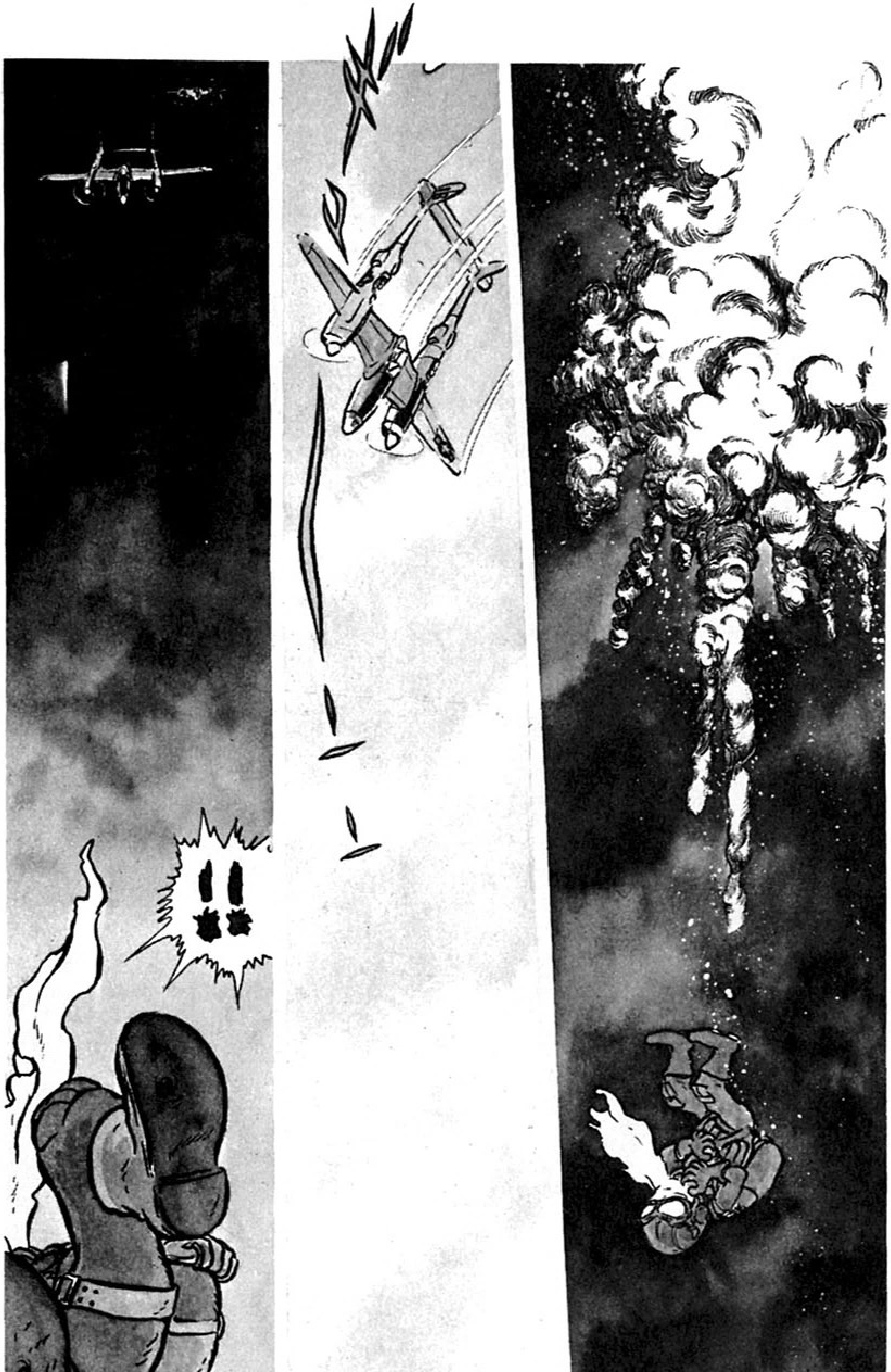
紫電
しでん
右同高度に海軍の
ヘルキャットが
………おかしいな、
こんな所を一機で
飛んでいるぞ。

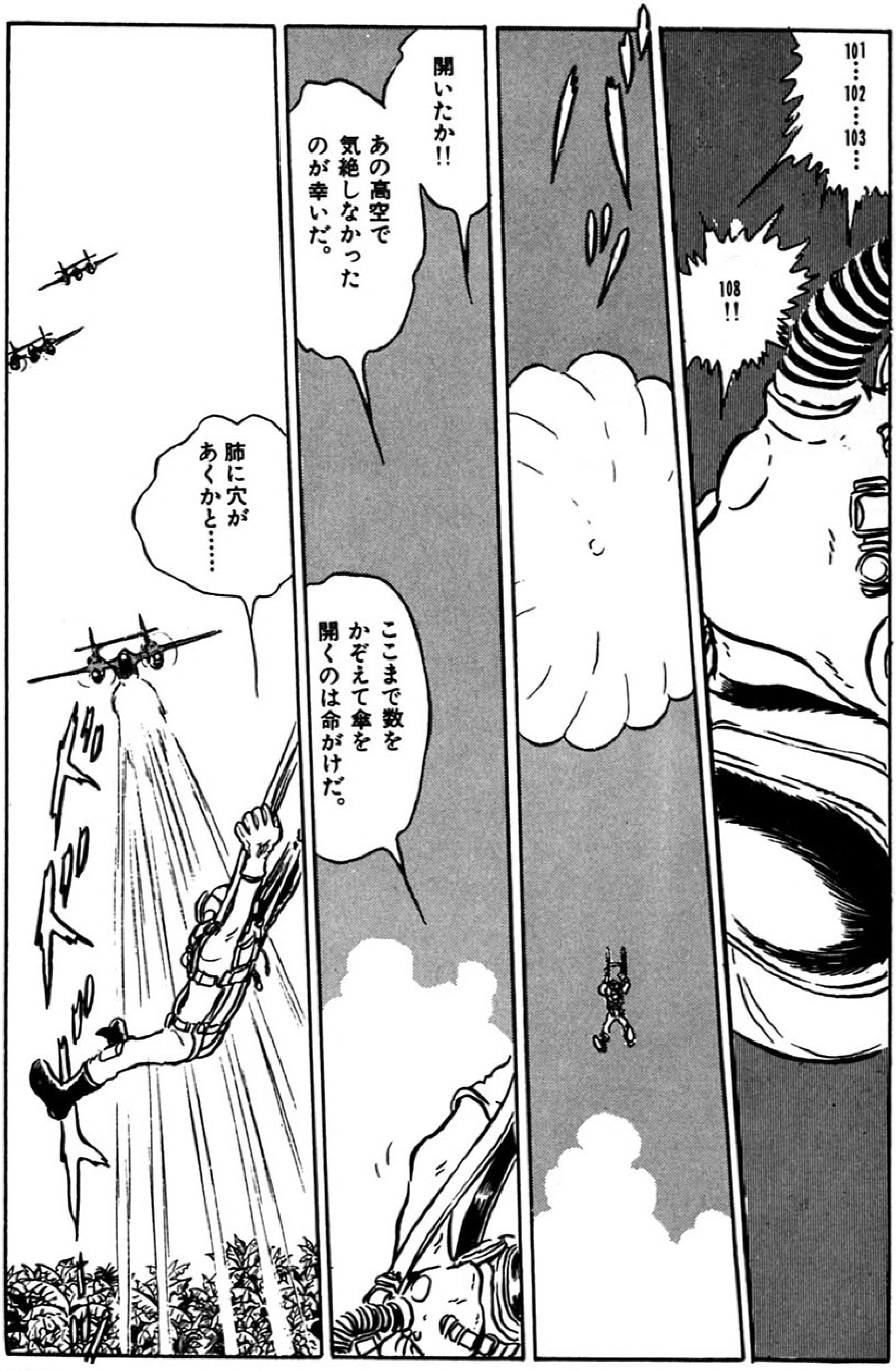

違う、あれは日本機だ！
新型のジョージだ、
紫電だ!!
墜とせ!! 日本機の高空性能は
われわれに劣る!!
撃ったら上へひねって
退避しろ!!
!!

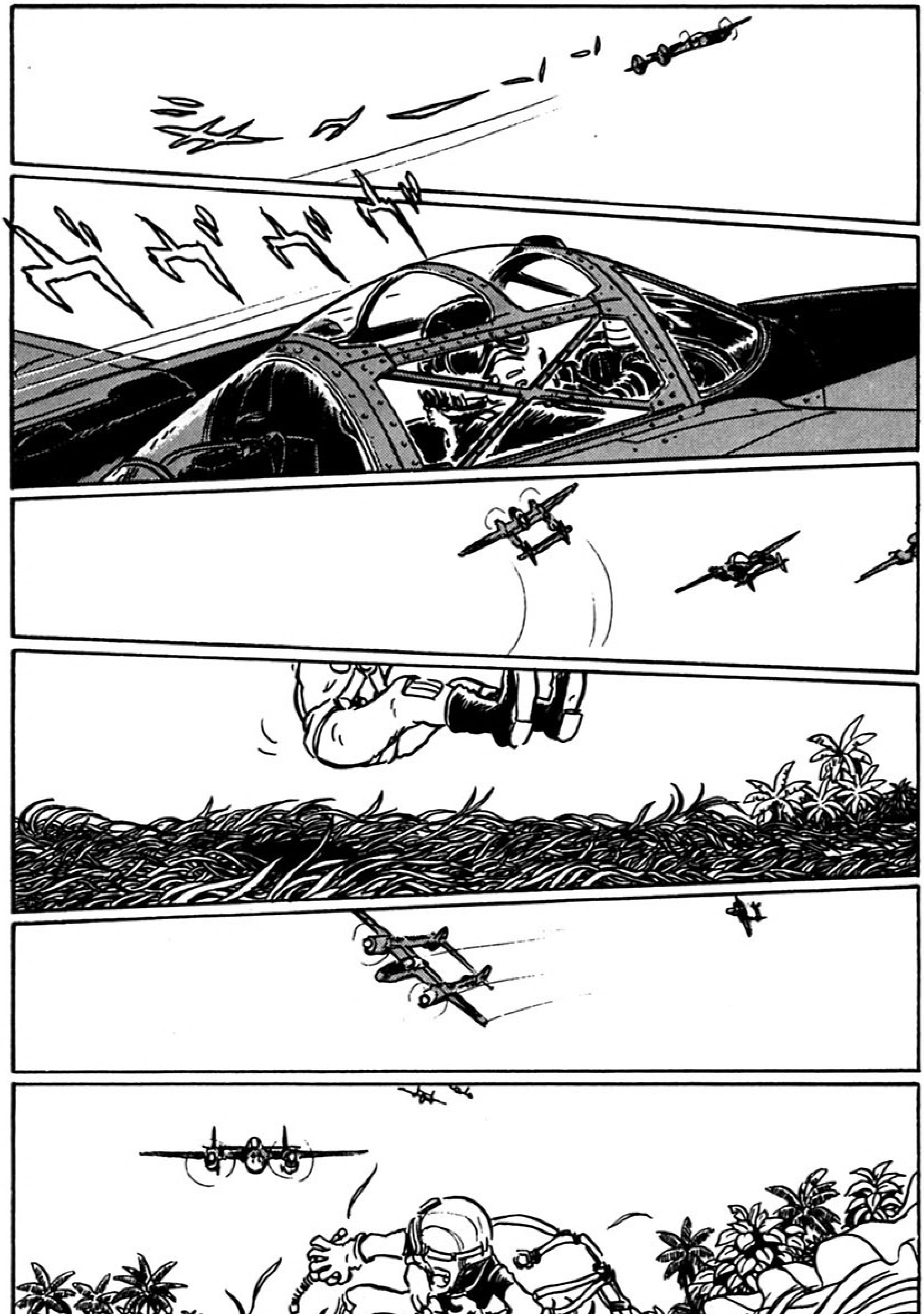

しまった!!

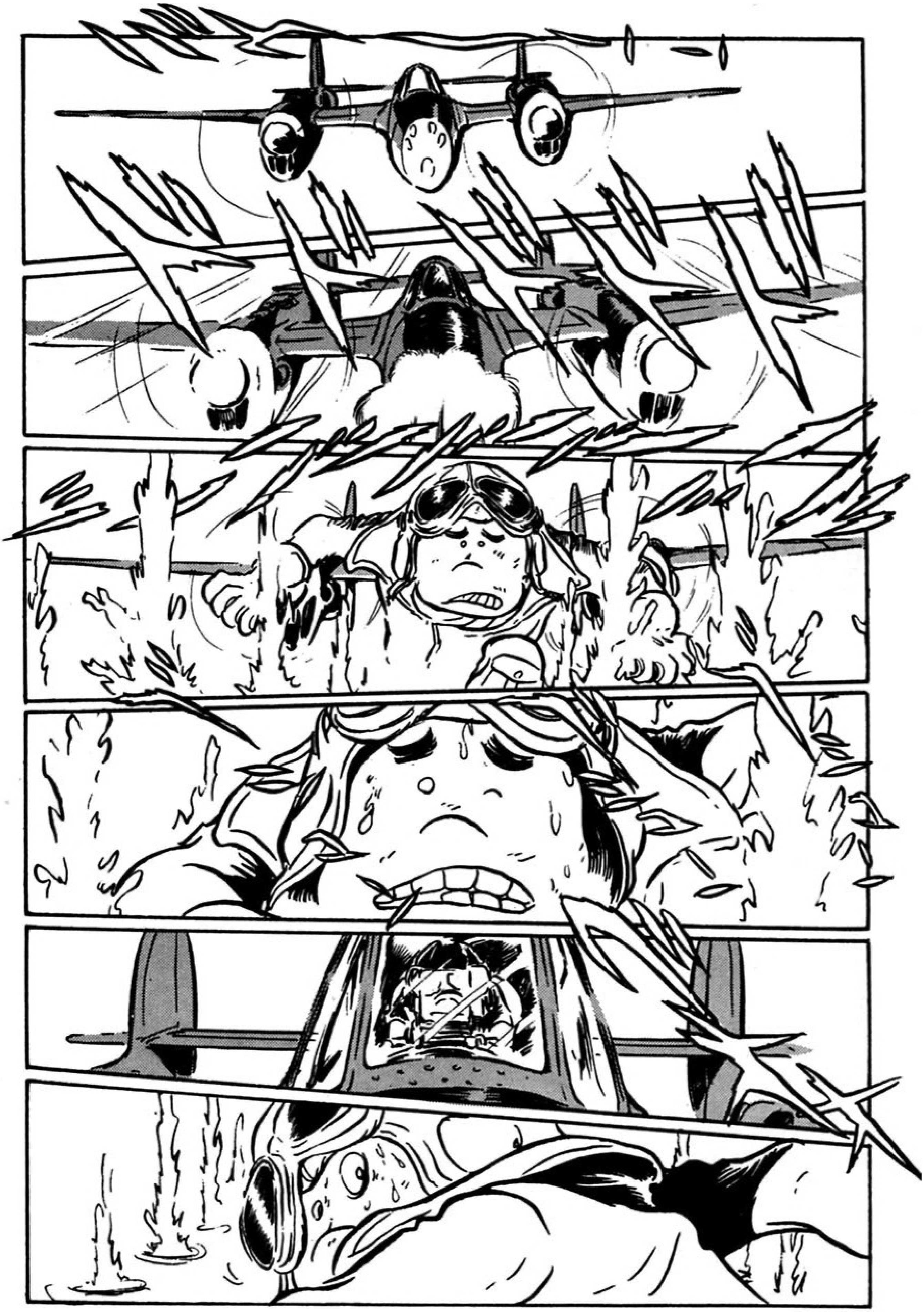

そう簡単に死ねるか!!
1…
2…
3…
4…

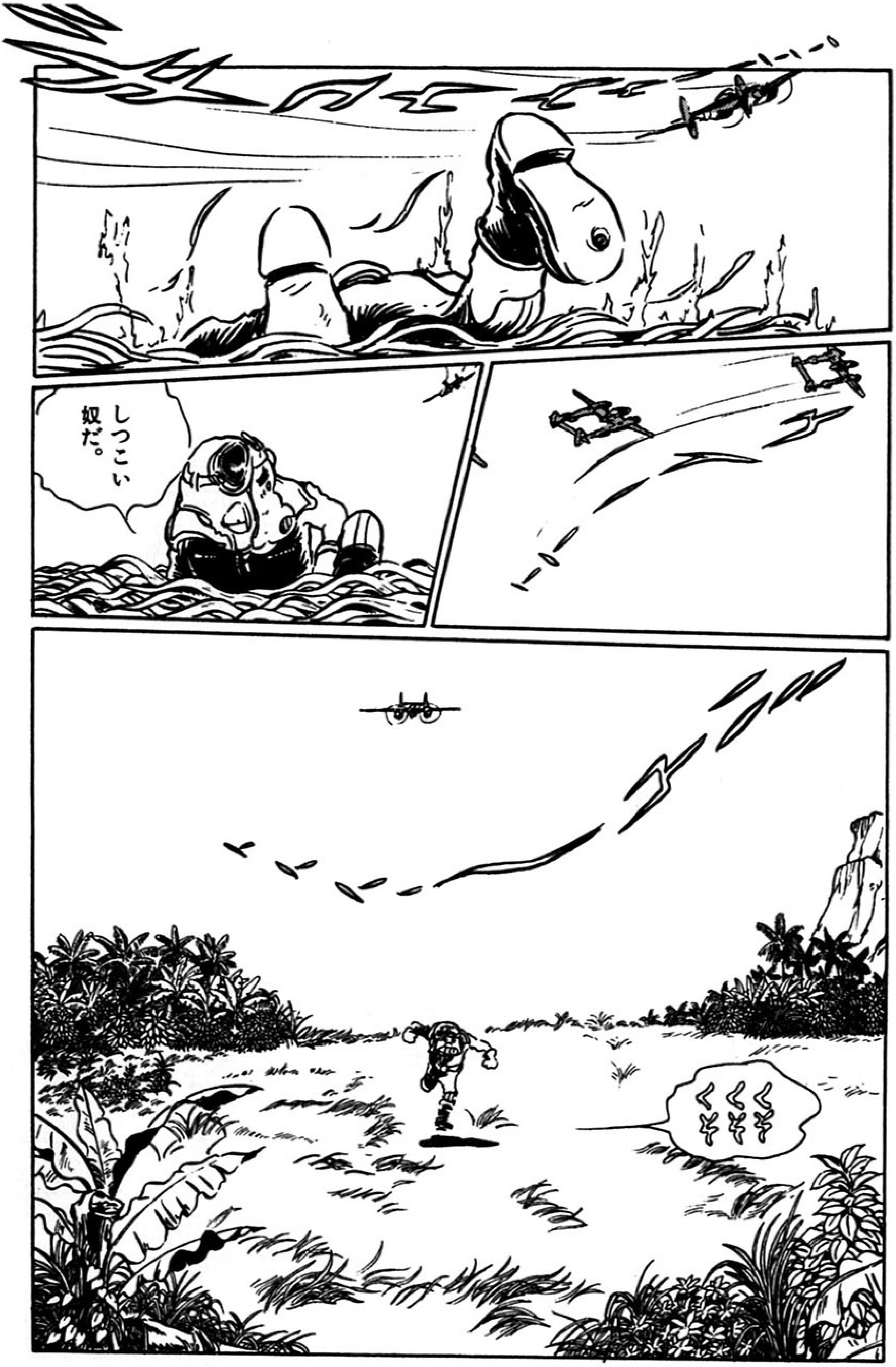

5……
6……
25……
26……
27……
28……
75……
76……
77……
78……
おれの機が……



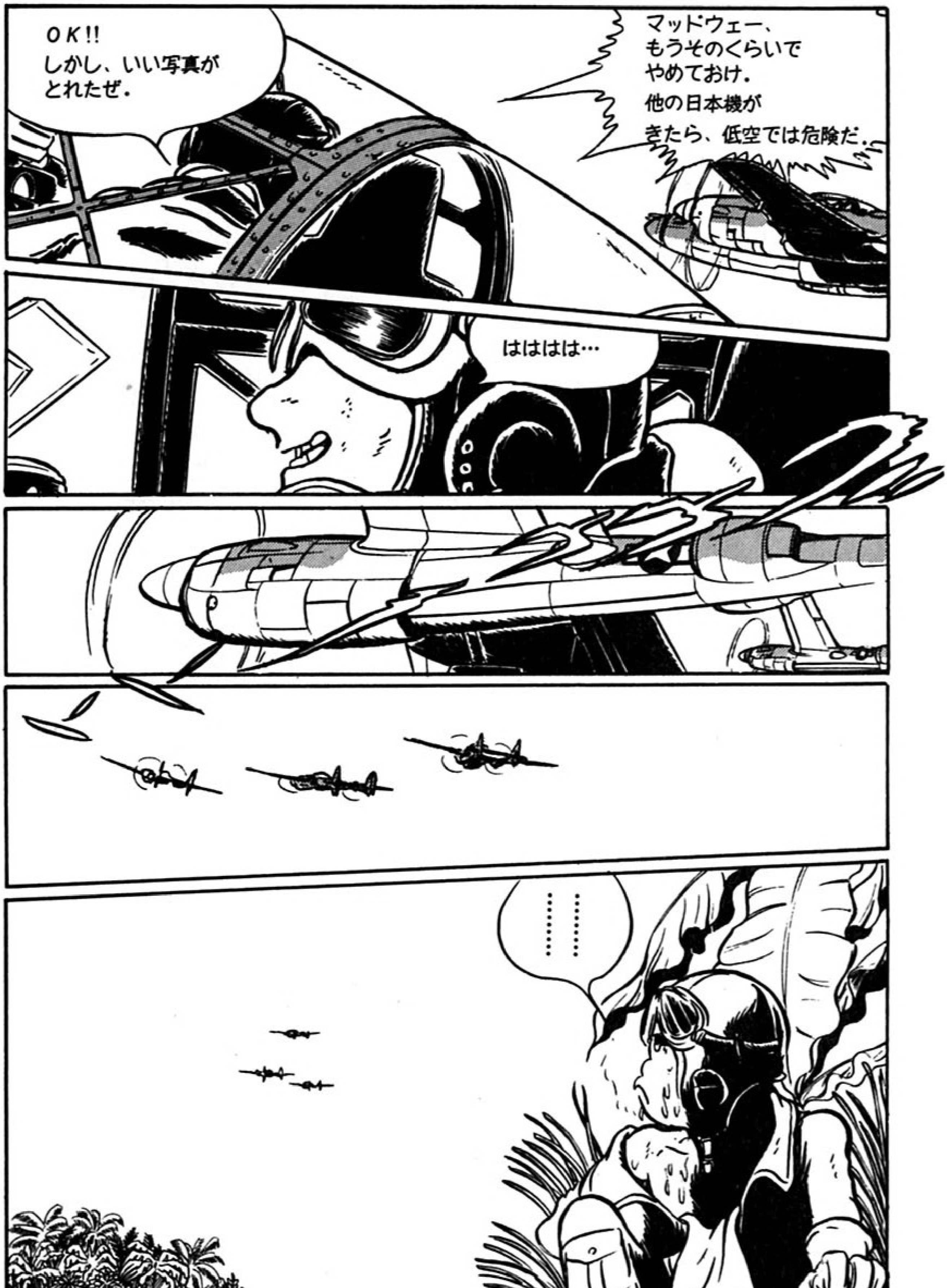

101…102…103…
108!!
開いたか!!
あの高空で気絶しなかったのが幸いだ。
ここまで数をかぞえて傘を開くのは命がけだ。
肺に穴があくかと……





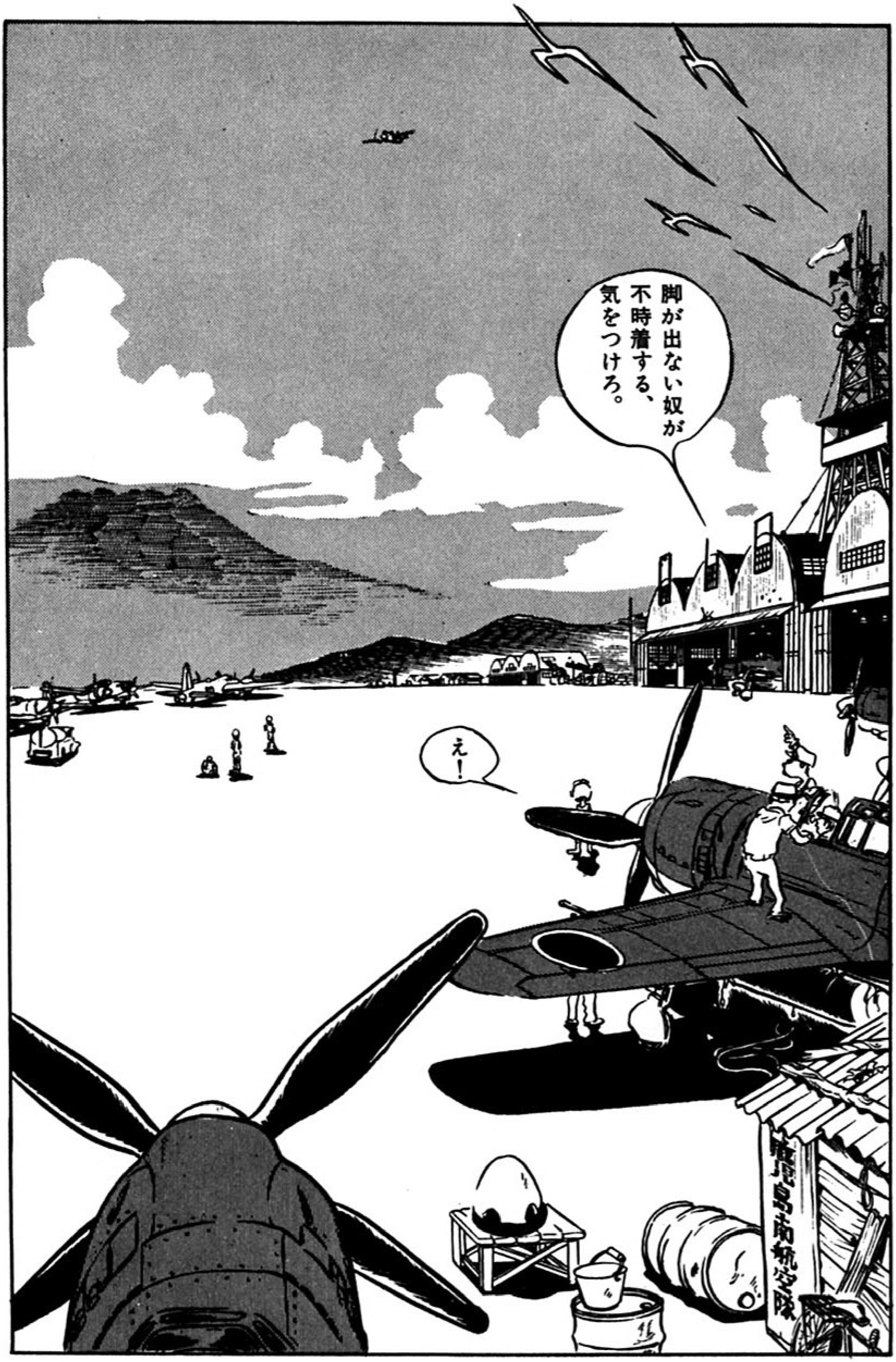

しつこい奴だ。
くくくくくくく

くそっ！

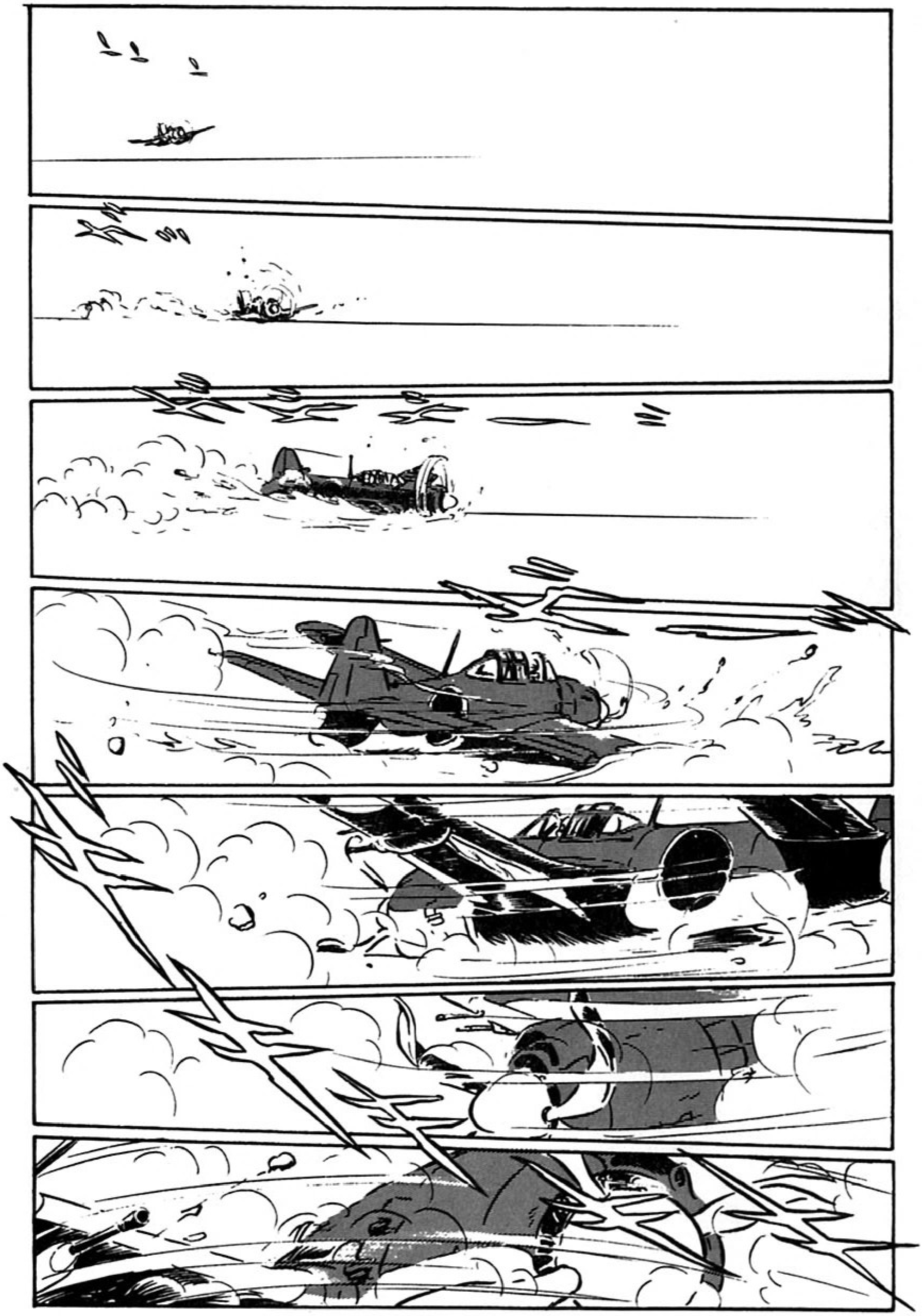

マッドウェー、
もうそのくらいで
やめておけ.
他の日本機が
きたら、低空では危険だ.
ＯＫ!!
しかし、いい写真が
とれたぜ.
はははは…
……
……

おれの機は
あそこに…
これが
よくあることでは
すまなくなったのは、
それから一年ほど
たってからだ……
その時、おれは
やっとの事で
フィリピンから
ズラかり、
本土へたどり
ついたばかりで、
ひと息ついた
ところだったのだ。

どうだろうか、おれの飛行機の具合は!?
油もれが止まりまへん。
パッキングが悪いのかなあ。
この頃は、エンジンかて動員の女学生が造るそうでガタガタですがな。

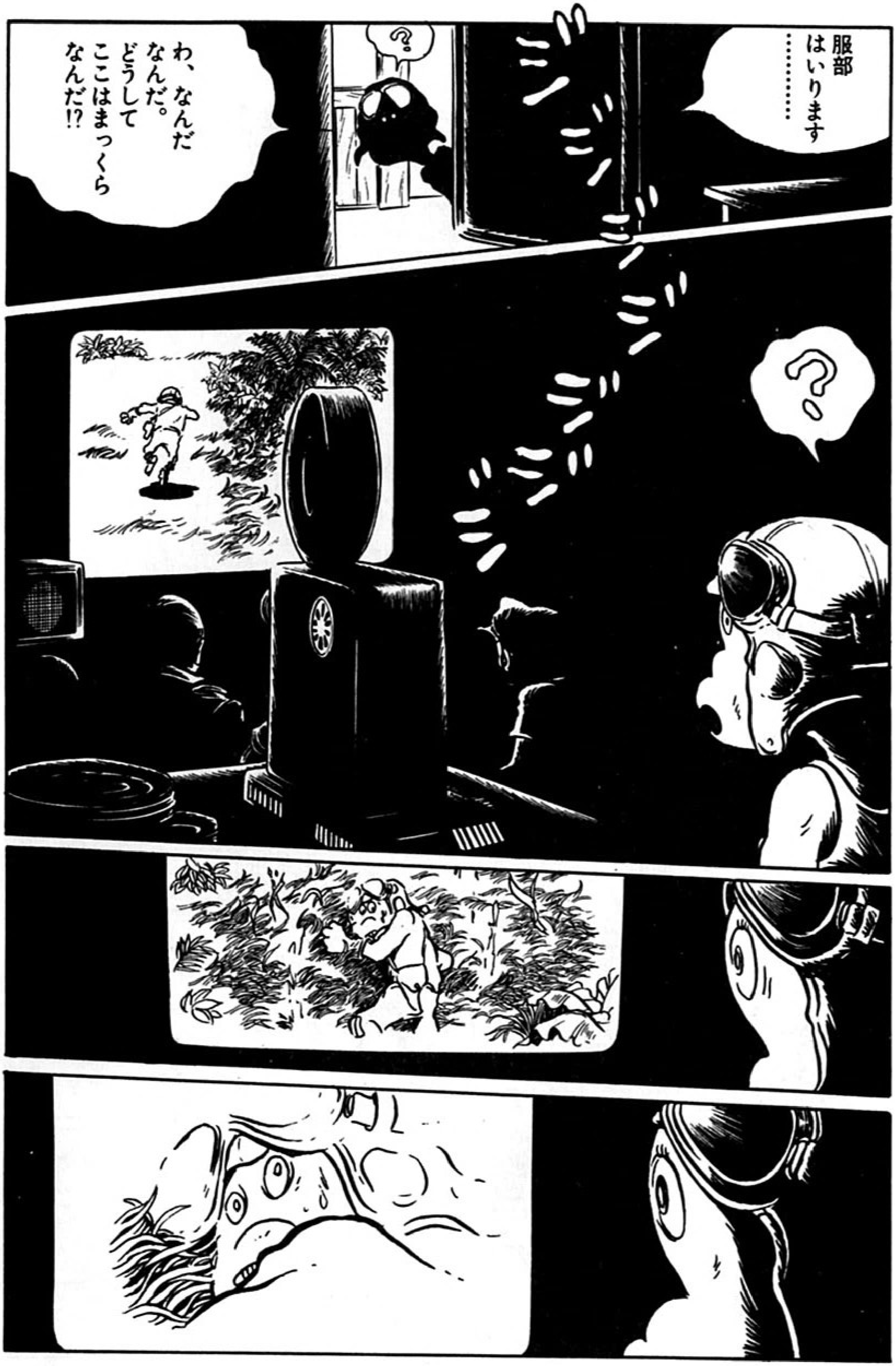

脚が出ない奴が不時着する、気をつけろ。
え！

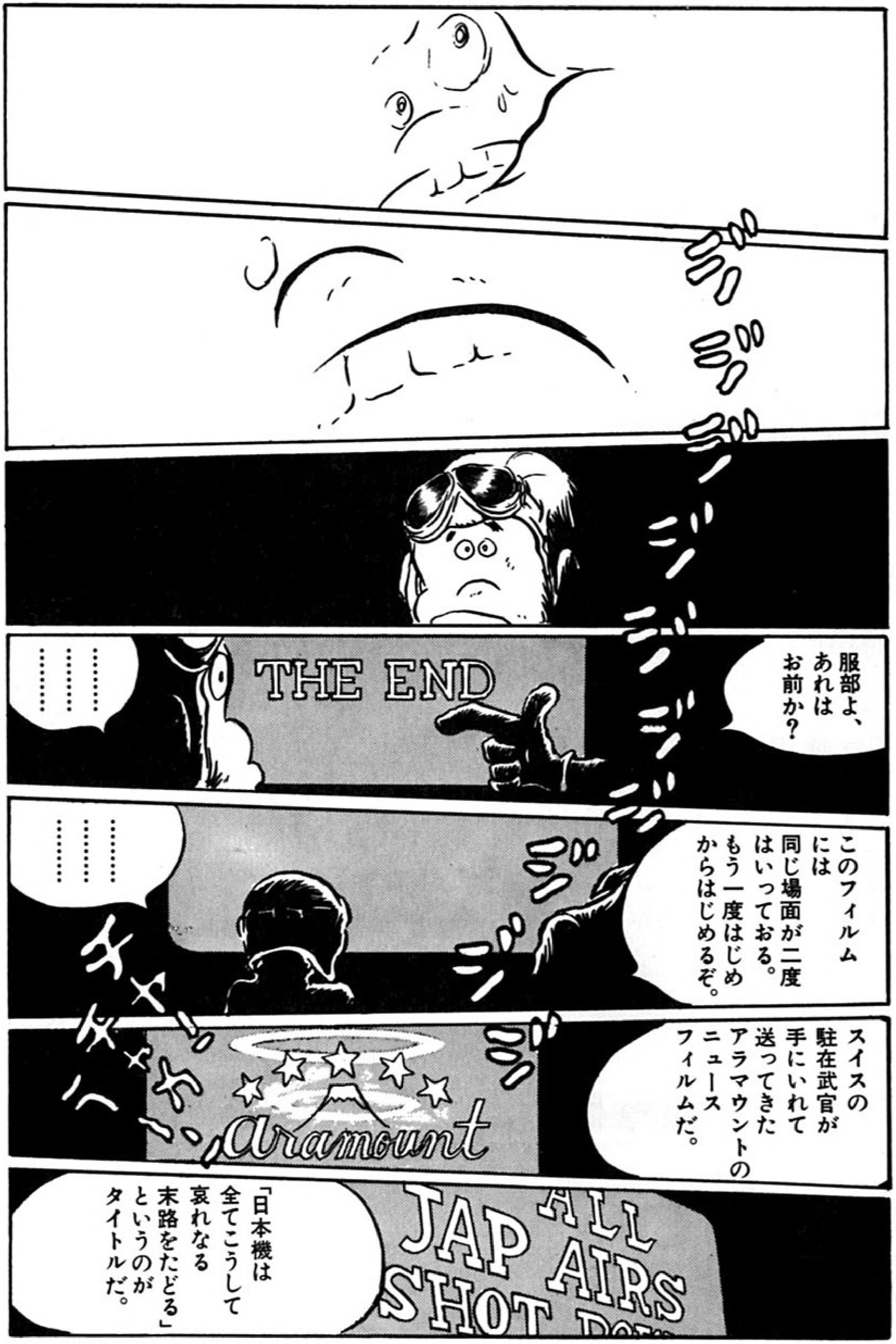
あいつ、とほうにくれてるぜ。
エンジンはいい音たててるがなあ。
あれやったら油もれも少ないやろなあ。
!!
航空隊

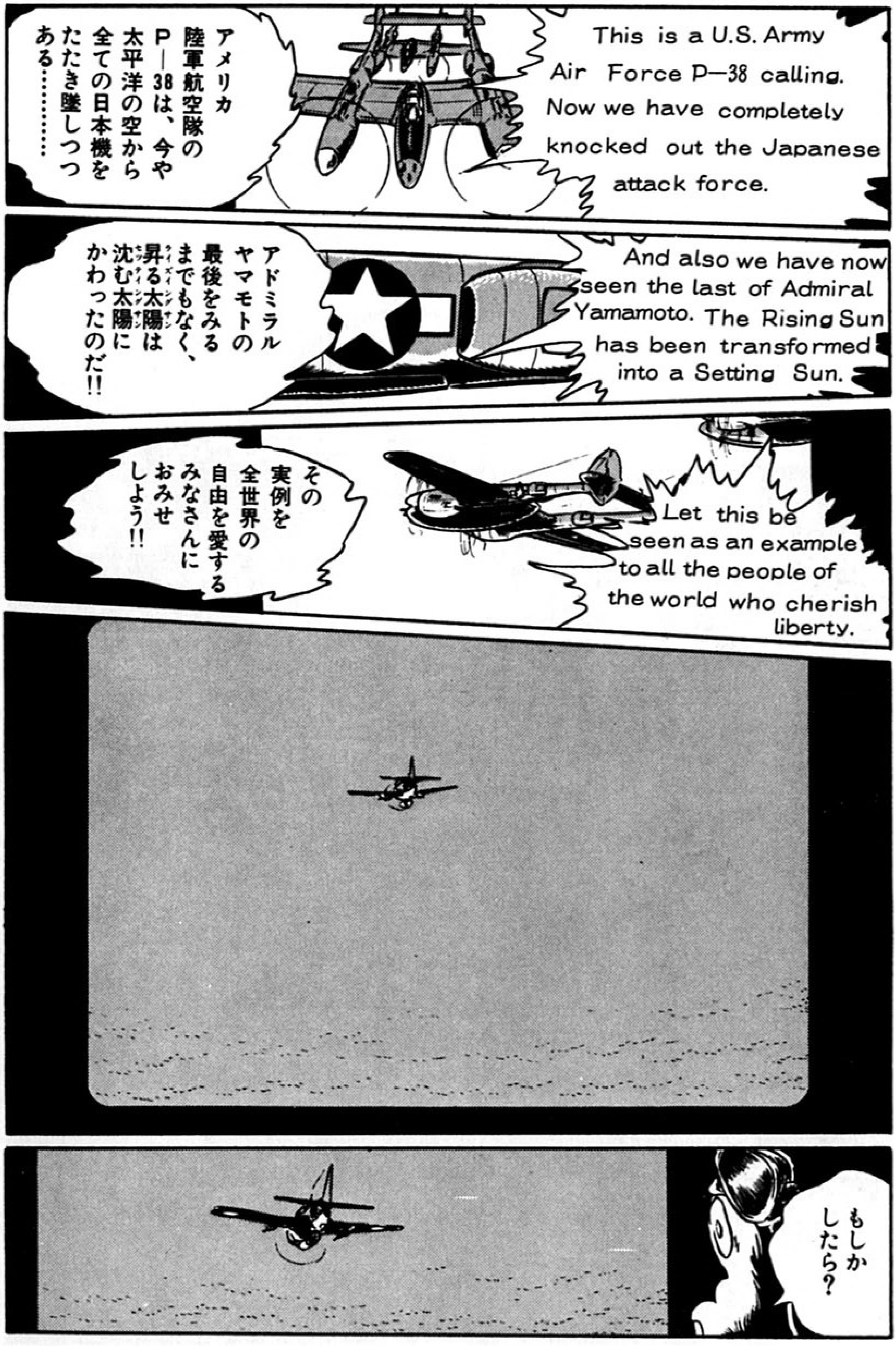


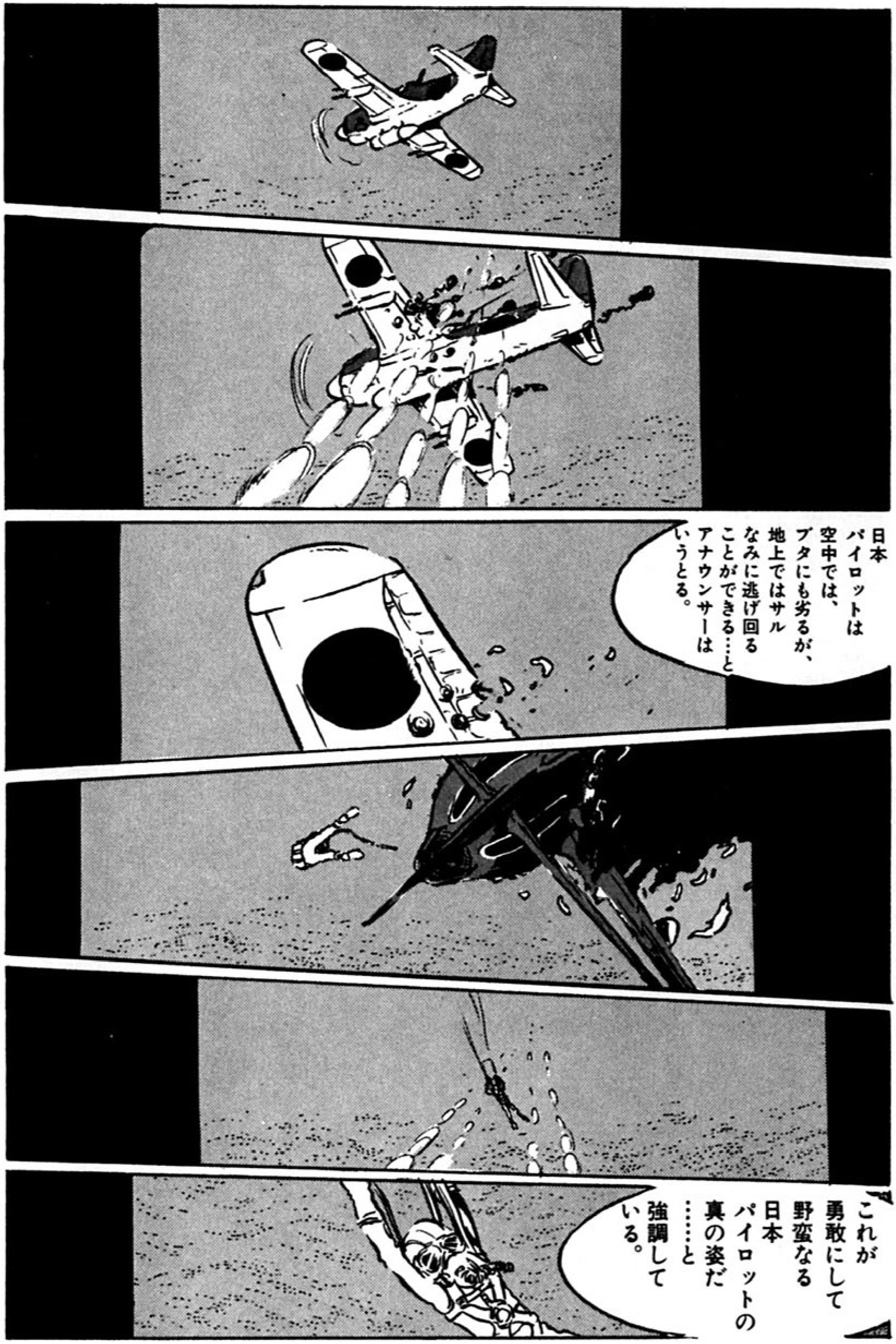
ピューー
？
おーい、そのエンジンおれにくれ〜〜〜!!
なんだって？
機体はもうだめだろ？だったらそのエンジンおれにくれ。
なーいいだろ？
や、やるよやるよ。もうムチャクチャだなあこの頃は……
これはおれのだぞ!!
キレノ

服部中尉、司令が急いでこいとさ。
おれを呼んでるのか？
しかし……
ワイらで確保しときます。安心していってくんなハレ。
頼むぞ。
安心しなハレ。
しかしなあ……
おれはめったに司令なんかに呼ばれたことはないがなあ。
ここにはなるべく顔出したくないが……
令部


服部はいります……
?
ジジジジジジジジ
わ、なんだなんだ。どうしてここはまっくらなんだ!?
?

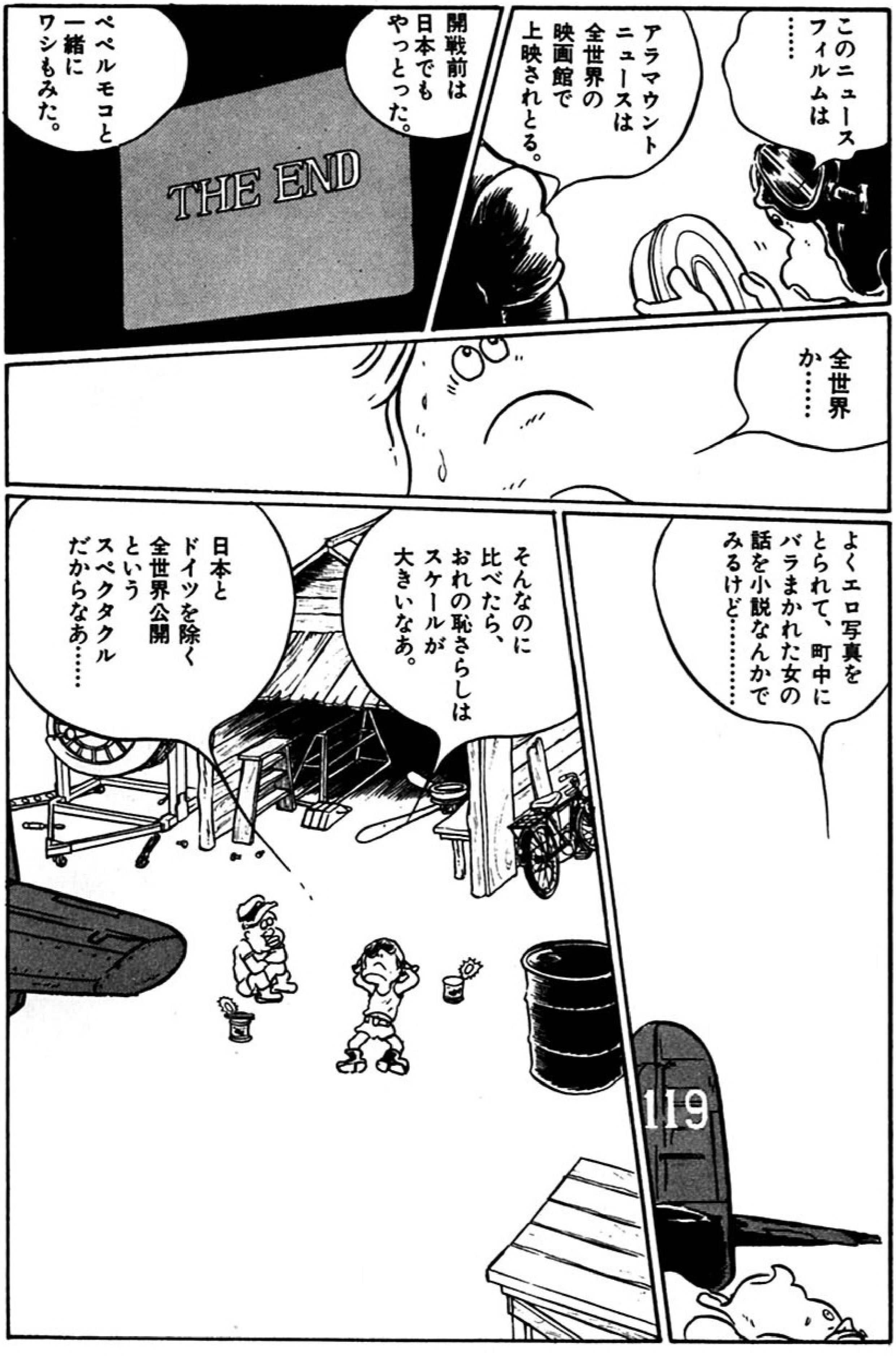

THE END
服部よ、あれはお前か?
……
このフィルムには同じ場面が二度はいっておる。もう一度はじめからはじめるぞ。
……
スイスの駐在武官が手にいれて送ってきたアラマウントのニュースフィルムだ。
Aramount
「日本機は全てこうして哀れなる末路をたどる」というのがタイトルだ。
ALL JAP AIRS SHOT

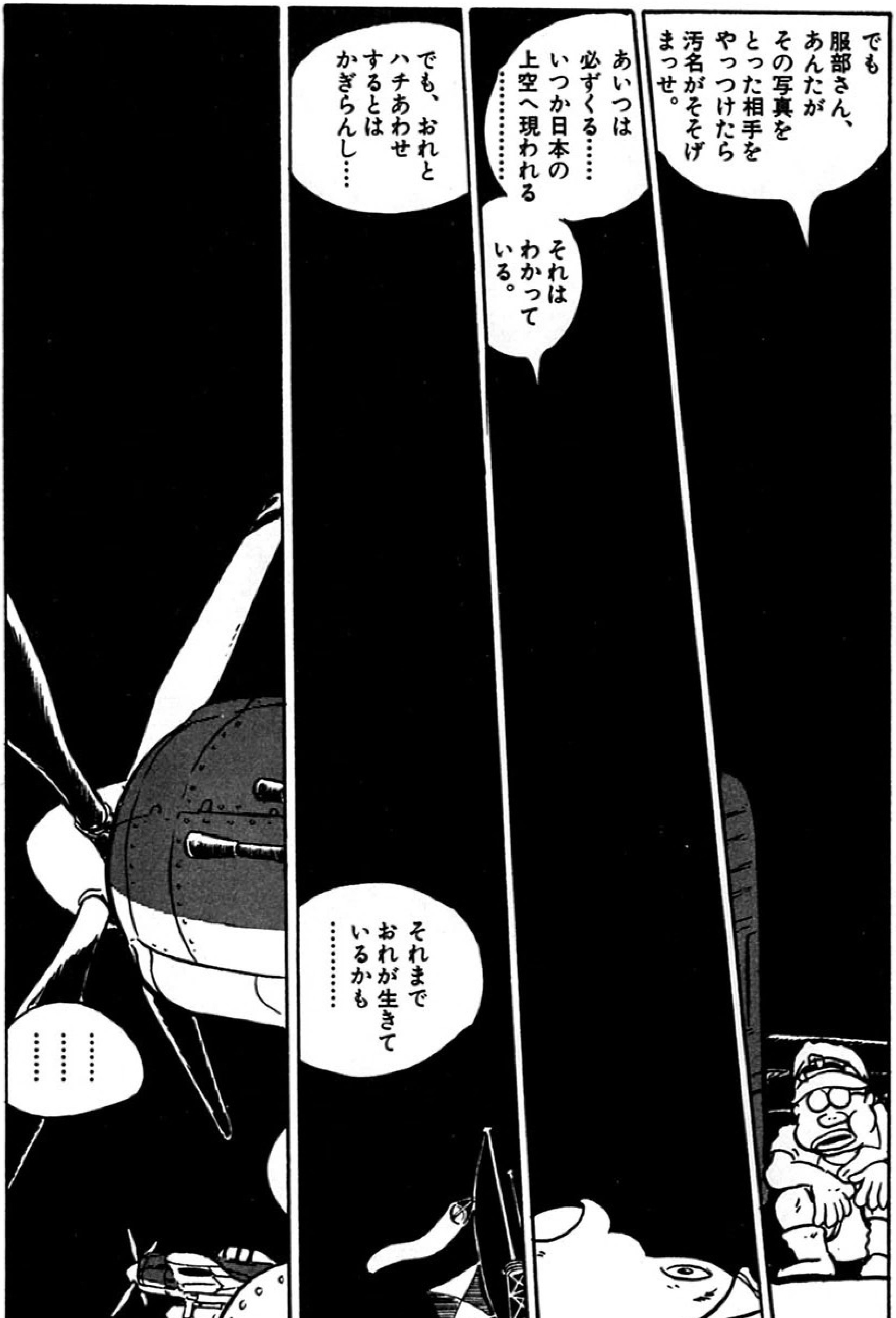

This is a U.S. Army Air Force P—38 calling. Now we have completely knocked out the Japanese attack force.
アメリカ陸軍航空隊のP—38は、今や太平洋の空から全ての日本機をたたき墜しつつある……
And also we have now seen the last of Admiral Yamamoto. The Rising Sun has been transformed into a Setting Sun.
アドミラルヤマモトの最後をみるまでもなく、昇る太陽は沈む太陽にかわったのだ!!
Let this be seen as an example to all the people of the world who cherish liberty.
その実例を全世界の自由を愛するみなさんにおみせしよう!!
もしかしたら?


日本パイロットは空中では、ブタにも劣るが、地上ではサルなみに逃げ回ることができる…と アナウンサーはいうとる。
これが勇敢にして野蛮なる日本パイロットの真の姿だ……と強調している。

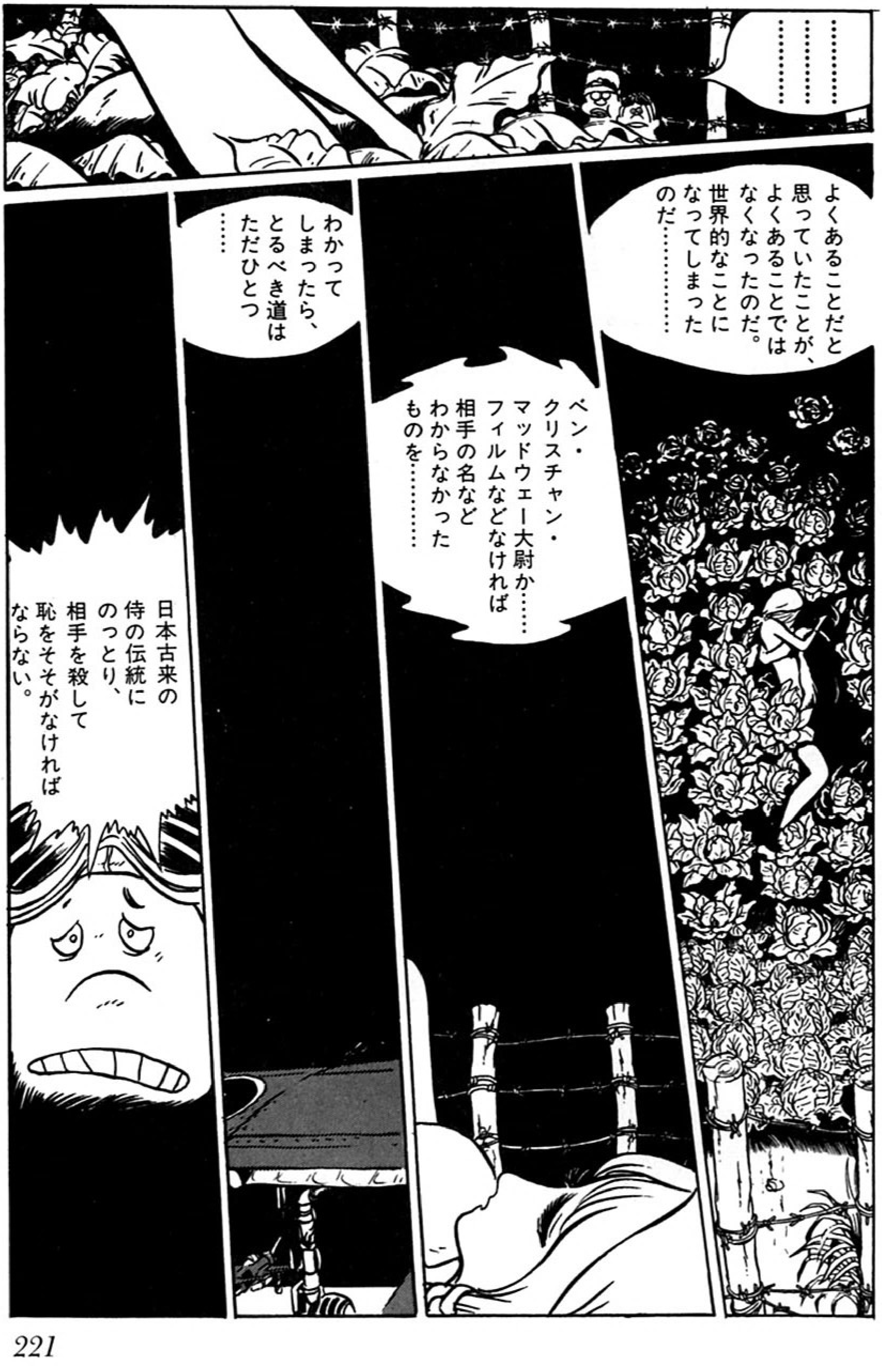
Pilot name is Lieut. Hattori ! Empire Navy famous expert!!
いまおれの名を……
うん、よく調べたもんだ。
お前がこの時降下したのは、ゲリラの司令部に近かった。
お前の名前のはいった手帳かなにかがむこうの手にはいったんだろう。
よほど性能のいいガンカメラらしい、しかも超高速度撮影ときた！
……………

ベン・クリスチャン・マッドウェー大尉。
これがおれを墜した奴か!!
そうだ、あの機体には見覚えがあるぞ。
日本のパイロットは臨機応変の適応性と判断力が劣るし、頭も悪いのでドイツのパイロットに比べると、のんびり戦える相手だ…というとる。
サルは本来空を飛ぶべきではなかった…というとる。
何匹かかってきても同じようにひとひねりだ…というとる。
そしてもう一度、おまえの逃げ回る姿で終わっている。
原版のフィルムは総天然色だ…というとる。
………
………


このニュースフィルムは……
アラマウントニュースは全世界の映画館で上映されとる。
開戦前は日本でもやっとった。
ペペルモコと一緒にワシもみた。
THE END
全世界か……
よくエロ写真をとられて、町中にバラまかれた女の話を小説なんかでみるけど…………
そんなのに比べたら、おれの恥さらしはスケールが大きいなあ。
日本とドイツを除く全世界公開というスペクタクルだからなあ……
119

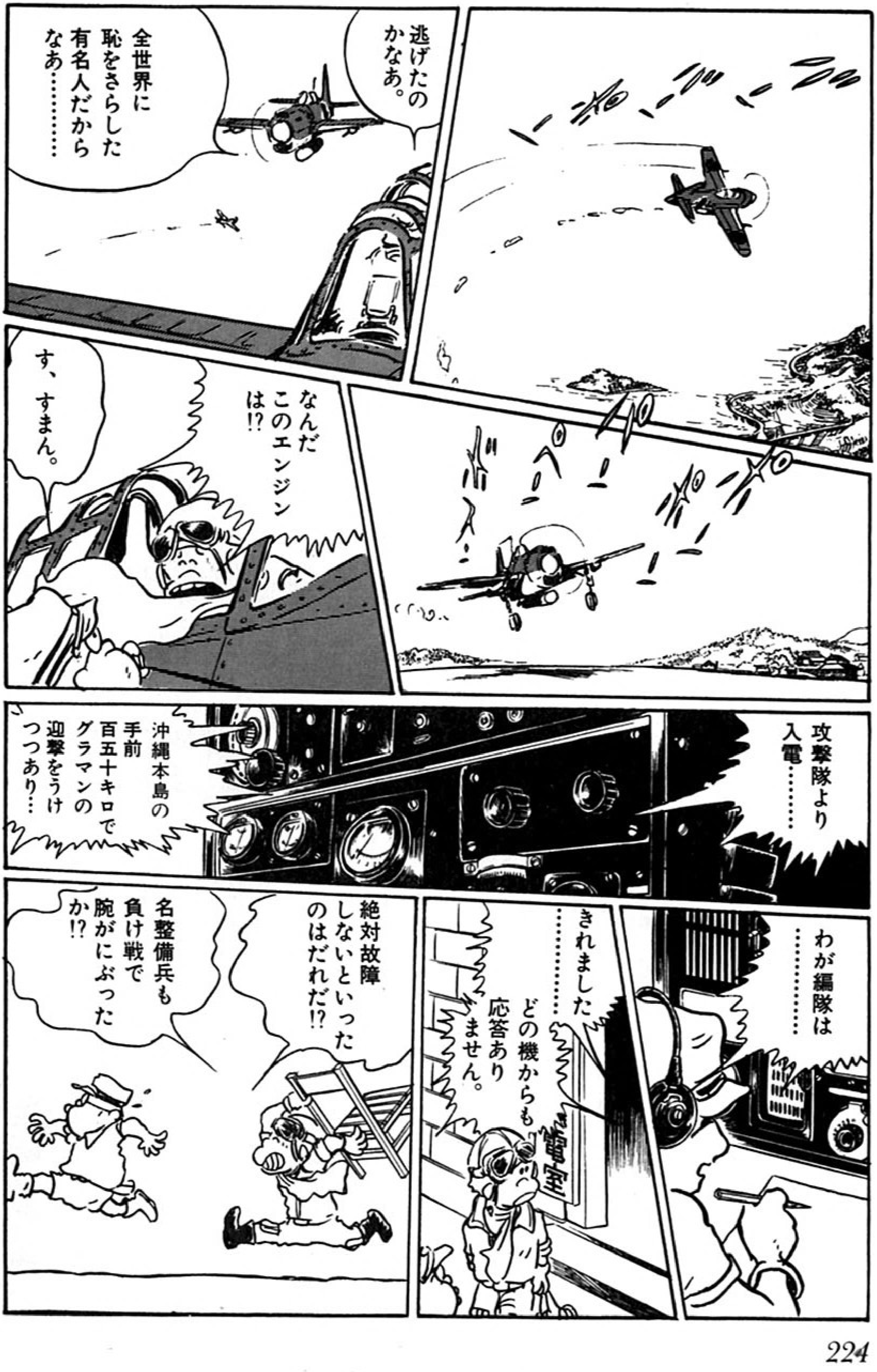

でも服部さん、あんたがその写真をとった相手をやっつけたら汚名がそそげまっせ。
あいつは必ずくる……いつか日本の上空へ現われる…………
それはわかっている。
でも、おれとハチあわせするとはかぎらんし……
それまでおれが生きているかも…………
………………

エンジンつけかえときましたで。
不時着機のか？
これは製造番号の若いエンジンで、できがええから大丈夫やねんな。
絶対故障はいたしまへんで。
そうか。
女々しいでっせ、フィルムのことなんか忘れなはれ!!
!!
あれはなんだ？
なんせ、戦局あわただしいもんで……

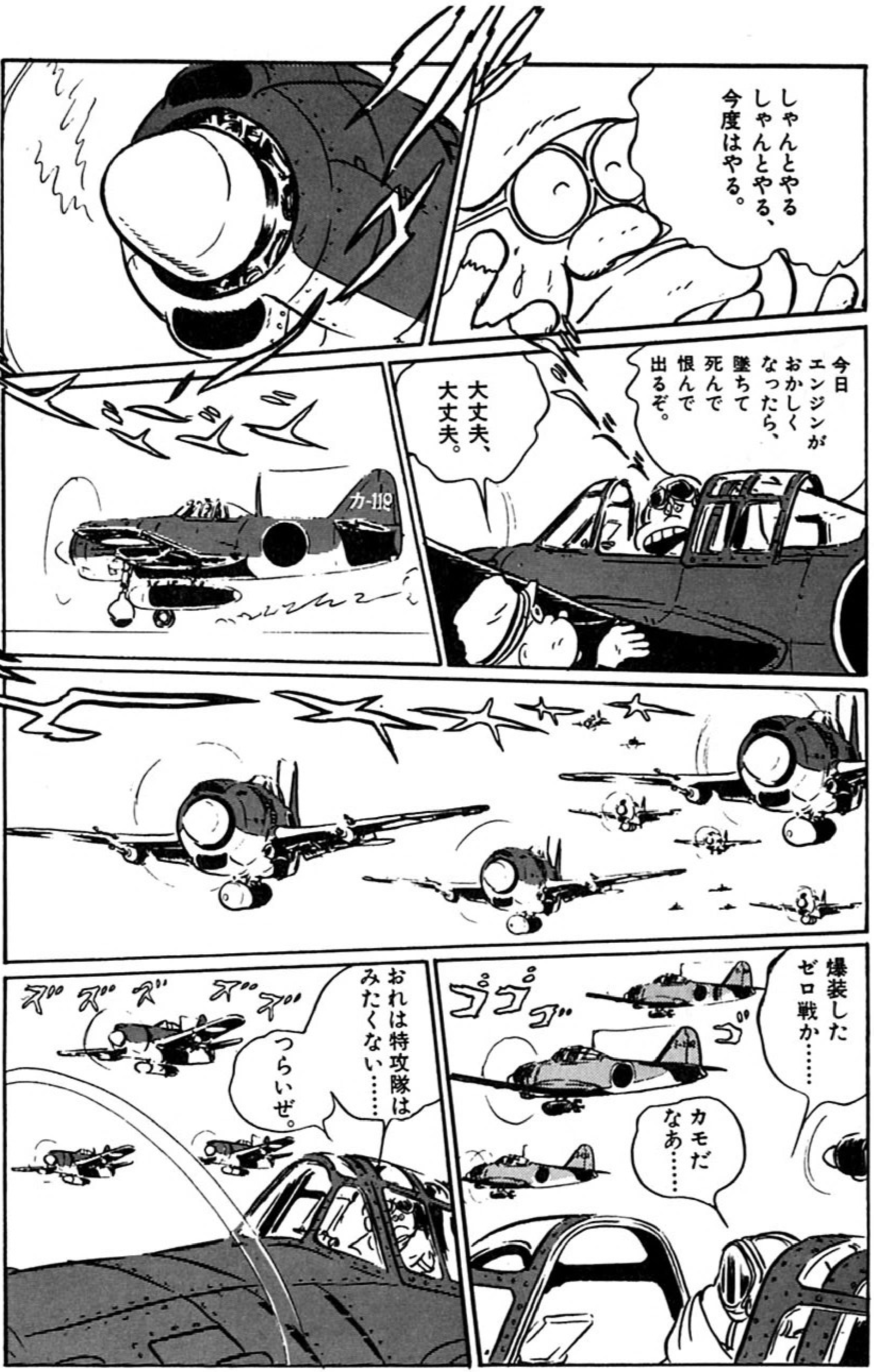

…………
よくあることだと思っていたことが、よくあることではなくなったのだ。世界的なことになってしまったのだ…………
ベン・クリスチャン・マッドウェー大尉か……フィルムなどなければ相手の名などわからなかったものを…………
わかってしまったら、とるべき道はただひとつ……
日本古来の侍の伝統にのっとり、相手を殺して恥をそそがなければならない。

おれは個人的にマッドウェーを憎悪した……
しかし、恥をそそぐまで生きていられる可能性もなくなった。
沖縄への特攻機の援護出撃がきまったからだ。
仇討ちはだめかもなあ。
大丈夫でっせ服部さん。あんたは絶対死なしまへんで。
絶対!!

カ-119
!!
なんだ、このエンジンは!!
あいつ、絶対故障なんかしまへんねんとヌカしたのに。
服部中尉、エンジン不調のため引き返す!!



逃げたのかなあ。
全世界に恥をさらした有名人だからなあ………
なんだこのエンジンは!?
す、すまん。
攻撃隊より入電………
沖縄本島の手前百五十キロでグラマンの迎撃をうけつつあり…
わが編隊は………
きれました………
どの機からも応答ありません。
電室
絶対故障しないといったのはだれだ!?
名整備兵も負け戦で腕がにぶったか!?


しゃんとやる
しゃんとやる、
今度はやる。
今日
エンジンが
おかしく
なったら、
墜ちて
死んで
恨んで
出るぞ。
大丈夫、
大丈夫。
カ-119
爆装した
ゼロ戦か……
カモだ
なあ……
ゴゴゴゴ
おれは特攻隊は
みたくない……
つらいぜ。
ズズズズズ

くそ、またエンジンが!!
しかし、直援機が一機でも減るとゼロ戦が……
だめだ。このままではフカのエジキだ、犬死にだ。
大丈夫だといったのはどこのどいつだ。いったいそれでもおまえは整備兵か!!
今日もおれ以外は全部未帰還だ。
一機も沖縄までたどりつけもしなかったぞ!!
せめておれがいれば一機ぐらい!!
完全な紫電に乗ったおれがついていれば、一機ぐらいはなんとかなったかもしれないじゃないかっ!

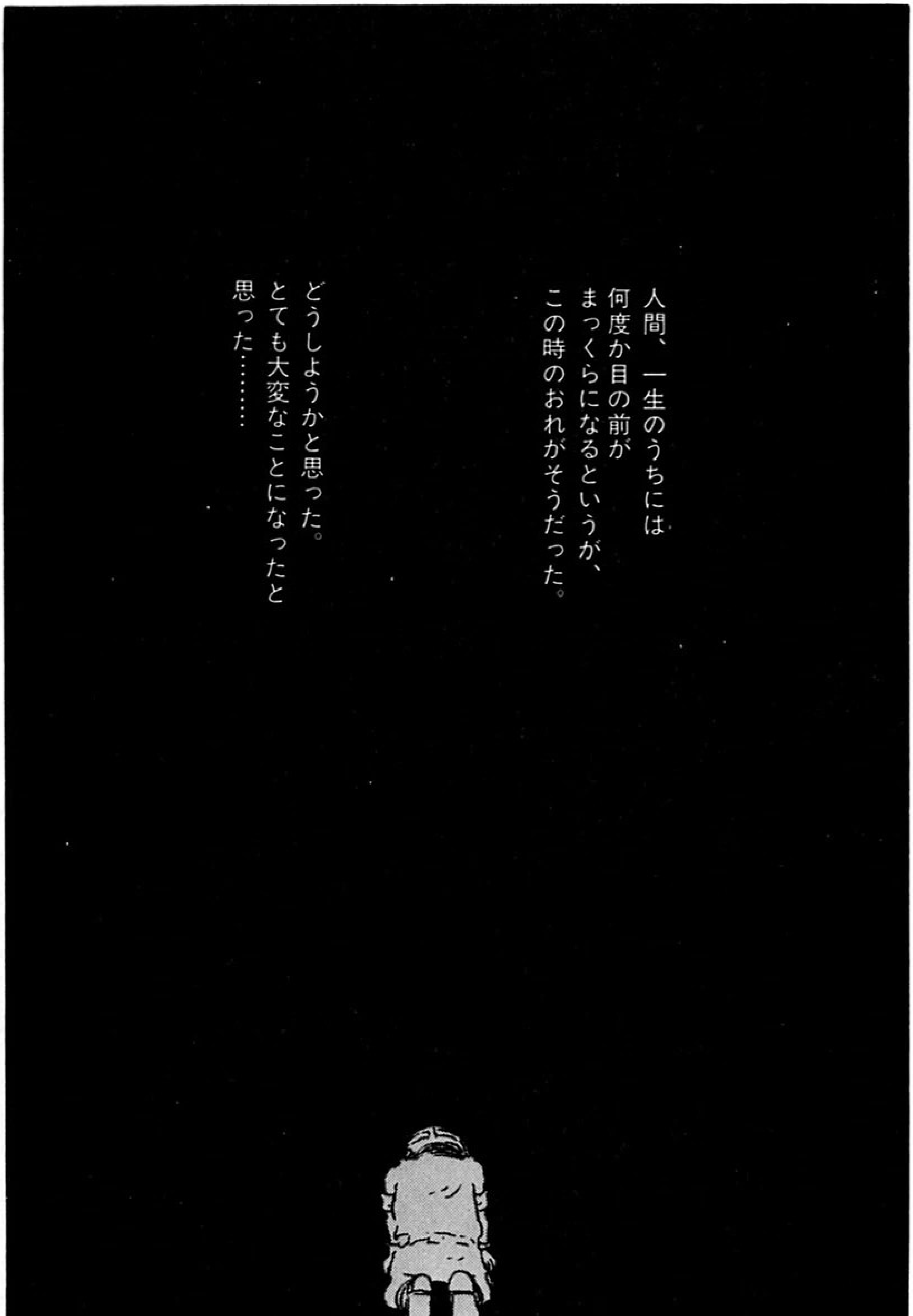
すんまへん……
それほどまでにいわはるんでしたら……
沖縄の飛行場から飛びはじめたな。
あれはアメリカの陸軍機だ。空母艦載機じゃねえ。
偵察機だ!!
……
……

今日は
大丈夫でっせ。
この紫電は
完全無欠な
立派な飛行機
でっせ……
ワイの
整備する
飛行機は
いつも
完全無欠
ですがね……
いつも…
いって
しまい
よったか、
バカが……
?

ゴッパ！ゴッボボッポ！
？？？
エンジンは……………
わかってる。わざとオーバーブーストを使って過熱させもどってきた………
あんた……
え！
いままでわざとエンジンを故障するようにしていたな！手を抜いていたな!!
…………………………
違うか!!
気がついたかや………
一人ぐらい、個人的な恨みで戦争する奴がいてもおかしくないと思いましてん………
死んでしもうたらそれもできまへんで。だから手をかしましたねん。
そうか………

ワイもあんたもバレたら銃殺でっせ。
そうだな。
でも、あんたの写真とった奴を撃墜するのも、日本のパイロットの名誉のためにはいいことだとワイは思いますねん。
名誉はどうでもいい。とにかく恥をかかしてくれたあいつを殺したい。
P―38みましたねんな。
うん。
みたよ。
奴もあれの同類だ、くるかもしれん……
必ずくる!!
くる……といいつつ夏がきて……

なんと8月15日がきてしまった!
飛行停止!?
そんなバカな!! おれは生き残るために、生き残ったんじゃない。こんなつもりで生き残ったんじゃないんだ。
これでは恥の上塗りじゃねえか!!


人間、一生のうちには
何度か目の前が
まっくらになるというが、
この時のおれがそうだった。
どうしようかと思った。
とても大変なことになったと
思った………

P―38だ!!
マッカーサーも厚木へ降りたからここへものり込んできたか……
もしかして……あいつだったら……
おれはいったいどうすれば……
あ……
ジャップの腰抜けパイロットどもはどこへいった!?
やけ酒飲んでフテネしとる。

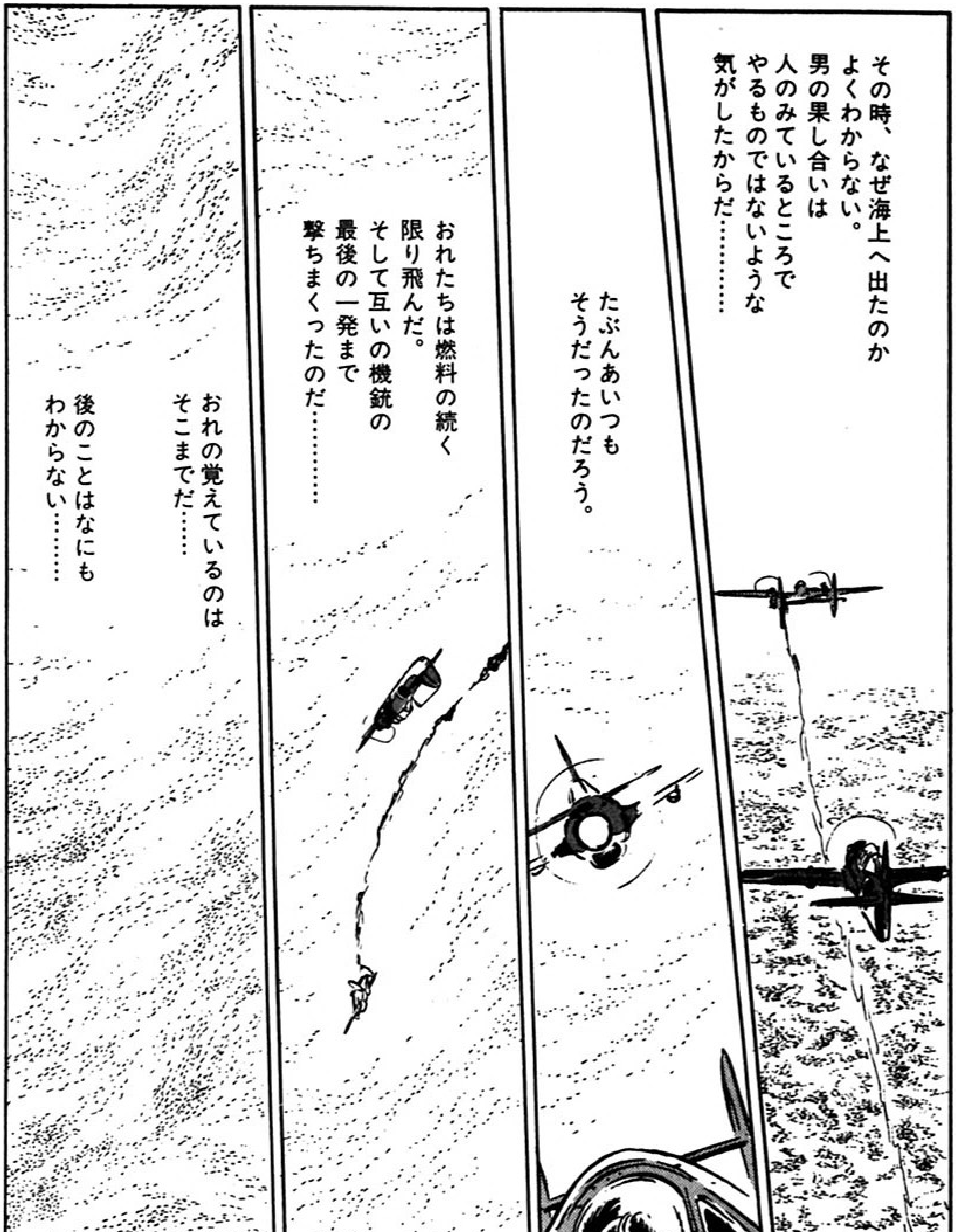
服部がココにいるときいたが……
……
おい服部なにしてる。日の丸塗り消して星のマークかくの手伝えとさ。
そんなアホなことできるか、くそくらえ。
なにしてるんだ？
あいつの首、切り落して腹かっさばいて死ぬ。
あいつってマッドウェー大尉のか？
あいつ、ここへ進駐してきましたんか!!
そうでなくていったいなんだというんだ!!
もうやめとけ、戦争は終わったんだ。
おれのは終わらん!!
ミーの戦争もまだENDでないねー。あの腰抜けともう一度やってぶっ殺せば、ほんとうにTHE・ENDね…………

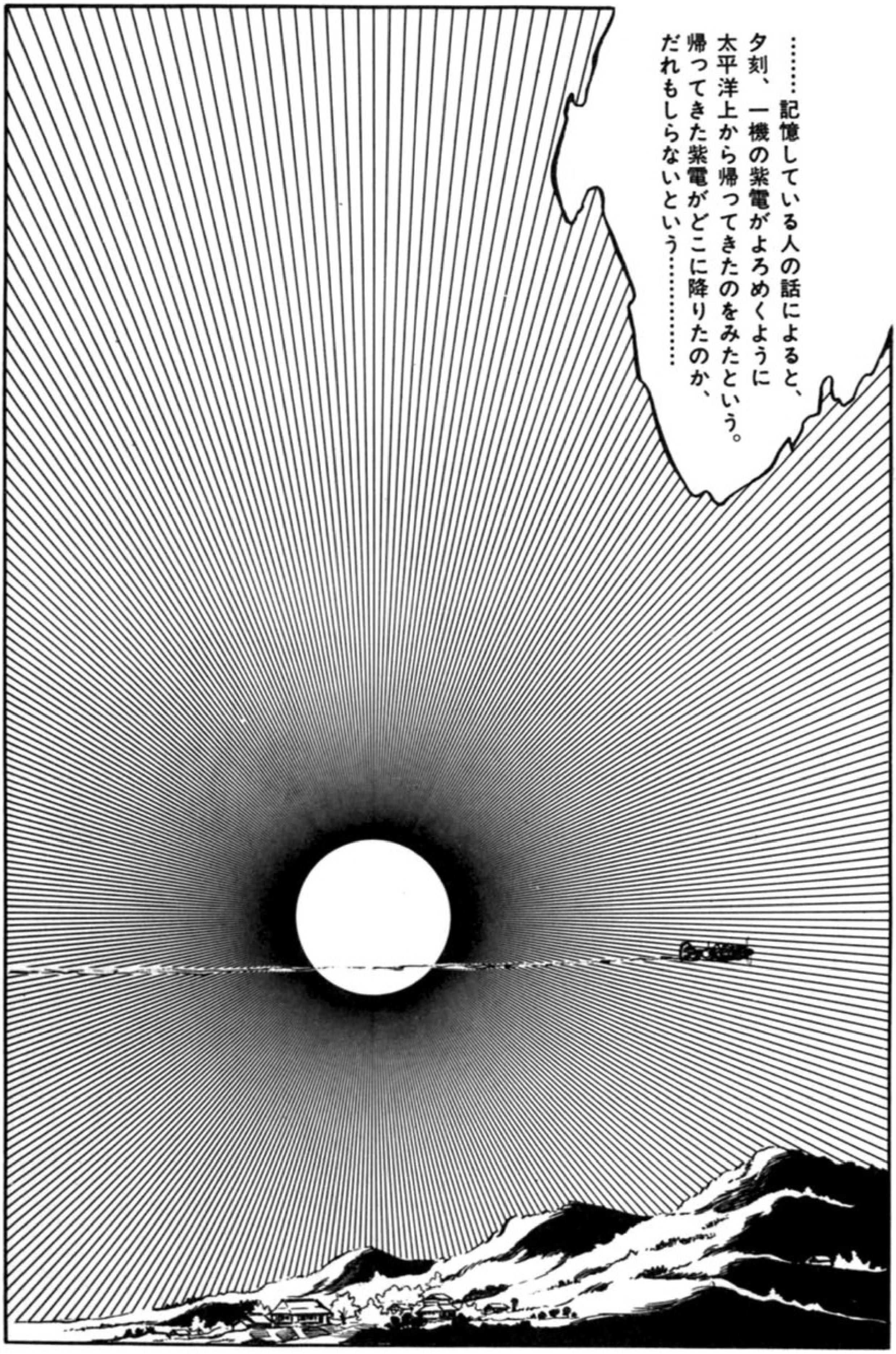
なに！
一騎打ち!?
どちらが
勝っても
双方文句
なしという
条件だ。
戦史にも
記録にも
いっさい
とどめない。
ワタシ司令官、
テキサスの生まれね。
こういうのベリー
大好き。
血わき、お肉おどるね。
ワタシみてみぬふりを
しまーす、
やんなハーレ。
我が方の
司令は
………
わしゃもう
しらん、
勝手にせえ。
!
ユー
キサマー
やった
ろう
じゃん。

I Shall Kill JAP!!
飛行機はあれでええか…というとる。
バカこけ、米軍のマークのついた飛行機に乗れるか。
こういうのもおおかたウソッパチで気にくわん。
ガリ ガリ ガリ ガリ
ありまっせ、元のままのが。
服部はんの顔みてたら、塗り変えるの忍びのうてな、隠しとったんや。
カ-119
エンジンは？
立派な部品ばかり寄せ集めたさかい、そらものすごいええ調子やで。
赤いミートボールのマークや…というとる。
やかんしゃい！星柄のパンツの旗立てて喜ぶない！
しかし、どっちが死んでも少しアホらしい気もしますなあ。
のりかかった船だ、飛行機だ！

…………
おかしなことになったなー。
なんのための空戦や？
男の誇りを賭けた空戦や。
一番大事なもののために戦う空戦や。
上昇力は我が方の勝ちだ。1万メートルまで昇ってみろ！
バカタレが！一騎打ちだ、なんで一万メートルへ昇る必要がある。
上昇力でまさりスピードでまされば、好きなポジションから先制攻撃をかけられるのだ！

そんなものはケロリとかわすのだ。
頭をおさえれば上へは昇れまい。
低空での格闘戦ならおまえはイモみたいなもんだ。
コラールドコヘイクカー
ヘイ、バカターレ！
みえるところでやれ、
みえるところで！

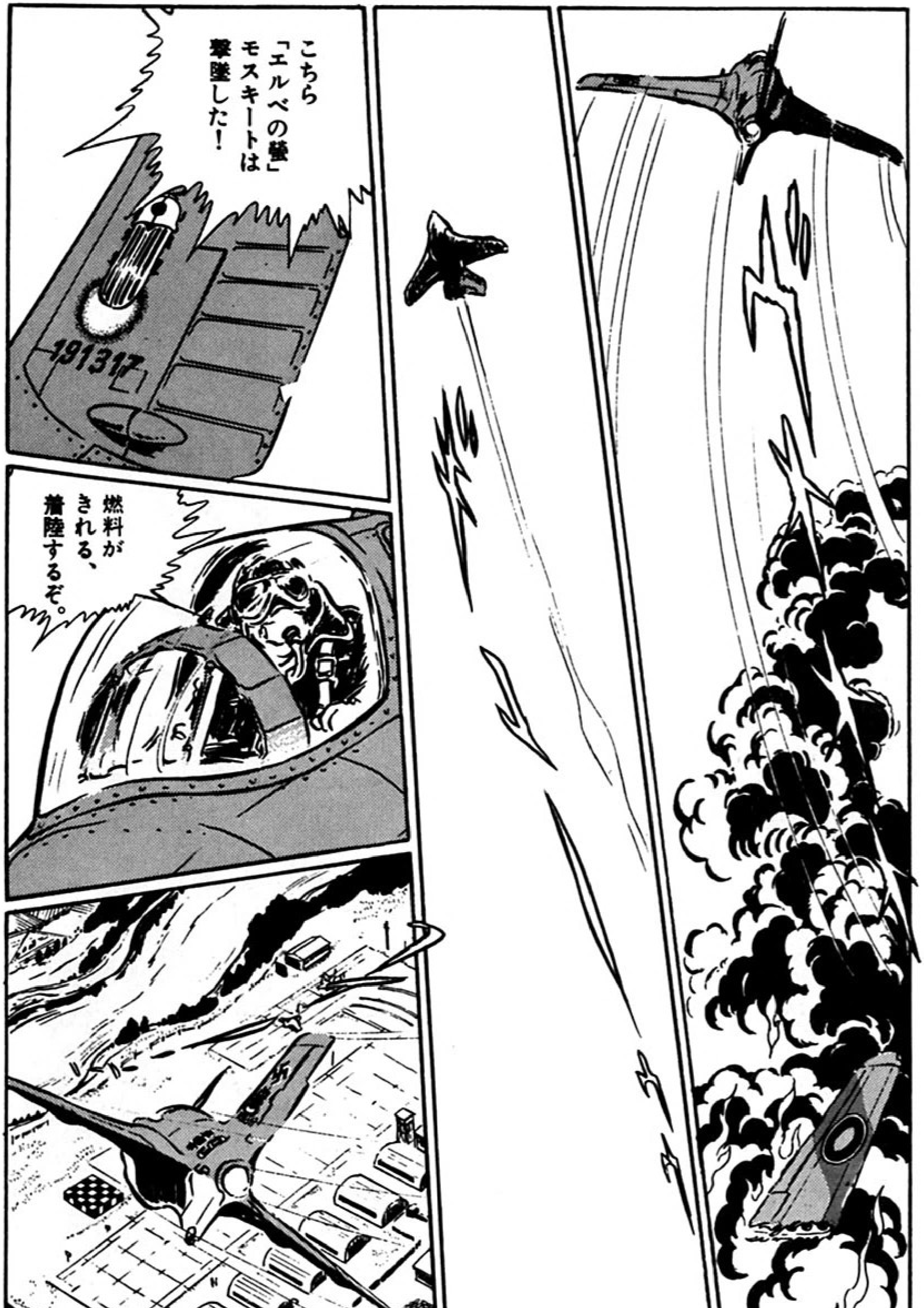

その時、なぜ海上へ出たのかよくわからない。男の果し合いは人のみているところでやるものではないような気がしたからだ………
たぶんあいつもそうだったのだろう。
おれたちは燃料の続く限り飛んだ。そして互いの機銃の最後の一発まで撃ちまくったのだ………
おれの覚えているのはそこまでだ……
後のことはなにもわからない……



■「ビッグコミックオリジナル」1976年9月1日増刊号掲載

G—7監視哨より報告、英軍機一機DFラインから当方へむかう。
定期便の高速偵察機だ。
なにを後ろを気にしてる。モスキートに追いつくドイツ機はめったにいないよ。
それが……
なにかついてくるんだ。
ついてくる？
鳥のような奴が……

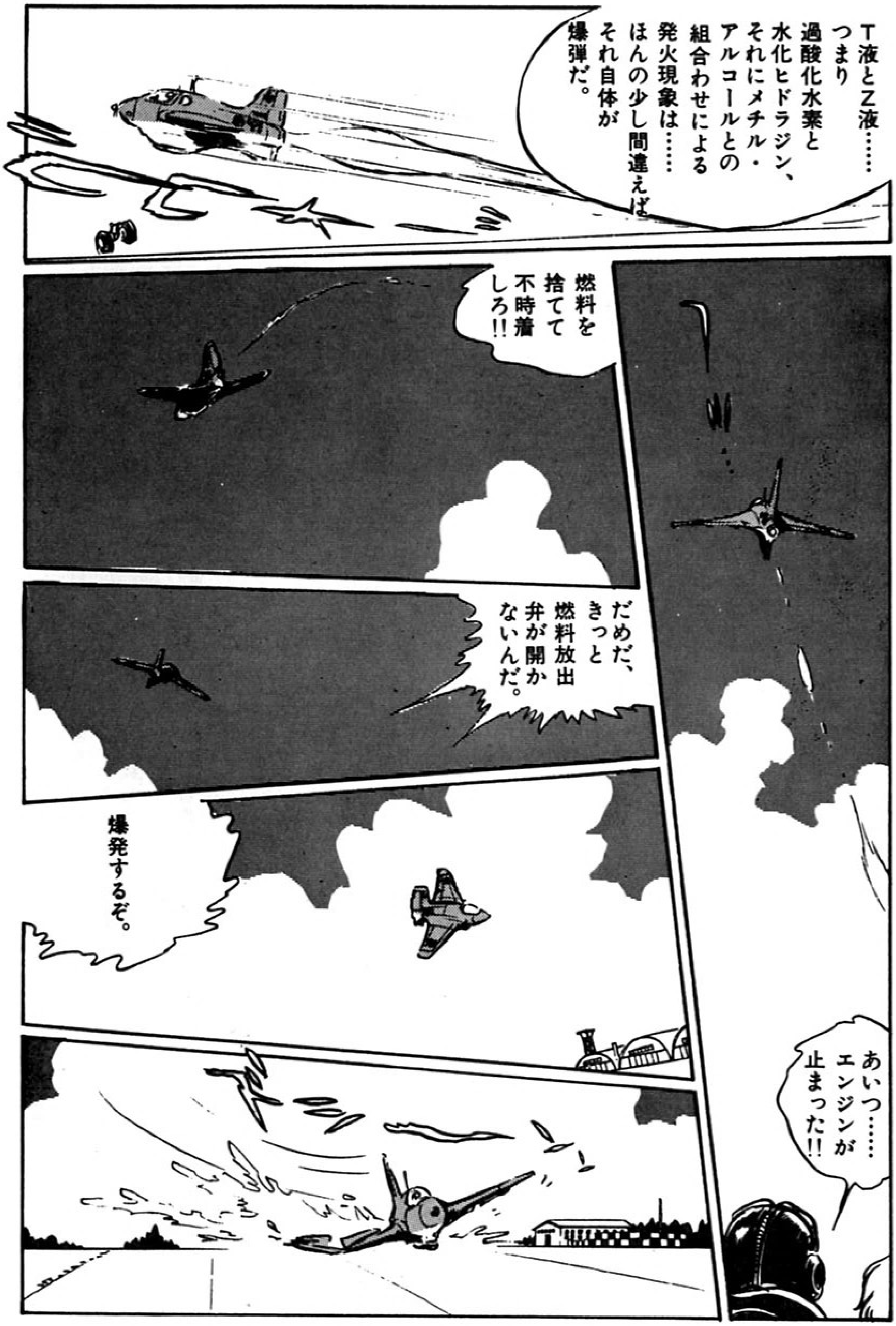
エルベの螢火


こちら「エルベの螢」モスキートは撃墜した！
191317
燃料がきれる、着陸するぞ。

!!
ヘルバート!!
「エルベの螢」というのはきみか、レーデル!!
無線を聞いたのか。
ぼくの車は特製でね。
なんだあれは!? あんなのがドイツ軍にあったかなあ。
研究所の手製だ。

あれのぐあいはどうだ?
あれか?
滞空時間がもう少しあればなあ。
スピードは?
申し分なしだ。燃料があってエンジンが噴射を続けている限り、これより速いものは地球上に存在しない。
たぶん太陽系にもないだろう。
なぜ太陽系にもないという。金星や火星に文明はないというのか?
だからたぶんといったんだ。
いつかぼくの手で……ぼくのつくるロケットでそれを確かめてやる。
レーデル、きみの夢は祖国のために戦うことだった。
おまえの夢はあそこや金星や火星に飛ぶことだったなヘルバート!!
そうだ。

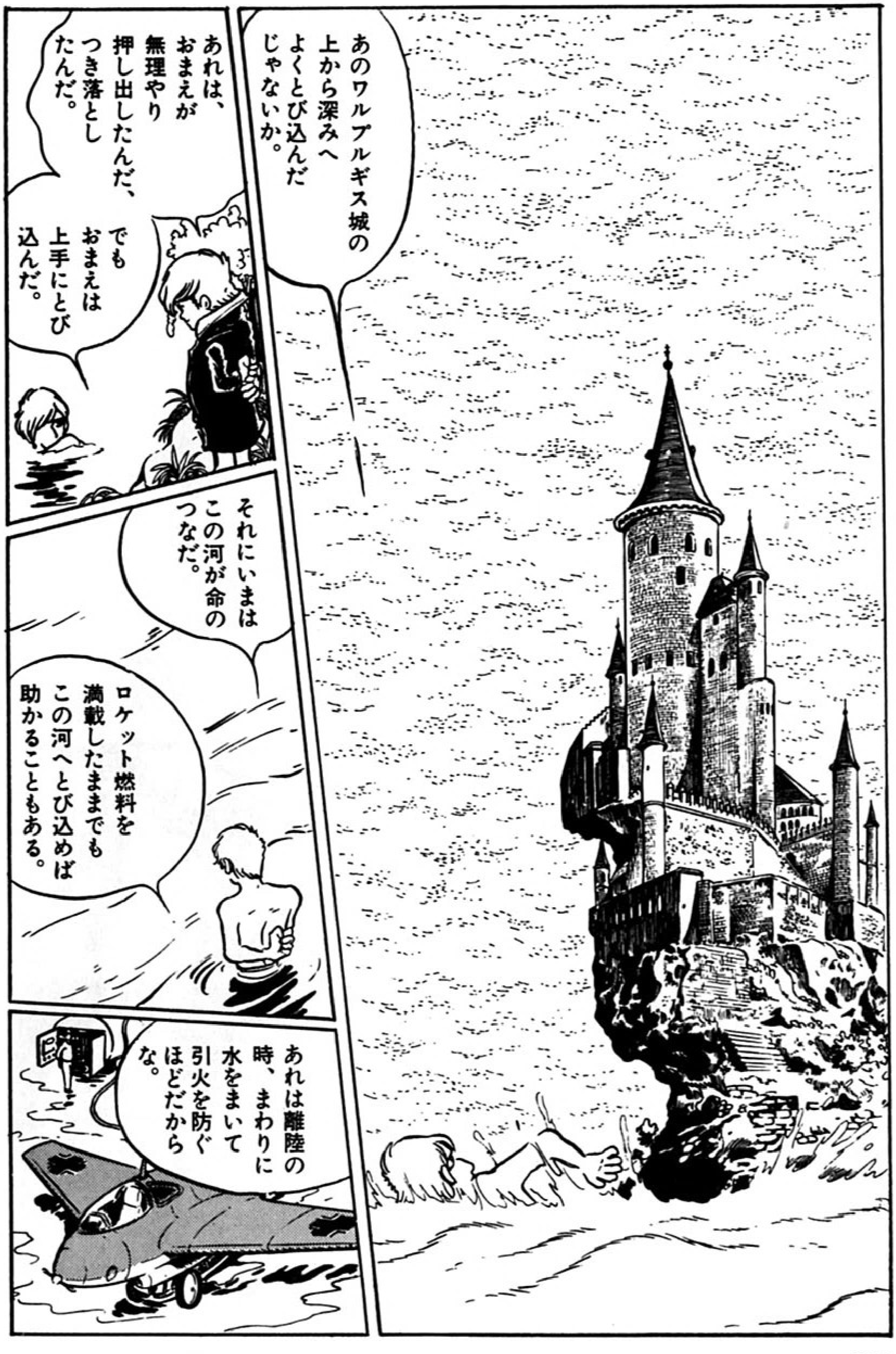
いけると思うか?
ぼくがこの戦争で死ななければね。
あそこまでいく奴は幸せだなあ。そういう運命に生まれついた男がもうどこかで息をしているのかもしれないなあ。
バカ、ぼくがいくのだ。
おまえが?
そうだ。自分のつくったロケットで自分がいくんだ。
そうでなくてなにがおもしろいものか!!
じゃ、あれでおれたちが飛ぶのもあまりおもしろくないか?
いいや。
こちらでつくっておきながらこんなことをいうのは悪いが、
あのMe一六三Aのロケットエンジンは、まだ生まれたばかりの未完成品だ。
いつ爆発するかわからない……
もっとも燃料の方にも問題があるんだが………


T液とZ液……
つまり
過酸化水素と
水化ヒドラジン、
それにメチル・
アルコールとの
組合わせによる
発火現象は……
ほんの少し間違えば
それ自体が
爆弾だ。
燃料を
捨てて
不時着
しろ!!
だめだ、
きっと
燃料放出
弁が開か
ないんだ。
爆発するぞ。
あいつ……
エンジンが
止まった!!

奇跡だ！
あっ！
パイロットが……
パイロットが溶けて……
T液とZ液がまざらなかったから爆発はしなかったが……T液のタンクだけが破れて、T液……過酸化水素をかぶったんだ。
だれだ。
ヘルマン・ゲラーデン中尉です。
まだ有人ロケットを実戦に使うのははやすぎるんだよ。

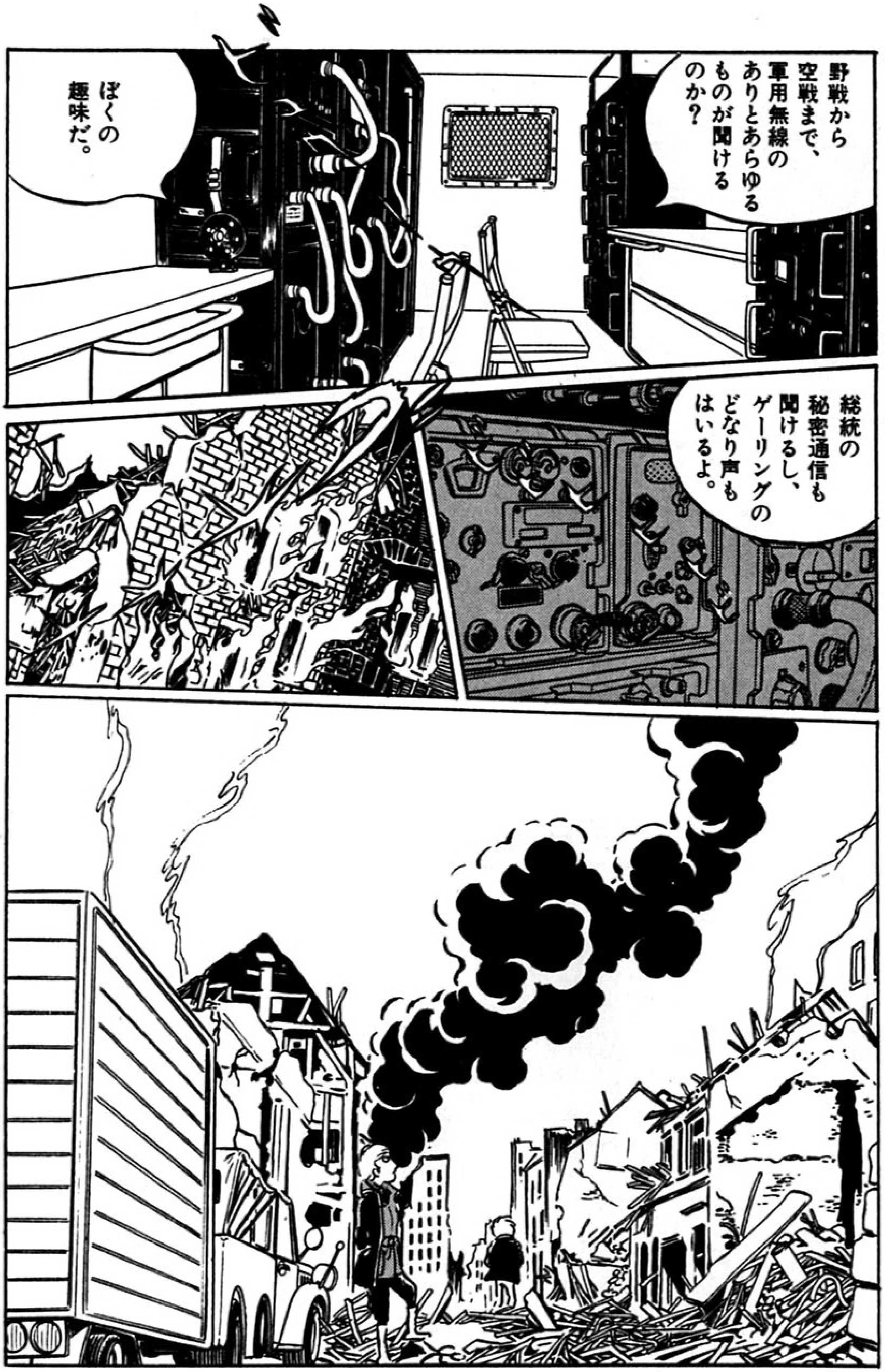
いや、有人ロケットは戦争に使うべきじゃないいんだ。
宇宙という海へ乗り出す人類の船として使うべきものなんだ。
ぼくは……それを信じてその日がくるのを信じて、ロケットと長年取り組んできた。
ほんとうはああいうところへ……
ヘルバート!!なくな、いつかおまえの時代がくる。
おれたちが死んだ後できっとおまえの時代がくる。
ぼくはおまえといっしょに飛びたいんだ、レーデル!!
おまえといっしょに月や火星へいきたいんだ。

小学生の頃、二人で描いた宇宙征服の絵をいまでももってるぞ。
そこにはこう書いてある。
「偉大な地球人類の尖兵大ドイツ空間探索隊の勇士、ワルター・フォン・レーデルとハンス・クリスチャン・ヘルバートの二人ここに足跡を印す」
覚えてるよ。
GEFAHR
TUNG
飛行時間八分足らずのロケット機ではまだまだ先の話だ。
V−2号はロンドンへとどいている。
アメリカ本土を狙う大陸間弾道弾も完成間近だ。
ロケットは飛び上がったら地球へ墜ちてきてはいけないよ。
そうだな。
GEFAHR
おい、なにをするんだ！
泳ぐ。
フォン・ブラウン博士は、弾道弾じゃなくて、月探検用ロケットとしての性能を基本にしているが……
エルベ河の水は冷たいよ。
昔のおまえはそんなことはいわなかったぞ。
GEFAHR
ACHTUNG
ACHTUNG


あのワルプルギス城の上から深みへよくとび込んだじゃないか。
あれは、おまえが無理やり押し出したんだ、つき落としたんだ。
でもおまえは上手にとび込んだ。
それにいまはこの河が命のつなだ。
ロケット燃料を満載したままでもこの河へとび込めば助かることもある。
あれは離陸の時、まわりに水をまいて引火を防ぐほどだからな。

ワルプルギス城が!!
低空できたからレーダーにも映らなかったな。
奇襲だ!
Rauc

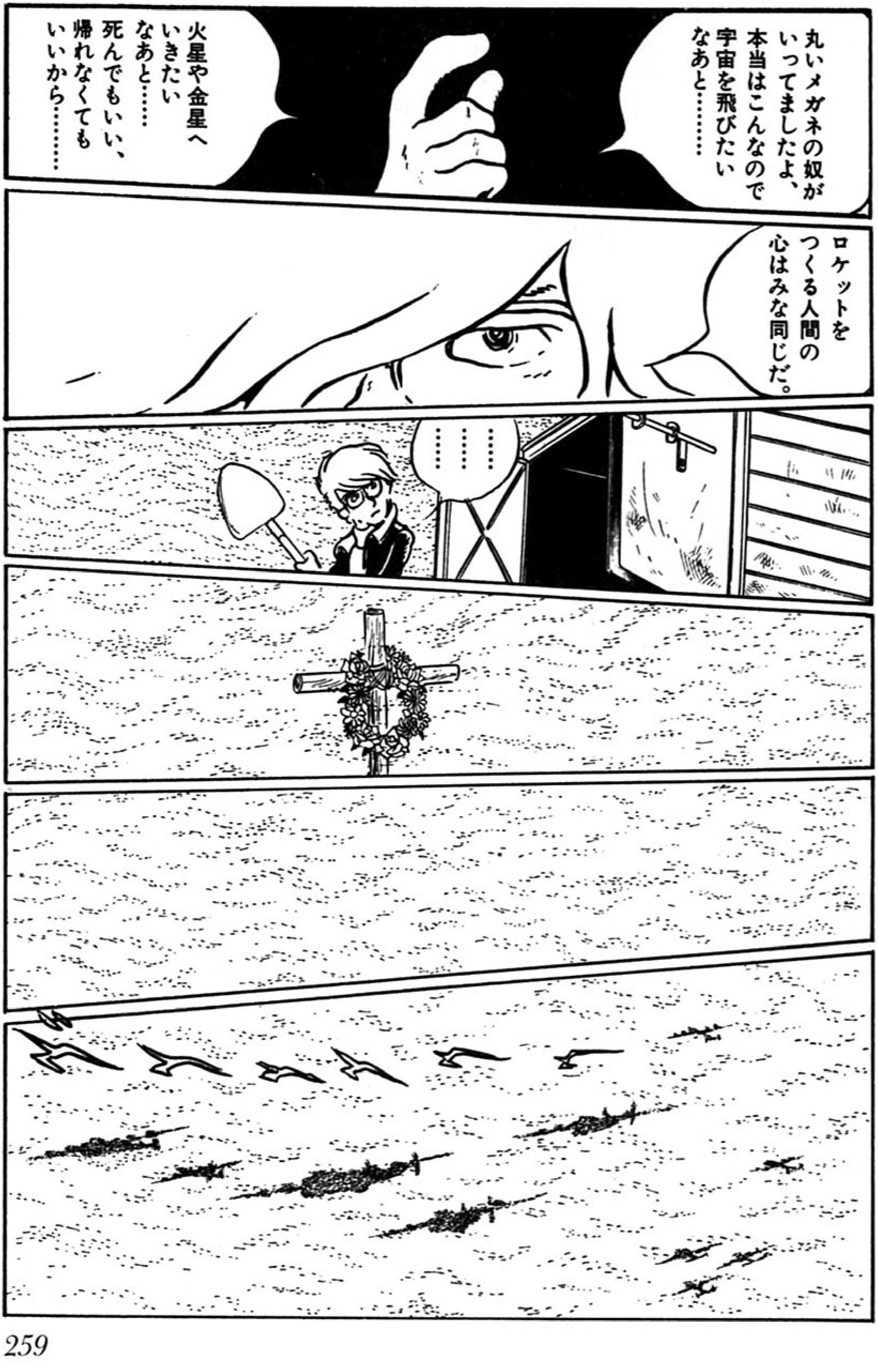
燃料タンクは大丈夫か!?
地下にあるから一トン爆弾の直撃でも大丈夫だ。
ロケット戦闘機隊をつぶしにきたな。
おい、ヘルバートみろ!
え!
町が………飛行場を狙った弾がみんな町の方へ流れた。
おれたちの町が!!
いこう。
なんかいっぱい機械がつまってるが、飛ばしてもいいのか?
ぼくのつくるのはガンジョウだ。
!!
GG77からGX88へ、B—17東へ向う機数二百二十!
GE66はXポイントで待期せよ!


野戦から空戦まで、軍用無線のありとあらゆるものが聞けるのか？
ぼくの趣味だ。
総統の秘密通信も聞けるし、ゲーリングのどなり声もはいいるよ。

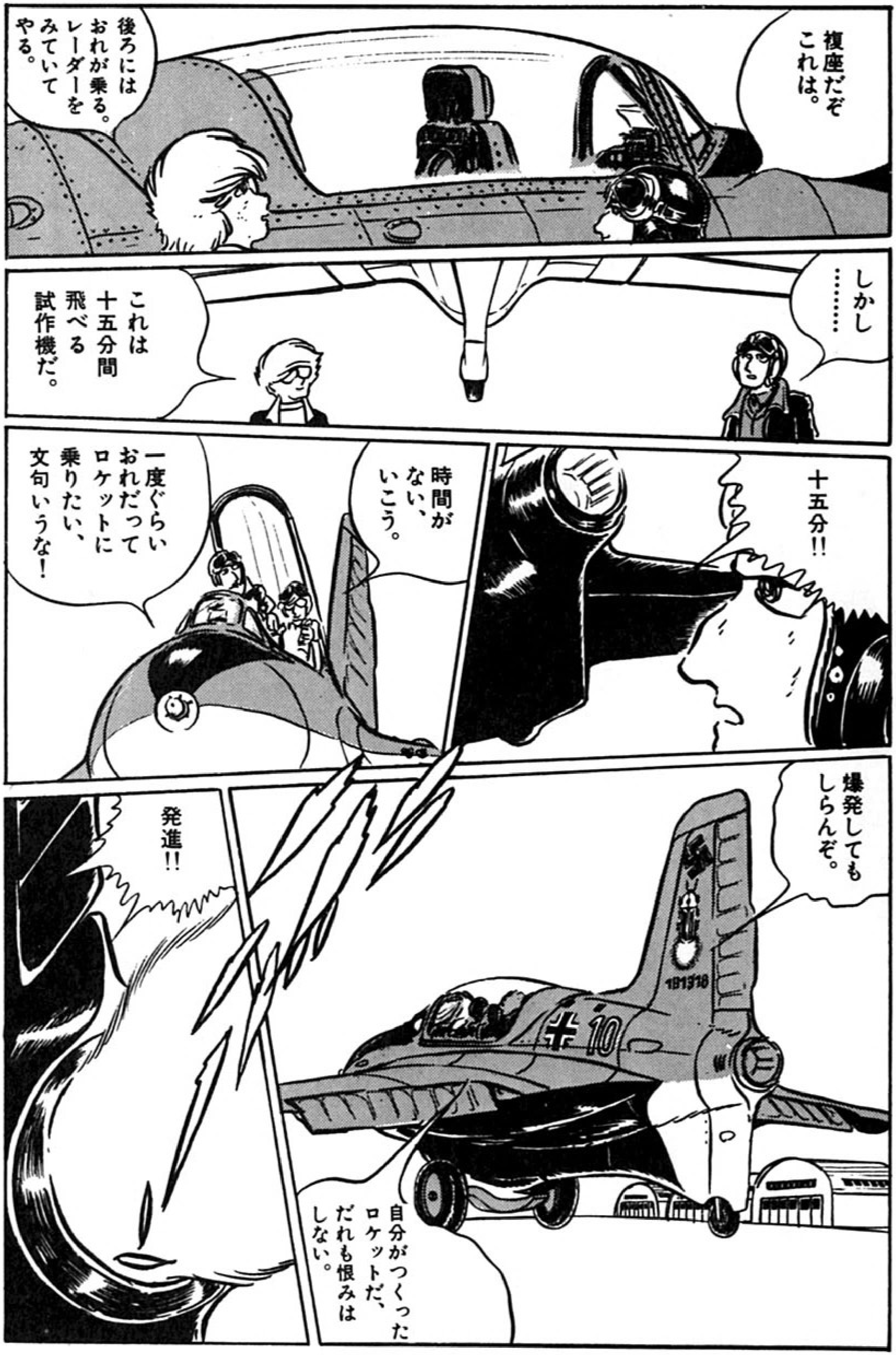
町が……
……
……
なんだ そのケシズミ……
ハンナだ。
いいなずけのハンナか?
そうだ、ハンナ・ライラルだ……
あの美しかった人が……
ワルプルギス城からいっしょにとび込んだ娘か……

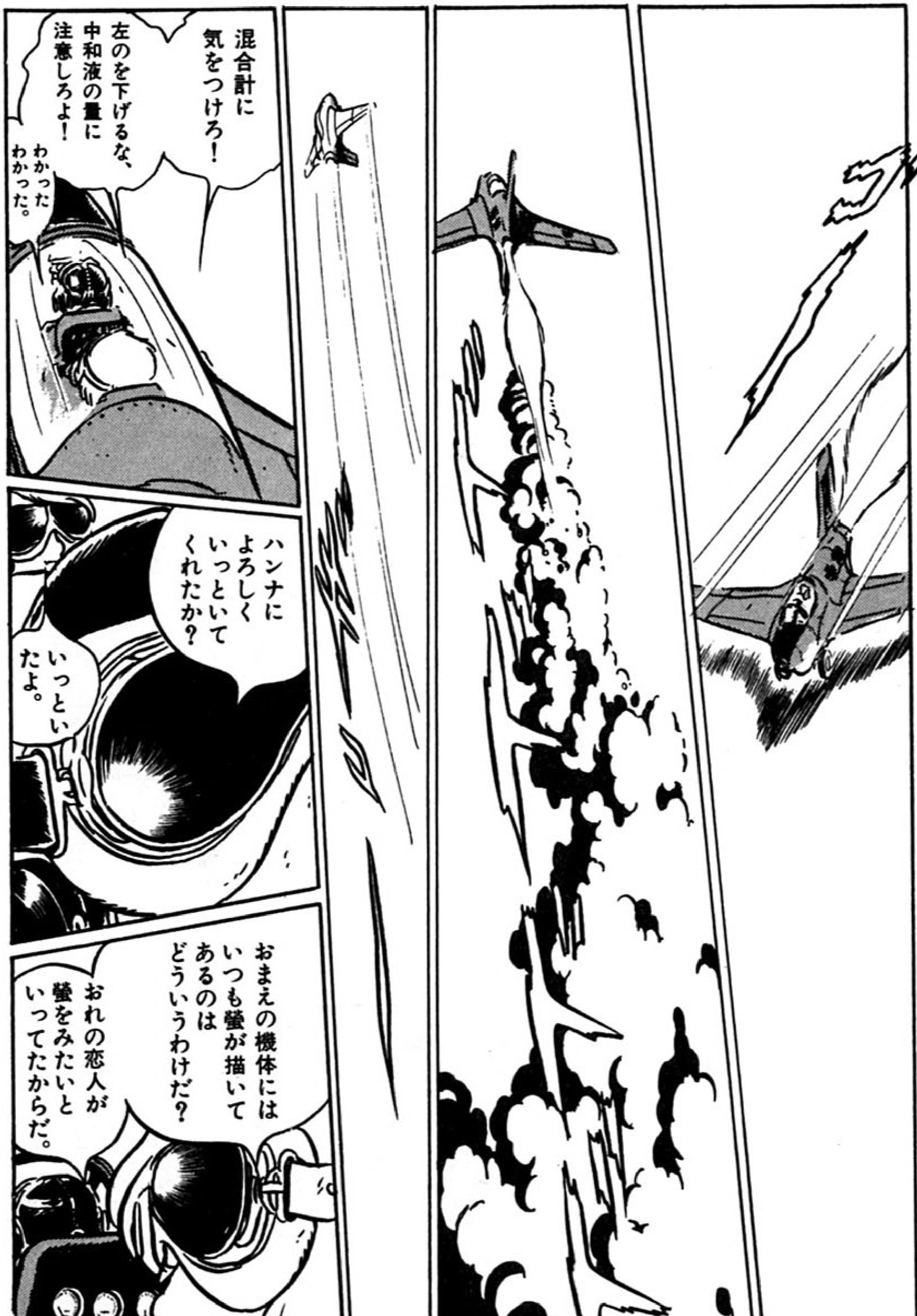
ぼくは研究所へ帰るよ。
送っていこう。
ひとりにしてくれよ。
わかった。ハンナにもよろしくいっといてくれ。
二、三日したら飛行場へいく。
まってるよ。
それまで生きてろよな、レーデル!!
……

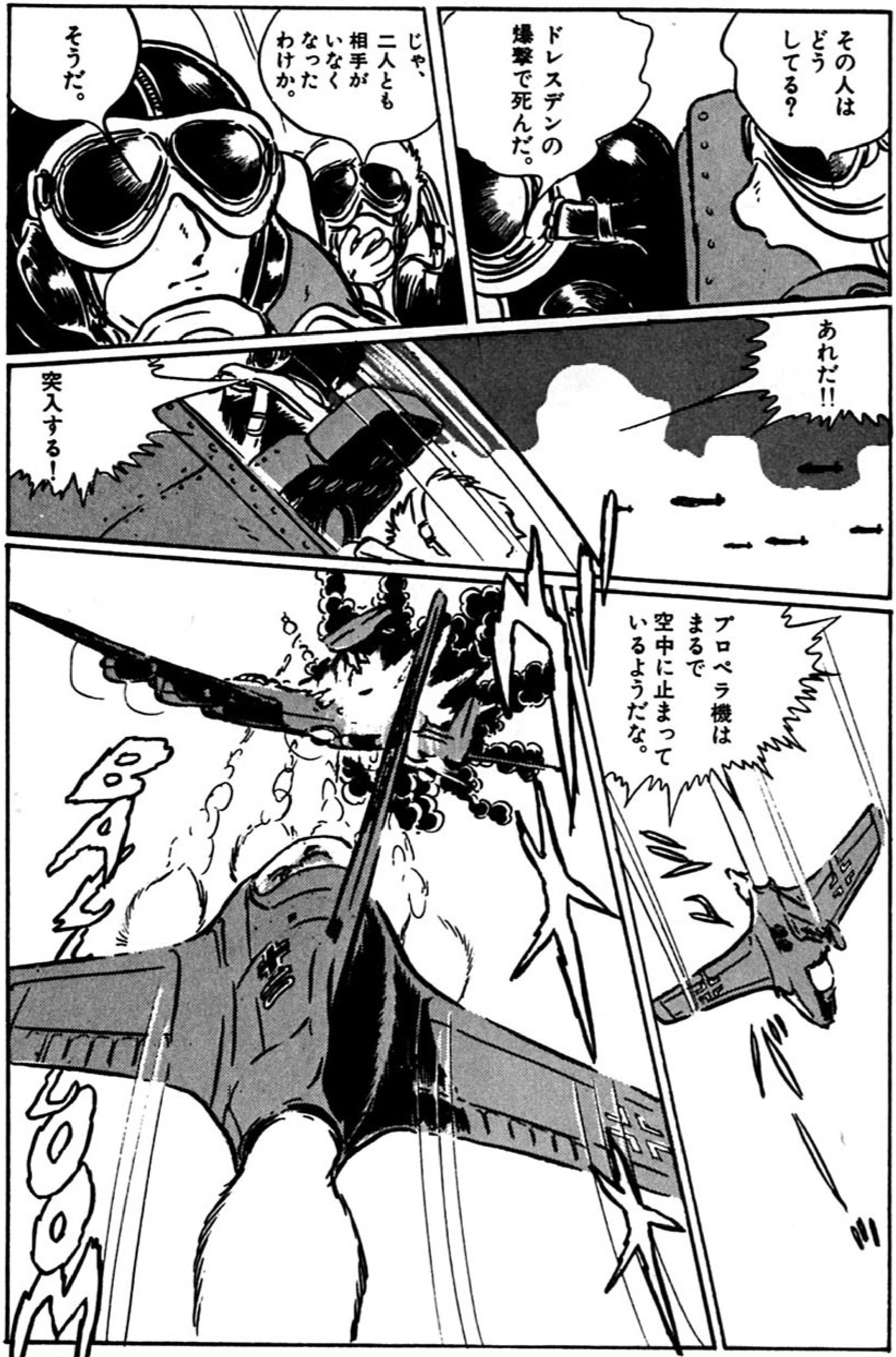
ああ、ヘルバート主任！ご無事でしたか!?
ここもあれがやられました。
!!
日本へ送るサンプルが……ちょうどバンカーから引き出して、トラクターへ乗せようとしていたところで……
日本人はどうした？
機体の基本設計図とエンジン関係の書類だけをもって帰りました。潜水艦が出るのでもう時間がないといって……
彼らはつくるよ。それだけもっていけば、サンプルがなくても必ずこれ以上のものをつくるよ。


丸いメガネの奴がいってましたよ、本当はこんなので宇宙を飛びたいなあと……
火星や金星へいきたいなあと……死んでもいい、帰れなくてもいいから……
ロケットをつくる人間の心はみな同じだ。
……

レーデル、戦闘がはじまったぞ!! 戦爆合わせて五百機の大編隊だ、まっすぐここへ向っている。
我々は何機あがる?
四十機だ。
こいつは七分五十秒しか滞空時間がない………防ぎきれないなあ………
わからん、あがるぞ!
おいレーデル!!
ヘルバート!!
新しいのをもってきたあれで飛べ!


複座だぞ これは。
後ろには おれが乗る。 レーダーを みていてやる。
しかし ……
これは 十五分間 飛べる 試作機だ。
十五分!!
時間が ない、 いこう。
一度ぐらい おれだって ロケットに 乗りたい、 文句いうな!
爆発しても しらんぞ。
自分がつくった ロケットだ、 だれも恨みは しない。
発進!!
181318
10

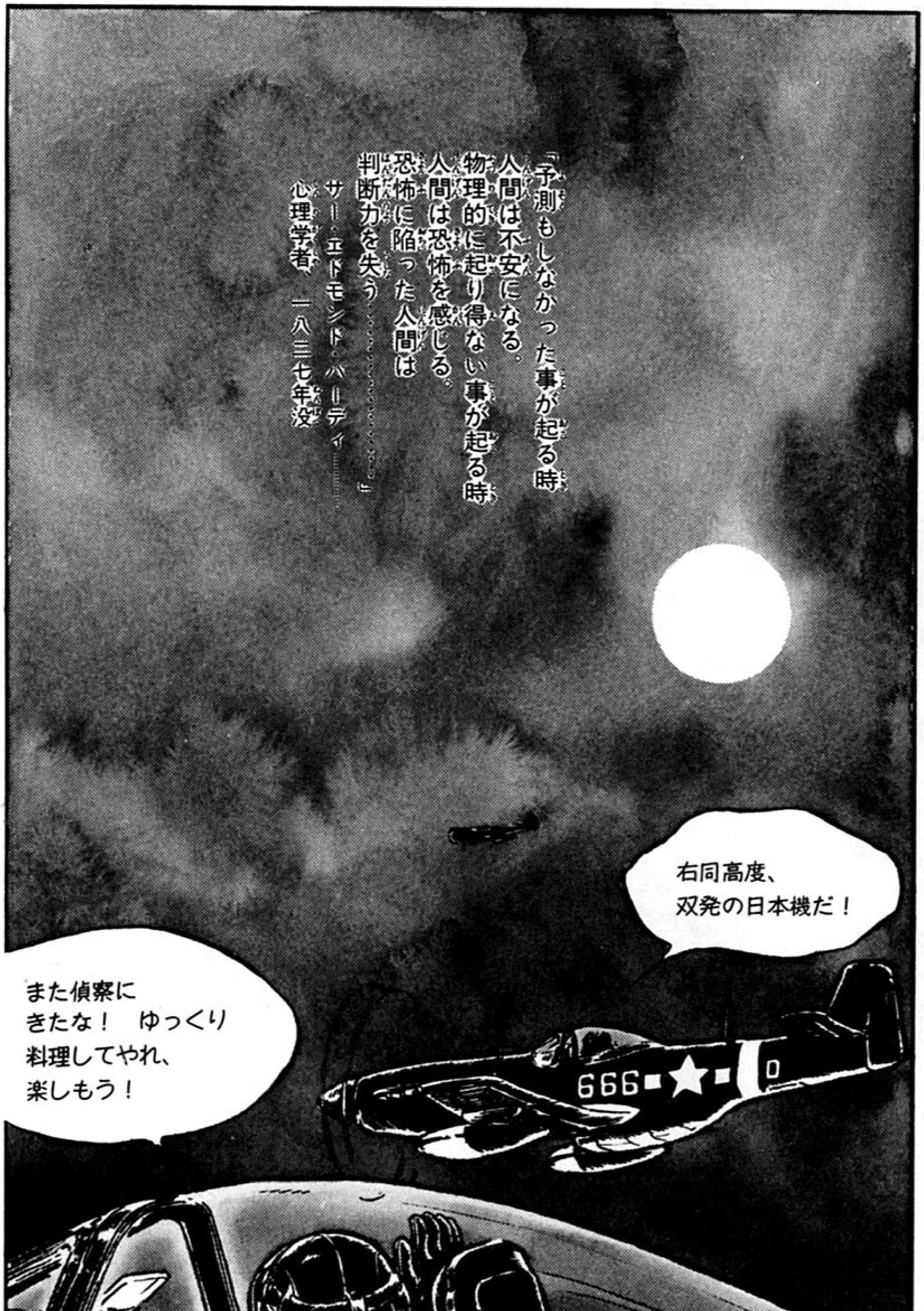

混合計に気をつけろ！
左のを下げるな、中和液の量に注意しろよ！
わかったわかった。
ハンナによろしくいっといてくれたか？
いっといたよ。
おまえの機体にはいつも螢が描いてあるのはどういうわけだ？
おれの恋人が螢をみたいといってたからだ。


その人は
どう
してる？
ドレスデンの
爆撃で死んだ。
じゃ、
二人とも
相手が
いなく
なった
わけか。
そうだ。
あれだ!!
突入する！
プロペラ機は
まるで
空中に止まって
いるようだな。
BOOOM

どうだ、自分のつくったロケットの乗りごこちは？
あんまりよくねえ。
じゃ、もっといいのをつくれ。
つくるとも。
地上軍が飛行場へ迫ってるな。
もう止められない。
あそこにはロケットはもう一機もない。
あるのは残骸と地下の燃料タンクだけだ。
だれかが気をきかせてタンクのバルブを開けといてくれればいいが…………
おい、どうする？
まだ燃料は三分間残ってるぞ！
残ってなきゃまずいんだよ、ヘルバート。

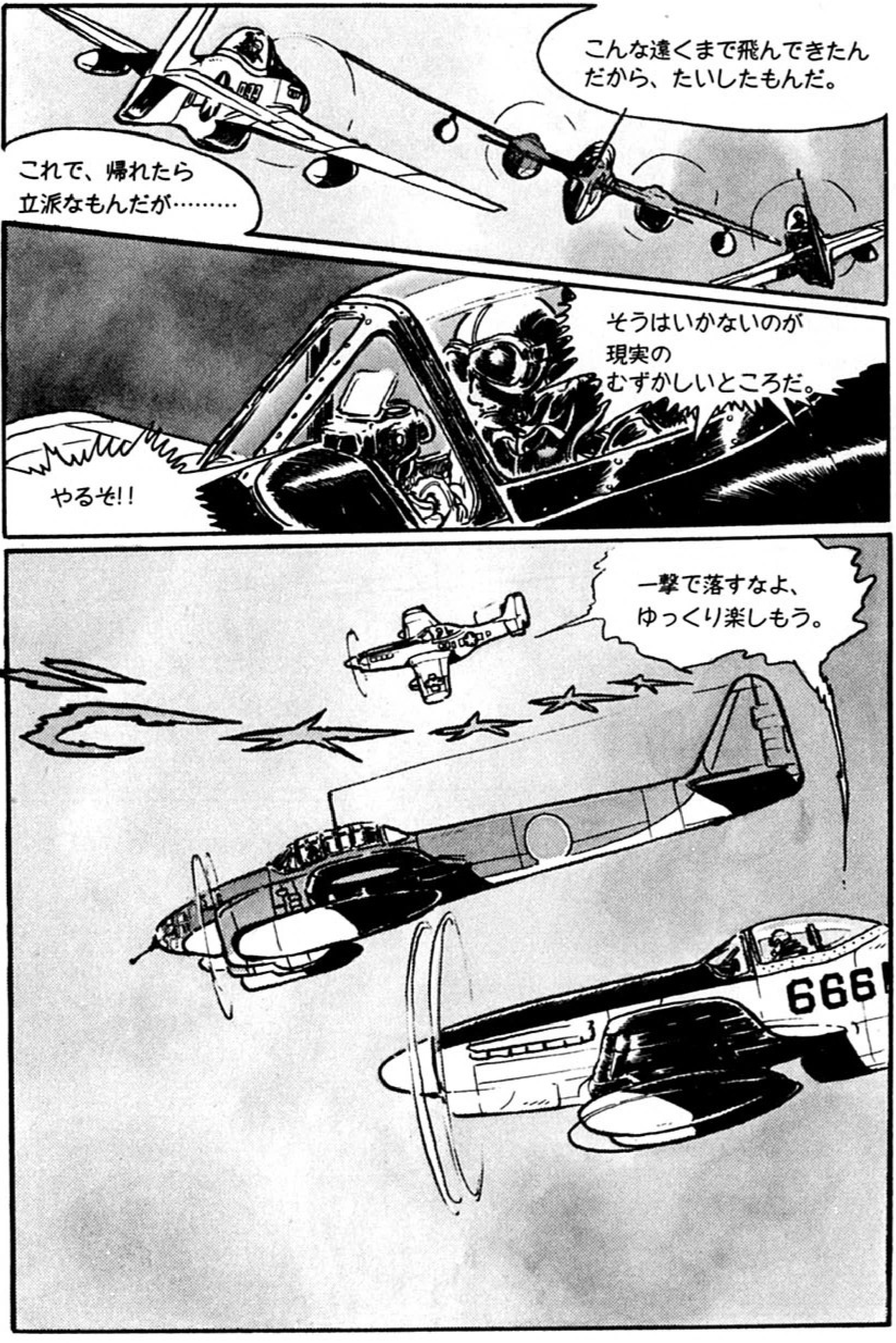
おまえは
降りろ!!
降りて……火星へ行く夢を果せ!
いやだ!
なにをするレーデル!
さらばだヘルバート!
ロケットを探せ!!
ドイツ兵は殺せ!
あ、ああ…
ゴボーゴボ
レーデル!!

■「ビッグコミックオリジナル」1976年10月5日号掲載

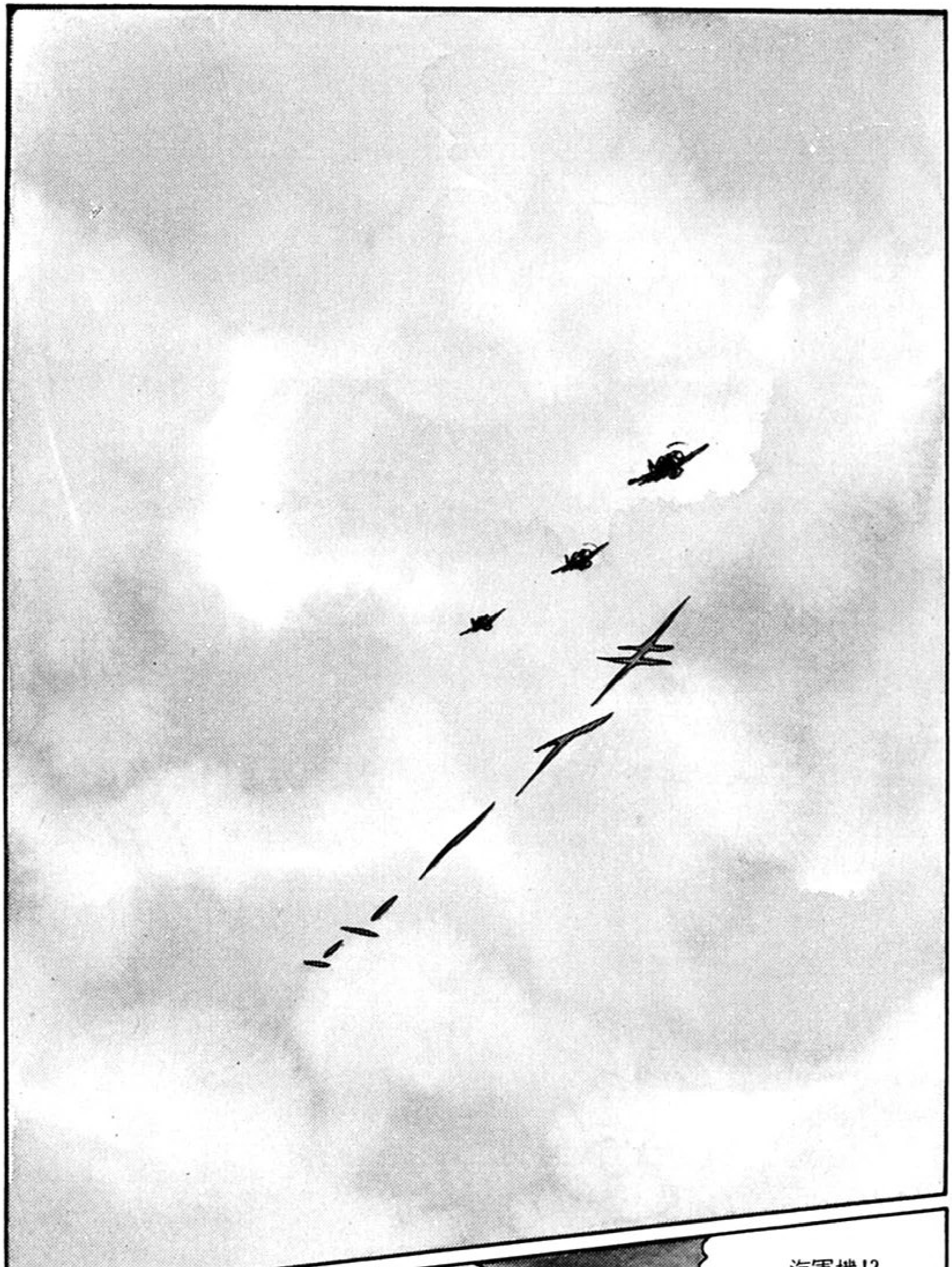

「予測もしなかった事が起る時
人間は不安になる。
物理的に起り得ない事が起る時
人間は恐怖を感じる。
恐怖に陥った人間は
判断力を失う…………」
サー・エドモンド・バーティ……
心理学者、一八三七年没
右同高度、
双発の日本機だ！
また偵察に
きたな！　ゆっくり
料理してやれ、
楽しもう！
666 D

どうしたっ、急げ！敵だ、戦闘機だ!!
勇者(ゆうしゃ)の雷鳴
RISING THUNDERBOLT
増槽が落ちません!! だめです、これでは速度がでません!!

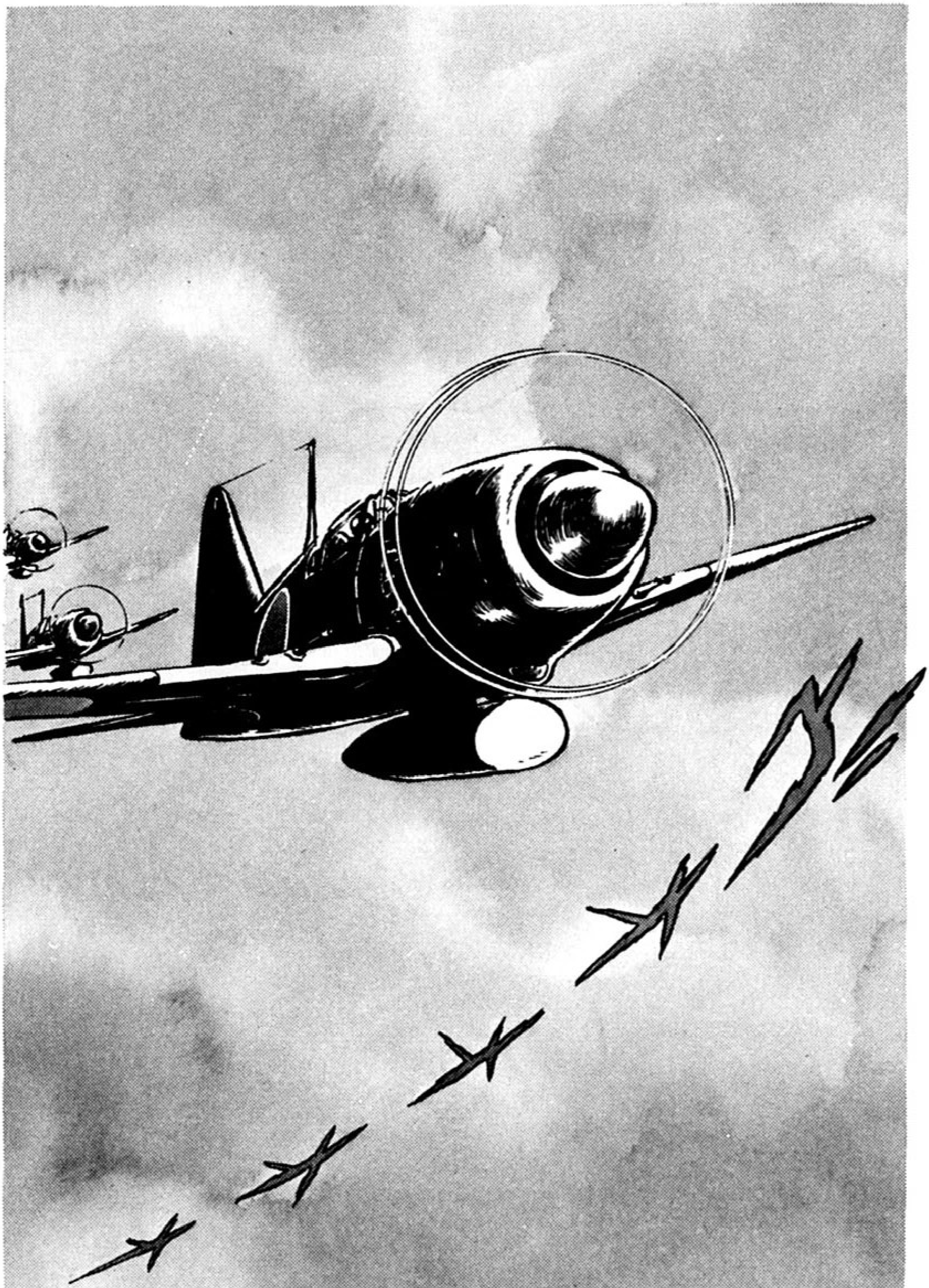
スピードに自信があったんだろう。武装もはずしている。
ドロップタンクを落さないところをみると故障らしいぜ。
それとも帰りの燃料を心配して、タンクをかかえこんでいるのかな？
ここは、日本本土からはるかに離れた太平洋上だからなあ、無理もない。
日本人がギャラクシー『銀河』と名付けている陸上攻撃機だな。うん、スマートないい飛行機だ。
設計思想は、かなり進んでいる。

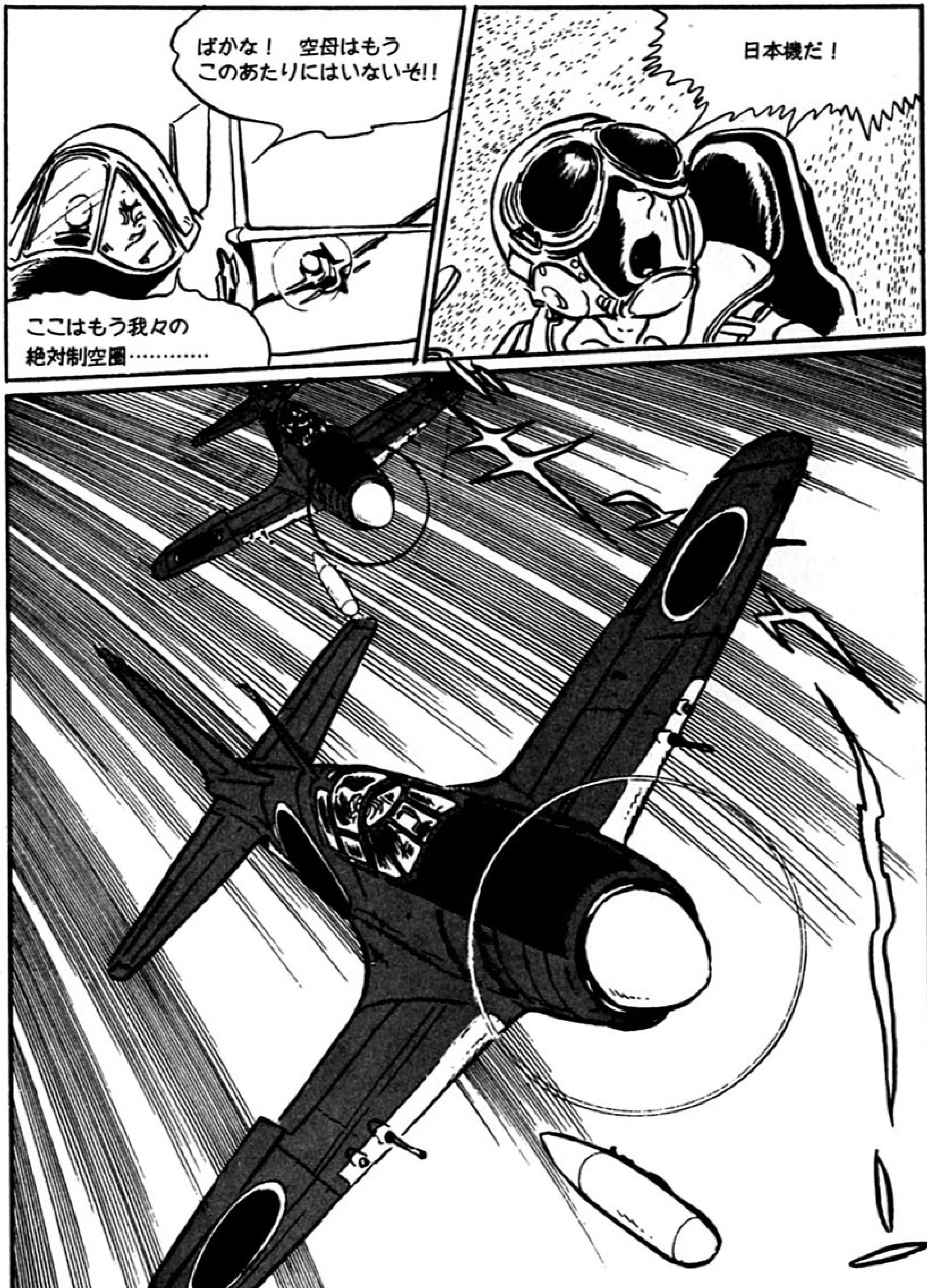

こんな遠くまで飛んできたんだから、たいしたもんだ。
これで、帰れたら立派なもんだが………
そうはいかないのが現実のむずかしいところだ。
やるぞ!!
一撃で落すなよ、ゆっくり楽しもう。
666

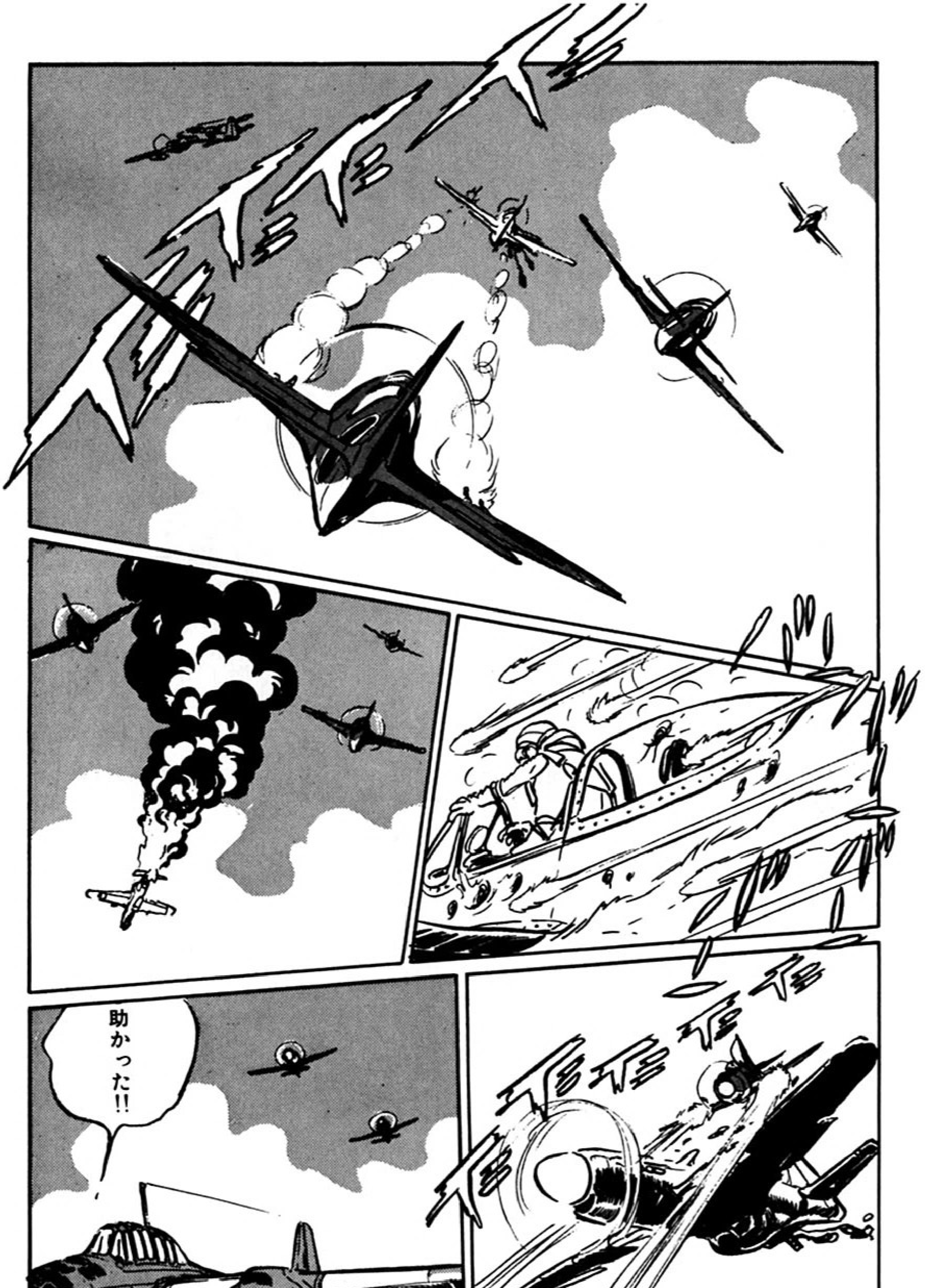
エバンス、
おまえの
腕前を見物して
いてやるぜ!!
エバンス！
おまえの後ろに
海軍機がついてるぞ、
F6Fだ！
なんだって!?
助けなんかたのみや
しねえのに。
なに!?
じゃまだ、帰ってくれ!!
ここは海軍機の出番じゃ
ないぞっ、我々だけで
たくさんだ!!



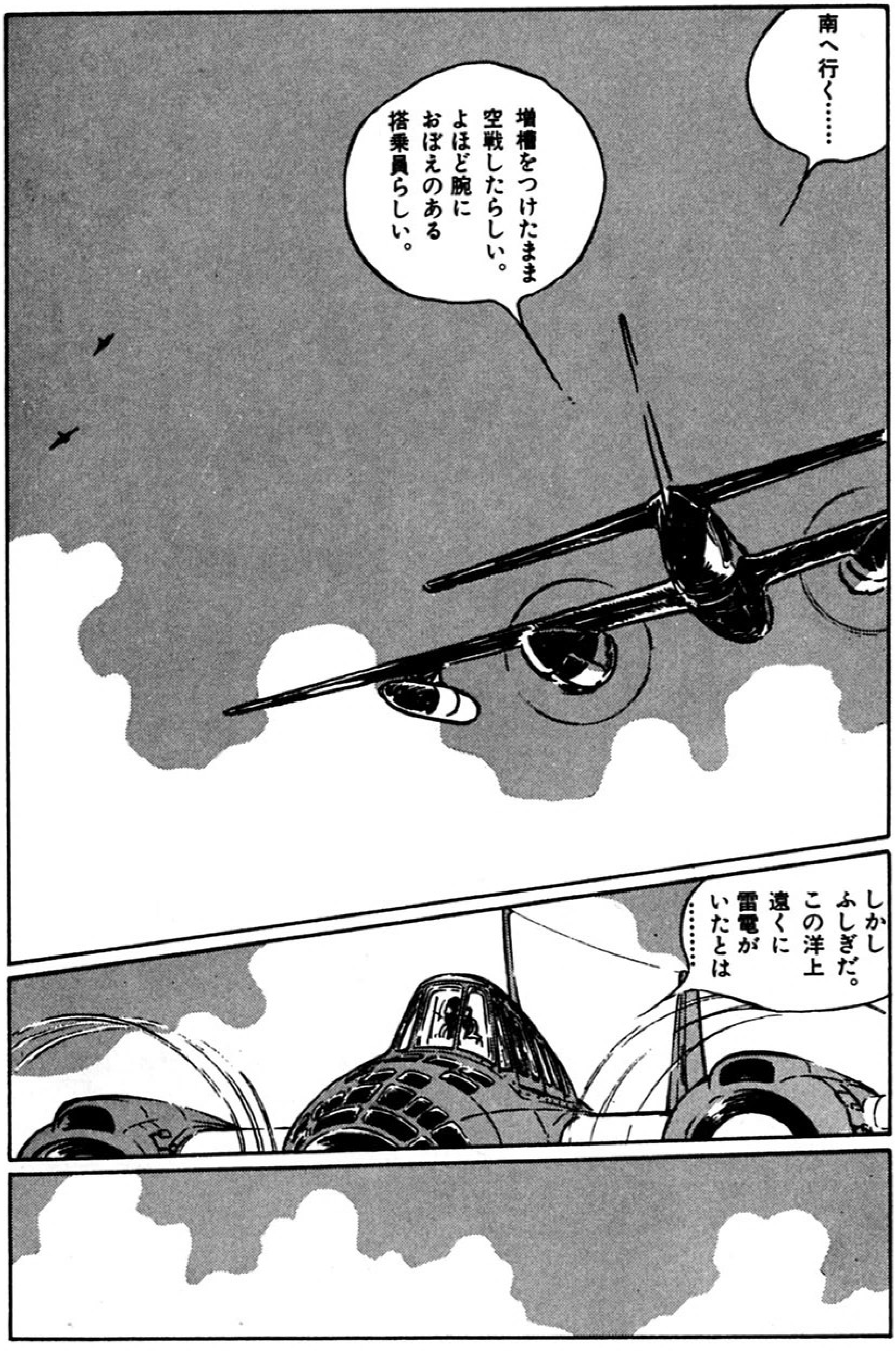
海軍機!?




日本機だ！
ばかな！　空母はもう
このあたりにはいないぞ!!
ここはもう我々の
絶対制空圏…………


助かった!!

たしかにあれは雷電だ。
あの足の短い局地戦闘機がよくもまあこんなところまで………
所属部隊はわからないか？
逆光なのでよくわからない。
話はできないか？
こちら偵察大隊第二特殊部の銀河七〇七機。
救援感謝！所属部隊及び官姓名を名乗られたい。
我々に名前はない。幸運を祈る！

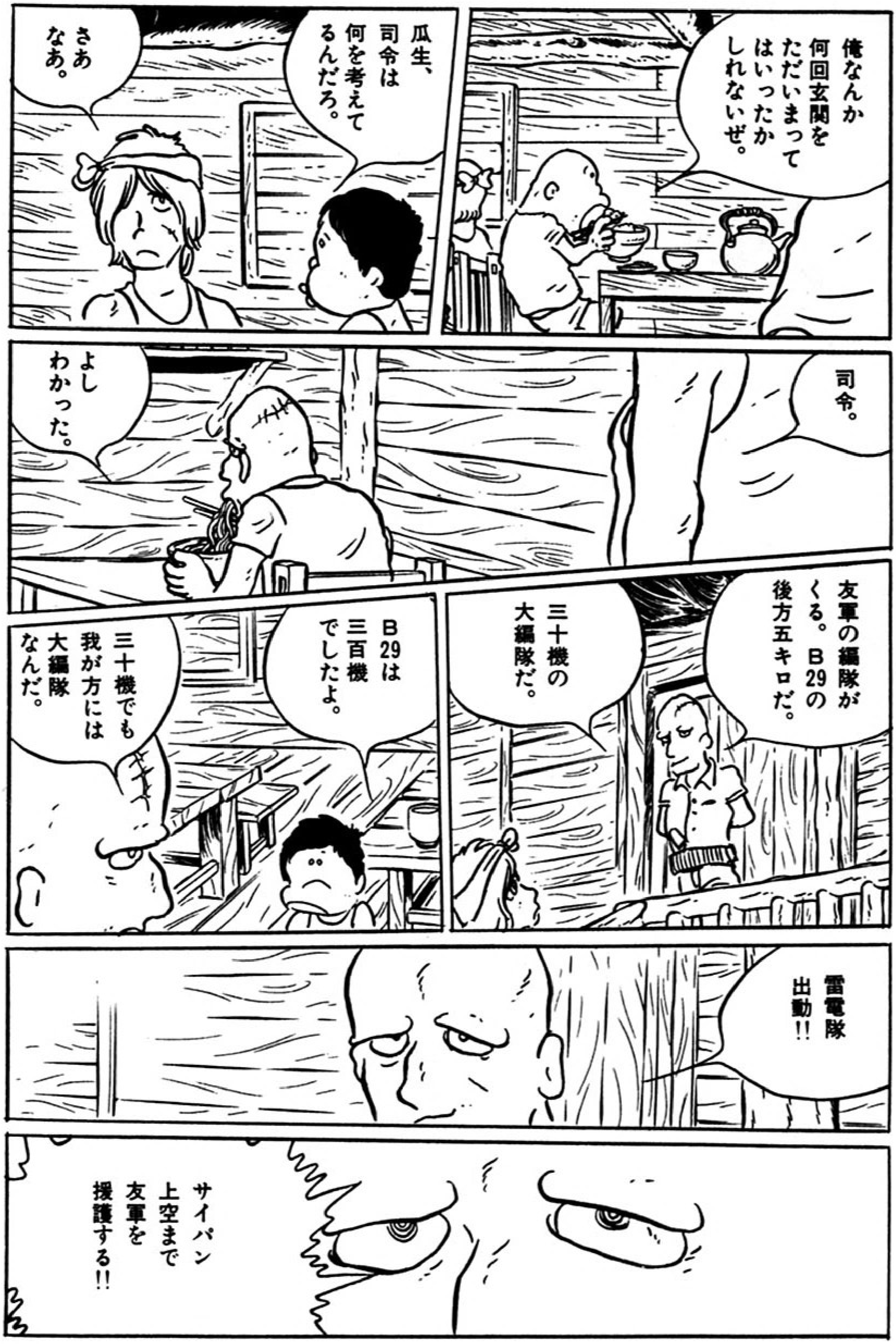

南へ行く……
増槽をつけたまま空戦したらしい。よほど腕におぼえのある搭乗員らしい。
しかしふしぎだ。この洋上遠くに雷電がいたとは……

雷電にまちがいはなかったのか?
たしかに……
そんなばかな。みてみろ、地図を。このサイパンはごらんのとおり太平洋上往復何千キロもの彼方にある。
百歩をゆずってゼロ戦や隼ならいざしらず。
局地戦闘機……今では本土防空用の雷電が、空母艦載機のように海上を飛んでいたとは!!
写真はうまくとれた。
サイパンはB29の巣だ。ウジ虫のようにウヨウヨ写ってる。

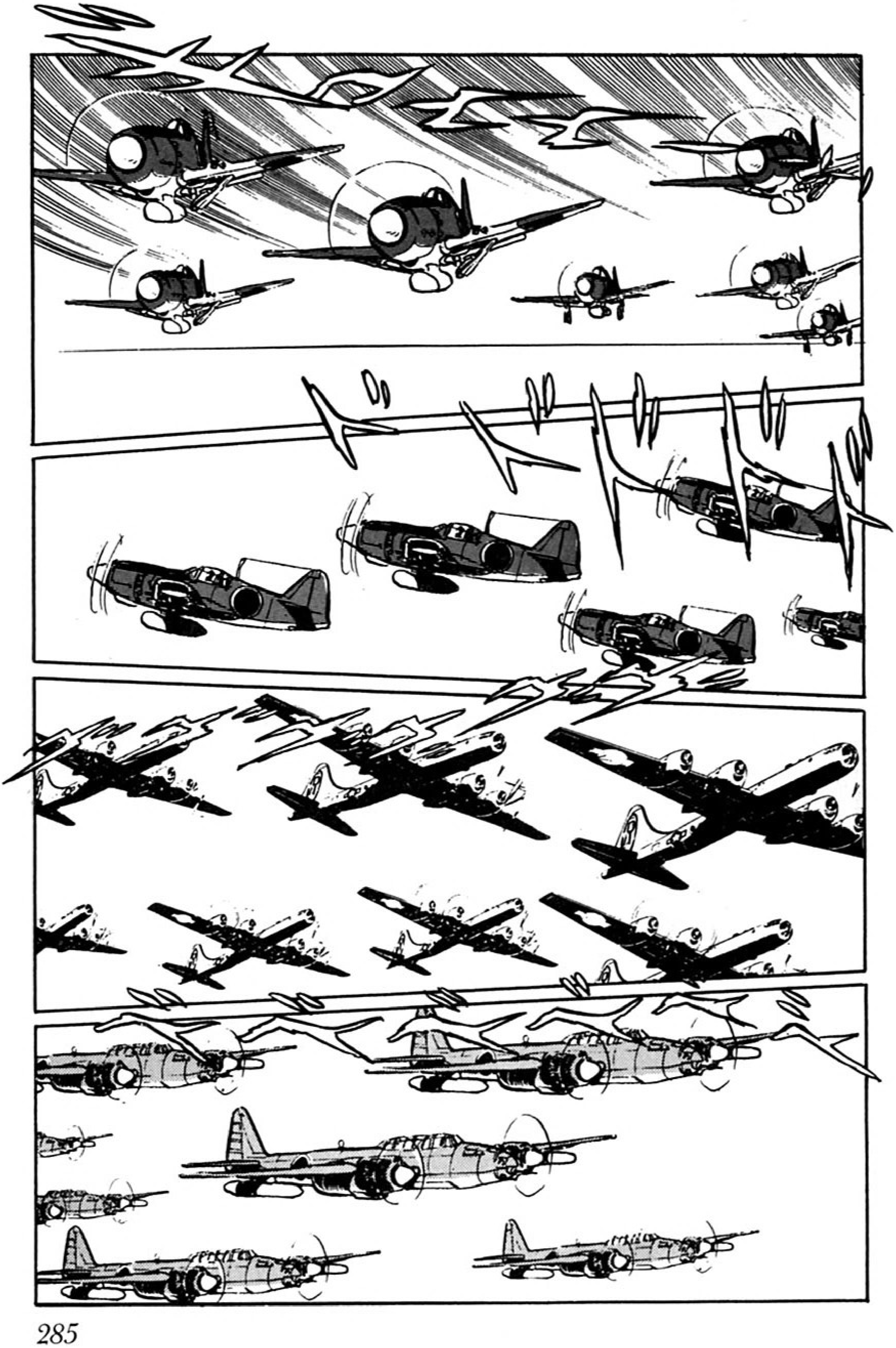
明日、あいつらの編隊について飛び、サイパンのB29を焼き払う……
それが銀河隊の任務だ。
なにしろ洋上はるか彼方なので、戦闘機の護衛はつけられない。
あの雷電隊がまた助けてくれるといいんだが……
夢だったのかもしれない……
夢をみたおかげで、生きて帰れたのかも……

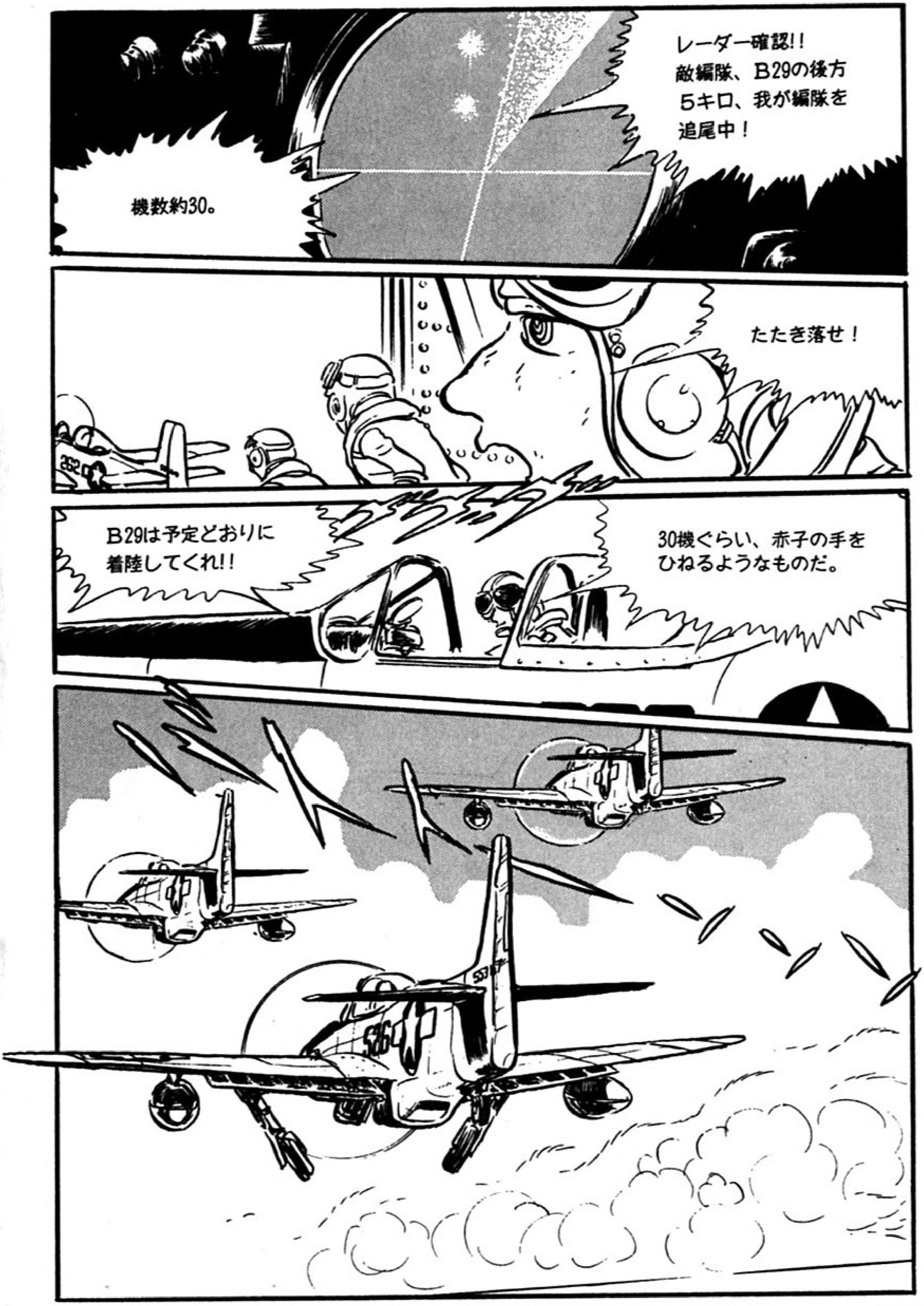
ジジジジジ
電探、大編隊を捕捉!!
本土よりサイパンにむかう！
出力
B29だ。本土を焼き払っての帰りだ。
きのう銀河が偵察にきたな。
おまえが助けたんじゃないか、塚原。

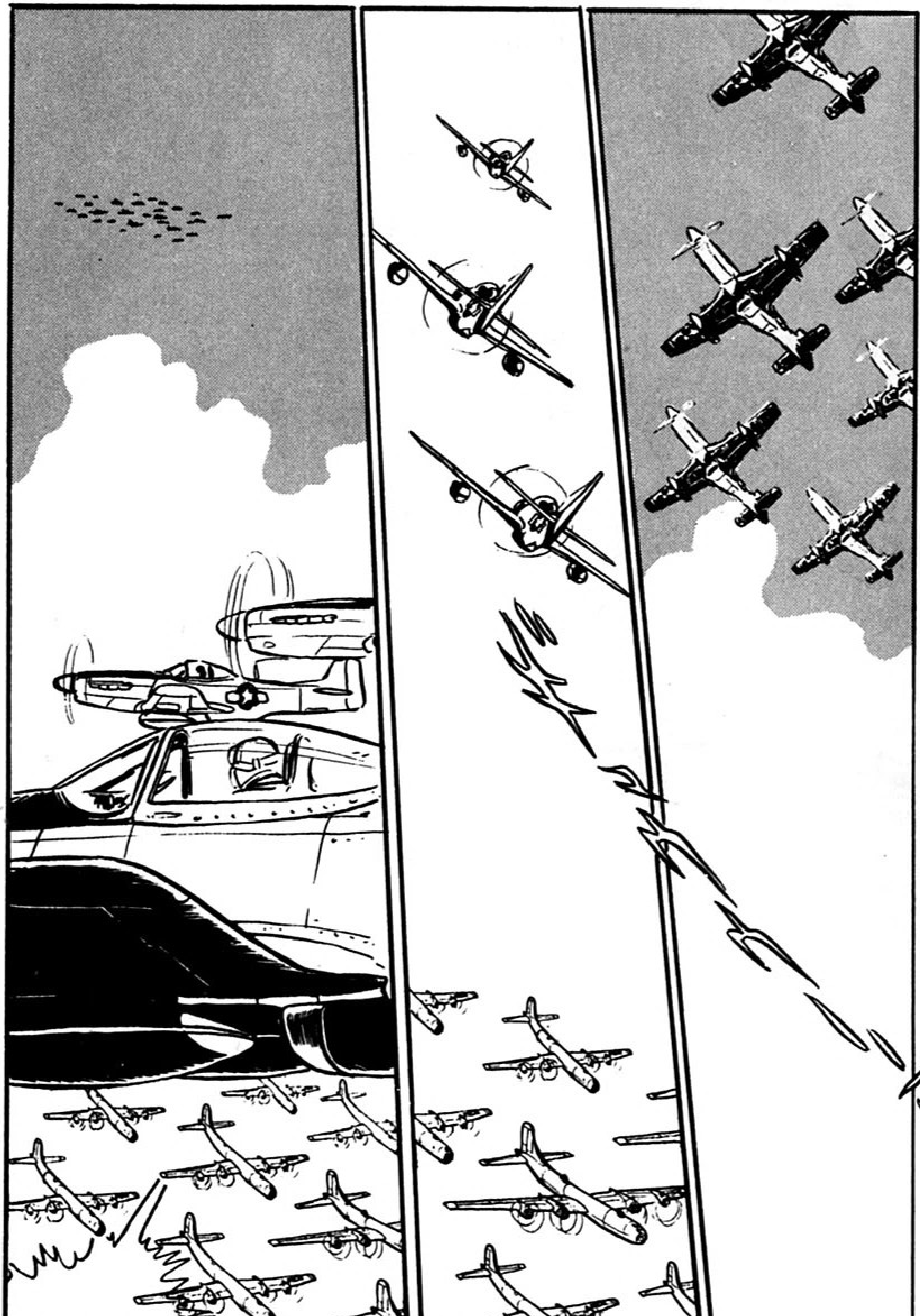
サイパンがB29の巣だという事はしっているんだから、攻撃でもする気なんだろうか?
さあなあ、ここは友軍からも連絡をたっている。
秘密基地さ。
味方さえもしらない秘密基地なんだ。
これほどの秘密基地はないよ。
俺の家族は、もう俺が死んだと思ってるだろうなあ。
悲しいか保谷。
大泉はどうだ?
悲しいねえ。
俺もさ…
死にたくはねえなあ。
生きて家に帰る夢を何度もみるなあ。

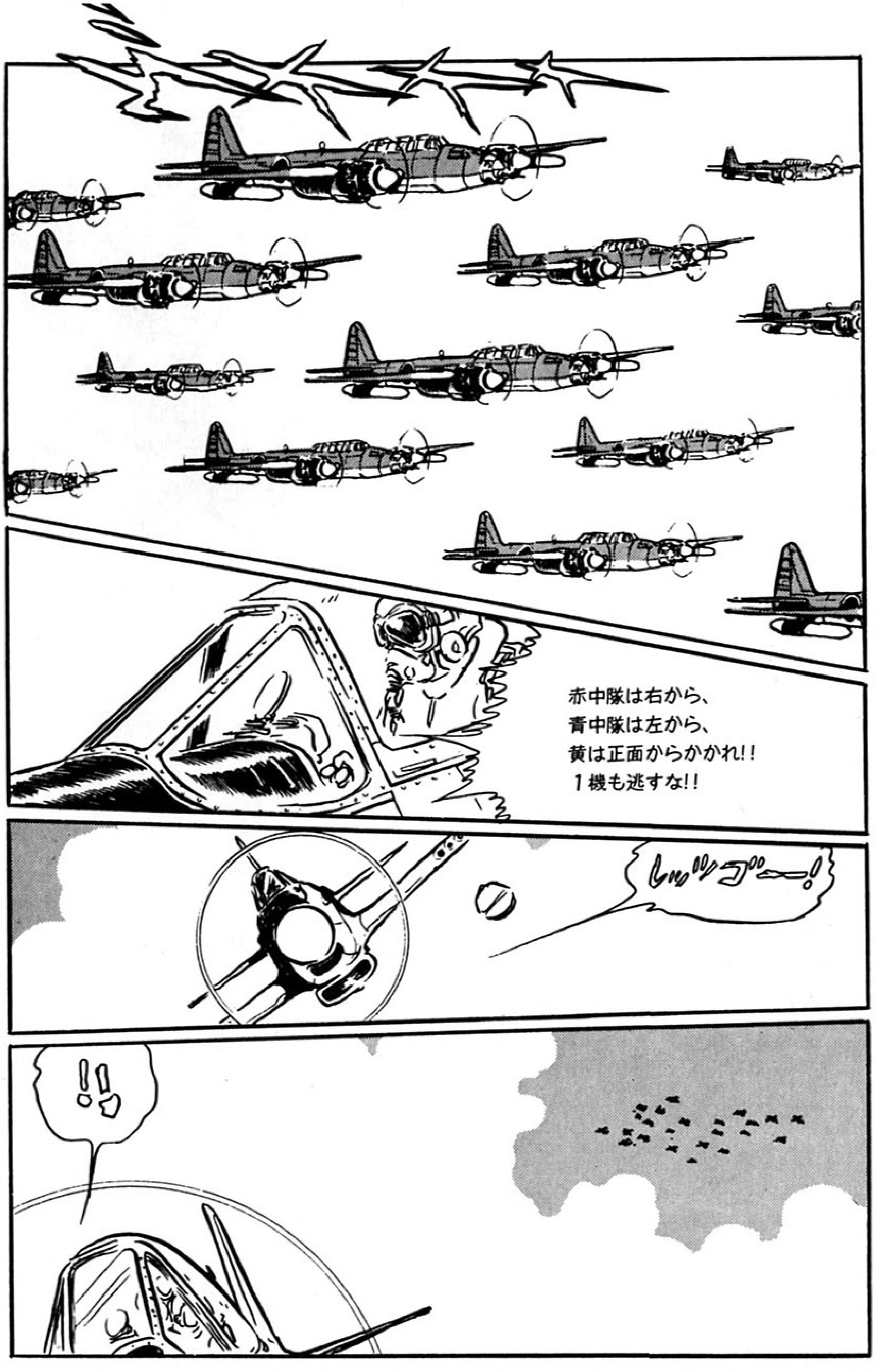

俺なんか何回玄関をただいまってはいったかしれないぜ。
瓜生、司令は何を考えてるんだろ。
さあなあ。
司令。
よしわかった。
友軍の編隊がくる。B29の後方五キロだ。
三十機の大編隊だ。
B29は三百機でしたよ。
三十機でも我が方には大編隊なんだ。
雷電隊出動!!
サイパン上空まで友軍を援護する!!

友軍の爆撃機に何を聞かれても答えるな!
友軍にバレる事は敵にもバレるのだ!
しかしなあ、おまえらそのカミなんとかならんのか。
スダレごしには敵機がみえにくかろう。
まあ、ここではええわい。飛べりゃええわい。
ゆくぞ!!

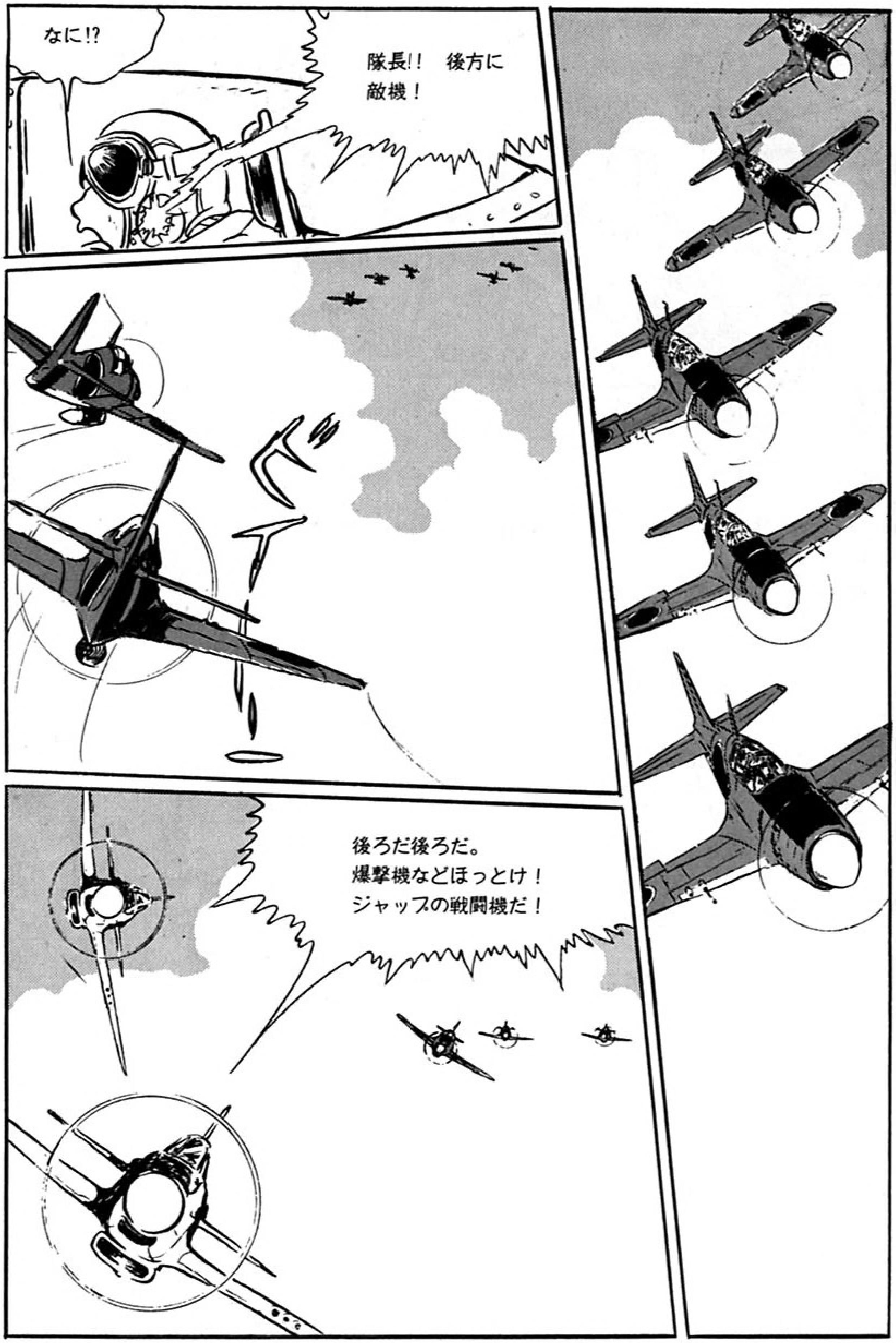


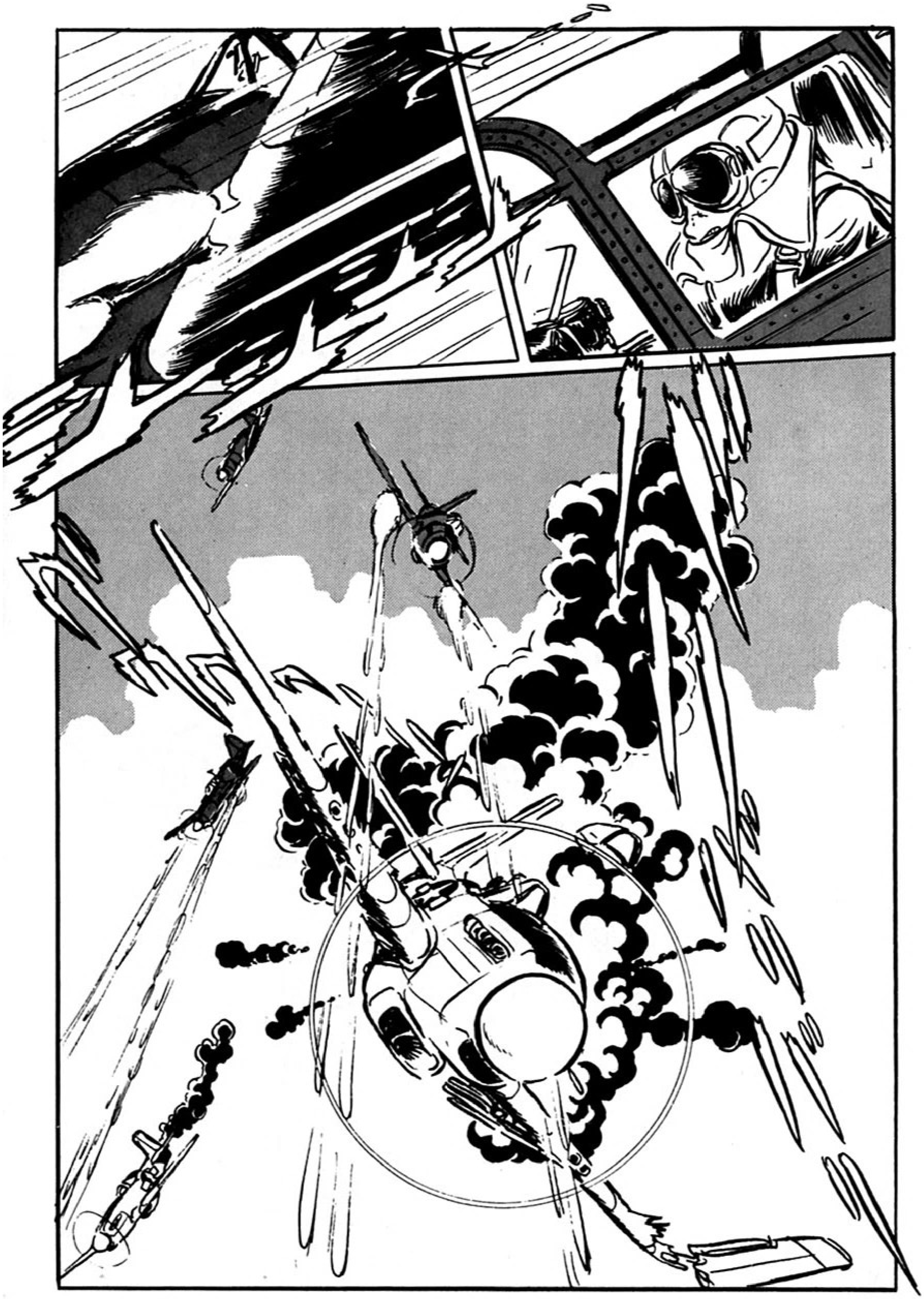

レーダー確認!!
敵編隊、B29の後方
5キロ、我が編隊を
追尾中！
機数約30。
たたき落せ！
30機ぐらい、赤子の手を
ひねるようなものだ。
B29は予定どおりに
着陸してくれ!!

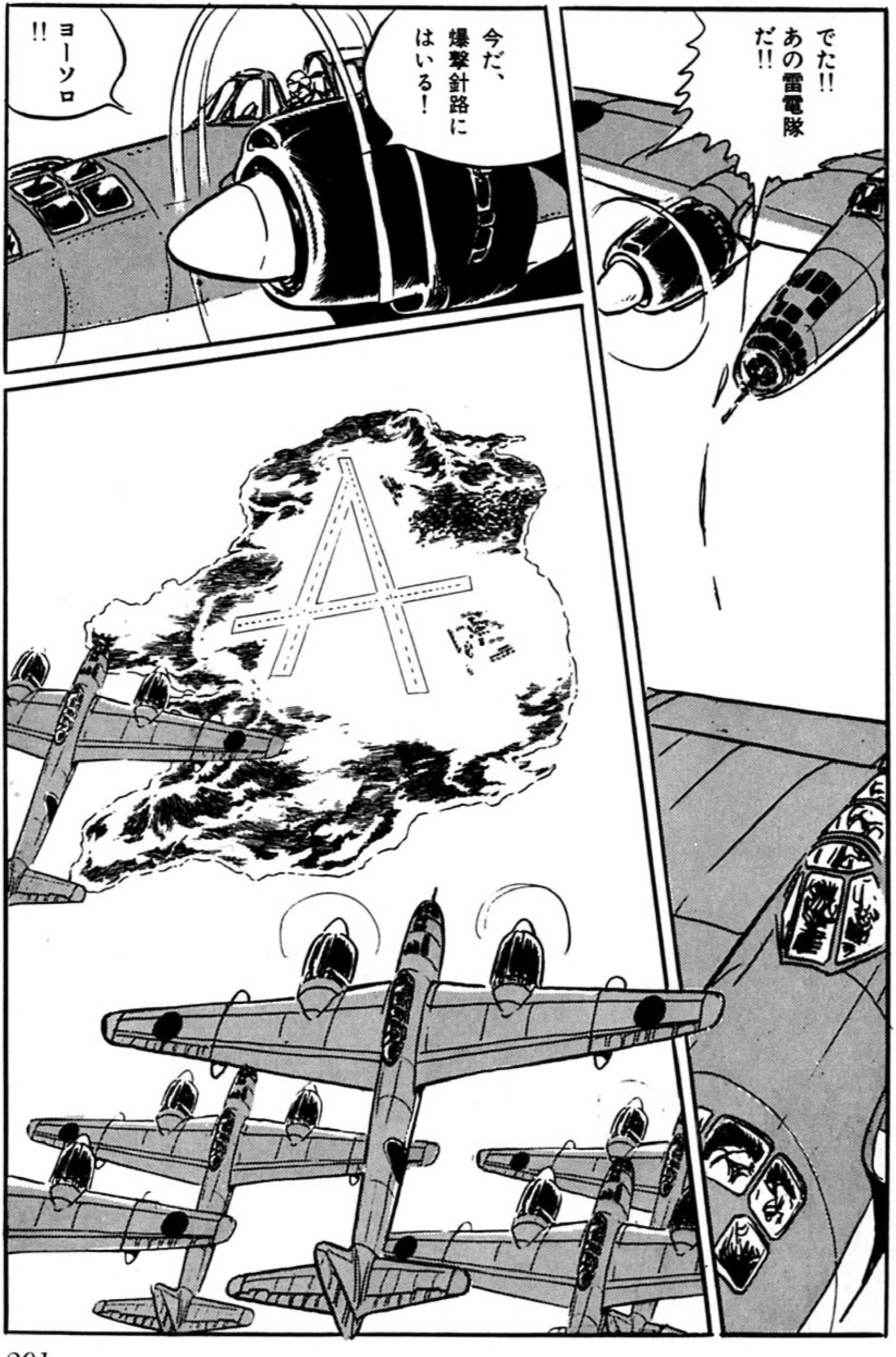

あれだ!!

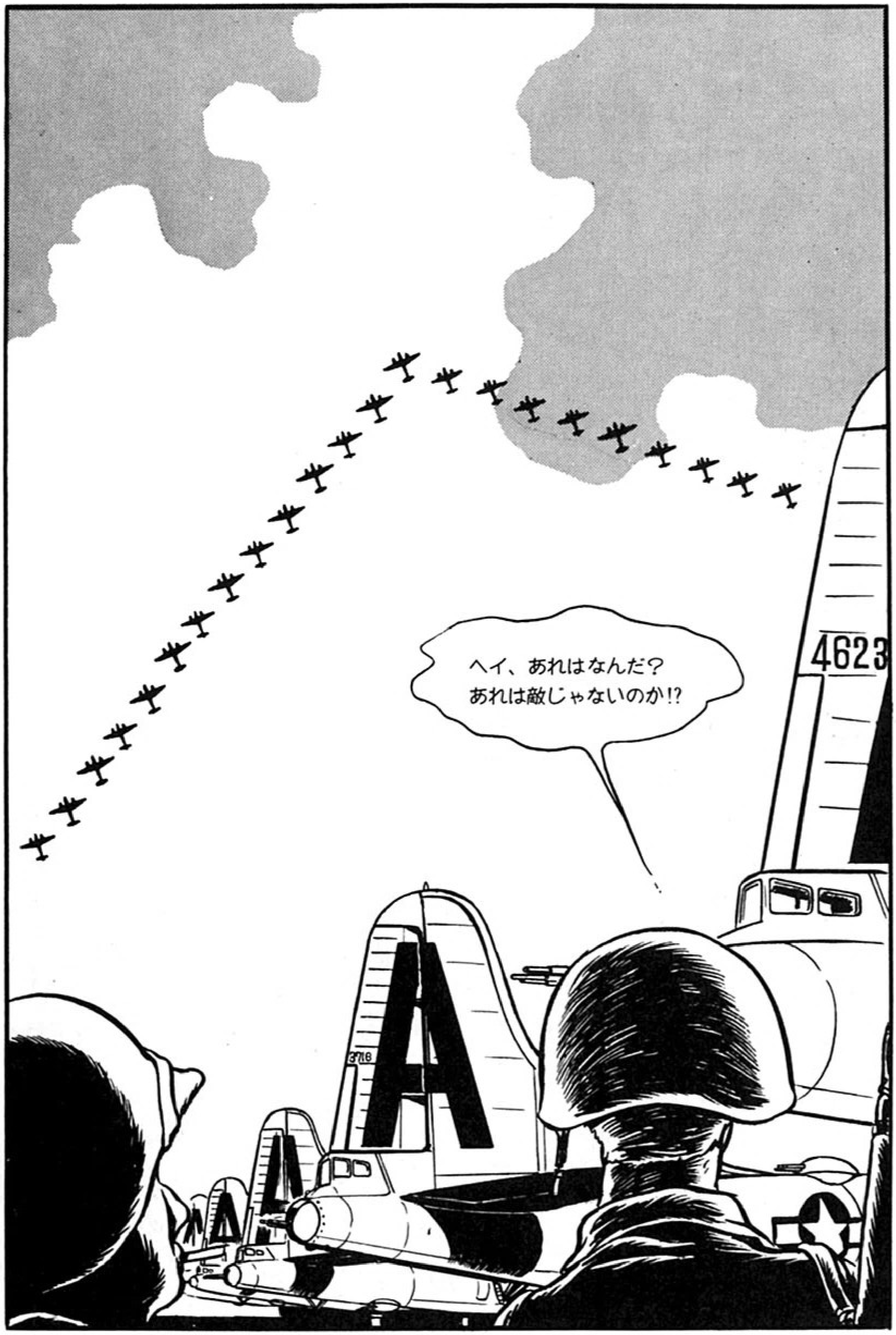


赤中隊は右から、
青中隊は左から、
黄は正面からかかれ!!
1機も逃すな!!
レッツゴー!
!!

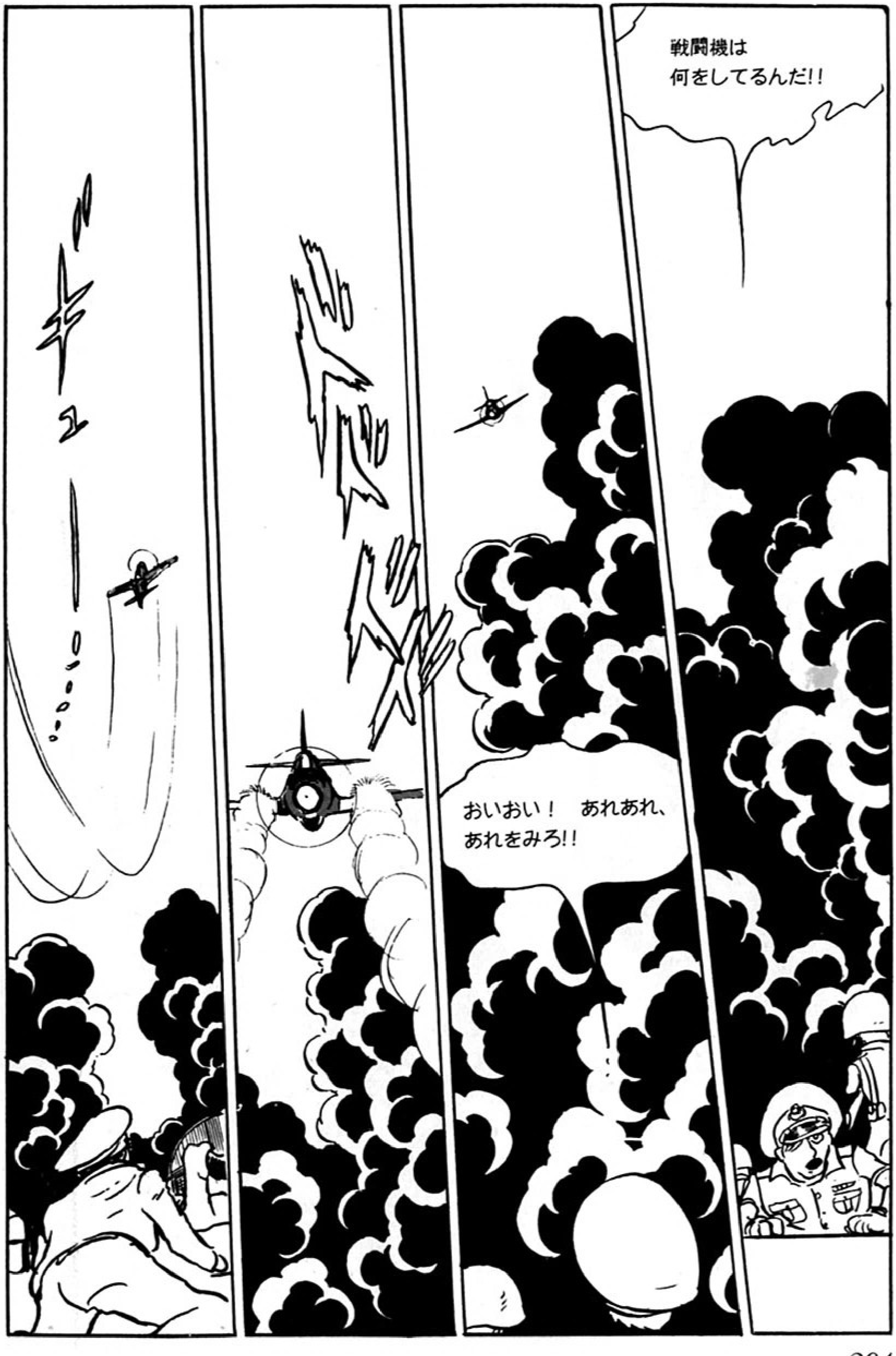

隊長!!　後方に敵機！
なに!?
後ろだ後ろだ。爆撃機などほっとけ！ジャップの戦闘機だ！

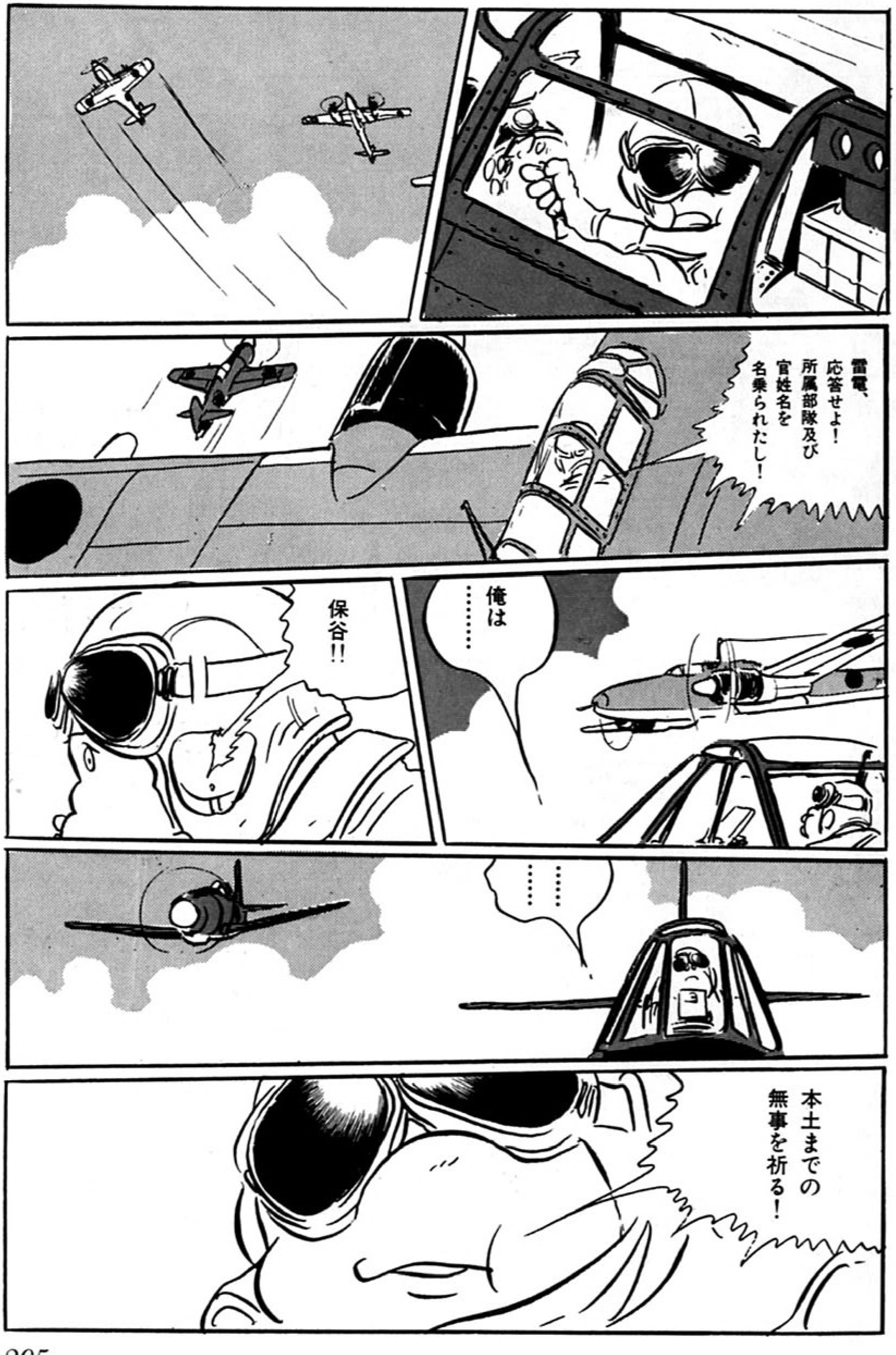



でた!!
あの雷電隊だ!!
今だ、爆撃針路にはいる!
ヨーソロ!!

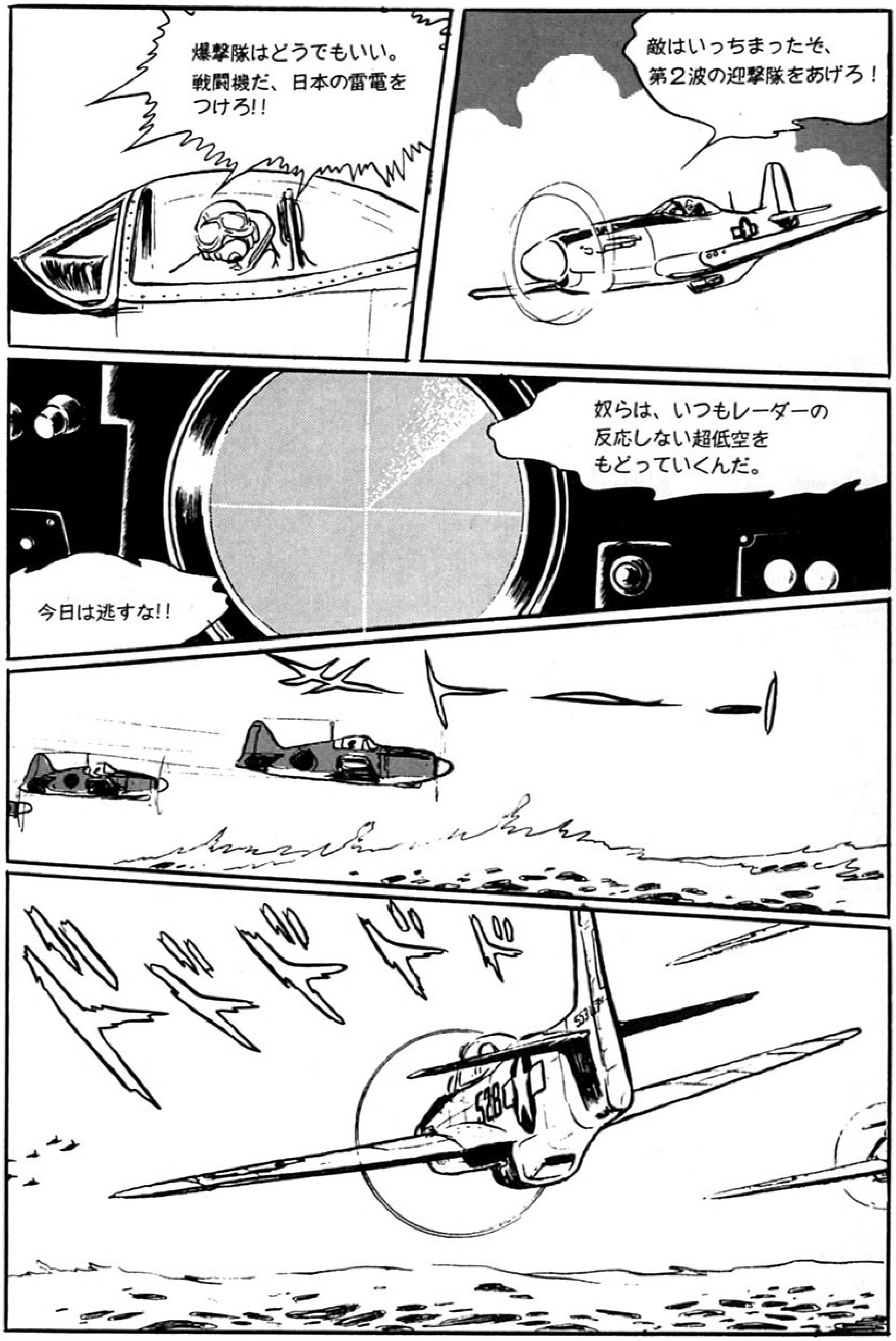

ヘイ、あれはなんだ？
あれは敵じゃないのか!?
4623

キュル
キュルキュル


戦闘機は
何をしてるんだ!!
おいおい！　あれあれ、
あれをみろ!!

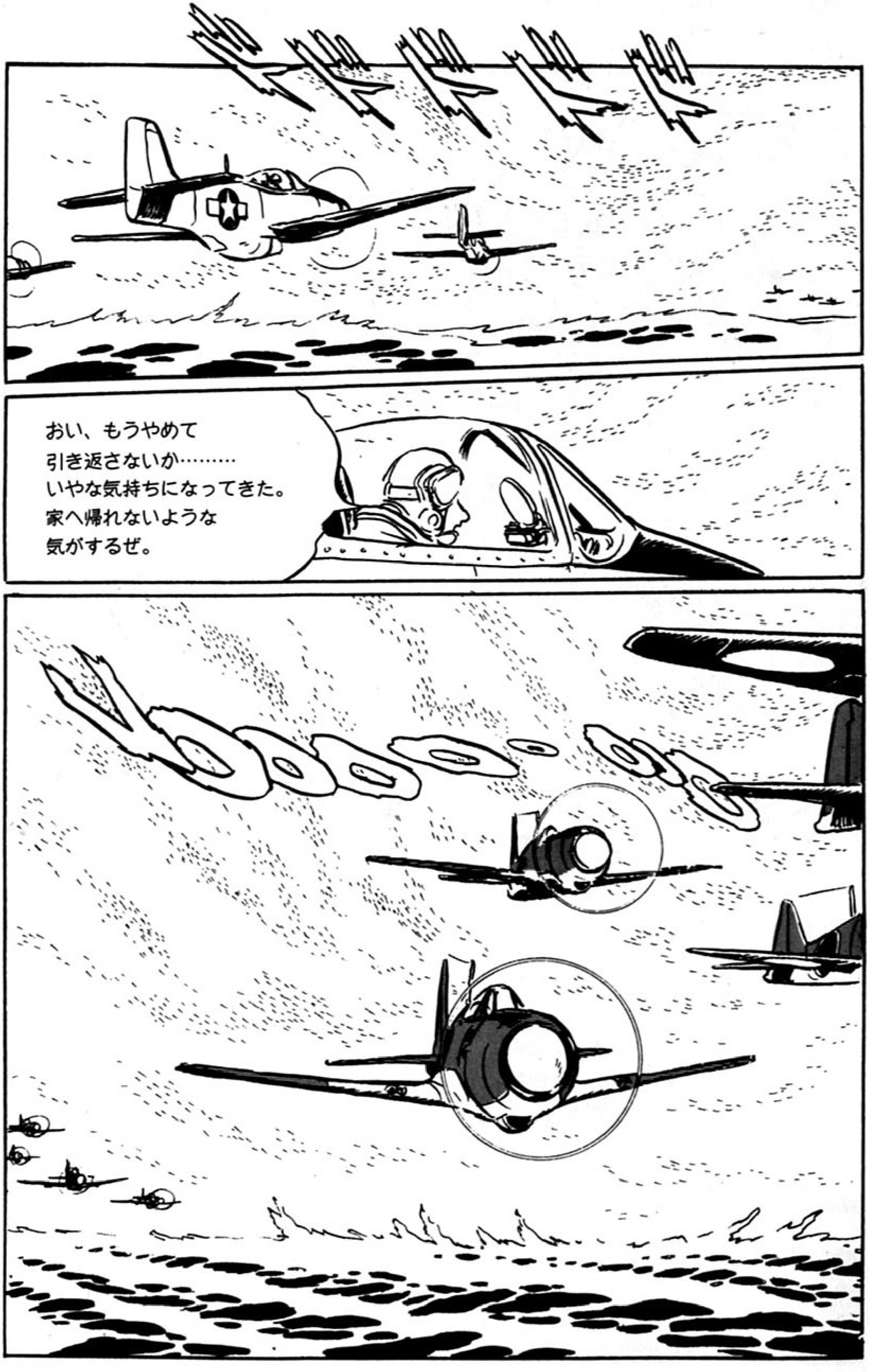

雷電、
応答せよ！
所属部隊及び
官姓名を
名乗られたし！
俺は
……
保谷!!
……
……
本土までの
無事を祈る！

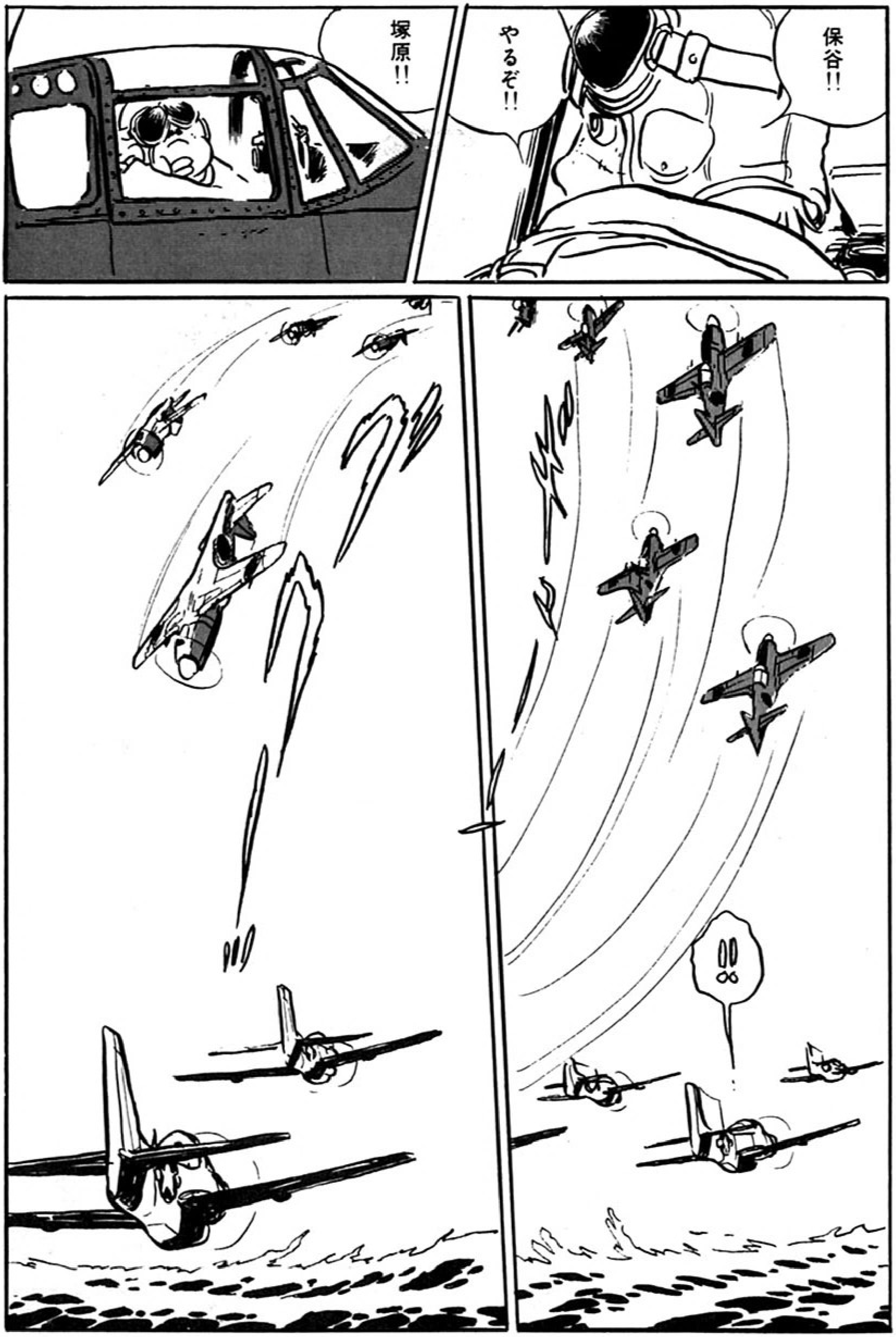
また、南へ消えてゆく!!
あの雷電は幽霊なんだろうか?
そのおかげでとにかく我々は生き残れた。
神様だと思って感謝しよう。



敵はいっちまったぞ、第２波の迎撃隊をあげろ！
爆撃隊はどうでもいい。戦闘機だ、日本の雷電をつけろ!!
奴らは、いつもレーダーの反応しない超低空をもどっていくんだ。
今日は逃すな!!

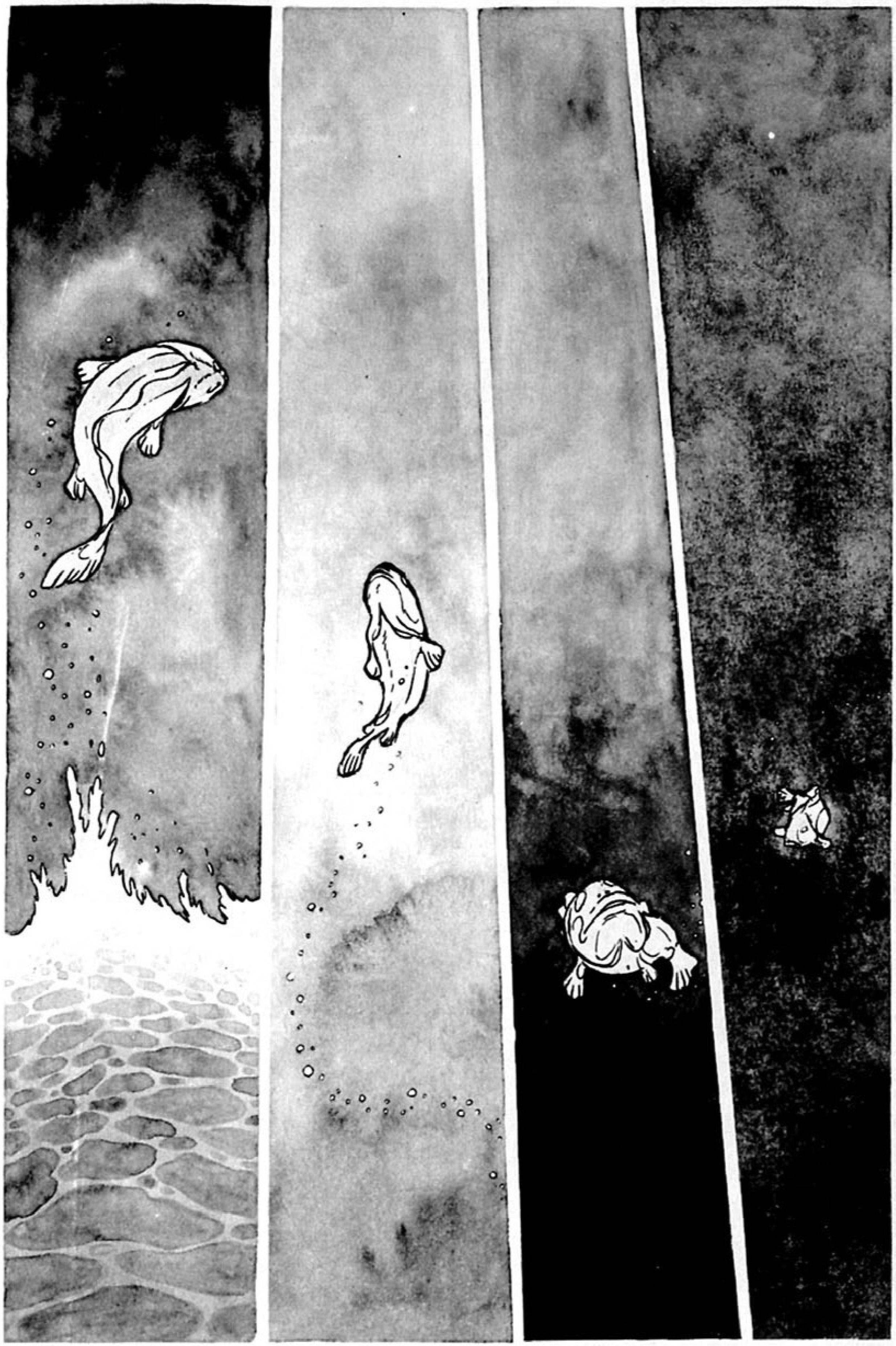
保谷よ、俺たちはつけられているらしいぜ。
このままだとバレてしまうな。
塚原塚原、司令だ！おまえはどこにいる!?
さあ、敵にもわからないところへむかっているようで……
俺たちは、一度この世から消えた人間だ。ここらで本当に消えてしまってても文句をいう奴はおるまい。
せっかく家へ帰って、玄関をくぐる夢を何度もみたのになあ。
この気持ち誰かわかってくれるかなあ。
国を遠く離れた事のある男ならわかってくれるさ。
追ってきている奴らだって、同じ事を考えているさ。

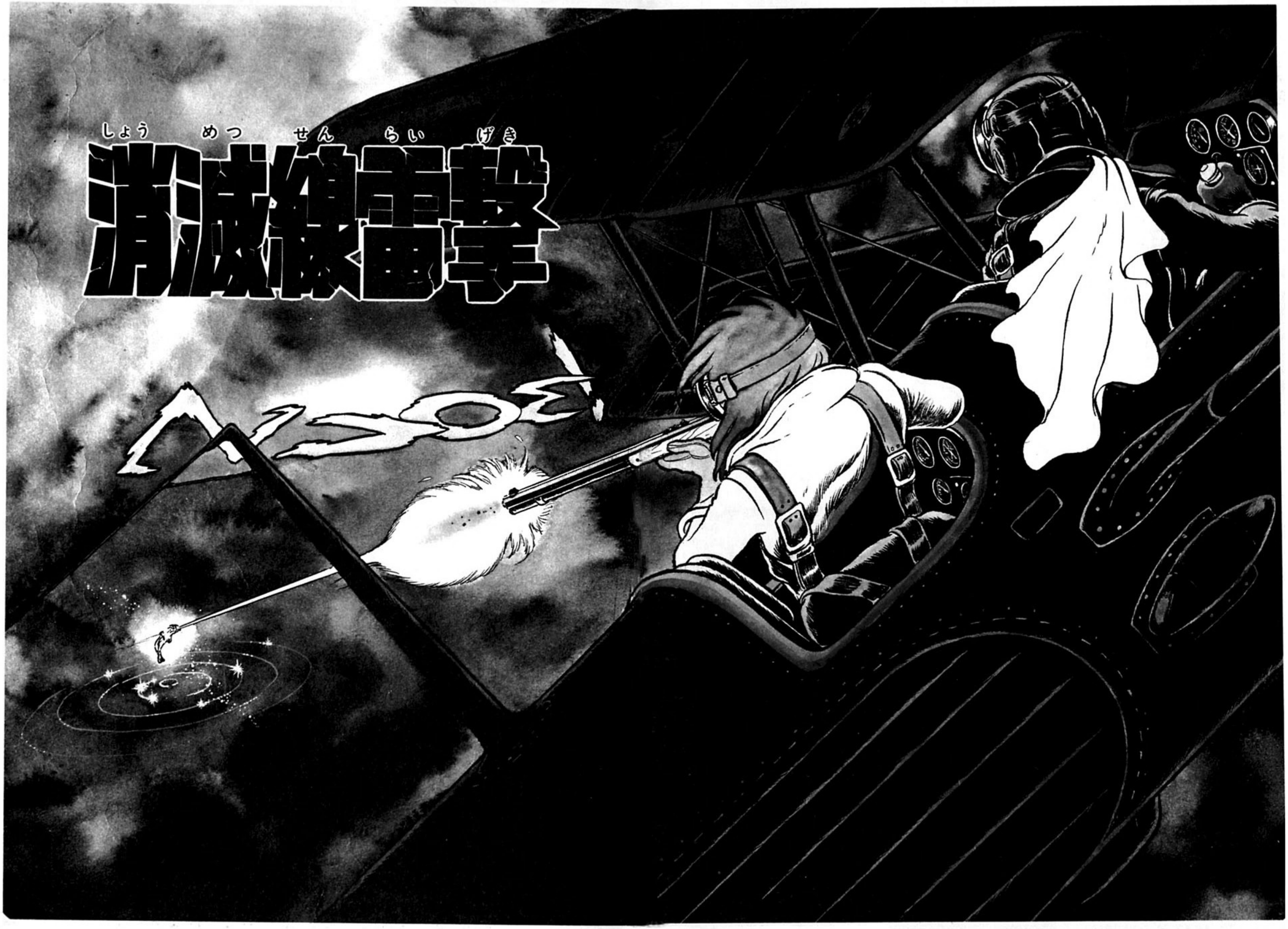

おい、もうやめて
引き返さないか………
いやな気持ちになってきた。
家へ帰れないような
気がするぜ。

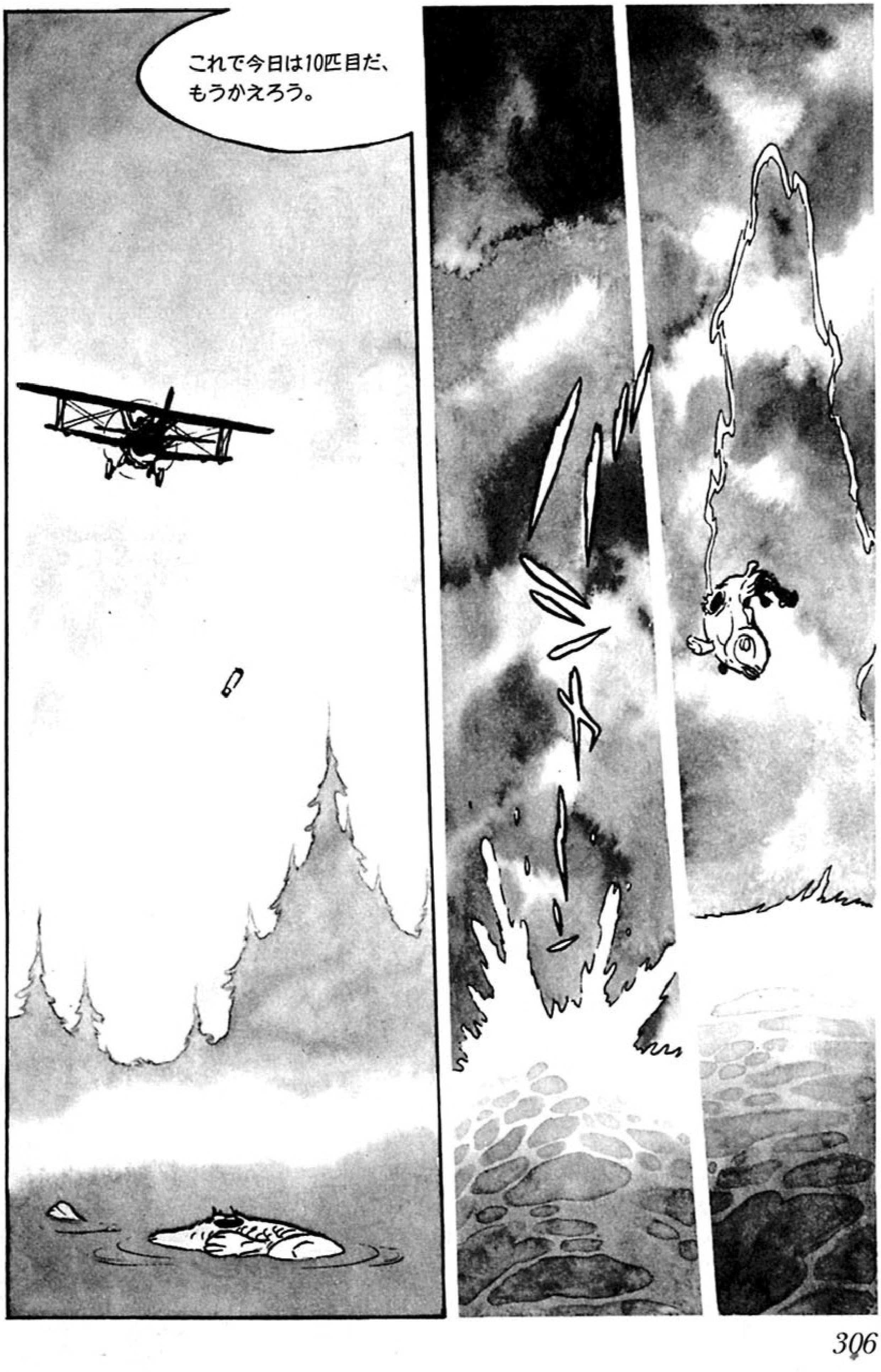

保谷!!
やるぞ!!
塚原!!
!!∞

消えました!!　敵も味方も
レーダーから消えました。
RISING THUNDERBOLT
……………………
夢だったのだろうか…!?
後世の戦史は我々の事を何も記録してはくれまい。
一度消えた雷電や、一度死んだはずの搭乗員が、人しれず太平洋のまん中でがんばっていた事なんか……
時の流れの中に跡形もなく消えてゆくのだよ我々は………
私にはあの…日本の雷電（ライジング・サンダーボルト）の爆音が…勇者の叫びのように聞こえた………
司令官。
人はみな忘れても、私は永久にあの勇者の雷鳴を忘れる事はない。

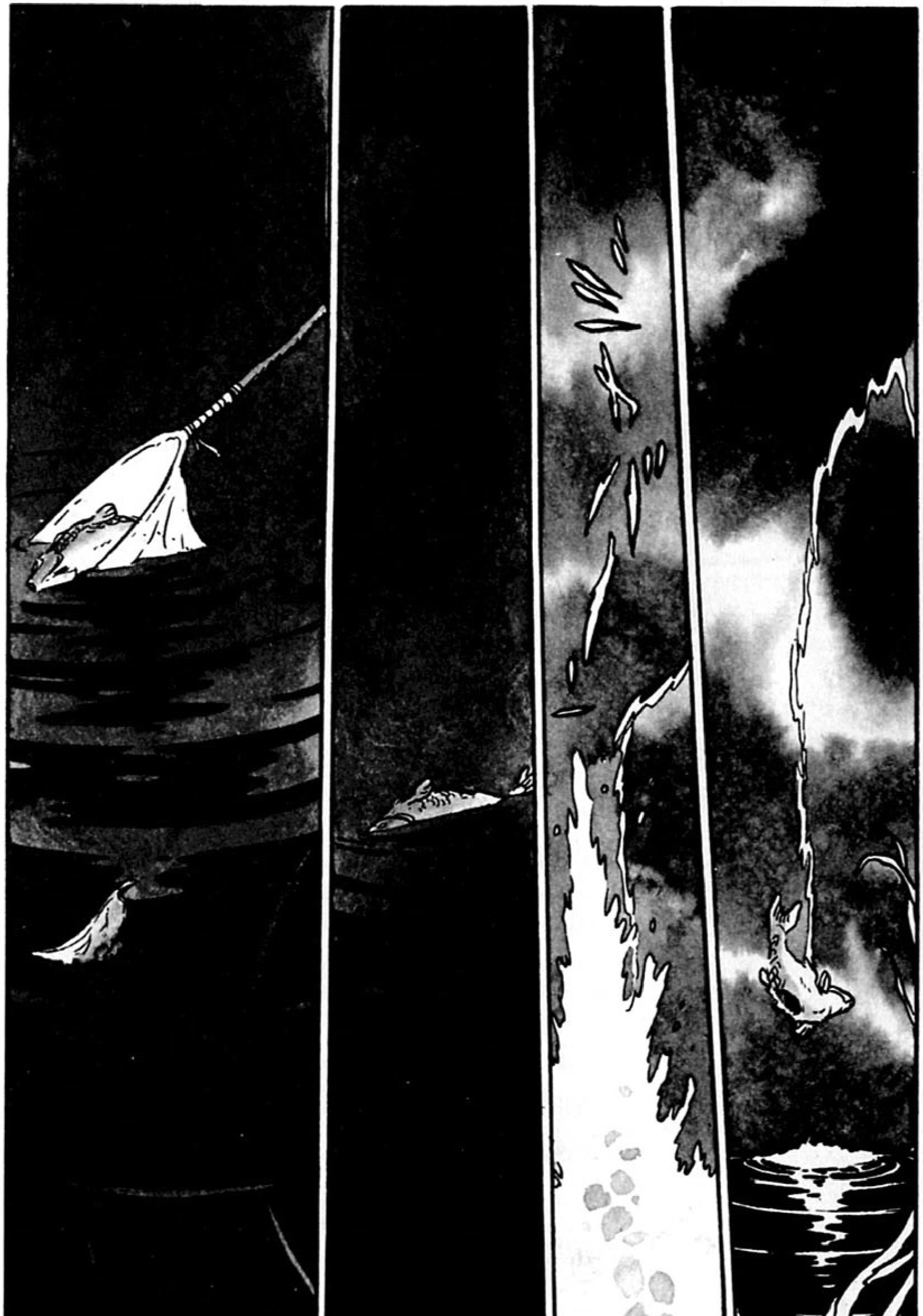
■「ビッグコミックオリジナル」1977年3月5日号掲載




消滅線雷撃（しょうめつせんらいげき）

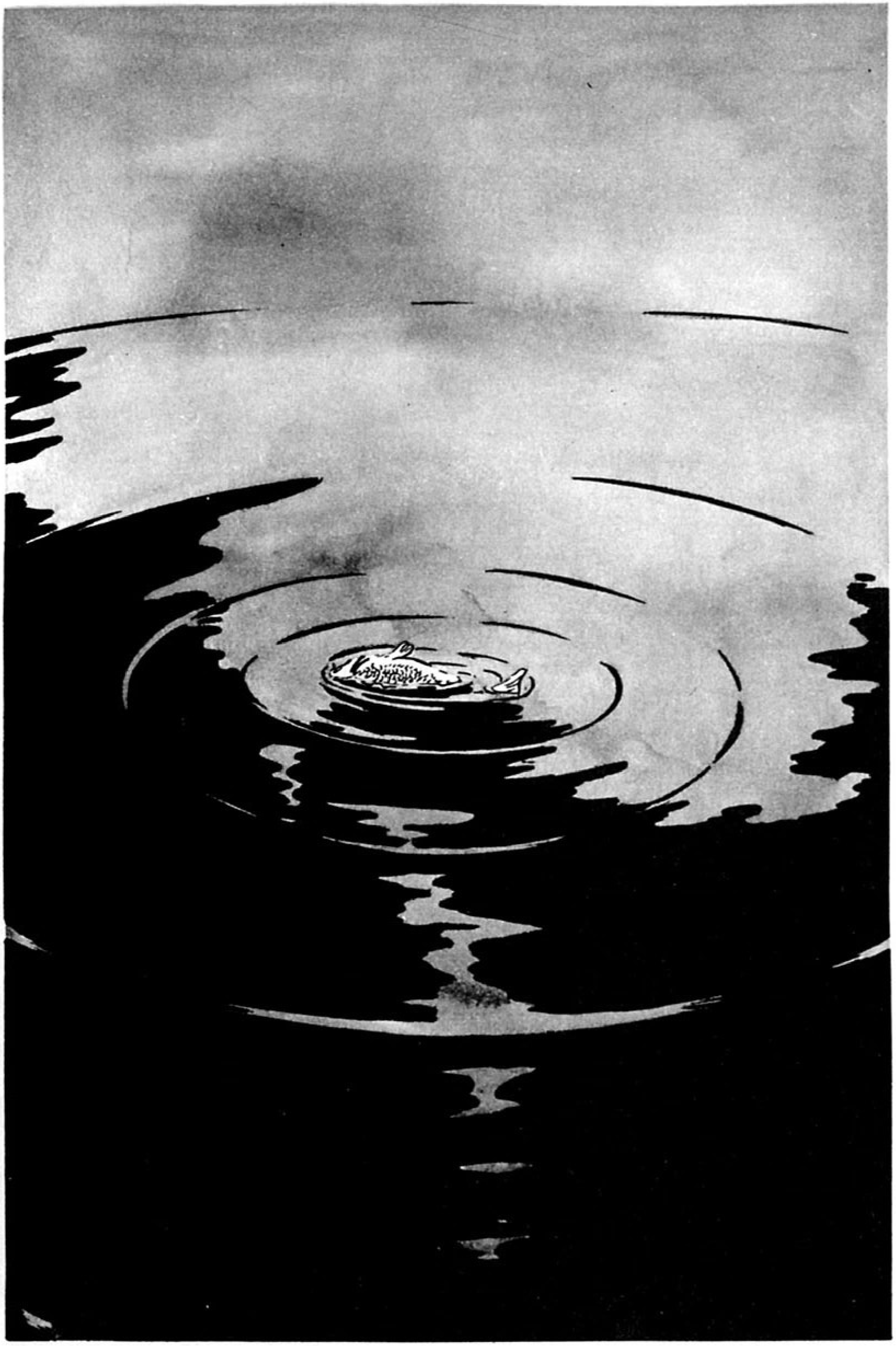

これで今日は10匹目だ、
もうかえろう。

飛んでる飛行機から
飛びあがった魚を
撃つなんて、たいした
射撃の腕だぜ、
フロスター。
あの魚は、うまれた時から
俺に撃たれる運命に
あったわけだなあ。
そして、このみかん(マンダリン・オレンジ)のかん詰めは
できた時からお前にくわれる
運命にあったのさ、フロスター。
メイド イン ジャパンの
マンダリン・オレンジの
かん詰めか………
このオレンジも、
俺にくわれるために、
日本の山の中のどこかで
木になってたんだろうなあ。
日本とのつきあいが
このごろ悪くなっている。
俺が戦場で撃ち殺す運命にある
日本人が、どこかでなにか
してるかもなあ。
俺の体をつらぬく弾丸が、
頭の上に落ちてくる爆弾が、
日本のどこかでつくられて
いるかもしれない。

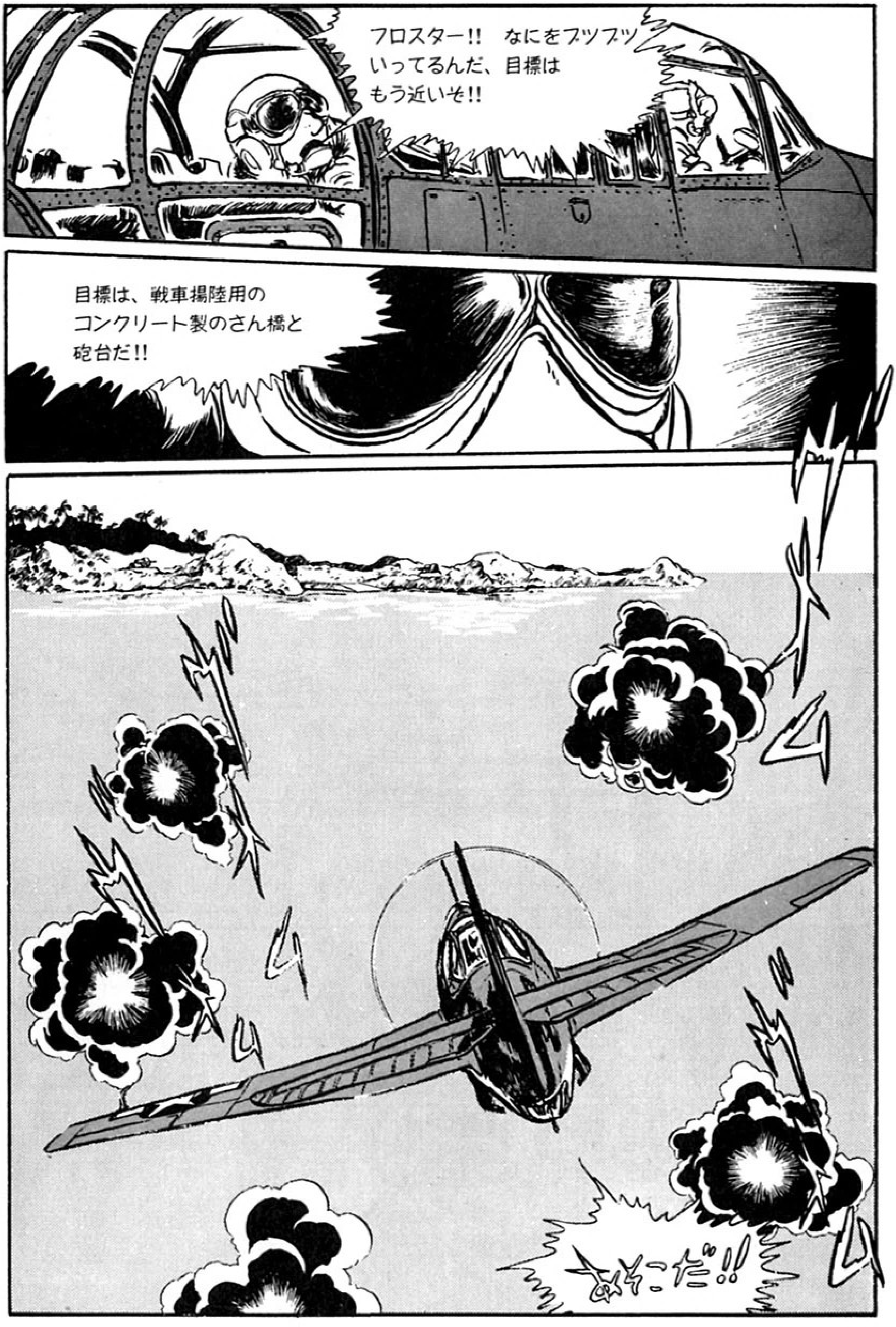


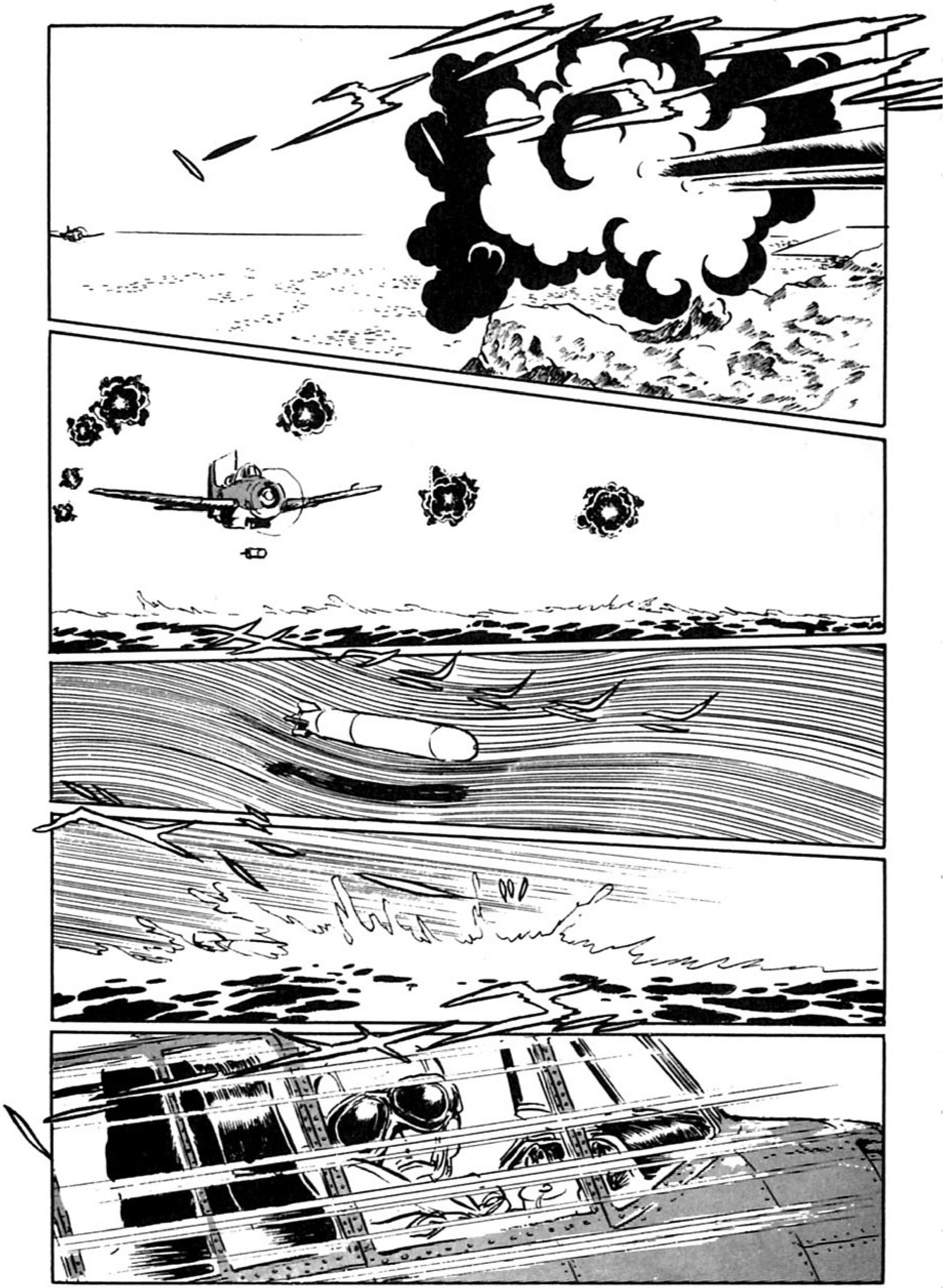
これで
十六匹目だよ、
兄ちゃん。
うん、
この鉄砲は
よくあたる。
それを
使ってた
おじいちゃんも
よくそう
いってたね、
兄ちゃん。
これは、
日露戦争の時の
日本の主戦小銃を
猟用に改造した
ものだ。
三十年式
歩兵銃……
ジャ
でたよ!
十七匹目!

昔、戦場で
どこのだれが、
この銃をもって
いたのか
しらないけれど
……………
これは、
つくられた時から
俺のものになる
運命に
あったんだ。
そう思うと
不思議な
気がする
よな。
この魚も
兄ちゃんに
撃たれる運命に
あったんだね。



毎日毎日、出撃するたびに
俺は思うよ……………
今日、俺の弾にあたる奴は
どいつか…俺にあたる弾は
どこにあるかと………


フロスター!!　なにをブツブツ
いってるんだ、目標は
もう近いぞ!!
目標は、戦車揚陸用の
コンクリート製のさん橋と
砲台だ!!
あそこだ!!

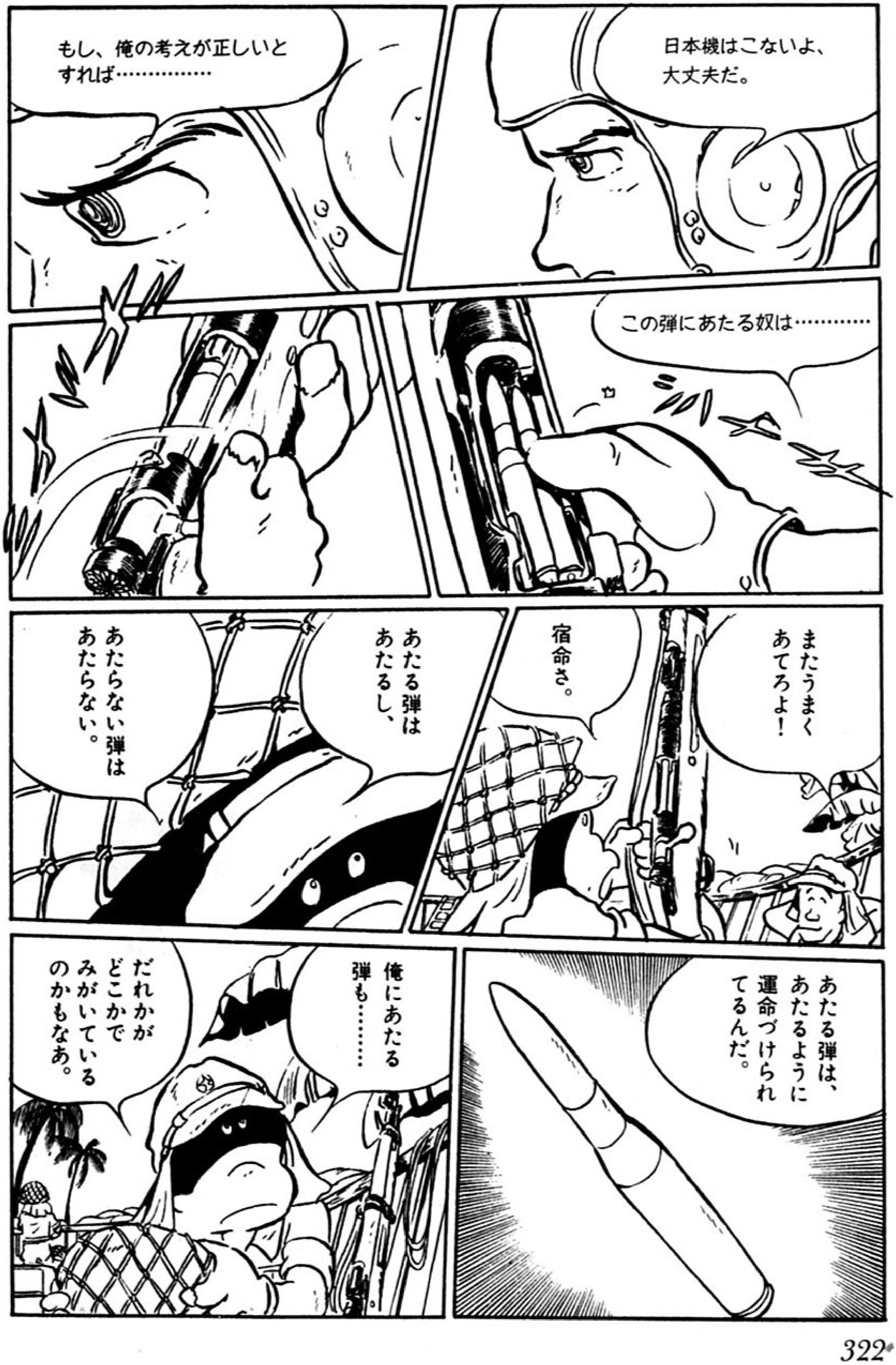


ズズズズ
ズド

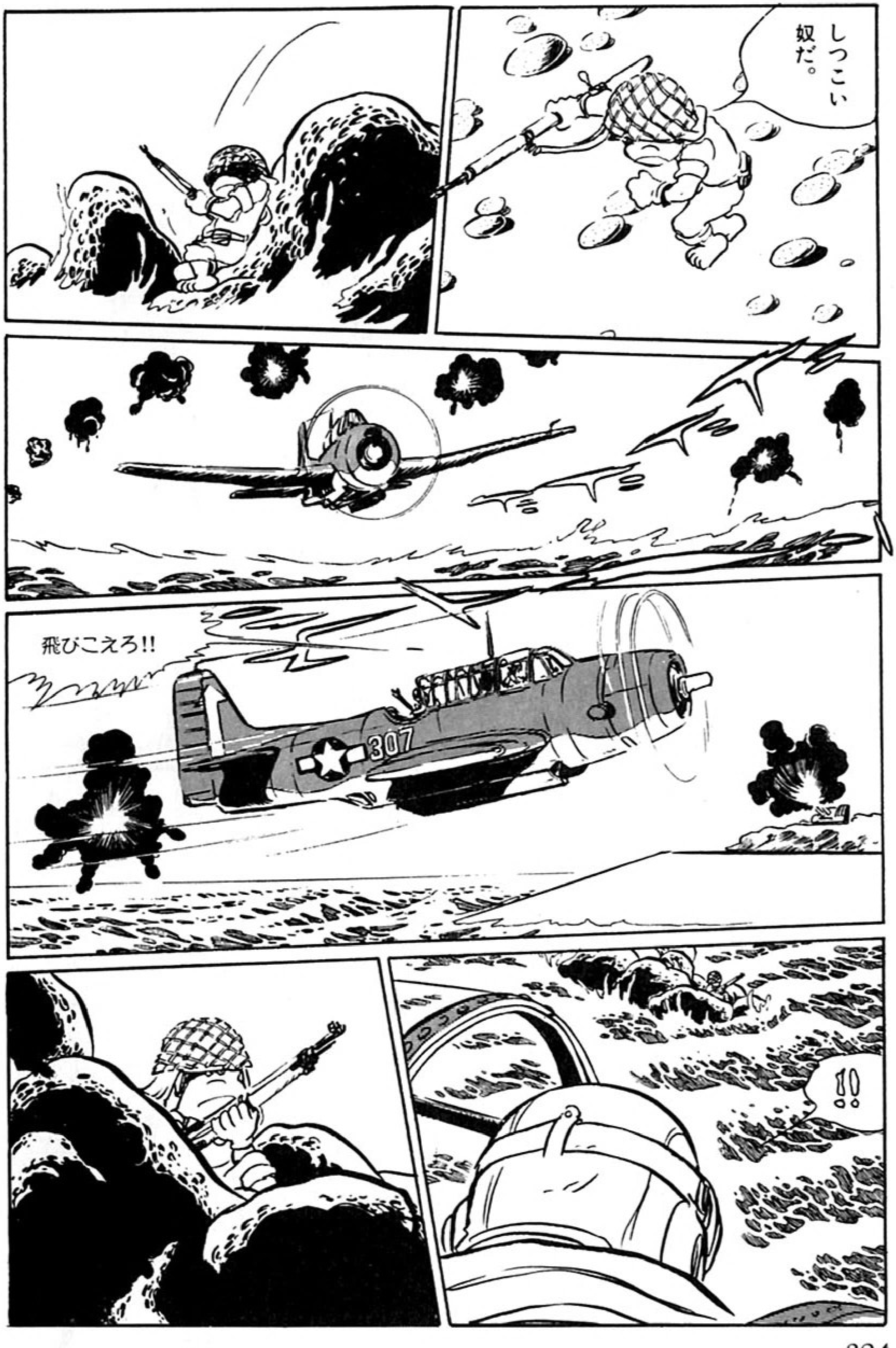
今日も
だめだ!!
魚雷のひっかかるような
岩があるようにも
見えないが……………
これで何回目だったかな？
6回目だ！
みんな魚雷が爆発した！
信じられない。
魚雷の爆発で
魚がいっぱい
浮いたぞ、
すくえ
すくえ！

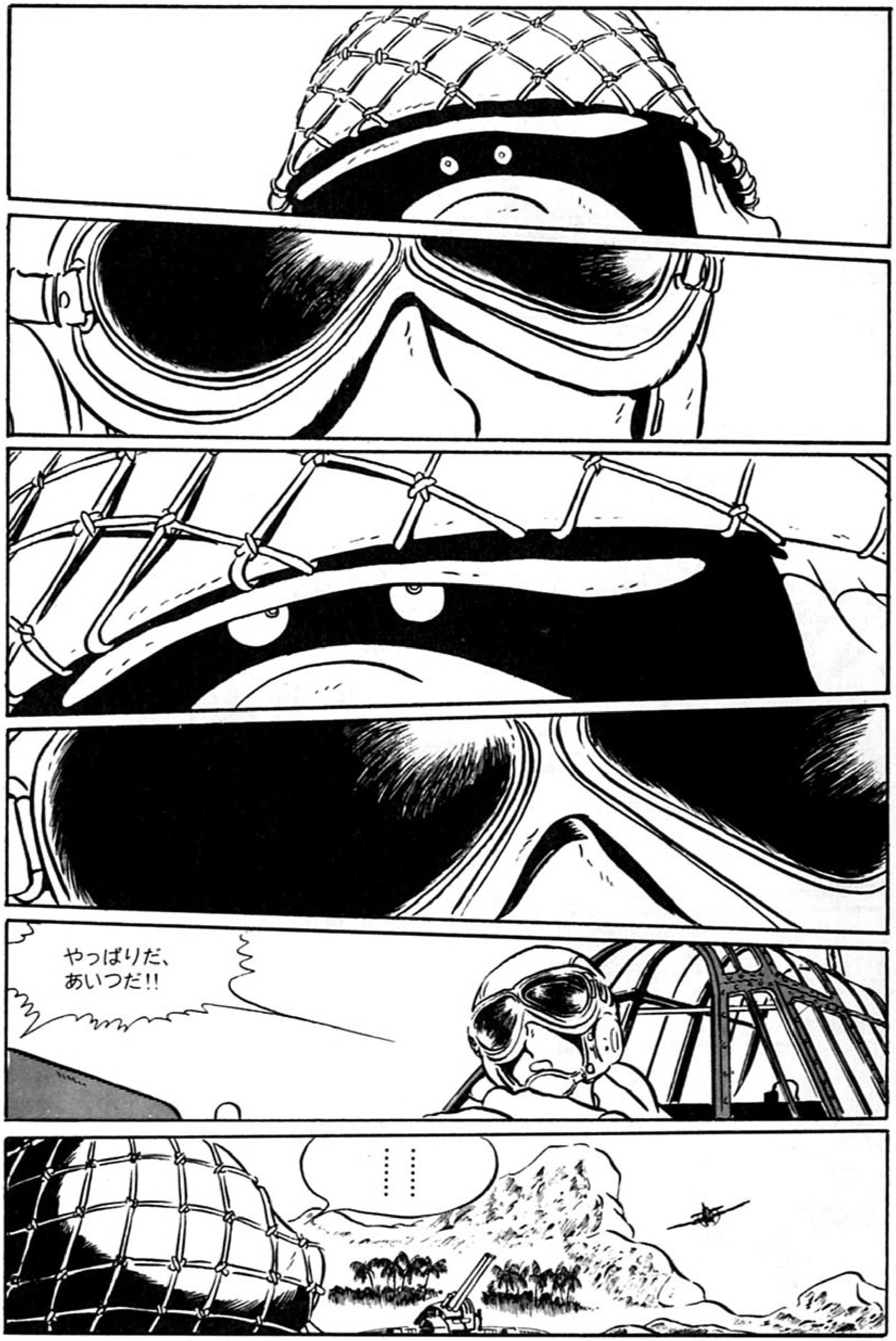
大原!! まったく お前の 特技には 感心するよ。
池のコイに くらべたら、 魚雷は大きい。
六回 雷撃にきたな。 またくる だろうか?
くるさ。
この砲台と 戦車揚陸 さん橋が あっては、 上陸作戦も ぐあいが悪い ものな。
いまごろ、 また雷撃機に つみこむ 魚雷を みがいてるさ。
俺も弾を みがこう。

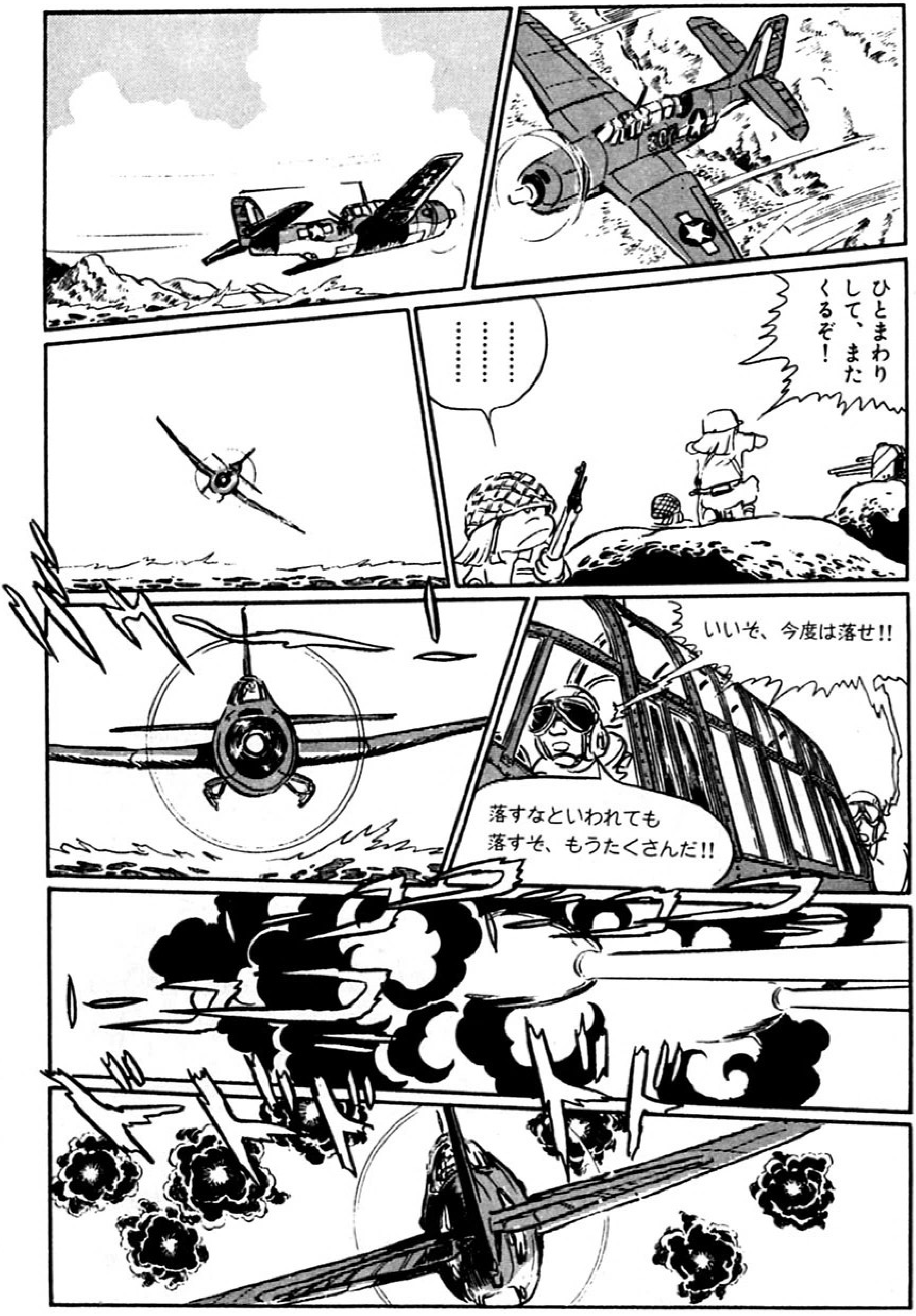
ゴ
魚雷の爆発でくさってると
思ったら、ハンティングにでも
いくのか？
ライフルの弾なんか
みがいてどうした？
獲物はなんだ？
俺の獲物は魚だ。
サカナ？
お前は銃で
サカナを撃つのか？
趣味でね。
なあダンバー、
お前、つぎの時は操縦して
くれないか。
お前はどうする？
うしろに乗る!!
後部銃座にか？

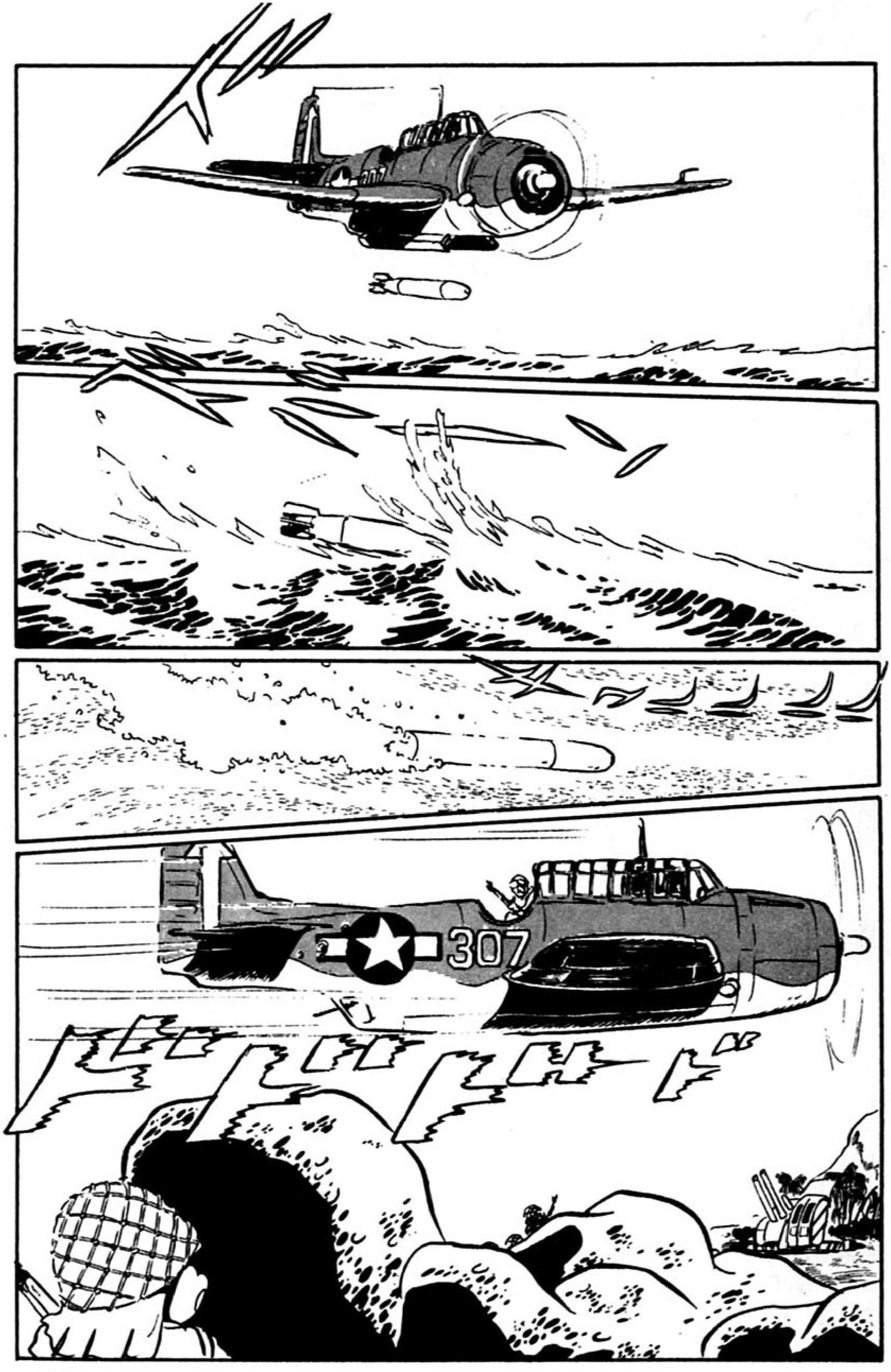

日本機はこないよ、大丈夫だ。
もし、俺の考えが正しいとすれば……………
この弾にあたる奴は…………
またうまくあてろよ!
宿命さ。
あたる弾はあたるし、
あたらない弾はあたらない。
あたる弾は、あたるように運命づけられてるんだ。
俺にあたる弾も………
だれかがどこかでみがいているのかもなあ。

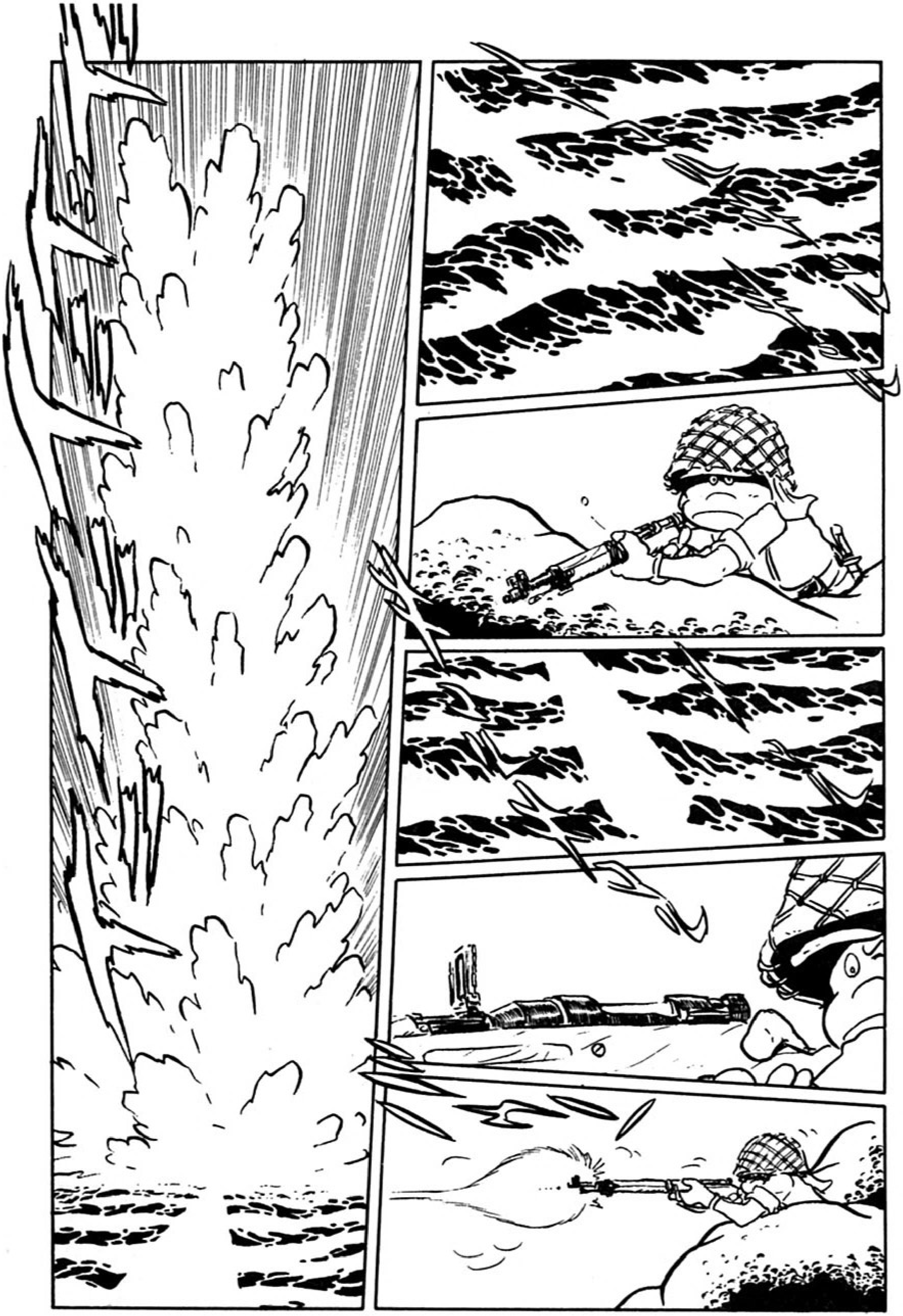
ダンバー！
いいか、1回目は
魚雷を落すな！
なんでだ？
いいから、そうしてくれ。
了解!!
きたぞ!!
ナニ？
!!


しつこい
奴だ。
飛びこえろ!!
!!

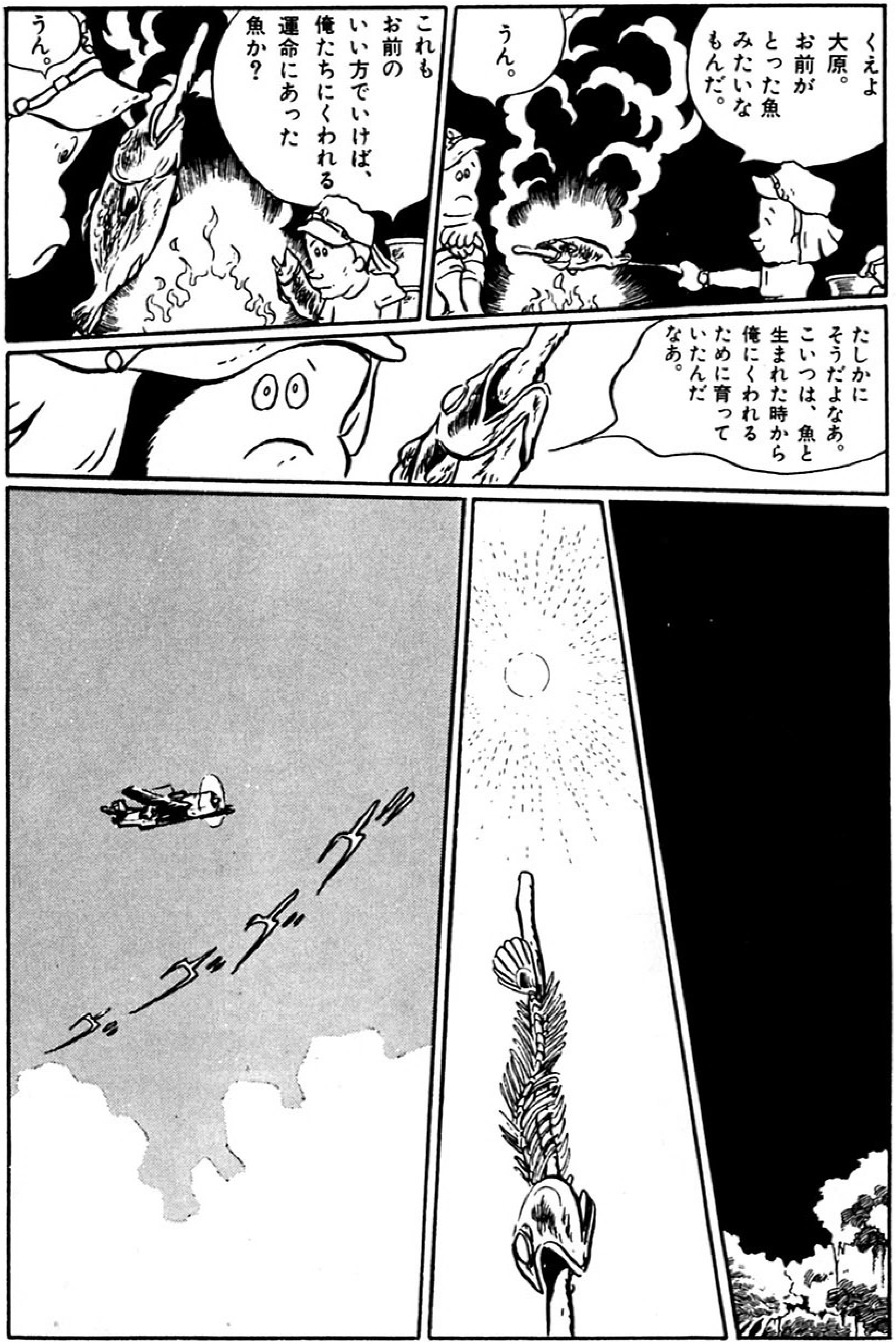

やっぱりだ、
あいつだ!!
……
……


ひとまわりして、またくるぞ！
……………
いいぞ、今度は落せ!!
落すなといわれても落すぞ、もうたくさんだ!!

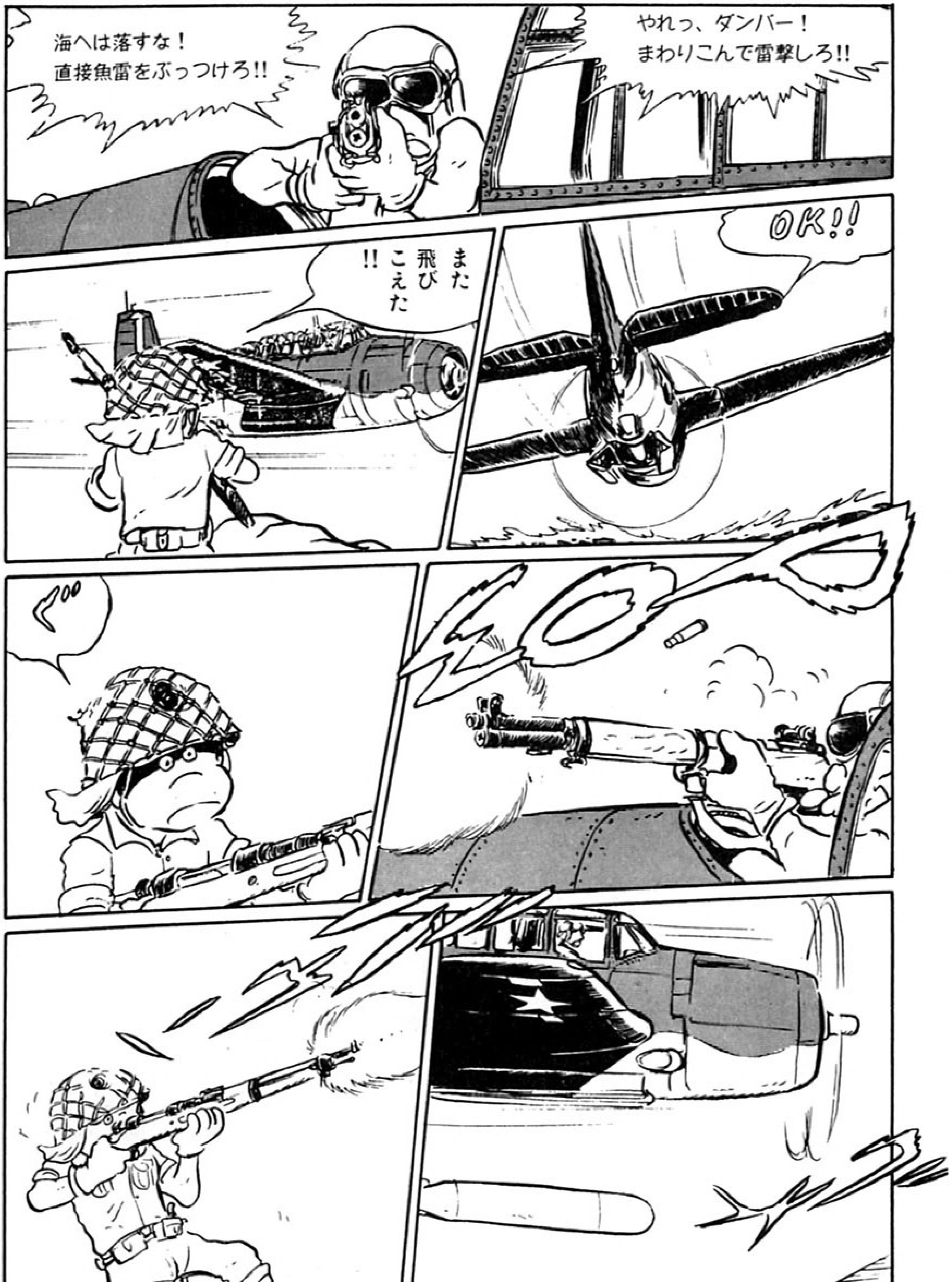

307



また爆発したぜ。
させられたんだ。
大原、また魚がいっぱい浮いたぞ。
俺はとうとう俺の運命とであったような気がするよ。
どうしたフロスター！ 気を落すな、もう１回くりゃいいんだろ、もう１回。
……………
……………
俺には…わかる…なぜかしらないが……俺はとうとう自分の運命とであってしまったようだ……………

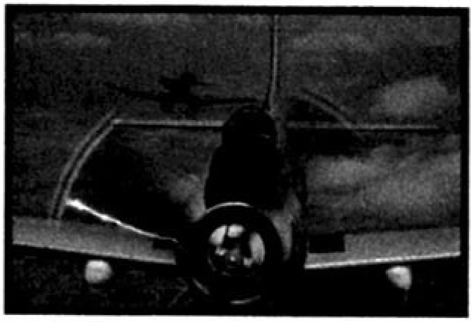

くえよ大原。お前がとった魚みたいなもんだ。
うん。
これもお前のいい方でいけば、俺たちにくわれる運命にあった魚か？
うん。
たしかにそうだよなあ。こいつは、魚と生まれた時から俺にくわれるために育っていたんだなあ。

将二よ……
今度は
兄ちゃんが
池のコイに
なる番かも
しれないぜ。
…………
…………
…………


やれっ、ダンバー！
まわりこんで雷撃しろ!!
海へは落すな！
直接魚雷をぶっつけろ!!
OK!!
また飛びこえた!!

■ザ・コクピット　3／完

■「ビッグコミックオリジナル」1977年4月5日号掲載



3

THE COCKPIT

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

1998年1月10日　初版　第1刷発行
1999年11月1日　　　　第5刷発行

著者 ――― 松本零士 ©Leiji Matsumoto 1998

発行者 ――― 三宅　克

発行所 ――― 株式会社 小学館

〒101-8001東京都千代田区一ツ橋2-3-1

[振替]00180-1-200

[電話]編集・東京03(3230)5380 販売・東京03(3230)5749

印刷所 ――― 図書印刷株式会社

装幀 ――― 海野一雄 +Bay Bridge Studio

写真 ――― オリオンプレス

●造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの不良品がありましたら〔制作部〕あてにお送りください。送料小社負担にて、おとりかえいたします。　制作部　TEL 0120-336-082

●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などをすることは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。

Ⓡ〈日本複写権センター委託出版物〉
本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（TEL 03-3401-2382）にご連絡ください。

[検印廃止]

ISBN4-09-192253-8

小学館文庫

Printed in Japan